

第2版 6.00ドル

**ORGONE ENERGY** The Answer to Atomic Suicide

# オーゴン・エネルギー

原子力による自殺に対する答え

Jerome Eden 著



2017.9にアメリカで撮影

1940年のフロイドの仲間で生物学と物理学の研究者である Wilhelm Reich 博士、は Albert Einstein にエネルギーの完全に新しい形—大気にある初源的な「生命エネルギー」彼は、それを「オーゴンと呼んだ—を発見したと手紙で書いたため、「Reich が物理的にオーゴン・エネルギーの存在をデモンストレーションする面談に導いた。

アインシュタインは驚いた

200年の古典的物理学をぐらつかせる発見が、ここにあった！

オーゴン・エネルギー・アキュムレーターと彼の反核放射線研究の Reich の発明は、嵐のような論争を放った

政治的な陰謀を含んで科学の範囲外に置かれた

結果として、Reich は F.D.A.によって詐欺の嫌疑をうけて、結局 1957年連邦刑務所で死んだ

大部分の彼の本は禁止されて、燃やされた

今日、Reich の発見の記憶は人に絶えずつきまとって継続するが、今切迫した問題としてある。

我々の環境の増加している原子汚染は、彼の仕事に内在する予言を完成している。(現在完全に文書化されている)

原子力とオーゴン・エネルギーの交互の作用

相容れない力として、oranur と呼ばれているオーゴン・エネルギーの汚染された形のために、健康と生命に対する広範囲にわたる脅迫として結果が起こる

増殖するのが許されたならば、オラーナによる我々の大気の汚染は惑星命に深刻な最大の脅威となる！

著者 Jerome Eden は水質汚染のジャーナリストとして何年もの経歴がある。

通常のコミュニケーション経路を通して彼自身の州 (Idaho) で関心を引き起こすことでこの脅威について数年の間この問題に光をあてようとしてきた。

確かな政治家の無関心と正統的な科学に敬虔な態度をとる者たちによる彼の挫折は、嘆かわしい証言である

時間が迫っているため、彼は問題を即時の国家的注意に持ってくるためにこの本を書いた。

このドキュメンタリーは、事実の証拠でかなり支えられている。

刺激的で説得力がある鋭いスタイルで熱っぽく書かれている

明かされることの多くは、本の形で初めて集められた。

真実に直面し、おそらく何かするのに十分勇敢である全ての読者を目的としている。

オーゴン Energy は何人かには非難され、他のものには歓迎される。

しかし、読者が軽く扱うことができない本である。

EXPOSITION PRESS, INC.

50 Jericho Turnpike Jericho, N.Y. 11753

SBN 0-682-47477-0

## 著者について

「ジェローム エデン JEROME EDEN は、1925 年に New York City で生まれた  
そして、「New York University と Columbia University Teachers カレッジ教員大学からの  
学位を授与された  
彼は、中学校の英語の先生であった、  
雑誌のライター、「アメリカの Water Works Journal 協会」の編集主幹  
Idaho Falls Post 「アイダホの滝の新聞」の記者 Register でシティと、軍の編集者で、東  
部 Idaho Special Services Agency の責任者であった。  
彼は、第二次世界大戦と朝鮮戦争のとき、海軍の病院衛生兵として働いた。  
彼は、20 年近くウィルヘルム ライヒの研究を活発に研究してきた Eden 氏の最初の本「子  
供たち苦しみ Suffer」について、Summerhill の所長 S. Neill は言う  
「エデンには、ライヒの思いと怒りとファイティングスピリットがある。  
彼は、シャドウボクサーではない；  
彼は左に、ストレートに打撃を与える」  
この本「Orgone Energy で、著者は同じファイティングスピリットを持ってくる  
そして地球惑星、その全ての住民の生き残りの重要な問題に連れて行く  
Eden 氏は、フランツ アントンメスマー Franz p Anton Mesmer 博士の研究のうち 2 冊  
を翻訳した。  
彼と彼の妻は、Idaho に住んでいる。

トータルな破壊から人類を守る目標についてのウィリヘルム ライヒの劇的な証拠と実証  
アメリカの大学 **Orgonomy** の仲間の、リチャード ブラスバンド **RICHARD A  
BLASBAND** 博士、M.D.による前書き

# オーゴンエネルギー

ORGONE ENERGY

この本が書かれる前に **Jerome Eden** によって書かれた本  
メスマー **F. A Mesmer** の伝記（翻訳者として）  
動物磁気の原理について（翻訳者として）の 1799 年  
**Suffer the Children** 子供たちの疾患被害

# オーゴン・エネルギー

Orgone Energy

原子的自殺に対する答え

Jerome Eden 著

アメリカの大学の Orgonomy の仲間の Richard A. Blasband, M.D.による前書き

エクスポジションプレス EXPOSITION PRESS

NEW YORK

EXPOSITION PRESS INC. エクスポジションプレス

オイスターベイ Road 南 900、Hicksville N.Y. 11801、  
第 1 版、1972 年 6 月  
第 2 版 10 月 1974 年

重要な批評とエッセイの短い引用を除いて  
大きい部分またはどんな形でもその部分の複製の権利を含めて著作権所有、  
America で製造される。

SBN 0-682-47477-0

by Jerome Eden. 1972 年

この書物は、私の友人 **Elsworth F. Baker** 博士に捧げる、  
彼は他の誰よりも **Wilhelm Reich** の残された遺産を私がよく理解できるように  
教えてくれた

# 目次

前書き	9
序文	11
覚書	13
1 誰が真実を知ろうとするか？	17
2 Rejected prophecy 拒絶された予言	22
3 実地的な政治活動	29
4 悪夢	36
5 衝撃波	45
6 赤い影	52
7 ウィリヘルム・ライヒとは、誰であったか？	60
8 巨人タイタンの終焉	65
9 オルゴンエネルギーアキュムレーター	75
10 証明書への質問	83
11 原子力 対 オルゴン	93
12 隠れる場所はない	99
13 神の発見に向かって	111
14 誰の責任か？	119
15 生命のための最終ラウンドの戦い	130
エピローグ	134
付録	137
参考文献	154

## 前書き

これは、重要な本である。

1人で、即座に、理解できる方法で、今日核放射線によって創られる破壊について話している。Eden氏が力強く、劇的に解説するように、損害は放射線自体の直接の効果によるものではなく、地球のオーゴン・エネルギー場と全生物への刺激を通して原因になる。

ウィルヘルム ライヒのオーゴン・エネルギーの発見は、(生命エネルギーでもある大気のエネルギーの発見は)人類にとって科学的に最も偉大な20世紀の業績である

伝統的な科学はまだこれを認めていない、しかし、我々が我々の生命エネルギーに有害な変化によって、深刻なパワー喪失 acute power failures とキャベツサラダ絶滅の脅迫の結果起こる混沌を回避しようとするならば、近い将来、そうしなければならない。

両方の事件がすでに起こっているという十分な証拠は、ここにある。

事前に必要なドキュメンテーションなしに、後者はここに書いても良い：

これは核放射線とオーゴン・エネルギーの間の反目とオーゴンの致死的な変化の結果として生じる。

Jerome Edenは、この話を話す資格がある。

彼は訓練を受けていないがオーゴン・エネルギーとそこからの派生物に接した非常にパーソナルな経験をもった科学者で、彼は Reichの研究にコンタクトすると即時に完全に多くのことを把握した

我々の自然の遺産を核汚染から保護するために彼は勇敢に戦ったが、どんな具合に赤色ファシズムの恐るべき脅威に対して我々の自由を守らなければならないか、よく理解している。

生命を否定する、メカニカルな科学(硬化した感情の成果)は、1つの生命へ不都合な力に対してもう一つのものを使うことで自身を護らなければならない逆説的な状況を強制する。

我々の唯一の望みは、オーゴン・エネルギーの生命のポジティブ・なパワーの認識にある。もし人がその責任を思うならライヒの仕事はそのポジティブ・なパワーの認識のためにこそあったと思っている。

我々は、彼の行ったこの部分のためジェリー エデンに感謝するだろう。

リィチャード ブラスバンド博士 Richard A. Blasband, M.D

アメリカの大学の、オルゴノミーの仲間

## 序文

惑星地球の上で、生命の夜明けのときから、人はこうした問題に対する答えを捜してきた：

私とは、誰か？

私はどこから来て、そして、どこへ、私は行くのか？

生命とは、何か？

死とは、何か？

原子力と **Orgone** エネルギーの発見は、ほとんど同時に、これらの質問に鋭い焦点を持っていく。

**Orgone** エネルギーの理解することのない、原子の知識と使用は、生命を持つ全員のために吊鐘となる。

この本に書かれた全てがリアルな問題である

読者は、これらのページでおそらく今まで知らなかった、すべてが原子力より無限に大きな全面的な力についての概念に会う。

この今まで未知のエネルギーを発見した人はウィリヘルム ライヒ 博士である。彼は公認の裁判記録で、彼の発見を述べるために命をささげたが、人類の敵である、驚くべき反対勢力は彼の進路を塞いだ。

解決すべき時間は経過して、非常に遅れている。

神が悪より優れているのを認めるために善意の男性と女性に知恵に与えるのが私の熱心な祈りである、そして、生命の力のための最後の戦いをこれで行なければならない

ジェローム エデン

# 覚書

オルゴノミージャーナル **Orgonorny Journal** の編集者が出版物の資料を使う許可を著者に与えてくれたことに感謝する

ブラッド シュタイガー **Brad Steiger** の本（アレンデの手紙----新しい UFO の展望 ） **3**

章（「ウィルヘルムムライヒの沈黙」）から引用を許可してくれたことにブラッド シュタイガー **Brad Steiger** への感謝も伝えたい；

そして、**John W. Gofman** 博士.と **Arthur R. Tamplin**（博士）に彼らの本、汚染物質の力 **Poisoned Power** からの引用を許していただきことも感謝である。（訳注 2 冊の本の紹介は一番最後に）

# オーゴンエネルギー

真実は、それを受け入れるにはあまりに常識はずれなものになった

ホイテッカー チェンバーズ Whittaker chambers

訳注 ホイテッカー チェンバーズについても一番最後に紹介

# 1 章 誰が真実を求めるのか？

「汝ら、真実を知りなさい、そして、真実はあなたを自由にする」、

ほぼ 2,000 年前、使徒ヨハネは引用した。

彼らは 2、3 年後に真実を述べた、偉大な人、名前は **Jesus Christ** を十字架に挙げた。

我々の 20 世紀に、「真実とは、現実と隔たりがないことである "**Truth is immediate contact with reality.**" と非常に偉大な科学者で人道主義者が言った。その科学者は、**Wilhehn Reich** 博士であった。

彼は多くの科学的な真実を 30 年以上調査し、出版したため懲役刑を課せられ 1957 年 11 月に連邦刑務所で死んだ

我々は科学の歴史を調査するならば、それ人の顧みない大きな新しい真実についての世紀の過ちを見つける

そしてそれを、正直に、そして、効果的に、追いつけた彼の報酬は、公然たる殺人、収入の損失による追放、または、結局彼の精神または彼の心を悲しませる猛烈な中傷による死である。

昔のことではなく、私のアイダホの滝 **Idaho Falls** の仲間の市民にその周辺の不可欠な当り前のこととして原子力汚染問題を持ってこようとしたとき、私自身それを見た。

私はアイダホ州の政府によって資金を供給されている、

老化と、就労機会達成のための東部・アイダホ **Special Services Agency** 米国支社のプロジェクト責任者としてコミュニティの活発なメンバーであった。

その前に、私は **Idaho Falls Post Register** の (**Idaho** の第 2 の最大手の新聞社) 市と軍からの編集者であった。私にはエリアの高齢者の問題を議論する私自身の毎週のラジオ番組があった。

**Idaho Falls** の約 50 マイル西に、砂漠の外に、国立 **Reactor Testing** ステーションの総合ビル広がっている。

西から東に優勢に吹く風があるので **NRTS National Reactor Testing Station** の東に褐色がかかった汚い黄色の煙は 1 マイルの柱になって横につるされる。

砂漠の 2、3 フート以下の下に数百万ガロンの放射性廃棄物、数百万が、埋められている (そして、埋められ続けている)

これらの数え切れない量の致死的放射能の下を、国の最も大きな地下淡水体の 1 つ **Snake** 川の水層は走り、その水は北西部の大部分を育てる。

指定された日付の時間に「アイダホ市民のための健全な環境」の私と、家内の Desiree デジレ、「約束」と「軍曹」と言う名の 2 匹の犬からなる我々はリビングルームでドアベルが鳴るのを待った。

ベンチと椅子は、最高 40 人が座れるように置かれた。

ついに、ドアベルは鳴った

中年のカップルが歩いてきた。

彼女の父が、以前から行っていた科学的な仕事の結果放射性汚染で死んだので、妻は放射能汚染に関心があった。

女性の夫は、国立放射性物質試験機構 **National Reactor Testing Station** の職員であった。

彼は話し合った結果、妻が、来ることを望んだからと我々に知らせた。

我々が座る間、少し落ち着かないので、家内はコーヒーを出し、「残り」のグループが到着するのを待っていた。

8 時 10 分前に、ドアベルは再び鳴った。

妻と一緒に 3 人の青年が歩いてきた、そして、家内はそれらに我々の記録ノートにサインするよう頼んだ。

彼らがノートにサインしていたので、Desiree は聞いた：

「ここにいらっしゃった 3 人全員、国立放射性物質試験機構で働いているんですか？

「3 人はおどおどと認めたが、むしろ彼らは仲間で、彼らは、保健物理学者であった。

後で、我々は若い科学者が「我々の会議に出席し実質「どこに行くか見つけ出すよう、命令されてきた」ことを知った

「思い出すと、3 人の若い科学者は私が招待した「委員会」の会議の詳細が家内である 1 人の女性と、運転手でもある夫と 2 匹の犬で構成されているのを-先輩と同僚の顔を思い出すと、大変笑わなければならなかったのが私にはわかる。

とはいっても、原子汚染は、単に面白い話題ではなく致命的な深刻な事件である。

H. G. Wells は書いた、「人間の歴史は、教育と大災害の間の戦いからなっている：

『真実についての知識がなかったならば、教育とは、何か？

しかし、人々にとってそれは知ることを望まないか、知ることが我慢できない「真実」である？

**Atomic Energy Commission** のために働く人への放射能についての「真実」は、なにか、そして **NRTS** のために、**Idaho Falls** での数千の人々の仕事への放射能はどうか？

真実と財政的な理由との間の戦いについては、耳を塞ぐか、口は閉ざされて犠牲にされる。

ある日それは、このように起こった。

私の NRTS の批判を「冷やす」ように勧めていたローカルな共同募金基金のメンバーからシビアな電話を受け取ったと、私の取締役会の委員長は、私のオフィスに入ってきて、話した。

これらのエリアはアメリカの地質調査部 Geological Survey によって全米で最大の地震を起こしやすい7つの地方のうちの1つと評価されていた。

私がこのように書いたように、ロサンゼルス市はほぼ 40 年間、その最悪の地震災害から逃げ出ている。

そのような地震が南東部 Idaho を襲ったら、どうなるか？

私は Idaho Falls エリアで最近の、Los Angeles の地震よりはるかにたいへんな、災害が起きる可能性を考える。

私は、地元的一般市民に関わるものすごい危険を知らせる試みの際に、私の首が外へ飛ぶほど十分危険だと思った。

1969 年 11 月 14 日に、私は Post-Register に以下の広告を出した：

**放射能は**

**あなたの命を襲う？**

**なにができるか**

**あなたが助かるために**

**子供たちと自分で何が出来るか？**

アイダホ市民の健全な環境のための

土曜日の午後 8 時—11 時 25 分 S.E.の会合

S.E.11 時 25 分

Bonneville 博士 電話 523-4581-出席希望者全員歓迎

4-インチの 2-コラムの広告は、大きな黒枠に入れられていた。

過去何ヶ月か前に、私の知った我々の直面する危険性のすべてを仲間の市民に知らせようとした。

私はローカル・テレビに出て、述べたことは新聞に印刷されラジオでリリースされた。

Idaho 市民の Healthy Environment 健康環境会議の日が近付いたので、私の黙っている電話は私の愚かさを沈黙でものまねしている人のようだった。

「なぜあなた自身を酷使するのか、Jerry? Why knock yourself out

人々は、真実を望まない。彼らをあまり煩わすならば、放射性の空気で全く一人で十字架に掛かって終わるかもしれない。そう、電話で話された。



ごく最近コミュニティ基金に参加するメンバーとして私の機関が投票で決まったので、このアドバイスは経済的威嚇をとまなうことを意味していた。

NRTSの職員には、年次コミュニティ基金の基金運動に最も大きな金額をグループとして、寄付していることは、秘密ではなかった。

私は私の、NRTS への批判の全てが民間人として行われたことを取締役会長に知らせた。彼は、その事実を理解すると言った。しかし、会長は、私にメッセージをつけ加えなければならぬと感じた。

数日後に、女性がいくつかの問題で私のオフィスに来た。

彼女は、夫が「サイト」(NRTS) で働いていた、そして、「向こう側の何人かの男性はあなたに猛烈に怒っていて、あなたを郊外で列車のレールに乗せると脅迫している」ことを私に知らせた。

その後まもなく、コミュニティの著名なメンバーの朝食会議で、NRTS の渉外係は、私に接近して私と働いていたアイダホのドン W.サミュエルソン知事によって開始されるプロジェクトに関して、私を取るに足らない会話にひきこんだ。

彼のことは、以下の通りであった

「さて、私はあなたが現在より良い子 a good boy になってほしいのだよ」、私は彼にその意見の意味することを聞いた。そして、詳しく述べることは拒否した。

しかし、我々両方は、私の NRTS についての重要な意見を指していることをよく知っていた。

原子汚染について私が戦う間、何回も、私自身に聞いた：

「あなたは何で戦っているのか」答えは単純だった：

私は私の命と、妻の命のため、それらを殺し、役に立たなくしていることを知らない何百万もの幼児と子供たちの命のために戦っている。

私は数 100 万の死にそんな命のためというより、地球の大気と水の中の魚、鳥と動物の命のために戦っている。

致命的な **Radioactive Killer** の力をチェックしないならば、その下で木と野生の草花はしおれ、枯れていく、それは、まさしく我々を支え、助けている惑星地球破壊する。

そして、最後に、まさに今、私は、窒息していく惑星を受け継ぐ胎児と廃棄物で窒息させる数百万人の命のために戦う。

手短かに言えば戦いたくはないが、私が戦う他ないので、生命のすべてが生きるために私に戦うことを敵対者は強いる、

原子汚染に対する私の訴訟は、非常に単純である：(私の生命に影響を及ぼす他のどの汚染もそうなのだが)

許可なしに、誰も彼の自動車を私の家に入れて、エンジンを動いたままにしておく権利はないと主張する

この私の「家」は私の体と同じである；

この車の排気ガスは、放射能の汚染である。

したがって、私はこの惑星の放射性汚染者を刑事上の怠慢で告発する

この告訴は誠実になされる、そして、最も深い信念で、その時間は我々全員のために尽きている。

刑事上の怠慢の容疑は、将来の世代の放射性汚染者に答えなければならない。

法律上の怠慢は、「理性のある男性として」状態の中で行うべきことに関する怠慢である。

私は、これらのページで出された事実を考慮すれば、刑事上の怠慢の容疑は全く有効であると思っている。

読者である男性も女性も、この地球の若者は原子の狂人による我々の生物圏の更なる荒廃の停止を命じることができるただ一人の人であるが、その原子の狂人は自分達がしていることを知らない。

私は行うのに十分な時間が、まだあることを、神に願う

## 2 章 予言者を拒絶する

人は予言者を拒絶し、そして、それを圧殺する。ドストエフスキー

私は 1960 年代初期に、アメリカの Water Works 協会の雑誌編集主幹として活動していた。

(公的な給水施設を指導する科学的な雑誌)

その時、AWWA は世界中に 17,000 人の会員がいた。そして、それらの多くが公的な給水施設で指導する専門家であった。

AWWA は、すべての分野とあらゆる部所の専門的な協会を代表している。

水質の処理 water quality treatment、生化学または水工学の教授が彼の主題に関するレポートを書くならば、

彼は、出版のためにそれを AAWWA に提出する。

編集スタッフは、単に機械的能力だけで行動していた

レポートは、いくつかの委員会のうちの 1 つに転送され書類を読んで、彼らを受け入れるか、拒絶される。

論文の出版が受け入れられたら、我々の出版物の非常に型にはめられた光沢のある標準的なページに載る前にいくつかの処理工程を経た。

しかし、誰かが確立した委員会の限界外の、「論争的」となる主題を扱った文書を提出し、あるいは、言ったならば、印刷されたページの上に自分の道を見つける機会はずっとなかった。

男性がその分野の『境界線』でした「仕事」はいくらしても問題ではなく、彼の論文を公開する可能性は、通常ことわざにある「可能性のない灼熱地獄での雪玉 snowball in hell」と等しかった。

私は、提出された「論争的となる」論文の何回かの不許可、または研究の若干の新しい分野での新しい本に対して批評することさえ拒絶することについて、出版物のアシスタントディレクターとの議論で幾度もヒートアップした。

何年にもわたり確立した分野で働くとき、あなたは「許容できる」ことと『受け入れがたい』ことをかぎつける勘をすぐに得ることになる。

アシスタントディレクターは、以下の基準のいずれか一つでもあれば、反動的な変人を常に見つけることができると私に知らせた」:

(1) 彼は、公的な給水のフッ素添加物が America アメリカ国民を弱めるか、破壊する共産主義の策略と思っている;

- 2) 彼は、UFO が宇宙から来ると思っている（未確認飛行物体）；
- 3) 水のダウジングを信じている；
- 4) 雨を創るため「許容された」ヨウ化銀による雲の種まきの方法以外のいくつかの「新しい革命的な考え」を信じる；
- 5) 農薬、除草剤、DDT と放射能の使用が惑星の給水を危険なほど汚染していると思っ  
ている。

レイチェルカーソンの素晴らしい本「沈黙の春」は、この期間に公開された。

彼女は彼女の仕事を失墜させる機会を逃さなかったすべて知っているものによって大喜びで磔にされた。

この「無責任で誇張している人騒がせな人」に対する統一戦線で

2、3 の著名な例外的人物は、科学的な友愛で寄り集まるようにみえたが、その人たちは彼女が話していた地獄が何を意味するか本当には知らなかった。

認められた高潔な科学の防衛拠点から彼女の本へずるい攻撃が、された。

不親切な傷がガンとなって彼女の時ならぬ終わりの一因となったというのは私の確信である。

中傷と口汚さは、完全な毒と同じくらい効果的に、殺すことができる

今日、もちろん、DDT は憎悪の対象になっている。

多くの科学者は、生態学的な汚染に対して優勢なビートを叩く側につく。

人は「沈黙の春」が中傷されていたときこれらの声が全て隠れていたことを、不思議に思う。しかし、放射線は、さらに微妙で厄介な潜行性の問題である。

一つは、エネルギーの形として、すぐに観察することができない。

人間の有機体へのその「傷害」は、ほとんど人々がわからないほど、しばしば遅くなって出てきて、微妙であるが、実は忘れたところに、彼らを殺している。

放射能汚染の影響は、「風邪」またはさらに「ウイルス X、Y または Z。」と呼ばれている徴候と、しばしば混同される

1 人の人が、慢性の放射能汚染は個人の最も弱い点に打撃を与え

「私は肝炎の発作がでた」、もう一人は考える、

「古い片頭痛が再びでた」、または、「私は喘息がでた」、または、「単に関節炎がでた。」と不満を言う

放射能汚染の連続的な猛攻撃は、人体に累積的である。

それは隙間に度重なるハンマーの打撃とゴングに比較することができる。そして、「隙間」は我々の最も弱い点である、それが高血圧または気腫である。

あなたが十分に何回もゴングで打撃を与え続けるならば、隙間が広がる（広範囲に及ぶ打撃ではないが、単にそこだけに向けられた絶え間ない打撃が、ある）

たとえて言うなら慢性の放射能汚染は『ボイラー』の中の圧力のようなものかもしれない。絶えず圧力が上の方に高まるならば、結局、ボイラーはその最も弱い点で爆発するが、恒常的な低レベルの放射能の下の生物学的「圧力」もそうなる！

社会的場面で、すべてのその慢性重圧点で地球に「ひびが入った」ように見え、本当に、あらゆる種類の社会的な戦いが、起こっている。

「アイルランドの自由」、「女性の権力」と女性解放運動の戦い、カトリックと戦うプロテスタント、「学生の権利」のために戦う反抗的な学生、

「ポーランドとチェコスロバキアの「労働者の自由」のために戦う人、麻薬の問題そして、ありそうな「原因」のように見えるものと何でも戦う若者、こうしたさまざまなことで、我々は、社会的統合にストレスと圧力を見る。

同様に国家のおよび国際的な圧力はちょっとした時間に臨界点になる。

単純なばかと呼ばれるかもしれないが私は、そのような破壊的な熱狂的活動は放射能に付きものの絶えず増大する圧力がその原因としてあるかもしれない！

1950年代後期のある年の春、私はニューヨーク州の中学校で教えていた。

いくつかの国は核実験を行っていた、そして、子供は「極度に野性的」だった。

年上の先生は、

「、私は今週なにか狂った原因で自分自身が、長年私のしてきた教育においてしたより多くの子供を殴っているのに気づいた！」と私に告白した

10年以上前に発表された若干の記事を批評しよう。

これらは、1955年に見出しとなった項目である：

「水素爆弾の放射性降下物 **Fallout** は、7000平方マイルの命を消すことができる」(UP)、

「**Atomic Labs** 原子力研究所の犠牲者 (AP) :

カルフォルニア大学の **Ralph W. Chaney** 博士は、原子研究所は放射線の犠牲者を隠蔽していると言う」

「アトミックダストを議会で問題にする」(AP)

「放射性物質による突然変異 (N.Y. Times) :

AEC のスポークスマンは、『多くの研究者は、個々の結論に達した』と言う。

オハイオの池には、8脚のカエルがたくさんいる (UP)

北の方の [N.Y. ニューヨーク] エリアをカバーする『放射性降下物』のミステリーを研究しなさい : (アメリカ N.Y. Journal)

わずかな放射線

『コロンビア大学で原子力研究室の開設』上のすべての見出しは、1955年2月に書かれた。(N.Y. Times)

私は、その議会の原子の **atomic** ダストの「調査」で何が起こったか不思議に思う？

私は、それを政治的な「調査」の作り事で、「委員会の指定」と呼ばれる優れた回避的な作

戦行動だと信じているー

それらの「調査」または「委員会」からこの後何も聞かない。

そして神が知っているようにするため、上院の調査は、原子力の粉末を厳密に検査し続ける（上記参照）？

つまり、いずれにしろ彼らはそこで、本当にアトミックダストを探求すると思っていたのか？

しかし EC スポークスマンは、上院で深く探求する間、放射能による突然変異の可能性に関係するが、「多くの研究者は、個々別々の結論に達したと言った：

『このような何でもないように意見-述べることは、正確にこれは問題は何もないと言うのと同じだ！

その間に、オハイオのカエル池に戻れば、若干の非常に生意気なカエルは、核法則を犯して地獄を紛糾させている

それは病気の、8本足で元気にはねまわっている

それは、1955年2月であった。

すぐに、1955年5月の見出しを見よう：

「世界的な砂漠化の進行についての研究」

「新しい雲の種の研究」

「嵐のコントロールのため曇の種を撒く：(N.Y. Times)

雨不足のため、大きな鱒が不足する

『(N.Y. Times は雲の種をまくことは慎重であるべきで、または、「反動的な変人」としてあなたは分類されるかもしれない、雲の種まきについて、あまり記事に書かない方がよい。あなたは、我々が他の人工降雨の手段に目を向けなければならないこと（おそらくいかがわしい）を伝えたいのか？

「その問題は継続している」-と 1955年5月に見出しをつけた：

「原子の残渣は、難問を起こす」

（現在も「原子残渣は、難問を起こす」、は素晴らしい見出しである！

最高に良いことは、もう一回調査すること、または、多分もう一回委員会のために、まわりを調査することである。

スモッグ問題で活動を強行した「(実ははるか前に、1955年当時、誰かが活動を強行したとあなたは、言うつもり？

疑いなく変り者だ！ ..

「5月中旬英国で8インチの雪が強風で渦巻く」

8脚足のカエルようなことが常に起こっているが、もう一度例外としてそれを記録する。

5月中旬に英国では全国共通で8インチの降雪があった！

1955年5月に、この同じ心強い見出しを N.Y. Times で今見る：

ネバダの滝で AEC は危険性が全くないと発表した

AEC は危険性がほとんどないと発表した

本当に非常に満足である

しかしあなたは帽子を置いてちょっといぶかしげに待つ

Associated Press の見出しをみると一同じように「5月中旬8インチの英国の降雪量、」8本足のカエル」がある：

U.S. に対する 3 つの訴訟で、原爆の爆発について、主張した：

『誰かは、この原子放射線汚染について、他人の楽しみを台無しにするとみている

または、AEC が「危険でない」と見たとき、多分、彼らは適切な場所またはある側面を見ていなかっただろう：

原爆実験は、ガン発生の原因を引き起こす」本当に気がかりな見出しが、AP からやって来る

「原爆実験はガン発生に直面する Face Cancer」と、AP の本当に心を乱すような見出しが浮かぶ)；

そのようなもう一つの見出し：

「遺伝学者は放出量が危険と言う Fall-Out Harm」(彼はもう一人の変人として見られる)

しかし悔むことのできない、AEC から大胆なすがすがしい見出しがあり、その 1955 年 5 月の結果はすべて良い：

「AEC はネバダの放出量を最小のものという。」(最小になったことを神に感謝しなさい。

あなたは本当に AEC は、最大にすることは、期待しないでしょ？

さて私は偏向していると非難される (私はそれを、率直に認めるが)、私は私自身の失礼な意見を守り、単に私がニュースメディアから選別した見出しがでた項目を記載するだけである。

我々は、1957 年まで動く：

「原爆実験以来カナダのミルクのテストは放射性落下物の無害な数を示している

日本の果物の「放射性降雨被害」(ロイター) ...

「イギリス人の身体は放射能に関して警告する 英国 UN」

「国は、放射性汚染の増加する前に、危険を知らされている」

「赤が用意し設定した新原爆」

「照射を受けた食品を U.S. の軍隊は食べる：

軍は、原子力の実際的維持プロセスを示す予定である...

「放射線の研究方針の採決との関係」

「10,000 人の被害者からの落下した汚染物リスト」

「ミルクと水を含める放射性物質の広範囲な義疑問への U.S. の公開研究 Opens Study」

「わずかに病気だと Khrushchev は報告する」

「ニューヨークシティは 12-インチの降雪による障害 」 ...

「ロシアは新しい、核実験を連続して始めた」

「ニューヨークシティの-ストロンチウム 90 は鋭く上昇した Shows Sharp Rise」

「モスクワ病院で 200 人の治療下に放射性物質が落下した」

「ネバタの Wonfan は原子爆弾の落下物を明らかにする」

「AEC への事故のレポートを遅らせる」

「 U.S.公衆衛生局はミルクに放射能汚染は無い」

ニュースメディアで以下の記事が 1957 年 6 月から 10 月までにでた：

「議会の公聴会で 4 人の遺伝学者が放射性落下物の数世代の将来の危険を言う」

「専門家は放射性落下物を分離し測定した」 ...

『継続的な水素爆弾テストに対して嘆願書を回わそうとした』政府科学者は突然、彼らは自由な嘆願書の憲法で正当な権利を発見した彼らは、国立衛生研究所で下から突き上げられた」（ドルー・ピアスン）

「原子的ヒステリーは赤を目標にしてがなりたてる」

「ソビエトの人々からの情報は 5 回の核実験を伝える」 ...

"Air Pollution Move by U.S. Sought".

「大気汚染は、アメリカによって動くよう、試みられる  
米国の Atomic-テスト・エリアの「落下物の上の静けさ  
200 マイルの範囲の中のほんの数人だけが、懸念を示す

「科学者は、落下物の数の危険性を強調する：

『きれいな』爆弾ではない」

S.フレッド・シンガー博士によって月での水爆実験が勧められた

その「[ラジウム] の量は見守って、記録しておき悪影響が最もないようにしてある」（Life 誌）

我々は現在、1958 年に移動する：

「人間にストロンチウムが強くなっている：

核に晒された原因で、人体の放射性ストロンチウム 90 の集中は 33 パーセント増加している」

「E. Knopp (ドイツの農業科学者) によると核実験で引き起こされた、食品汚染 Food Peril に原因がある」

「ミネアポリスは、水をテストするための、基金を作ろうと試みる

ミネソタで 180 マイクロマイクロキュリーの高さの放射性物質の測定記録が.最近の夏、飲料水の中で得られた)

「Libby 博士は、世界協定で原爆実験を制限するように提案した」

1958 年 3 月に、我々はこれらの見出しを見つけ出した：

「軍は、食物放射線による弱体化を計画した」

「東京の大気の放射能汚染」

「AEC は放射性落下物のデーターの公表を拒絶する」

原子船は、港町に対する脅威となった

Stir 海岸エリアのテストは落下物の数の、証拠を発見しないと報告する

ソビエト爆発は、サンフランシスコの水を汚染した

核実験は、健康危険をおこさなかった

「落下物の与える人体への影響の秘密」

核放射能灰に最も影響されやすい若い1才の子供たちは、放射性ストロンチウム-90の最も高い骨集中を持っている

コロンビア大学の J.ロレンス・カルプ博士によって報告された。」

(カルプその他による以前の研究は、4才以下の子供たちが N.Y の大人より 10 倍多くのストロンチウム-90 を持っていることを示した。

ヘラルドトリビューン

1958年3月と4月にそれを読んだ：

「ワシントンで放射能がその年で最高レベルまで強くなるのが報告された：

「赤い核実験の放射性落下物はデンバーを直撃した：

放射線が通常の 10 倍にジャンプした..

「ローマの車から熱い泥がこすり落とされた

泥は、かなりの程度の放射能を示した」...

「最新のソビエトの核実験はこれまでで『最も汚い』と思われている」

リビー博士の・レポートでは U.S.の北西部は国内でも放射性物質の数値が最も高いが  
ニューヨークを覆う高い放射性物質は、『自然の気まぐれである  
[イタリックが加えてある] ~

「日本の放射性落下物の記録数値は高い」

2人の物理学者は、放射線への恐れを非難する

『核実験爆弾の落下により外へ放出されるすべての放射線よりもラジウム・ダイヤルで 10  
年以上前よりもっと危険性が高いのを、米国で見ている。

私は、放射線汚染に関して世界的な記事をクリップし、注目していた。

私の仕事である水資源研究協会 water works, association のアメリカジャーナルで、更にこ  
の現地資料の情報を整理する機会を与えられた

私は生命に対する脅威を無視するにはあまりに切迫していたので、アイダホへ移るまで、  
それを、使用をしなかった

# 3 章 実際的な政治活動

実際的な政治活動は事実を、無視する

Henry Brooks Adams

家内と私が 1967 年 3 月に Idaho Falls へ引っ越したとき、Atomic Energy Commission との公的な戦いを戦うことは私の心には全く無い事であった。

私の率いる Post-Register の市と軍の編集者として約 1 年半の活動の後、前に述べたように、私はボンヌヴィル郡の高齢者の必要なことの世話をする新しく確立した機関の指導者に任命された。

ここで私の機関は国家承認されることになる、いくつかのパイロット・プロジェクトを開始した、と言うべきかもしれない。

東部アイダホ・スペシャル・サービス・エイジェンシー Special Services Agency は、州の年輩者と困窮している高齢者を手伝えるために、私の方針で、組織化されたボランティアが最後まで手伝えるプログラムを設けた、

そして、およそ 8 ヶ月のオペレーションの後、救世軍、ボーイスカウトと米赤十字社のようなしっかりした機関と一緒に、機関はボンヌヴィル郡の共同募金による基金に参加するメンバーになった

Post-Register は 1969 年 10 月 12 日に、一面に次の見出しをつけた：

「記事は、廃棄物処理について尋ねた。」 Datelined Boise (AP), 記事は続く：

ドン W. サミュエルソン知事は金曜日に Atomic Energy 委員会に、

「汚染の危険がないか、放射性廃棄物を安全性確かめて処分するために使う方法で継続的なチェックをしているか尋ねた。」

Samuelson は、AEC 議長 Glenn T. Seaborg 博士、に彼の手紙を書いた

東部アイダホに埋設された廃棄物から汚染があるかもしれないかどうか疑った Snake 川の水を使っている鱒農場の経営者から受け取った手紙のため、彼は、行動したと長官は言った。

「たとえそこへ教えられる午前 1 時がこれまで完全に水の汚染の証拠がなかったとしても、U.S.A.E.C. は不毛の廃棄物の埋設がされて 15 年はたった」、と、Samuelson が書いた。「、である

しかし私は 15 年の間、水の汚染の少しの証拠もこれまでなかったと助言されたが、

「サムエルソンは廃棄物の埋設が起こったために」「U.S.A.E.C. は、問題を絶えず見直してそして、安全基準の極限の方法で調べているか？」と書いた。

「現在使用されている対策は汚染を防止することに、まったく成功しているが、若干の思いがけない予想外の漏出が起これば、結果として生じる災害は巨大で回復できない。」

「市民の心にある継続してあ懸念のため、私は現在 U.S の A.E.C. がこの問題に捧げている注意に関して、早めの返答してくれたことに感謝する。」

そして、この記事で、いくつかの面白い質問をした

ここに記載のマス養殖場の責任者は、アイダホの Buhl, ビュールにある Snake River Trout 社の社長、ロバート A. Erkins である、

世界にないならばアメリカ合衆国で最も大きな商業的なマス大農場。

Buhl は、Idaho Falls アイダホの滝のおよそ 185 マイルの南西にある。(砂漠のアルコの近くの核廃棄物ゴミ捨て場または国立核実験試験場 National Reactor Testing Station から 150 マイル以上離れている)

なぜ、その「熱い不毛の」砂漠のゴミ捨て場からほぼ 150 マイルで、そこに関わる Erkins 氏のマスの子どもたちが安全であったか？

AEC は数百万ガロンの放射性廃棄物を Snake 川帯水層のすぐ上にある不毛のエリアに約 15 年間、注いでいた。

Snake 川帯水層は計り知れないサイズの淡水の地下組織体である。そして、それは北西部の大部分を順番に供給している。

誰も、その水がどこに流れるか、必ずしも確定的に言うことができない；

地下組織の補助的な流れは多くの方向に動くだろう。そして、無数の公的でプライベートな井戸と転換点での給水の源となる。

後で見ると、放射能を帯びた汚染した水を飲んだ結果、イタリアの善良な人々は殺された

それらにいた 8 脚のカエルをわれわれが記憶していようとも。

それは「これまで水の汚染の少しの証拠も、なかった」と助言され、この記事を読むことで安心させたアイダホの知事は、5 年以上、廃棄物の埋設が、されてきた！」

しかし、元報道関係者としての私は、しばしば政治家（科学的な政治家を含む）は恐れる市民を和らげるのがわかっていた

彼らには、この中に権益があるので記者発表で若干の「研究」から得た、「最小限の危険性」という目玉となるお団子 pooh pooping を与える。

DDT 推進者は、その化学的殺人者としての可能性を数年の間、嘲笑していた。

非常に宣伝されたサルファ剤の静かな、嘆かれもしない終りも、このカテゴリーに属する。化学戦とユタの切り通し実験場の彼らの「研究」と何千もの羊の死亡の間にどんな関係も知らされなかったことは、あまり昔のことではなかった;

そして、記者発表の形で責任の継続された否定にもかかわらず、牧場を汚染したことで死んだ動物のために、軍は羊飼いに支払いをした。

現在、Erkins氏は、Idaho南東部で使われている廃棄物処理方法の安全性をその周辺に尋ねていた。

そんなに不毛の放射性物質のいくつかは「活性状態で」、存続する-、つまり、知らぬ間に数千年もアクティブなのである

これらの熱い一服を入れている鋼の容器は、春のお漏らし **spring leaks** で知られことになる。

結局、彼らは錆びなければならない!

そのような廃棄物の埋設が「危険はない」と「確定的に」誰でも述べることは、科学的なたわごとである!

実は地面の表面下で何が起きているか誰が、わかっているか?

特にいらいらさせることは、この放射性物質の墓地が地震を起こしやすい地域にあるという事実である。

後の結果は、非常に簡単である

それは良心を軽くする。

1985年5月20日に、たとえば、ニューヨークタイムズは米国食品医薬品局から人工甘味料を含むチクロ、そして、サッカリンの「安全な」、「使用レベルを一般に提示し再保険をかけた」:

ほんの数年後にチクロは突然禁止されたが、もちろんその間に、数百万（人々の）とまではいかないが、数千人は、損傷されたにちがいがなかった。

また、1965年10月28日に、ニューヨークタイムズはウタ州の児童が甲状腺に小さな腫瘍の異常に高い発生率があるかもしれないことを強調した。

しかし、U.S.公衆衛生局は我々を安心させ、「調査は進行中」になった。

南東部ネバダの核実験とユタ州の子供たちの腺のしこりとの間にあえて少しでも関係があると提案してもよいか?

3月10, 1971-

米国保健省、教育 第1福祉局が発表する

その「アンフェタミン（刺激剤）のきちんと管理された服用」で

『問題行動』をする児童を援助する。」

私は、このスローガンを先生に提案する：

問題児を持っていたら彼らを抱きしめず-彼らの意識を失わせるか？

それで、破壊的なゴミ捨て場から 150 マイル離れて住んでいる Robert Erkins 氏は、彼のマスの稚魚の数 100 万の安全について、全く理性的に懸念を抱いている。

それらのマスは、Erkins 氏の経済的に生き残る能力を表している。

私は、Bob Erkins と一致した意見を述べ、さらに、彼の懸念が、経済的で、緊急時の懸念というよりも、多くの守るべきものを含んだ人道主義的なものであることに納得する

彼は、一般のコミュニティに関してと同様に、彼の命と彼の家族、友人と隣人の命に脅迫がないことを確信したい。

そして、彼はこのようにクリアーに断言すべきであることに同意する。

しかし、その資格を得ている科学者は、そのような安全への絶対の断言を与えることができない

こうした科学者がそうするならば、彼は無責任な馬鹿であるだろう

誰も、地震またはわずかな地震さえ予測することができないのに、主要な水路に放射能に汚染された数百万ガロンを廃棄することができる。

誰も、それらの放射性汚染物質の「平和的な封じ込め」を中断させることができた豪雨と洪水を予測することができない（南東部アイダホにはこれらがあった）

そして、これらは川（流れ）を懸濁させ、なにかが湧き出て、水を軽くタップするかは神のみぞ知る

生命に対する明白な脅威の可能性について大部分の人々が意見を述べ、早まって新しいプロセスまたは発明を提起することを防ぐ？

この単純な質問は、長い間私を当惑させた。

私が発見できた唯一の答えは、恐れである

何への恐れか？

恐れが存在は、生きている人の静かなきちんとした、方法をはねつけた。

収入の可能性の損失の恐れ

ボートをゆすめることの恐れ

波瀾を巻き起こすことへの恐れ

彼らの名門を失うことの恐れ

最も心の深いところの、最大の合理的な恐れ以外のすべての恐れ：

彼らのまさしく安全に生きることへの恐れから

要するにその文化的な人間が終わり、彼の生き残るための基本的な素質を失い、窒息し、または死ぬほど麻痺し、合理的な生命が歪曲される。

社会の特定の領域は、たとえば、

「死んでいるより赤のほうが良い。」

(黙ってではあるが)、破壊されるより放射性があるほうがよいと歴然と露骨に示す

1950年代初期に

私は、医療機器のメーカーで販売担当技術者として働いていた。

ある夏、我が社はサンフランシスコのカウプレイスの大会コンベンションブースで、最新の器材を展示した。

我々のブースの隣に、(我々のブースには日中人を配置していたが) 電子器具のメーカーによってふさがっているブースが、あった

そこで過ごした週のうちに、その隣接した電話ボックスを使用したエレクトロニクス・エンジニアと私は親しくなった。

私は、彼にテレビの X線を放出する可能性について聞いた

私は、彼に X線の与えているテレビの可能性について尋ねた。

彼は、すべてのテレビが「ソフトな」あるいは、低電圧の、X線を放つと言った

しかし、これらは「重要性の小さな方」だった：

カラー・テレビは、電圧と、X線の両方の量と質で、より有害な量を放出したと、彼は認めた。

私は、これらの事実がなぜ公的な機関によって一般に知られないか、エンジニアに聞いた

彼は、無然として私を見た。

「我々は、商品を売って商売をしている」これが、彼の答えであった。

私は 5年後に、New York 州の学校で教鞭をとっていたが、近づいてテレビを見る子供たちに緑内障の増加を警戒させるニュースに関連する記事を私が読んで聞かせた

私は、我々の地域のすべての子供たちがテレビからの放射線危害の可能な危険性を注意するように学校長が通知するよう示唆しているこの記事を読み上げた。

校長は、この問題について何か行うことを拒否した。

しかし、私は約 250 人の学生に対する配慮の責任を無視することができなかった、

それで、私は、彼らに彼らの命に対するこの脅威の可能性について自分自身で警告していた。

私の活動の結果、私は学生と協議する際に、「無関係な」資料と「悪い見解」を用いて、必要以上に彼らを警戒させたという公式の理由で譴責された。

私の学生の安全についての懸念は、1959年の解雇につながるようになった

明らかに、公共機関は放射線よりも私をたいへんな脅威と考えた。

10年後に、Idaho Falls Post-Register に以下の見出しが掲載された：

「テレビ光線の正当な限度」

ニュース記事は、そのわきに添えられたワシントン D.C.からすでに離れているフランク・マレイによってある程度それは述べられていた

最初のテレビから出る X線照射に対する制限を調査し [政府による] 「新しいルールは、政府責任で公開される予定である.)

彼らは、昨年制定された法律に基づいて、カラー・テレビからの X線の不規則で時々高い放射について以下の発表がなされた。

政府科学者は、カラー・テレビから発される放射線は人間に対する直接的な危害の証拠がないと議会で話した。

しかし、彼らは放射線が体にたまるとも言ったので、どんな露出でも遺伝子の既知の点に人をより近く連れてきて、あるところで突然変異する。そして、おそらく将来の世代に損害を引き起こした。」

(記事は 1969年 10月 22日に出た。そして、イタリックが加えられた。

1人の子供だけに起こる結果に目を閉ざすことへの警告になる

しかし、全く同一の時間に「直接的な危害の証拠は、ない」とすることができる科学的な盲目はどう考えればよいのか

カラー・テレビで発される放射線は

『どんな露出でも、遺伝子が相互に関係がある**未知の点の近くに**人を連れてくる』と主張し放射線によって遺伝子がどんな点で変異するかがわからない」ならば、現在の大気で天然放射線を連続的に増やすことは、狂気ではないか？

生物学的な領域への放射線の厳しい増加により新生児の数千人とまではいかないが、何百人が毎年発育遅滞または奇形で苦しむ可能性は、ないといえるのか？

原子力産業の巨大な精神分裂症は、このダブルスタンダードで考える態度に紛れもなく明らかになっている

一方、放射性物質の埋葬敷地からの、核廃棄物と水からのラジウム・ダイヤル・ウォッチで、我々は原子力煙突からの放出物について、伝えられる

これらのすべては、何千もの「散在する」レーダー施設、高周波オープン、マイクロ波放送局、と言った発生源が、単に毎分出しているだけである、

「かろうじて見つけられる」放射線の数値は人類に有害だといかなる場合も解釈することができない。

他方、これらを以上のように、近くで視ている情報と同じ情報源は、人間の遺伝子がいつ

変異するか、彼らはわからないと、我々に言う。

我々は、ここまで8脚のカエルに直面するだけだった。

なにをしようとしているのか、8本脚の人間のベビーを作っていくのか？

何千もの奇形のサリドマイドの化け物は、心から、魂を震わせ、原子力の同業者仲間に十分休止を与えたのではなかったか？

これは問題が明らかになっていることではない。

海の表面下の伝説の塩工場のような、原子力エネルギー利権のための広報オフィスから、安全と再保険の子供だましの嘘は、流れ続ける。

原子力利権を追求し惑星を汚染する人は誰もが、反対する住民を危険にさらし、すぐに機密扱いにし、嫌われ者にする、そして一様に、変人または役に立たない気違いにする  
高い能力のある核科学者自身によって、危険がわかるとき反対が上がるが-そのわずかな人はガッツがあり、オオカミだと人類社会に叫ぶ。

しかし、概して、原子産業の所有の決まっている財政的な利権を持つ人々は、叫び続ける、「それは全く安全である」、生命への本当の危険はない」たぶん。

しかし、それがそうならば、あらゆる標準的な自動車の保険証書と、あらゆる住宅所有者の保険証書、人間と資産への放射線損失に対する、保険をどうして絶対に除外するのだろうか？

あなたの保険証書で細字部分を読みなさい。

アメリカの自動車の所有者の夫妻と住宅所有者は、空から落ちてくる空飛ぶ物体から、マーフィーさんちの餓鬼による破壊までほとんどすべての形の危険に対して保険がかけられている。

それでも、保険会社は比較的「安全な」核放射線のような危険を報道から除外する  
私は核戦争による損害については話していない-そのような戦災はもう一つの別の区分としてある。

あなたの保険証書は、核放射線の源からの損害を除外している。

保険会社は、確かな生命と資産を傷つけるか、破壊する危険な可能性に対して保証することで金を儲ける商売をしている

これらの保険証書は、核損害からの危険が、ボイラーの炸裂または出火によるお宅の危険よりはるかにたいへんだと暗に述べている。

私のことばをそれだけで読んではいけない：あなたの保険証書で読みなさい

# 4 章 悪夢

放射能は最悪の場合の 1 つで、全ての毒のうちで多分最もひどいものである。  
そして、核発電の回避不能な副産物は、天文学的な量で製造される。

「毒の入った権力」から From Poisoned Power

John W. Gofman, と Arthur R. Tamplin, 博士によって書かれた

訳注 最後部にこの本の紹介あり

短い時間の後にサミュエルソン知事の AEC への質問は Post-Register に印刷された。そして、ラジオ放送でローカルニュース解説者が知事の懸念が紹介した。

解説者は知事の懸念は、本当は病気でないという励ましを言って欲しい初老の祖母のようだと表現した。

ニュースメディアのすべての公人は、攻撃対象である。

誰かがその公人を狙い打ちする機会を逃すと、その人は首を差し出すようなことが偶然にも起こる

しかし、解説者の皮肉は私から見たらこの場合は不適切だった。

プルタークは論評した：

『「彼らは、ばかばかしい問題で深刻だったが、反対に深刻になるべき問題で、ばかばかしい対応をする」、問題の解決は、放棄され、誰からもうそつきと嘲笑されるにすれば、あまりに深刻だった。

私は長年ノートとメモを集めていたが、私のメモを集めて、以下のパンフレットを書いたそれを、私は Idaho の議会議員団、Samuelson 知事、Idaho 州議会、Bonneville 郡コミッショナー、Idaho Falls の著名で有力な市民とローカルニュースメディアの一部に送った...

## 核の悪夢 NUCLEAR NIGHTMARE

西側の核兵器の最近の継続的なテストと、アイダホの中への核廃棄物材の廃棄  
そして、特にアイダホの滝の西 50 マイルに国立原子炉テストステーションを据え付けるような活動の可能な危険な効果に衆目を集中させている。

1962年から1966年まで管理する編集者が公共上水道の分野で科学的な出版を最も尊重したので、私はジャーナル・アメリカの水資源研究協会の編集スタッフとして、この2年勤めた

私は、国家と惑星環境での、開発の後を追っており、読むにあたって独特の、位置にいた。したがって私は、一般にはよく知られていない核物質に関するオフィシャルな注意をすべきいくつかの事実と結論を公的に出さなければならないと感じた

個人的な提携には関係なく、多くの信頼できる科学者と高い位置にいる当局の者は、反対の声をあげた

そして、核実験と核兵器と核廃棄物の処分の使用に関して重大な不安を表明し続けている。

原子力エネルギー委員会の最初の議長、David E Lilienthalは、Queens (N.Y.) に原子力発電所を建設する提案を「非常に危険なビジネスと、ワシントン D.C.の上院議会の原子力エネルギー委員会で話し解説した

彼が「そのような施設をそこへ造ったら人は Queens で生きているとは夢にも思わない」

1963年4月5日ニューヨークタイムズで報告されたように、

前AECの議長は、クイーンズの提案はロングアイランド・エリアの居住者のためには原子力の廃棄物処理の問題と事故または破壊活動 sabotage の可能性のため「非常に危険なビジネス」と判定した。

原子力委員会の当時の議長によって出されたそのような声明は、若干の懸念の原因であった。

米国原子力委員会の原子力のエネルギー・プログラムによる主要な活動の発表で構造上使用可能な何百もの原子炉の位置の名前と、計画が提供された。

この核の脅威からの脱出はありえないだけでなく不可能なことは全く明かである  
スタンフォードの市民科学技術学部の世界的に名高い Rolf Eliassen 教授は、1962年の秋のスタンフォード大学の定期発行物「スタンフォードトデイ」に次のことを書いた  
これらの力の因子と健康への危険は我々に、ものすごい数の問題と、放射能の長い活動を加えることになる。

これが書かれた時、私は保険証書に核放射線から生命と資産について、保護しないという除外条項のあることを知らなかった。これは、原子力産業が本当に「危険な」ビジネスであることを示していた、これらの、使用済み核燃料の加工のために建設される化学プラントで数百万ガロンの海への廃棄物が、毎年生じる。

これらの設備は、遠く離れたエリアにあり、現在の時間で、大きな地下タンクで廃水の蓄積は、完了して

いる。

完全に、7000 万ガロン以上が、ハンフォード、オークリッジ、アイダホと Savannah サバンナ川にある U.S.原子力エネルギー委員会の設備に保存されている。

これだけでなくたいへんな量が、フランス、ロシアと英国に保管されていなければならない...

さらに1年の崩壊期と半減期の短い同位元素の事実上の消失の後、これらの廃水の中で存続する放射能は、1990年の電力生産から予測される率で、1年あたり1000億キュリーになる...

これらの数10億キュリーの廃棄物を人の包容力のレベルまで薄くするために地球の全ての海に、十分な水があるわけではない。

[イタリックにしている]

そうした放射能が「含まれた」地下源の上で地震の影響の可能性が、あるかもしれないという、推測を人は躊躇する。

1965年9月4日に、デトロイト・フリー・プレスのコラムニスト・ジーン・ピアソンは、ローマ（イタリア）の近くで、新しく掘られた井戸から飲料水によって誘発されたガンで16人の村民の死亡を報告した。

調査者は、水が1リットルにつき4,400マイクロキュリーを含むと見つけ出した。

「安全な」飲用は、1リットルにつき100マイクロキュリーである。

そしてそれは正確に電離放射線の「安全な」服用について確定することに関して、面白い点を持っている。

U.S.公衆衛生局は1962年 Drinking Water Standards,<sup>2</sup>で述べる：

「人間への放射線被曝の有害な効果が見られる、そして、電離放射線への不必要な露出は回避されなければならない：

U.S. 原子力エネルギー委員会によると：

人間への直接電離放射線の物理的な影響と臨床効果の関係についての「一つの情報データもない。

それゆえに、このように特別の服用またはレンジャーの服用に関連した効果に関わる完璧な規定はそこにはない。このように、人間の有機体の上の放射線の特別な効果に関する完璧な規定がない。

少なくとも、科学者は全ての形の電離放射線からの、命への危険に同意している。

(USPHS Dental Radiological Health Project アメリカ PHS 歯科放射性健康プロジェクトのプロジェクト役員) James Miller は明言した、「保守的な仮説は、放射線被曝による結果、身体と遺伝子に起こる効果に許容限界値はない [!]」ということからみると、服用と生物学的効果の間に、直接的な線型の関係が存在する：

<sup>4</sup>

注目に値する電離放射線の有害な効果についてのもう一つの意見は、E. Windle Taylor 博士から来る（英国の首都 London の水委員会の水検査の所長）

Taylor 博士は、書いた：

すなわち、放射線からの危害は実際に体の細胞を滅茶苦茶にし白血病、貧血、骨腫瘍、皮膚炎と白内障のような状況に至る局所的なものと、生殖細胞の染色体への電離放射線の作動で生じる遺伝子への長期の結果として起こる身体への影響とで、2重にある。

これは、矮小発育症、血友病、成功している同時代の人々に代謝性の精神的な疾患のような効果を引き起こす

人工的な放射線の増加する使用によって、我々は新しい非常に潜行性の健康に関する効果に直面している

2つの事実は例えば、散らばった多くの文献を通して類似した声明を引用することで、紛れもなく鋭く、明らかになっている。

最初に、どんな源からのものでも、電離した放射線の量は、命に危険である。

そして、第2には、すでに十分な放射能が、地球の上に、そして、大気に存在する、信頼できる科学者の側に至る所で重大な懸念を引き起こす

これらの考えさせられる事実にもかかわらず、核兵器の起爆なしにいられるのはそこそこ1週間である。

惑星で過去10年間に爆発合計数の控え目な推定は、数千の爆発があったと見るのでこの問題が終ることはないことを示している！

AECの度重なる「安全性」の断言にもかかわらず、時折、人は反対の情報を読む

たとえば、1963年5月2日に、New York Journal-でアメリカ人は、報告した

Pahner (Alaska) の町はヨウ素-131の、「許容できる健康リスクレベル」を7月から、連続して越えたという結果を思いがけなく入手した

「許容できる健康リスクのレベル」を得るといふようなフレーズは、核についてあいまいなダブルスタンダードな話だと完全に考える。

我々は、そこに電離放射線についての安全な服用許容限界値がないことを知る。

その「健康リスク」を「許容できる」か「受け入れがたいか」、いつ誰が、決めるのか？

その人はPahnerの住民ではないのに、住民の命まではいかないが、住民の酪農の仕事が損失する危険を冒す。

テネシー川から撮られる淡水のハマグリが「許容できる」か「受け入れがたいか」誰が決めるのか？

同じようにストロンチウム-90はミルクに親近感があり、そして、その電離放射線は現在人間と獣によって摂取されるほとんどあらゆる食物で見つけられることをよく知っている

そして、人はこの核の悪夢の中で若干のかすかな望みの光と、安全の島、分別のわらを捜して深くさまよい始める。

我々は広島と長崎での核爆発による荒廃を思い出し、放射線科医と放射線学の専門家に助けを求め、危険な権力の濫用を非難する言葉に助けを求める。

放射線科医は、我々を最後まで手伝わることができない。

彼らも、この核の悪夢で窮地に陥っているように見える。

我々は、放射線学的に誘導される白血病による死亡率が非放射線学医者であるより放射線科医で4~5倍より大きく評価されることを知る!<sup>9</sup>

鉄のカーテンさえ電離放射線の猛攻撃を妨げることができない、そして、我々は10年の期間続けられた研究において、「治療目的」での放射線処置の後、おこると考えられる「機能障害」について知る。<sup>10</sup>

日本人も、また、この致命的な力に対して予防処置を受けなかった：

研究は、非ガンの病気に照射の後に起きた、新しい15の首の放射線癌の症例を詳述する！

<sup>15</sup>

電離放射線の工業的用途の相当な増加のため、このような露出に付随する労働者の健康への大きな危険として、労働者の中の白血病を含む補償されるべき放射線傷害として1962年以後研究が、なされていた。

X線労働者の中の無菌性の、死産とより高い幼児の死の発生率も、長い間知られていた。

そして、手術の間のレントゲン透視の使用は、あらゆる外科医をラジオ放射線の経路の自分自身と、彼の患者への放射線によって誘発される病気への危険に気づくようにした。<sup>14</sup>

<sup>14</sup>

電離放射線治療はガンのために広く使われている最大の「処置」の1つである。

世界の化学および薬の研究所で、各々の混合物の毒性は、調べられる。

その後、これらの同じ研究所が、人類にとって利益になるものとして浴びせる放射線のイオン化する生命に有害な効果に対する反作用剤を発見するはかない希望で混合物がテストされる。

たとえば、1つの研究は、1,200の混合物の放射線傷害に対してテストされ調べ混合物の各々の毒性が、記述された。

そして、電離放射線が毎日大気で地上で、地下で、川と海で、増加する間、科学者はその効果を研究するために秩序だって継続する。

彼らは、犬に照射を受けた牛肉を与える、もちろん、犬はそれを食べることができるが、なぜそれが人間ではないのか？

しかし、あちこちで、勇敢で心配している科学者は、この核スモッグを通して抗議の声を首尾よく大きくすることができる。

1965年12月9日に、ニューヨークタイムズが「死の放射線と言われる」と、報じた：  
3人のコーネル大学の科学者は、核放射線によって照射された食物が破壊的であるかもしれないと警告した...

国防省と食品業界両方は、予防剤...として放射線をテストしていた。

等しくよく知っているその

ストロンチウム-90にはミルクには親近感がある、そして、その電離放射線は現在人間と獣によって摂取されるほとんどあらゆる食物で見つけられている

そして、人はこの核の悪夢の中を若干のかすかな望みの光、安全の島、分別のわらを捜してより深くさまよい始める。

警告は、Frederick C Steward 教授と2人の研究者 (Richard D. Holsten 博士と Michiyasu Sugii 杉道安博士) によって出された

## 概要と結論

高い能力のある人々によって原子物理学の場で得られた重大なことが、述べられたことからみて、利益がある原子力の研究開発が非常に危険な道に乗り出したことは、明らかである。

Dugway での (Utah 州) 化学戦研究に起因する最近の羊の災害は、実験的な研究に直接関係するそれらが、直後でも長期の結果でも、その認識が必ずしもないことを示す。

そして、度重なる羊の飼主に対する責任の否定にもかかわらず、連邦政府によって羊の飼主に補償がされることになった。

サリドマイドによって命が永久に役に立たなくされた何千もの化け物になった人間を思い出すことも必要である。補償の内容は夫が契約した白血病のある妻を補償することになっているのか？

それは、核施設の労働者の白血病かガンの発病率の比較研究を反映しているか？

原子炉に近い状態にある町での飲料水の安全性をデモンストレーションしたレポートは公開されているのか？

そこで発表されたレポートは原子炉に隣接して生きる家族の先天性欠損症の発生率は同じというよりか低いのか、または原子炉のそばに位置していない家族の先天性欠損症の発生率よりは高いことを示しているか？

原子力産業の展開（新しい産業の展開のような）は人類に関わる確かな危険を冒す広範囲にわたる、信頼できる安全対策が開始される前に、何千人もの炭鉱夫は彼らの仕事に関連した「事故」で殺された。

労働災害の歴史は、残念なことに、そのような産業で既得権がある人々が Federal 政府、様相または地方自治によって強いられるまで、しばしば時間がかかり、十分な人間の安全装置のためにお金を使うことを嫌うか、その気がないことを示す。

重要な問題は、これである：

原子力エネルギー産業は十分にわかって、人の生命の福祉について懸念を抱いているか？

強く本紙で引用されたソースの多くは、これが本当でないことを示す

それから、それは、主張する市民自身の義務になる

彼らの地元の人、州と連邦政府は、人々の福祉と安全に保険をかけるために、差し迫った、率直な方法をとる。

これは原子力産業に直接または間接的に、**既得権がない**公平な市民から成る適切な監視委員会を設けることによってだけ達成されることができる。

監視委員会のその部分は、統治者の直接の管理の中にあり、申し分のない性格と完全性がなければならない。（単に彼らは人々に出すレポートにだけ責任がある）

人間の社会では、人間の命より他の何かが、神聖であったりしてはならない。

財政的な増加の必死の追求における生命の侮りは、道徳的な原理の粗末で卑劣な崩落である。

人々の信頼性のある代表者となるという私の望みは、現在と将来の人々に関して、我々の様相と社会の福祉と安全性を保証するために迅速で勇敢な行動をとらせる

。Nightmare 43

#### 注 1

US Atomic Energy Commission, Major Activities in the Atomic Energy Programs-January-December, 1962 ( US Govt. Printing Office, Wash., D.C. ).

米国原子力エネルギー委員会 1962 年 12 月から 1 月の原子力の主要活動プログラム（米国政府印刷局、ワシントン D.C.）

2. USPHS, Drinking Water Standards, 1962 ( US Govt. Printing Office, Wash., D.C. ).
2. USPHS、飲料水の標準、1962 (米政府印刷局、ワシントン、D.C.)
  
3. S. Glasstone, ed., The Effects of Nuclear Weapons (米国原子力エネルギー委員会 US Atomic Energy Commission, US Govt. Printing Office, Wash., D.C., Apr. 1962).
3. S. Glasstone、ed.、核兵器の影響 (米国原子力エネルギー委員会、米政府印刷局、ワシントン、D.C.、1962年4月)
  
4. J. W. Miller, "Summary of State Dental Radiological Health Activities,' Radiological Health Data, vol. 4, no. 1 ( Jan. 1963 ).
4. J. W. Miller、「州の歯の放射線学健全性活動の概要」、放射線学健全性データ、第4巻、1 (1963年1月) でない
5. W. E. Taylor, "Radioactivity in Waters and Treatment of Radioactive Waters," Proceedings. vol. 2, 5th Congress, International Water Supply Assn., Berlin (1961).
5. W. E. Taylor、「海の放射能と放射能を帯びた海の処理」、出来事第2巻、5回目の議会、国際的な給水 Assn., Berlin (1961)
  
6. Radiological Health Data, vol. 4, no. 3 ( Mar. 1963 ) ( US Dept. of Health, Education & Welfare, Wash., D.C. ).
6. 放射線学健全性データ、第4巻、3 (1963年3月) (健全性、教育と福祉、ワシントン、D.C.の米部) でない
7. D. J. Nelson, "Clams as Indicators of Strontium-90," Science, vol. 137 ( July s, Iss2 > .
7. D. J. Nelson、「ハマグリはストロンチウム-90の指標」、科学、第137巻 (7月のs、Iss2 >
  
8. Radiological Health Data, vol. 4, no. 2 ( Feb. 1963 ) ( US Dept. of Health, Education & Welfare, Wash., D.C. ).
8. 放射線医学健全性データ、第4巻、2 (1963年2月) (保健衛生、教育と福祉、ワシントン、D.C.の米部) でない
9. H. C. March, "Leukemia in Radiologists, Ten Years Later, With a Re-view of the Pertinent Evidence for Radiation Leukemia," American Journal of Medical Science, 242:137 ( Aug. 1961).
- 9 「放射線白血病に関係する証拠の再審理をする放射線科医の白血病 (10年後に)」 . H. C. March、、アメリカの医学ジャーナル、242:137 (1961年8月)

10. M. P. shlak, et. al., "Late Observations on Persons Subjected to the Effect of Radiation," Nuclear Science Abstracts, no. 11477 ( May 31, 1962 ).
10. M. P. shlak (小) が、 al.、「放射線の効果を受けさせられる人の遅い所見」、Nuclear Science Abstract、 11477 (1962年5月31日) でないである
11. H. Yamashita et. al., "Radiation Cancer:
11. H.山下 et. al.、「放射線癌 :  
Cancer Caused by Irradiation of Non-Malignant Diseases of the Neck and Pharynx," Nuclear Science Abstracts, no. 25201 ( Oct. 1962 ).
- Neck と Pharynx の Non-Malignant Diseases の Irradiation によるガン Caused」、Nuclear Science Abstract、 25201 (1962年10月) でない
12. R. R. Newell, "Leukemia as Compensable Radiation Injury," Archives of Environmental Health, vol. 5, no. 2 ( Aug. 1962 ).
12. R. R. Newell (「放射線傷害としての白血病は補償される」) 環境保健アーカイブ、第5巻、 2 (1962年8月)
13. T. Kitabatake, "Sterility, Stillbirth, Infant Death, and Sex Ratios of Off-Springs of X-Ray Workers," Nagoya Journal of Medical Science ( Nagoya Univ. School of Medicine, Japan), 23:277 (1960).
13. T. 北畠 Kitabatake、「Off-Springs の X線労働者の生殖不能、死産、幼児の死と性比」、(日本 名古屋大学医学学部)、23:277 (1960)
14. Hector Marino、「外科医の手の放射性傷害 Radiopathies in the Hand of the Surgeon ;』原子力科学要旨、no. 32818 (1962年12月)
15. John Doull, et. al., A Survey of Compounds for Radiation Protection ( School of Aerospace Medicine, Brooks AFB, Tex., 1961 }.
15. John Doull (et)、 al. (放射線防護のための複合物の調査) で (宇宙医学、ブルック AFB、Tex.、1961年の学校}
16. Elwood F. Reber, et. al., "The Effects of Feeding Irradiated Beef to Dogs," 23:74 (Jan. 1962).
16. Elwood F. Reber (et) が、 al.、「照射を受けた牛肉を犬に供給する効果」、の American Journal of Veterinary Research、アメリカの獣医の研究雑誌 23:74 (1962年1月) である
17. G. D. Gernon Jr.と R. W. Seaton (「照射を受けた肉」):
- (I) Storage Stability of Cooked and Raw Meat," Journal American Dietetic Assn., 41:20 (July 1962).
- (I) Storage Stability の Cooked と Raw Meat」、アメリカの Dietetic Assn Journal.、41:20 (1962年7月)

## 5 衝撃波

私が知っているすべてのことは、ただ新聞で読んだことである。

Will Rogers

(William Penn Adair "Will" Rogers)(1879-1935)

「ウィル・ロジャース」は、アメリカのコメディアン、ユーモア作家、社会評論家、舞台俳優。アメリカ合衆国下院議員の「ウィル・ロジャース・ジュニア」の父。71 作品の映画(50 作品はサイレント、21 作品はトーキー)を作り、全国紙に 4,000 本以上のコラムを書くなどして広く知られた人物であり、当時のハリウッドではギャラが最高クラスの映画スターであったとのこと。主な映画作品(サイレント)に「テキサスの雄牛」「ジー、ホ  
作 ウィッツ、ジュヌビエーブ」「つま先立ちして」「我らの議員さん」「正直な嘘つき」「そこに  
品 停めるな」「ジュピロ・ジュニア」「広い額の詰め物」「カウボーイの色男」「小さな絵から  
一 大きな動き」「無検閲の映画」「ケーキ食い」「覆われた 2 台の荷馬車」「ジェス、アッシ  
覧 ン、スルー」「誠実の果実」「ハッスル・ハンク」「縄使いの馬鹿」「頭の無い騎手」「無教  
養の要約」「栄光の日」「ロメオに 2 倍」「お粗末な関係」「少年は少年になる」「不本意  
な英雄」「正直者ハッチ」「女の狡さ」「カウボーイのキューピッド」「妙な間借り人」「ジェ  
ス、ジムと呼んでくれ」「ほとんど夫」「水だ、どこも水だ」「笑うビル・ハイド」などがあ  
る。(参考文献:ウィキペディア+楽天ブックス)

私の印刷されたパンフレット「核の悪夢」は、1969 年 9 月の 2 週めに外へ郵送された。地元のラジオ局で全部朗読された。そして、地元のテレビ局の要請で私へのインタビューが続いた。

しかし、Idaho Falls Post-Register は、パンフレットを印刷することに値すると思わなかった、そして、私の前のボス(編集局長 Robb Brady)は決してこのことに触れなかった。その人はパーソナルな原子力問題への関心を選んだ。

とはいっても、表面的な落ちつきと沈黙にもかかわらず、民間人にはドアをしめても AEC の関心のあるメンバーは私のパンフレットを背後で議論していることを知った。

1969年10月8日の、Post-Register に書かれた記事は私にたいへんな興味をもたせた；  
私はそのあと、Samuelson 知事に以下の公開状を書いた。

親愛なるサムエルソン知事：

Federal Water Pollution Control 政府の水汚染防止コントロールのための地域ディレクター、  
のジェイムス・エイジャーは「明らかに Snake 川平野の下にある帯水層にまで到達する廃水  
の放射能はわずかで、危険はない」とあなたに、認めたことが今日のポスト-Register の  
紙面でわかった。

我々は長年の否定の後、何らかの放射性廃棄物が我々の地下給水を汚染しており「わずかな」  
汚染の告白を最終的に得たことになった。

Samuelson 知事、そのような危険を「威厳ある」否認によって、不正な安心感で鎮静化させ  
ないでください。

Columbia 川の放射能による汚染を議論する際に、Albert Schweitzer 博士は明言した。：

「川水の放射能は、取るに足らないものである

しかし、川のプランクトンの放射能は、2,000 倍高く、プランクを食べるカモは 40,000 倍  
高く測定され、魚は 150,000 倍高く測定される

そして [Atomic Suicide を引用すると]、水鳥の卵黄は 100 万倍以上高い参考文献参照]

このように、シュバイツァー博士は、全てのライフサイクルが、水から植物に、魚に、鳥  
に、最後に人まで、全てが含まれた放射能が集中されていくことを非常に明瞭にする  
そして、その連続したライフサイクルの各々の関連で増やされて、放射能汚染のチェーン  
は、各々の人に打撃を与える。

彼の最も弱い即座の潜伏中の病気が、「引き起こされる」、

そして、一般的な徴候が「ウイルスX」にとっても類似している時、

(慢性虚弱、酸素と水の渴望。そして、下痢が腸炎などになる)

多くの人々は、彼らが「ちょうどウイルスを持っている」と思う。

Samuelson 知事、どうか、Idaho の給水の安全を保証して、あなたの地区を見捨てないで  
ください。

「少量」の放射能は、ちょうど「小さな」ガンのようなものである

-それは、我々を殺すことができ、殺す。

拝敬、Jerome Eden 様、

手紙は、Post-Register で 1969 年 10 月 15 日に公開された。

その、日付で、PR **Post-Register** は重要なこれらの注意すべき記事を掲載した：

「テラーは原子力発電機の『潜在的な危険性』について言った-シアトルの記事 (AP)：

水素爆弾の主要な建造者の 1 人 Edward Teller 博士は「原子炉は、潜在的に危険である」と言った。水曜日に Teller は心から、例えば海の下、あるいは、地中の下、海洋水によって冷やされ破壊されることがありえないところにある原子炉を見たいと思うと言った  
原子炉からの電力を考えて、Teller は言った：

「あなたがより多くの電気を望むならば、川を加熱することで得る。それは、魚のためには危険なことである」

その同じ日に、国連 (N. Y.) からの AP 通信の記事は、以下を述べた：

「1966 年以降大気の実験は、地球の表面に置かれる長生きの放射性核種の量に、大幅に貢献した：

そのような核実験が「実質的に」崩壊時間が長期間の放射性物質の量に「貢献する」という記載は、ここにはなかった

そしてそれは人間に降下して濾過される、

自分自身の髪、手、衣類の上に降下し、食品で摂取される

それは、我々をまさしく生かす水 our very flap water を汚染して、黙って運び込まれる。

また、PR **Post-Register** は、1969 年 10 月 15 日に、この見出しを掲載した：

「AEC は核廃棄物について非常に慎重に考えている」Datelined Boise (AP) の記事は、明言した：

核科学者は言った...

AEC **Atomic Energy Commission** は廃棄物について「非常に慎重である」が、それに加えてそれが抱えている問題が発表されたことはよいことである。

最近国家科学顧問に指名されたノーベル賞勝者 Willard Frank Libby 博士は、Don Samuelson 知事の記者会見について論評した。

AEC の廃棄物処理方針について聞かれたとき、Libby は言った — 「一般的なルールは、AEC が非常に慎重であるということである

しかし、疑問があるならば、私はオープンに見れるところにそれを持ってこなければならぬと思う...

Atomic Energy 委員会の前のメンバーで、現在 UCLA の化学の教授 Libby は、Idaho は「素晴らしい、損傷されてない状態だ、それを維持すべきだと言った

私は Libby 博士に答えて、もっと言うことも可能だが、ここではサーと呼びかけ、言われたようにするつもりだ

10 月 16 日 PR **Post-Register** に載った以下の見出しは、：

大勢の羊を毒ガスで死亡させるのは 100 万ドルより少なく COOL 簡単だ

記事は、「神経ガス VX の空中テストの間にスプレー・タンクが故障したあとの、6,400 匹の羊の死を詳述して軍は言った

「広範囲な調査は、羊が多分エージェント VX の非常に低い線量を摂取したことをついに明かした。」

(注 :

6,400 匹の死んだ羊は薬物 VX"1 の非常に低い摂取量だけだったということを知って満足しなければならない。そして、「土地使用の一時的損失に関する主張のために、198,309 ドル支払われた」と、記事は述べた;

しかし、話の最後のパラグラフは、次の断り書きを加えた :

目撃者は、事故が多く土地に影響を引き起こし永久に使用出来なくなったというレポートはしなかった

ちなみに、誰がこの致命的な失敗の勘定をしているか疑問に思ったならば、アメリカ人の男性と女性の納税者のいる鏡をのぞいてみなさい!

1969 年 10 月 22 日に、PR は 5 つのコラムの見出しを掲げた :

「AEC テストはこのエリアに問題の放射能の光線はない」ことを示す

再び、ロブ・ブレイディーさんがかなめのポジションで、自信をもって、何もまずいことはなく、心配なことはなかったと言って読者を安心させた。

この長い安心させる記事の第 2 節では、以下の事実が書いてある :

他方、アイダホの滝の毎年のはなはだしいアルファ放射能の平均的集中度は、サイトのそれより 34 パーセント高い。

Idaho の滝 での著しく高いアルファ線が集中する原因を見つけ出すための調査は、進行中である :

(イタリックにされている)

Idaho Falls のアルファ放射能の濃度は NRTS サイトより 34 パーセント高い;

そして、彼らはなぜかわからない

それは、アイダの滝がサイトの東で、西から東へ風が優勢だからではありえなかった

(NRTS は放射性廃棄物の海へ埋葬することの他に、大気に「無害な、低レベルの放射能」を噴出する多くの異なる原子炉のタイプの試験的な位置に置かれている)

アイダホのアメリカ議会の上院議員 Len B. Jordan は、アイダホに AEC の廃棄物処理実践の私の批判に答えて、私に書いた。

Jordan 上院議員は、Washington, D.C.で審理の準備をしていた原子力合同委員会 Joint

Committee on Atomic Energy の前で、証言しようと私を誘った。

私は議会委員会に私の証言（「核の悪夢」）を送った

資料は受領された、しかし、審理する 3 巻の中には決して含まれなかった。

この見出しは 1969 年 11 月 7 日に、PR に出た：

「レポートは、保健物理学グループのストレスとしてゆがめて伝えられた...

ここの放射線の安全性を保証した

本稿は保健物理学会の東部地方のアイダホ総会によって広められ、廃棄物処理の実施への私の批判と、「核悪夢」で与えられる原子汚染に関する私の姿勢のため私を炭の燃えさしの上へかき集めた

記事は、私を AEC が実践し安全のデモンストレーションをして公開された情報を無視するほうを選んだことを非難した。

「我々は、Eden 氏の 2、3 の特別の意見を、喜ぶ」と、記事は書いた。

「しかし彼は [私エデンを意味している] 通常、正しく引用しているが、彼は引用文の意味または影響をゆがめて、従って、放射線の実際の危険を拡大している。」

このように私の「核の悪夢」の引用文の意味、または影響をゆがめたとして私が公的に非難された

当然考えるべきことは、告発したことで、もう一つの事は証明したことである

何が事実としてあるのか？

**Them What** それらは何か

記事が述べたことは：

「Eden 氏は、私に『放射線科医は放射線学医者でない者よりも 4~5 倍多く、たいへんな率で白血病になって死ぬと主張した：

これは 1920 年代の前の大用量の放射線の効果が認められる前は、診療している放射線科医にとって真実だっただろう。」、今は私を攻撃している、健康組合 **the Health Physics Society** には、私のパンフレット「核の悪夢」のコピーがあった：

『まず第一に、「エデンさん」は、何も主張してない

エデンさんは、単に 1961 年 8 月に H. C. march によって、アメリカの医学サイエンス・ジャーナルに出された論文の結論をパンフレット no. 9 に発表したものを参照して書いただけである

「放射線医師と白血病との関係についての所見」、「10 年後の放射線医学者の白血病」と論文はタイトルをつけられている。

放射線医学者の白血病に関係する証拠への答えで

『我々が見るように、論文は 1920 年代には公開されず我々の健康組合 Health Physics Society はそれを無害なものと信じさせてきた。だが現在 1961 年の 8 月になって、その無害であるとした意味と影響を誰がゆがめて書いたのか？

私の書いたことの真実性について、次のように批判が書かれている：

「Eden 氏は、いくつかの損傷を放射線によるものと考え、関連づけている。

Eden 氏は新しい首の放射線癌について 15 の症例を報告している記事』についても述べている。しかし『そんな以前の照射が発癌性の原因となったことは確認されなかった：

Eden 氏がこれらが放射線癌であったと述べたことは、記事の著者が主張する気はなかったことを主張している」（イタリックを加えた。

また、それはその人は「首の怪我」を「放射線に起因するものとして関連させてはいなかった。

私が言いたいことのすべては、「首の 15 の新しい放射線癌の詳細な研究は、照射の後のガンではない病気を詳述した！」ということだけだった。

私は、「怪我"injuries."」という単語を決して使用しなかった。

私のパンフレットで引用した参照記事は、H.山下などによって「放射線癌」と表題をつけられては書かれてはない。：

ガンは、首そして、咽頭の非悪性の病気への照射に起因する

私には山下博士が表題で「照射に起因するガン」といった言葉その他を使ったならば、彼は、これらが放射線癌だと確かに決定したように思われる

また、誰かが意味または影響をゆがめて書いているのか？

読者を退屈させることの危険をおかして、保健物理学会の東部アイダホの章にある最終的な私に向けられた 1 つの批評を見よう

「エデンは、多くの地域居住者が彼に『慢性の疲労、変な渴き、移動する痛み、うずき、不調と吐き気』といった同じ一般的な徴候について不平を言ったとも述べた。

『これらは、とても大きな放射線の経験に起因する放射線宿酔に伴う徴候である。

これらの効果は、このエリアの住民が受けたことが原因とすることができない：

遠い空からの、「薬剤の VX の非常に低い適用量」を摂取した後に、メーと鳴いて 6,400 匹の羊は、急死した。

そういうことから、我々は許容できる健康リスク・レベル以下の「最小の」服用について基準の議論に再びもどる：

『我々が後で見るように、原子放射線は引き金となってトリガーとして起動させる効果がある。

.44-マグナム・カートリッジを炸裂するために必要なのは、1本の指で3ポンドをひっぱる力だけである。

この「最少の」3ポンドを引っ張ることで、.44-マグナムを発射させ毎秒 1,470 feet のスピードで送りだすことができる

このように、3パウンドの「引きがねを引く」ことは、エンジンのブロックを通過し穴を吹き飛ばして開けるのに十分な機械的エネルギーを起動させる。

人間の有機体は、はるかに多くの複雑さを持ち、慎重にバランスをとってデリケートな組織と器官の役割を果たしており平衡とハーモニーを保っている。

体の組織のどこかをまたは1つの器官の設定を1つをロックすれば、全ての有機体を通してその繊細な収支バランスが破壊される。

私は、健康にかかわる生理学者がその事実を知らなければならないと確信する。

全交響楽団を分裂させたいならば、音楽家を殺す必要は少しもない

そのオーケストラの弦楽器の E の弦のキーを切るだけで混乱が生まれる！

1対1の関係で放射線「傷害 insult」（健康生理学者の用語を使うと）は、生じない。

自然においては、1足す1が、必ずしも2になるというわけではない；

実際、たいてい結果として、22または22000にもなることができる。

1匹の雄のウサギと1匹の雌のウサギは、結果として100万匹のウサギになるだろう！

1つの稲妻の電光、またはキャンプする人の不注意で、火口の乾いた1000エーカーは、猛烈な大火に見まわれたのと等しい結果になる。

性質は、機能的で、機械的ではない。

1989年11月24日に、雑誌 PR は以下の見出しを出した：

"放射性問題に関して AEC と、健健評議会 Health Board は分裂する

記事は次のように始めた：

アイダホ保健省 The Idaho Department of Health とアイダホ原子力委員会は、放射性廃棄物の処分についての直接的な衝突の進路に向かっていくようにさえ見える。

この記事で、アイダホ厚生委員会 the Idaho Board of Health は、以下の処置が設けられるよう、AEC に勧告した：

(1)

すぐに新しい施設の建設計画のプログラムを立てて、終わりまで実施しなさい

国立 **Reactor Testing** 核反応試験場には、地下水への直接処分に向かうことなく放射性廃水を取り扱う、適切な廃棄物処理能力がある。

[私が知る限り、これは放射能を帯びた廃水が「直接地下水に」排出されていたという最初の一般の人々への報道であった] (2)

連邦水質汚染コントロール機構と、健康のアイダホ委員会にとって容認できる適切な地上の処置機能ですべての既存の地下処分システムの代わりになる合理的な段取りを確立しなさい。

[これは、連邦水質汚染支配管理そして、アイダホ **Health** 委員会にとっては現在の地上の処置施設が「受け入れがたい」ことを意味する

言うならば、誰か大騒ぎをする人が、なぜいないのか？

(3)

固体放射性廃棄物の長期の保管そして、**Snake** 川の帯水層より上にある非常に有毒な放射性核種の最終的な除去の計画を作成しなさい。

上記の忠告は、1969年11月に公開される。

それは、現在から3年後である

私の知っている限りでは、何百万ガロンの放射性廃棄物の貯蔵は、変わらず継続する。

しかし、私は **Idaho** アイダホ上院議員 **Frank Church** からいくつかの勇気づけられるニュースを入手した。そして、その人は **AEC** 実践活動がその周囲のアイダホ市民に危険を与える可能性についてしばしば意見を述べた。

**Church** 上院議員は **Snake** 川の帯水層より上の現在の廃棄物処理実践がやめられ廃棄物は多分10年で除去されると思っている。

## 6章

### 赤い色の影 The Red Shadow

自由な人間とは、死刑判決の下でも、与える準備ができたものを自身の自由意志で譲ることを拒否する人々である。Wilhehn Reich

アメリカ合衆国で世界中で、研究し探究する現代の科学者を起訴することは、アメリカ市民で作家である私に、満足感を与えない、それは大災害に至るだけである。

核兵器の更なるテストを続けることは、我が国に点在する原子炉を追加することで核開発計画を拡張し、爆発するためにセットされた多くの時限爆弾のようなもので、我々の地球、空気、水とその中に含まれるあらゆる生物を汚染し続け、ますます致命的な量の放射線で、国家と世界を自殺に追い込むとも言える。

我々の科学者は、それを作った作者を滅ぼし威嚇するようになるフランケンシュタインを創りだした。

ますます、人は、誠実な原子物理学者、エンジニア、生物学者、地球物理学者の毎日心配する声を聞く、そして素人はその大変な核研究を、たった今やめるよう尋ねる。

とはいっても、我々のジレンマは、単純なものでない。

我々は、敵対的な世界で安全な位置を維持するためには核のノウハウを必要とする合理的な人は彼のバンドの上の略奪者を威嚇する武器に手をださない、あるいは、海にそれらを投げ捨てて、完全に彼自身を無防備にする。

人が熊のいる国に行くとき、人はクマ用の銃を持っていく。

今日、我々は依然としてクマとドラゴンによって脅かされている。

赤い熊とさらに赤いドラゴンによって。

ライフ誌のカバーの上に、繰り返し現れる「フルシチョフおじさん」の写真にもかかわらず、赤いファシズムは、民主主義の民族の福祉に最も大きな一つの組織化された脅威をまだ至る所でもたらす！

これに対する答えは、何と、核の悪夢になるということなのか？

単純に一晩で武装解除することは、全原子力エネルギー研究プログラムを完全に減らすことになるので、素朴で早まったことである

そして、我々の敵の手の上で、正に遊んでいることになる

敵は、我々が弱体化した位置の中で、有利さを得ることは切迫しており躊躇しない。

すでに、親共産党支持者と自由主義者は、敵の持つ核への警戒をゆるめさせ、アメリカの全核兵器保有量を解体しずらく冷酷な敵の慈悲に頼るようにさせようとしてい

る

さらにまた、我々はパワーを得るために何を行っているのか

もちろん私は、電力を意味しているのだが？

我々の社会は、毎日使う桁外れの電気量を生み出すために、膨大な（エネルギー量の）燃料を必要としている

電力不足は、重要な問題になっている；

電圧低下が停電に導くことは確かである。そして、我が国で多くのことがすでに起こっている。

さらに1つの問題が、ある

何と原子力産業に関連する産業に、何十万人もの労働者がいるそして彼らが失業したときその生活のための給与が、自動車と住宅の支払いがカットされる？

その混乱の出口は、あるのか？

そこに少なくともこの混乱の出口へ向かう希望的なアプローチは、あるか？

私は、心からその解決方法が存在すると思っている、そして、このページの残りでその出口を示してみたい。

しかし最初に、わき道へそれることを許してほしい。

私が語ろうとしている物語と、私が示す事実と概念は、完全に初めて聞くことなので素晴らしく聞こえるだろう。

私は、ノン・フィクション・ライターの本当の技術が信用できる素晴らしい驚くべき時間にするのを常に感じていた！

H. G. Wells を言い換えて言うと本当に世界は、民族が教育と大災害の間で半狂乱で動いている。

新しい場の新しい概念のある研究は、通常、現代の科学者によって反対される。

電球の到来の前は、トーマス エディソンによって解決された問題に関して実際に研究を行わなかった人には、誰にもエディソンの発見を審査する能力がなかった。

アメリカの蝋燭製造組合（そのような団体があった）のアカデミーには電球の発明品を審査する資格は十分になかった

ライト兄弟の飛行機は、熱気球の風船狂によっては理性的に審査することができない。

そして、この短い導入でカーテンを開けて新しい展望をひらこう

その力は、ちょうど現在の悪夢で低迷している惑星を救うかもしれない。

1940年12月30日に、N. Y. ロングアイランド、フォレストヒルズに生きていた小さな町医者で科学者は、手紙を書いた

その彼は、アルバート・アインシュタイン教授（その人はN. J. プリンストン高等研究所で働いていた）にそれを郵送した。

その医者-科学者は Wilhehn ライヒ博士であった。そして、その人はその時ニューヨークのニュー・スクール・フォー・ソーシャル・リサーチで Experimental 実験と臨床心理学を教えていた。

ライヒに、この簡潔で、重要な手紙は、彼がアインシュタインに「オーゴン」またはライフ Energy と呼んだ特定の生物学的エネルギーの発見に対して関心を持たせたかもしれないという彼の望みをもたらした。

彼は、他の方法の場合と同様に、熱的に、検電器的に、顕微鏡で、視覚的にこの Orgone エネルギーを科学的に客観化することができた。

しかし、彼は研究のある地点に着いて、そこで、彼はその発見と同時に関係する責任の大きさと、その非常に大きなキツネの獲物は、彼の個人的な財産であるのを感じた。

特別の生物学的エネルギーの発見は、それらが、空気の至る所に存在することを示すことができ、その時ライヒが定めたより、宇宙と、原始のエネルギーがはるかに広い研究範囲を要求した。

アインシュタイン教授は、ライヒが見つけた基本的な現象のいくつかを議論することに関心があったのか？

この最初の会合で、それを示すことで不合理な反応が起こることをライヒは心配した過去に科学界は新しい発見について、しばしばそうした反応を示した。

アインシュタイン教授はこの研究者の話を聞く気があり、おそらく、この後、特別の現象の直接に証人となるために、Reich の研究所を訪ねるつもりもあった？

ライヒは 1941 年 1 月 8 日の日付が入ったアインシュタインから短い返事を受け取ったとき、歓喜していた

そして結局、アインシュタインによって提案された 1 月 13 日午後 4 時にプリンストンのマーサー通りの教授の宿舎に行くことになった。

アインシュタインは、指示された日の午後 3 時 30 分頃に、ライヒを迎えた。

この歴史的な会議に備えて、ライヒは、それを示すために発明した光学的装置をテストし、調節し Orgone が存在することを視覚的に示した。

~~~~~

ライヒとアインシュタインとの間で交換された手紙の直接の複写写真は、(Biographic Matesial 出版の「ウィリヘルムライヒ」にある：

Life Energy の発見の歴史、Documentary A 章 = XI = E、である

アインシュタインの手紙 オルゴン研究所出版所 オルゴノン ランジェリー メイン州、1953 年

彼は、この光学器械を「**Orgonoscope**」と呼んだ。

ライヒとアインシュタインの間の議論はほぼ 5 時間続いた。その間に、ライヒは質量のない、核以前の、原始のエネルギーと同じエネルギーの存在に関してアインシュタインを新しい事実と概念に導入した

そしてそれは生物学的またはライフエネルギー**Energy** として、生きている生物で動く。

最初 **Einstein** は、驚くべき疑いで反応した。

2 人の人が、ドイツ語で会話して、質疑応答をやりとりしたので、我々は、その室に満ちた興奮と驚きを以下のように推測することだけが可能である。

ライヒは、長年の間、彼が発見した「全く新しい場」を取り巻く難しい状況を乗り越えることに熟達した完璧なインストラクターであった。

彼は初老のアインシュタインに多くのことを話した。そして彼はアインシュタインを人道的でおよび一流科学者として尊敬した。

**Reich** は古典的な科学者に向けて、完全に異なる領域での発見を話すには「あまりにたくさん」ことがあってあまりに困難なことを知っていた。

長年にわたって、たとえば、彼はこの新しく発見されたエネルギーを、非常に単純な構造体の中に蓄えることができたことを証明することができた、

そしてこの「オーゴン **Energy Accumulator**」は、その上ですぐに

人は、一貫して周囲の空気より高い温度を読むことができるのは明白だった。

この単独で見つけ出したことことは、古典的物理学の柱の熱力学の第 2 の法則を否定した。

ブラインドを引っ張って光をさえぎった後、彼らの目が暗闇に、慣れるための、時間を待った、ライヒはアインシュタインに **Orgonoscope** を渡して、器具を通して、部屋で **Orgone** エネルギーの閃光を観察するよう頼んだ。

アインシュタインは、驚いた

後で、ライヒは **Orgone Energy Accumulator** と周囲の大気との温度差の現象を議論した。

アインシュタインは真実ならば、物理学の爆弾である、と叫んだ！「ライヒが概説したように事実を証明できるならば、アインシュタインができるあらゆる方法でライヒの発見を援助することに同意する。

さらにライヒは、**Orgone Energy Accumulator** を正確に必要なだった実験的な設定で造って、住居に届けアインシュタインが繰り返すという彼の望むことをアインシュタインに話した。

発見には矛盾も、起こるのが当然で、

ライヒは、アインシュタインは発見の有効性に関して断固たる結論となるとしてもその前

は彼自身で確かめることになっていると強調した。

長年の経験と獲得された難しい事実は、科学者は彼の調査結果に直面するとき、しばしばライヒに「これだけでのことでありながらまたはちょうどそれであるといったように、複雑になった念入りなプロセスを繰り返すよりはむしろそのすべてを釈明するのを好む」ということを教えた

アインシュタインはライヒの提案に同意した、そして、ライヒは長老科学者に良い感じで別れを告げた。

暇があるときに大気の Orgone の観察を続けるかもしれないと思って、アインシュタインに Orgonoscope は置いておいた。

約 2 週後に、ライヒは個人的に小型オーゴン・エネルギー・アキュムレーターをアインシュタインに届けた。

装置は、地下室のテーブルに設置された。

1 台の温度計はアキュムレーターの上のチューブに置かれたが、2 台目の、制御温度計はアキュムレーターの空気から無関係なように約 33 フィート離れて掛けられていた。

アインシュタインは、それで温度差を確かめた。

アインシュタインはさらなる所見のためにライヒにアキュムレーターを残すよう頼んだ。

そして 2、3 週間で彼の調査結果をライヒに書いて、それで議論すると言った。

アインシュタインは 1941 年 2 月 7 日に、言ったことに忠実に、再びライヒに書いた。

この手紙でアインシュタインが『彼のアシスタント』から彼に示された「異議」に言及した。

異議は、説明の形で来た

この無名のアシスタントはそれを出して、そして、アインシュタインはそれを無批判に受け入れた。

そこで、Einstein は、彼のアシスタントの「説明」では熱の違いは完全に、注意されるところのある記述だと結論を出した。

そして、そこで、問題は休止した。

Reich はむしろ Einstein の突然の返答にひどく混乱した。そして、彼がパーソナルな彼らの会議で得ていた以前にあった誠実さと熱狂さとはとても異なっていた。

ライヒは、アインシュタインは、相互の満足感からみて、事実のどんな矛盾も追求し続ける彼らの計画を維持することを期待していた。

ほぼ 2 週間、反事を考慮した後に、

ライヒはアインシュタインに対する長い返事を書いた。そして、起こるかもしれないどんな意見の相違でも追いつけるための彼らの双方の合意を概説した。

この 1941 年 2 月 20 日付けの反事において、ライヒは、アインシュタインのアシスタントによって上がる「説明」を完全に払いのけた堂に入った反論と与えられた更なる実験的な状況とアキュムレーターをテストするためのデータを書いた。

そして、

さらにまた、Reich は用心深くアキュムレーターがマウスの悪性の腫瘍に関して生み出した生物学的効果に言及し、これらの実験動物と彼の念入りな研究を概説した。そして、彼の仕事の実験のポジティブな結果を強調した。

また、ライヒはアインシュタインに発見が人類に与えるかもしれない利益の広大さを考慮するよう頼んだ

そして、彼に、彼の無名のアシスタントによってされた一つの「説明」のために、この不可欠な新しいフィールドを拒絶しないようお願いした。

1 月後に、Einstein からのことばはなかった。

Reich は、これが沈黙させることを理解できなかった

アインシュタインは自分で、ライヒを心から熱心な親しみやすさで待遇した。

彼は、すぐに、難しい概念を理解して、明快であった。

彼は、熱の違いを確かめた。（「これは物理学にとって爆弾だ」）

彼は、Wilhelm Reich が馬鹿でもくわせ者でもないことをすぐに理解した。

原始の、核以前のエネルギーの発見は、実在するし、使うことができ、実行でき、質量のない、宇宙エネルギーのある「空の場所 empty space」の理論と取り替えられる。

アインシュタインは、そのような発見は特にライヒの多くの長い年月かかった個人の確認と、彼と科学的な同僚が、それを確立するために続行しなければならないことに明確に同意した。

その時、沈黙していた Reich は、彼が決して送らなかった Einstein に、いくつかの手紙を下書きしていた。

彼は、彼の発見を誰にも「替わってもらおうように押し進める」とか、「売却する」ことを拒否した。

それは Einstein の協力の有無にかかわらず、それ自身の科学的な基礎に立っている。

しかし、ライヒは N. J. プリンストンの Mercer 通り 112 から沈黙の妙なスモッグが発したことを理解することができない。

（Einstein は彼らの最初の会議の 10 ヶ月後-11 月 14 日に Orgone Energy Accumulator を戻したが、Reich が残しておいた Orgonoscope を戻してもらおうのことに失敗した）

Orgonoscope の返送を要請する 4 通の手紙がアインシュタインに送られたあと、

Orgonoscope は返していると忠告するアインシュタインの秘書からのコメントを、1942 年

1月18日に受け取った。

この気がかりな経験の後も、長年の間、ライヒはアインシュタインのふるまいの合理的な説明を見つけることができなかった。

Orgoneの発見は、本当に、科学のあらゆるエリアで多くの持論をひっくり返すため科学的な革命となる威嚇的な出来事であった。

ライヒの研究には、ドイツのブラックファシストとスカンジナビアのレットファシストから起きた不合理な反動があった。

1950年3月17日にニューヨークタイムズに、以下の記事が、でた：

SCIENTIST'S LEAVE STUDIED

## 科学者は研究を残した

アインシュタインの前の仲間はポーランドでもう一度教えることを求める

アインシュタインの元同僚がオタワで求めた、

3月16日ー

下院の野党指導者（ジョージ・ドルー）は、今日の午後

アルバート・アインシュタイン博士の元同僚で現在トロント大学の数学の先生はポーランドの共産政府と協力して（ワルシャワに戻るために）特別の教育プログラムを企てた。

正しい問題を提起した、レオポルト・インフェルト博士を許した

ドルーさんは、インフェルト博士は、最後の発見で得られたかなりの原子の知識を持っていたと言った。（その人はカナダとアメリカ合衆国で難民としての待遇を与えられた）

彼はもしかして、「進歩的な政府は、ポーランドに落ち着いたら」、ヨーロッパに戻ると何度か述べた

そして、彼は昨年の夏そこに帰って、ワルシャワとクラクフの大学で教えたと、ドルー **Mr. Drew** は言った。

現在の、ミスタードルーはポーランド政府の下の教育組織で働くのを許すために、トロント大学から半分の給与を受領することが適切で安息の年を申し込んだと付け加えた。

やって来た事件はとても面白い方法で、我々の将来の行く手に彼らの不吉な影を投げかける。

この場合、影はそれに確かな赤い色合いを持っていた

ライヒがアインシュタインのアシスタントの共産党員の数学者レオポルト・インフェルト、に関する記事を読んだとき、彼は、赤いファシストが彼の仕事を妨げることにもう一度成功したことを確信していた。

ライヒは、「組織化された感情的な疫病」の著作を公開し共産主義の特性を書いたので、熱心な反共産党員であった。

ライヒの同僚の多くは、政治的に動機づけされたライヒの評判を落し、彼の発見を盗むために進行中の動きを信じるができなかった。

この国際的なジグソーパズルの部分がぴったり収まるのには、長年かかった。

パズルを理解するために、我々は **Wilhehn Reich** の科学的な才能とは何かを最初に知らなければならぬ

## 7 章

### ライヒとは、どんな人か？

ウィリヘルム ライヒの発見から、いやがらせ、裁判と最終ラウンドの沈黙までが、完全に約 30 年間後ろに広がっている。

さあこの才能のある科学者と思想家の命と職歴にハイライトしてたどってみよう。

1968 年に、「Allende Letters アジェンデの手紙」という本の中にその著者 Brad Steiger の要望により、私は「ウィリアムライヒの沈黙」の章を書いた。そして、その本は、Steiger と Joan Whritenour によって、Award Books によってその年出版された。

以下の大部分のデータは、Steiger 氏の許可で、その章からとられている。

オーストリア帝国で、ウィリヘルム ライヒは 1897 年 3 月 24 日に生まれた。

1938 年までは、彼はオーストリアの市民であった。

最初民間の学生として教育され、彼はドイツのハイスクールに通って、1918 年に Vienna 大学に入った

戦争退役軍人のように（彼は 1915 年から 1918 年までオーストリア軍の中にいた）ライヒが有能だったので、医学過程のための 6 年のコースをわずか 4 年で完成して、

1922 年 7 月に卒業する。

彼は大学卒業後、内科と神経精神医学での仕事を行った。

そして、依然として健康診断において群れをなす間、彼はジークムントフロイト教授の下でウィーン精神分析協会のメンバーシップを獲得した。

Reich は、精神分析の地平線の上の輝く新しい光として、早くから認められた。

6 年の間、彼はフロイトの精神分析総合病院の最初の臨床アシスタントであった、そして、1930 年まで 1924 年の間に、彼はその機関の精神分析治療のためのセミナーの所長であった。

さらにそれらの初期の年には、Reich は彼の桁外れのバイタリティと科学的な完全性で知られた。

彼の研究の容量は、圧倒していた

本当に「ライヒは、あまりにたくさんのことを発見した」としばしば言われた、片方で総合病院で神経症の社会的原因の研究を行い、彼はウィーン地区（1928～30 年）、そして、ベルリン（1930～33 年）で精神衛生相談センターと設立して、いろいろと指導した。

1934-39 年の間、彼は講義をして、オスロ大学（ノルウェー）の精神医学研究学会 Psychological Institute で、オルゴン生物物理学の研究をした。

# Who Was Wilhelm Reich?

61

Reich は 1939 年 8 月にアメリカに来て、彼の科学的な研究所を Forest Hills (N. Y.) へ動かした。

後で、彼は米国民になった)

1939 年から～1941 年まで (「アインシュタイン事件」の期間)、Reich は New York City にあった「社会研究のための新スクール New School for Social Research」の精神医学 **Medical Psychology** の准教授で、彼が新たに独立して発見した生物学的な宇宙 **Orgone** エネルギーの講義をした：

1942 年に、Reich は **Orgone** 協会を創立し、それは Rangeley, Maine で得られた 280 エーカーの土地に設置された

**Orgonomy** の新しい科学のための家は、適切に **Orgonon** という名前をつけられた。

ウィルヘルム・ライヒ財団は、ライヒの学生と友人 (彼ら医者が多くと科学者) によってライヒの研究を維持することと、原始の、質量のない **Orgone** エネルギーの彼の発見を保護するため 1949 年にメインで設立された

人が人類の全面的な感情障害を理解しない限り、(ライヒはそれを発見し、それを「感情的な伝染病」と呼んだ)

(すなわち、「社会的場面の痛みの神経症的な、破壊的な背信」)、  
読者がライヒの不可欠な発見がなぜ厳しくじゃまをされて、依然としてまだじゃまをされるか理解することは、非常に難しい。

とはいっても、いくつかの重要な事実が、これに続く

若い精神分析医として、ライヒはそのエネルギーを追求し、患者の神経症的な作用の背後を捜した。(フロイドは、それを「リビドー」と呼んだ)

**What is it, he asked, that moves a patient to feel and it express emotion?**

それは何かと、彼は尋ねた、

それは、患者をその感じの方へと動かすそして、それは感情となって表明される？

実験的な確認を通して、ライヒは喜びの期間の間、人間の皮膚表面に、エネルギーの生物電気のチャージを発見した

そして、彼はまた不安の間は、このチャージが縮小し、または欠如することに注意した。

(彼の本「オルガスムスの機能」を参照のこと)

1934-39 年の間、彼は講義をして、オスロ大学（ノルウェー）の精神的な学会で、Orgone 生物物理学の研究をした。

後の実験は、生物学的エネルギーが電気または電気エネルギーではないとライヒに信じさせた、

しかし、それをライフに対して責任がある全く異なるエネルギー

そして、それ自体を生命 Energy と考えた

長年の慎重な調査を通して、彼自身のポケットから出して完全に支えて、ライヒは様々な点で Orgone の存在を、たとえば砂（1939 年）にある「バイオ」エネルギー小囊として—また大気（1940）で示すことができた：

1940 年に、彼は発明した（Orgone Energy Accumulator）に Orgone エネルギーを集中させることもできた。

ライヒは、視覚的に、熱的に、電磁氣的に、それを彼の場の測定値フィールド・メートルとして、そして、ガイガーカウンターで大気のオルゴンエネルギーの存在を示すことができた。

彼のパイオニア的な実験の全ては、慎重にされ、本と定期刊行物で発表され、そのような重要な発見と同時に普通の鳴り物入りの係員なしで静かに加えられた。

Reich の仕事の品質、範囲と影響は、科学、医薬品と社会学の場で、本当に革命的だった。

読者はライヒの研究は実証されもしなかったし、他の科学者に用いられず孤立した変人であったと仮定するが、以下は注意されなければならない。

ライヒの最も大きな科学的な生産性の期間の間に、20 番目以上の最高ランクの医者とアメリカ合衆国と、海外の科学者は、ライヒの発見の確認を多くの科学的な速報と記事を發表した。

かくして、静かに、そして、慎重に、ほぼ 30 年の間、ライヒと同僚は、Orgone エネルギー（我々の世界の核以前の始原のエネルギー）の肥沃な野原を調査した。

1950 年に、韓国の戦争の到来で、Reich は Maine で、必要ならば U.S. の戦争運動において最後まで手伝うため彼の研究所整備をするよう準備をした。

この時に、彼は、Orgone には原子力エネルギーに対してあるかもしれない反核効果の可能性を調査した有名な「Oranur Experiment」を考えた。

後で、ライヒは彼の Oranur Experiment の成功した結果が「モスクワから指示されるスパイ活動の深刻な対象であると告発した

その陰謀は、U.S.S.R のために発見を盗んで、アメリカ合衆国でその発見を抹殺するように指示した：

（41-46 一般の法廷 Record R. の上で『Events の表を見る』

そして、「Wilhehn ライヒ（1958 年 10 月）の訴え要約の付録」

-特に「Oranur に関して伝えられる情報の歴史の記録)

ほぼ 20 年の間 **Orgonomy** に個人的に関係してきたが、ライヒの基本的な実験の多くを繰り返して、私はまだこの男性の「信じられない」仕事に、依然として驚く

63

したがって私は、これらのありのままの事実が **Orgone** エネルギーに接した個人的経験がない平均的な読者には見えないし、見なければならぬことを理解する。

その人は研究のいくつかの主要な分野で、開拓者的な仕事をした一人の人間であった。

彼は、感情的な疾患の研究で得られた重大な発見があった。

彼は、ガン細胞の謎を解決した！

どんな人でも唯一の生涯でそれだけで、1 人の人間にとっては十分だった。

しかし、彼は非常に人間的で、非常に人情があつて、完全に熱心な研究科学者であつたけれども、**Wilhehn Reich** は常人でなかった。

彼は核以前の始原の、エネルギーの発見を行つて、その存在の確証をデモンストレーションした、そして発明され、それを得る手段の研究を実行した！

水で動くことができる自動車エンジンを発明したとして、ジョン・ドウさんに起きただろうことについて考えるべきだ

この惑星が現在政治権力によってコントロールされていることを思いなさい。

そのパワーなしで、政治的に積極的な効果的支配力はありません。

我々の地球は、社会政治場面の上で、**パワー**によって動かされる。

水で動かす自動車エンジンの可能性は、全権力の側面を威嚇する。

世界のあらゆる国はそのようなエンジンがあることを望むが、まさにあらゆる主要な国が今日原子力のために努力している通りである。

世界のあらゆる国が、あらゆる重大な国として今日が原子力のために努力しているような **engine-just** があることを、希望する

したがって、宇宙パワーのフリーなエネルギー源の発見は、この惑星の政治のパワーポリティックスに、どんな効果があるか？

ラルフ・デ・トレダノの本「**The Greatest Plot in History** 歴史で最も素晴らしい計画」

は、鋭いスパイ活動活動を詳細に描写する

それは、アメリカの共産党員の原子の秘密の窃盗に終わった。

**Mr. de Toledano** トレダノさんは書く、

「アインシュタイン博士がルーズベルト大統領に手紙を書いた瞬間から、モスクワのセンターは、アメリカ合衆国が世の初めから最も素晴らしい科学的な冒険に乗り出したということを知っていた：

『クレムリンがアメリカの原子秘密を得ることに死にも狂いで興味を持っていたと思うことは、無責任で単純である  
そして、少なくともライヒの発見を盗む際に、原子力エネルギーが引き出される基層としての **Orgone** エネルギーに関して、等しく興味を持ってはいない  
さらにまた、特に世界米国とソ連の主要な政府が他の惑星での知的な生命と接触するために宇宙探査に携わっていたことも、管理された秘密ではない。

反対の公式の否定にもかかわらず、絶えず増大する数で我々の地球の大気に押し入ってきた **UFO** は、重大な問題を起こしている。

**ライヒの宇宙 Orgone エネルギーの発見は、これらの宇宙航空機の推進力の、鍵を持つ！**

そのような発見は、したがって、外国のスパイ活動の「目標」なのか？  
すぐに、**Reich** の仕事の再審理に戻ろう。

1950 年の **Oranur** 実験は、ライヒを繰り返し彼のメイン研究所を襲った特定の非常に有害な「**DOR**」クラウド（致命的な **ORgone** エネルギーを含んでいる雲）の発見に連れていった。

彼は、これらの **DOR** 雲が広範囲にわたる惑星のかんばつの原因となって、砂漠に発展すると思っていた。

彼は、「**Buster** で曇らせる」ことを発明した彼は、繰り返し、大気からこれらの致命的な雲を取り除くことができた

**Cloud Buster** は、**Orgone** エネルギーの調査の間に、**Reich** が見つけた原則を利用していた；

そして、この **Cloud Buster** で、**Reich** は雨を産み出し止めることに成功した。

このきわめて重要な研究の全ての期間の間に、**Reich** はスナイパーからほとんど連続のないやがらせと襲撃の中にいた。

彼には、絶えず続いていた。

盗聴装置が、彼の自動車で見つされた。

タイヤから空気が抜かれた。

庭の芝生に、くだらないものが繰り返しばらまかれた。

変人からの電話を手にするのが始まった。

そして、1957年に連邦刑務所での死に終わる悪名高い裁判に近付いた

## 7章



# タイタンの終り

惑星の長い人間の歴史の視点から見て、ウィルヘルム・ライヒとオルゴノミー（Orgone エネルギーの研究）に対する訴訟は、疑う余地なくこの地球の幸福へ向かう動きにとって最大の災害の一つであった。

この惑星がもう一世紀生き残っているならば、罪の無い素晴らしい人間を公開の場で匿名の影の中に潜んでいた敵は棍棒で打ちのめしにかかったこの驚くべき単独の闘いを取り囲む事実、医療の学生と 2072 年の法律は完全に精通している。

ライヒはその敵の血まみれの手によることを確信していた

それは、沈黙のうちに彼を絞め殺し、海の全域に広がった彼の秘密をクレムリンから盗もうとしていた。

私自身の確信は、Reich に対する共産主義者の陰謀だという彼の告発は全く正しかったということである。

Reich は、前のノルウェー時代に共産主義者の主要な襲撃目標であった

もともと、Red 赤と Black 黒のファシズムの疫病にとって Orgonomy は、忌まわしい存在である。

Reich の途方もない社会学的仕事である、ファシズムの集団心理学は、ドイツヒットラーのナチから破壊するよう命令された、そして、Reich 自身はノルウェーという田舎に避難することを強制された

彼の本、「Sexual Revolution 性的革命」は、共産主義イデオロギーの基本的な欠点を明かにする仕事、米国でプロの共産党と他の左翼の要素から、一斉射撃を受けた

プロの共産党の初期のライヒへの攻撃を扱った優れた鋭い業績は、

「感情的な疫病対オルゴン生物物理学」、という本で 1948 年に Theodore P. Wolfe 博士によって、Orgone Institute Press、ニューヨークで、出版された（1947 年の運動という副題がついている）

Reich に対する裁判出来事の詳細な説明は、Journal of Orgonomy、第 1 巻、no. 1 と 2 に（1967 年 11 月）、Orgonomic Publications, Inc. (Box 476)、Ansonia Station, New York, N, Y, 10023 で見つけられるだろう

それでは、Wilhehn Reich に対する正式な判決のハイライトをいくつか見てみよう。

禁止命令は 1954 年 3 月 19 日に日付で U.S. の Maine 地区の地方裁判所判事の、John D. Clifford, Jr. によってサインされている。

ライヒには、彼のオーゴン・エネルギー・アキュムレーターと関係して本と科学的論文があるが、薬食品管理機構は、オーゴン・エネルギーは存在しないと「烙印を押し misbranding」た。

手短かに言えば、FDA の禁止命令は Reich が偽医者にすぎないことを示したと、彼は主張した。そして、ライヒが治療できるガン療法から風邪まで、ありとあらゆる公的な疾患は共通に Reich の邪悪な計画から保護されなければならないとする

しかしさらに、Reich の公開された研究で最大の記録は、これらの影響がまったく不正なものだということを証明する

しかし、ライヒの発表された作品の最も粗略な読書でさえ、何冊かは、宇宙 Orgone エネルギーのライヒの発見の数年前に書かれておりこれらの含みがまったく間違っていることを証明する

FDA によってウィルヘルム・ライヒによって書かれた「治療、緩和、予防 または病気状態の処置」を論じた多くの出版物がリストされそして、その後、破壊されたのは以下の本でちなみに、私は、それを全て所有して、長年の間それを研究した

:

ファシズムの大衆心理学 Psychology;

性的革命

性格分析

宇宙スーパーレポジション

エーテル、神と悪魔

そして、キリストの殺害、

これらの本は、多分無知以外のことは直せると主張する！

それでも、FDA の申し立てに基づいて、クリフォード判事は、決して質問はしなかった（なぜ、裁判官は FDA エージェントが「権威ある尊敬すべき男性」以外の何者でもないと思っていなければならないのか？）、

数千部のライヒの不可欠な本、雑誌、速報など、1956 の 6 月と 8 月の間に焚書されたアルバート・アインシュタイン博士が、プリンストン (N. j.) の彼の家で、それを見たのと同じエネルギーである、彼の Orgone エネルギーの機能について、更なる調査結果も広めるのを実質的に妨げる FDA 禁止命令に従うことをはっきりとライヒは、拒否した-

;

同じエネルギーはガンに支配された研究所マウスで腫瘍を解消する際にその効果をデモンストレーションした；そして同じエネルギーは **Oranur Experiment** で原子力エネルギーの致命的な効果は無効にした；

ライヒは同じエネルギーで公的に、そして、公然と雨の量を生み出し、それを止めるために利用した；

そして同じエネルギーをライヒはモーターを動かすために使った

付録 B. i 参照

FDAによると、この宇宙的な **Orgone** エネルギーは単に存在しないし、それも「詐欺と偽りによって得られた」となる、ライヒは **FDA** 禁止命令をまったく不法であると思ったし、真実と事実と明らかに反対だった。

彼は、彼の不可欠な研究が科学的な事実の基礎がない進行過程によって止められるにはあまりに重要だと主張した。

**Reich** は告訴に対する彼の「返答」で、書いた（1954年2月25日の日付）、：

科学的な問題は、裁判所で決めることはできない。

決して訴訟によってでなく、意見の親しみやすい交換において、長い、誠実な、本物の観察によってこれらははっきりすることができるだけである。

原告の唯一の目的は、板門店流 **a la Panmunjom** に **orgonomic** な基礎研究を終りのない、高くつく法的手続きにもつれさせることにある、

そしてそれは必ずしも合理的で人間の社会にとって有用なものを何も達成しない

30年にわたる苦心して念入りに作られ出版された科学的な調査結果がこの管理者を確信させることができないしあるいは、ライフ **Energy** の発見の本当の性質を他のどの社会的な管理者も確信させることができないならば、法廷の訴訟でも、それをどこも決して助けない。彼自身のビジネスに注意するように戻された **Reich** は、本来自然の基礎的研究者であった。

ライヒはFDAが何も知らなかった問題の「被告」として出廷することを拒否した、しかし、FDAは固執して、ライヒの欠場によってようやく勝訴した。

初めから、**Reich** の位置は、科学の問題は信じられる著名で信頼できる科学的な研究者のいる、研究所と、法廷でないものに属するというものであった

アメリカの食物と薬と化粧産業の方向は、米国 **Pure** 純粋食品医薬品局が基礎自然研究でその道程をきめなければならないのではないか

これは、ライヒが、裁判官に繰り返し尋ねた1つの質問であった。

時間もないのに、各々の裁判の前の間に、または、その後、FDAが **Reich** と彼の同僚の膨大な調査結果と矛盾した科学的な証拠を生み出した

ライヒは、FDA 禁止命令自体が彼の発見を盗んで、彼を沈黙させようとした人々の責任と

誠実の欠如を示すと主張した。

彼に命令した FDA 禁止命令にもかかわらず、ライヒは彼の研究ファイルとメモに対して FDA 職員がアクセスすることを拒絶した。

(Orgone エネルギーが存在しないならば、なぜ、Reich の、研究ファイルとメモを読む必要があるのか？

Reich は彼の反重力の研究を明かすことも拒否した。

鎖につながれて法廷に連れてこられたライヒの唯一の目的は、その終わった後、「法廷の記録が全体として悪名の汚名を得る」ことであった。

(全く不必要な手順は勇敢な魂に恥をかかせることを目的としていた)、  
疑う余地なく、Wilhehn ライヒの FDA の起訴の議会調査は、先例のない陰謀と不規則性のパノラマを見つけだしている。

たとえば、ピーター・ミルズは FDA の検察官であるが、当初ウィルヘルム・ライヒ財団、Orgone 研究所、そして個人的なライヒの弁護士であった。

FDA 検察官ピーター・ミルズは、ウィルヘルム・ライヒ財団が作られた時のライヒの自身の弁護士であった。(ミルズは創設用書類 incorporation papers を上に提出するため実際に作成した)

そして、Orgone エネルギーが動力となることを証明する文書を公的に作成したのは、再びピーター・ミルズであった、

ライヒは、そのモーターを動かし、それを組み立てた。

このように、Mills の自身の証言によると、彼は Wilhehn Reich 財団を設立するための助言で、1949 年から 1952 年の財団の弁護士の働きをした

持つミルズは財団の非常に秘密な文書の多くを直接入手していた

したがって、1952 年に Wilhehn ライヒ財団との彼の提携を切断了その同じピーター・ミルズが Pure 食品医薬品局のための検察官として同じ年に仕事を始めたという点は、驚くべきことに他ならない。

そして、さらにまた、ライヒは、FDA 職員ジョセフ・マグワイアが彼の証言で偽証を犯していると裁判所で主張した。

つまりマグワイアの偽証の疑いへの否定に対するライヒの非難である

ライヒは、その巻 (第 41 巻) の詳細な内容、つまりライヒの発見を盗んで、発見者を沈黙させる共産党員の陰謀を知っていた。

米連邦高裁への最高度に速い迂回のための事件移送命令書のためのライヒの嘆願書にある、

ピーター・ミルズの証拠である R. 34854、を見なさい、

United States 裁判所、1958 年、10 月 No.888

FDA 側の、証言者 (Ilse Ollendorff) The FDA's own witness, Ilse Ollendorff, が Maguire が「陰謀」について書かれた本を所有していたと証言した。

Maguire に対するこの告発は、「Wilhelm Reich」 「Personal Biography 個人的な伝記」という本でさらに報告された (Ilse Ollendorff Reich 著 (1969 年に (St. Martin プレス) から出版された) ものによる) :

マグワイアは、外国勢力のために彼の発見を盗む陰謀に熱中していた人々を知っていたとライヒは、主張した。

ライヒは、マグワイア Maguire がライヒの研究所で情報を調査していたことを知っていた、そしてさらに、マグワイアが「U.S.A で動いているスパイ活動組織の一員」が Orgonon (メインの) に侵入したことも知っていたと主張した。

そのうえ、ライヒは、エージェントのマグワイアが Orgone エネルギー・モーターに関する情報についてと、モーターでライヒと働いていた、ライヒの同僚の 1 人 (ウィリアム・ワシントン) の突然の失踪と 2 台のモーターが、鉄のカーテンの後にいなくなったかがわかっていると主張した!

それでも Reich は、Maguire は、これら重要な秘密を盗む陰謀について彼が知っていたことを決して言わなかったことを裁判所に指摘した;

実際、彼はそのようなことを知っていたことを宣誓とともに否定している。

裁判所記録は、明確な言語で意見を述べるようにしている。

法律が許す限り、Reich は彼の敵と戦った

U.S.最高裁判所は、このケースの再審理を拒否した

裁判の間、Reich のケースで外に影響を与えた最大に重要な観点の 1 つは、Reich が UFO に関して行った研究であつたらう。

ライヒは、彼の雲を破壊する機械を夜空の浮かんでいる星-のような物体に静かに向けたことが、少なくとも 2 回あることが知られている、

ライヒの長年の同僚で Orgonomy ジャーナルの編集者で私の友人の Elsworth F. ベーカー博士は、このジャーナルの巻 1 (1967 年) で、以下のようにこれらの事件の 1 つを記述する:

Reich はある晩午後 9 時 00 分頃に、地平線より 40 度上の南西のあたりにある、非常に明るい星を指さした。

私がこれまで見た金星より明るかったという点で、それは珍しかった

ベーカー博士は精神科医と健康診断で個人営業をしているオルゴンエネルギーの研究者 or-gonomist である。

彼は、「人類は罠にかかっている Man to the Trap to be」の著者である。

(Macmillan、1987)

また定期的に色が、赤、青、緑、オレンジ、黄色と白そしてまた赤と一連に交替した  
我々は数分見守った、それから、3インチの屈折望遠鏡で観察すると大きくなった、しかし  
依然として単に、光の物体はそこにあった

我々はそれが固定物と一緒に、北東の方向にゆっくり動いていて、他の星に関係した位置  
が徐々に変わっていくのを見つけ出した。

ライヒはクラウドバスターを試してみた、すると赤い色は3または4分後に、もはや生じ  
なかった。

この後、青、緑、オレンジ、黄色といった色だけが連続し、そして見えなくなっていった  
最後に、残ったのは白であった。そしてだんだん暗くなって行って、それも見ることができ  
なくなった。

秘密にされた裁判記録でにある Reich の事件移送命令書のための嘆願書から得た文章を、  
続けよう

## 砂漠の Ea

1954年5月12日9:40と午後10時45分の間に、私 [ウィルヘルム・ライヒ] は実際に空  
の輝く物体と、クラウド・バスターとコンタクトをした。

人類の科学の歴史で地球上の人間が初めて見たこの時、これらから数回宇宙エネルギーが、  
得られたとき、2つの「星」は、次第に西へ消えて行った  
いつの。

この経験のショックは、1954年10月10日までそのような行動を繰り返さないようにした  
ほどたいへんなことだった。

躊躇の根拠は、明らかに、そのような実験が惑星間の戦争に終る危険があったからだ  
UFO についての [AAF] Ruppelt レポートは、宇宙人によって起こされる問題に真剣に取り  
組む際に、メカニカルな方法が、無力であることを明らかにしている。

彼らのテクノロジーで使っている生きた存在である宇宙オーゴン・エネルギーの機能の宇  
宙法則は私が「汎関数"functional"」と呼ぶもの以外は機械的ではないので、メカニカルな  
科学の把握を越えている。

そして **organomic** オルゴニック的な機能的な事実に対処するのに、技術的に使えるようにする  
古い機械学的な思考方法もこれらの問題を公式化するのに必要な数学的な理論さえも何も  
使用できない

機械学の考えの無力は、UFO との接触した我々の製造する最速のジェット戦闘機飛行機の

悲劇的な欠点に現れている。

不可避免的に引き離されることは、軍のプライドには嬉しくない。

結論は、正しいようである：

メカニスティクな移動方法は、宇宙船問題に対処する際に、とり除いて考えなければならぬ。

プロペラもジェットも、どちらも宇宙空間にこれ以上入ることができないし進めない。

Reich が彼の命のために戦っていた時期（約 15 年前）は、UFO 問題は完全に「公式に」嘲笑されていた

今日ではそうではない。

人は 1968 年に行われた、議会の科学と天文学の委員会の事前のヒアリングを読まなければならないだけである。

政府印刷局によって発表された **Unidentified Flying Objects** についてのシンポジウムというタイトルのこの文書は、ウィルヘルム・ライヒは、他の惑星からの宇宙船の我々の空への侵入に関連した現実と緊急性についての理解において彼の時間のはるかに先に行っていたことを再び明らかに示す。

それでも、UFO に対するライヒの関心が彼が「正気でない」ことを明らかに示しているという噂は、連続的に広められた

何人かの高い能力のあつて高い地位の科学者は、議会のサイエンスと **Astronautics** の委員会に出向いた；

そして、彼らの多くは UFO 問題に対する懸念を表した。そして、我々の政府が完全に問題を探究しなければならないことを示した。

Saga 誌の最近号（1971 年 2 月）は、「核物理学者は、UFO がエイリアンの宇宙船であると言った」という特集記事を掲載した

記事の話題は、「宇宙船装置のための原子力発電所と融合ロケットの研究と原子力航空機の開発のような非常に専門的な分野での 14 年の経験をもつ」科学者（スタントン・フリードマン）で

フリードマンは、記事によると、「この触れてはいけない話題の 11 年の研究に基づいて

UFO の起源が地球外であると、確信している、

空軍が管轄下の本当の事実を一掃したので、エドワード・カンダン博士が、66 歳でコロラ

ドの不十分な空軍 UFO 研究の先頭にたつ代わりに、65 才で引退しなければならなかった。」それから、B.アン・スレートとフリッツ・クロンによる本稿は、「すっかり隠される」か、当局者によって「釈明され続けて」特定の UFO 目撃例を詳しく述べ続けている。研究者ライヒの優れた見解と科学的な完全性という彼の完璧な評判は、非常に重要な質問を引き起こす。

抜群の才能と名声の人ライヒは、なぜ、FDA の禁止命令に従うことを拒否したのか？

E. F. Baker 博士の記事「ウィリアム ライヒ」によると、(Organomy Journal (1987 年 11 月) 1947 年 Mildred Brady によって [ライヒへの] 襲撃が、開始されたーライヒは彼が Soviet Union にシンパシイを持っていたことを知っていた。

## 72

裁判の間、FDA 自体、大幅に、調査中になった、そして、何人かの従業員を共産黨員として放出した。

Organomy と共産主義は、反目している。

共産主義にとって、Organomy は不都合なものである

長い間、ライヒは、Red ファシズムのメカニズムを事実暴露させて、非難する際に、全く声高だった。

ソ連大使館はライヒの本の全てを注文した、そして、テル・アビブのウォルター Illope 博士はロシア人を治療したと報告した

そしてその人は彼らがロシアの若干の病院はアキュムレーターを持っていると述べた。[イタリックは加わった)

ライヒは、なぜ FDA 職員に彼のメモと記録へのアクセスを繰り返し拒否したかその理由について現在、我々には良い考えがある。

1 つの例では、ライヒは違反者を追い返すために武装した警備員を Organon に配置した。

ここでは Reich が馬鹿でも狂ってはいない点に、慎重に注意しなければならない

裁判所によって導入された精神医学的な試験は、Reich を全く正気だと判断した

このように必然的にどこかほかに、狂気の影は、落ちていなければならない。

彼の出版した本「CORE」の中の「2 章、「スペースシップと砂漠の開発」で、Reich はいくつかの仰天するほどの主張をした。

彼は、UFO は自身を駆動するために宇宙 Orgone エネルギーを利用している、そして、宇宙飛行士が Orgone エネルギー関数を完全によく知っていると思っていた。

彼はさらに、宇宙からの人々が核兵器の地球の度重なるテストに起因する大気の Orgone エ

エネルギーの刺激状態を調査することに決めたかもしれないと思っていた

ライヒもまた、この重大な所見を得た：

彼らとの戦争は、常に我々が知っている方法で、される..とすることは、合理的ではない  
我々は、この戦争は静かなものとみななければならない（衛星または惑星の、さらに星の上  
の命の周到な破壊であり、それ以外にも気づかれない、ゆっくりとした破壊する活動があ  
る）

それが目の前にある新しい事実と新しい経験を否定するようにさせるならば、今まで神聖  
なものとしてきたすべての見方も変えねばならない。

木がゴム・ホースのように曲がって、緑の牧草地が砂嵐地帯に変わっているようになって  
人が死んでも、アカデミックな市民の機関はそれを「単にこれだけことだが」または「そ  
のようになっているがといった」と同じ様に説明したとしても、それに気づいているひと  
が誰もいなくても、たった今戦争が、進行しているかもしれない。

要するに、人は、すなわち心が統合失調症患者になりたいと思うと感ずるのが、正しくな  
るかもしれない

さもなければ、戦いの弾丸での犠牲者を守るために撃つ代わりに人は、機械で戦争犠牲者  
から生命エネルギーを非常によくむしばむことができた

それは **Cosmic Energy** の **orgonomic** なポテンシャルによって動く。

73

そして、「我々の惑星はひどいトラブルの中にいると、**Reich** は信じていた。:

生命に対する彼のポジティブな発見と、事実を法廷裁判の公的な記録に入れることを保護  
するために彼をとても勇敢に戦うようにしたのは、この信念であった

このように、**Reich** のたいへんな発見と仕事の遺産と、我々の大気への宇宙船の継続してい  
る侵入に関する彼の厳しい警告を鳴らしたことが人類に残されている：

我々は非常事態に直面している。そして、種としての人類だけの問題に直面しているの  
ではない;

地球の上の **LIFE** 生命それ自体 の原則に、障害があるのである

まるで何も起こらなかったように、もはや我々の小人がつまらない議論は何もせずにつ  
けるようなささいなことにはできない

生物学的で、身体的で、感情的で、宇宙的である総ての存在の深くて重要な変更のプロセ

スの中に我々はいる。

したがって、これらの事実に従って考え始めよう。

裁判所は、まじめに **Reich** の警告をとりあげることが拒否した。

そして、ライヒが禁固刑（彼はひどい心臓病にかかっていた）を決して生き残らないことを裁判官に知らせたという事実にもかかわらず、彼はそれでも有罪と判決されて投獄された。

彼はその、8 ヶ月後に死んだ。

それは彼が釈放されることになっていたわずか1 週前であった。

**FDA** の禁止命令と裁判が、オルゴノミックな作品を禁止することと焚書そして、大きな才能を持つライヒの時ならぬ死で、**Wilhehn** ライヒを沈黙させる状態から離れて、核以前の、原始の宇宙生命エネルギーについてのライヒの革命的発見に、世界的な注意を持ってきた

また、我々の惑星の厳しい砂漠展開は変わらず継続している、そして、**UFO** による脅迫はもはや避けることができない。

**Reich** の研究には、特に彼の **Oranur Experiment** には、「平和な原子」への方法の要点があるが、我々の最高の科学的な心はこれまで避けてきた。

彼の **Cloud Buster** は、全国的な惑星のかんぼつで壊れているところと、世界的な砂漠化の後退のための解決策をポジティブに与えて接近する。

たとえばアメリカの1 台の **Cloud** バスターは、アポロ1 号の上の黒い雲が空中停止しエンジニアと物理学者がどうしようもなく傍観する間に、離陸を30 分以上延期したが、簡単にその雲を取り除くことができた。

北西部のいろいろな位置の一つ以上戦略的に配置された **Cloud Busters** は大火を消すことができ、素晴らしい森を毎年壊滅させることを防止する。。

ウィリアムライヒは沈黙することは、しなかった。

真実と正義を尊重する公的な法廷記録と勇敢な男性がいる限り、ライヒの仕事は隆盛であり続ける。

真実が出てくるのが、単に遅れるだけだった。

どんなに来るのに時間がかかっても、裁判官は目隠しを必然的に除去しなければならない。

# 9 章

## オーゴン・エネルギー・アキュムレーター

人は、したことの無い経験に関しては、耳をもたない。ニーチェ

私が最初に **Orgone Energy Accumulator** (以下「**oraccu**」と記載する) を見た時、私は露骨に軽蔑して見ていた。

中に席のある、小さな電話ボックス以上のものとは見えず、電氣的接続コードもなく、装飾的なクロムの握りもついていなかった

これが、優れた何を行うのか？

それはほぼ 20 年前であった。

その時から、長年にわたって継続的に使用することで、この素晴らしい発明品についての私の敬意と賞賛は、着実に増加していった

**oraccu** は私の健康を守り、絶え間ない友人となり、私の医療費を数千ドルも節約した、他にそんなような存在を私は思い浮かべることができない

私の使用した最初の **oraccu** は、活動している医学的な **orgonomist** である医者によって、処方薬として得られた。

長年にわたって、私は私自身で造った他のものがある。そして、**oraccu** 毛布、ローカル・アプリケーションのためのいろいろなデザインの **Orgone** エネルギー「発射装置」と植物による実験的な研究のための **oraccu** 装置が含まれている。

このことは、**oraccu** に関する技術的な議論としては意味がない。

実験データのようにしようと願う人々は、参考文献で言及された文献について述べる。

オーゴン・エネルギーは、我々の惑星の上の我々とすべてがその中にいる原始の、質量のない宇宙生命 **Energy** である。

最初それは **Wilhelm Reich** 博士によってノルウェーで 1936~1939 年に発見され客観的に確かめられ、それ以降米国で **Reich** と同僚によって研究が行われた

**oraccu** は、我々の大気で生命 **Energy** を集め、蓄えて、科学的で医学目的のために使うことができるようにするために、**Reich** によって発明された。

**Orgone** エネルギーの特別の色は青いか青っぽい灰色である、しかし、その集中と刺激の様相によって色と、形が変わる。

オーゴン・エネルギーは、すべてに浸透するだけでなく異なる速度に上げることができるしかしそれは至る所に存在するが、集中と質でかなり異なる

が、金属的な物質は最初は吸収するがエネルギーを速くはね返すことを発見した。

このように、**oraccu** と全 **oraccu** 装置の製造を決定する基本的な原則が生まれた。

基本的な oraccu は単純な 6 面四角である。そして、その全壁は正確に同じ方法で建設される。

各々の壁で最も外側の層は、有機材料で造られている。(例えば木材または人造壁板 (セロテックス Celotex) が張られている)

内部の、金属的層は、薄鋼板か鉄のような硬い網(ワイヤーメッシュ) (ふるい) でできていることもある。

吸収する層 (有機的な層) とはね返す層 (金属的な層) 使われる材料の、タイプに関しての注意点に注意しなければならない。

医学と科学的な目的のために、Reich は最高の金属的材料として鉄を勧めた。

彼は他の金属、たとえばアルミニウムは医学目的のためには有害だと思った

また有機材料は、湿気を吸収する能力と同様にエネルギーを吸収する能力が、異なる。

そして、吸収された、オーゴン・エネルギーは、水を強く引きつける。

したがって oraccu は、湿っぽい雨の日には、乾いた日のように Orgone として大気の湿気を吸収する役割を示さない。

一般にも、気象的な状態と地理学的位置は、oraccu の効果にかなり影響する。

特に oraccu の「一層は外側は有機壁にし、内側は金属の内壁にして、階層化」して構成していく。

私は、実験的な目的のため oraccu 装置を 10 層まで、造って、植物に使ってみた;

しかし、Reich は正確な医学監督なしに医学目的のために 3 層より強い oraccu を使うことのないように警告した。

有機層と金属的壁を重ねて層にすると、oraccu の外側から内部への Orgone エネルギーの流れの方向が確認され、Orgone は集中し、周囲の大気に等しいレベルよりは上になる。

オーゴン・エネルギーは、ポテンシャルが弱いところから強いところへ流れる (電気の流れとは逆である)

このように、oraccu の中の人間は、彼自身の organotic なシステムが、エネルギーを引きつけ oraccu よりポテンシャルが高くなる

特別な生物エネルギーレベルが、個人の、主観的な知覚に感じられる前に、通常 oraccu の中で数週間または何ヵ月間か、毎日 30-80-分席にすわる。

私のケースでは、私が暖かさの知覚を感じる前、2、3 週間毎日 30 分使った、そして、私の皮膚の上にちくちくする痛みが出てきた

皮膚を透過できる前にエネルギーが最初に衣類によって吸収されるので即時に効果がでるために oraccu で衣類は軽いものを着るか、あるいは、着ない、

ユーザーの Orgone エネルギー準位は、oraccu のエネルギーと相互作用するために、最初

にレベルは十分上げなければならない。

私は、体に典型的な暖かさとくつろぎと「輝き」を感じた、

そしてそれは「何かが起こっている」というおなじみのサインになった。

この暖かい明るさの縮小と暖かさが最終的に停止していくことは、生物には何も起こっていないことを、「十分」示めていた。

私は最初、**oraccu** で読むために、小さな電灯（7.5～15 ワット）を使った

私が主観的な感覚をよく知るようになってからは、**Orgone** エネルギーへの恐れが次第になくなっていったが、同時に私は我々の世界にある真っ暗闇に座って光が回る、この生命エネルギーの視覚的サインに徐々に気づいた。

私は **oraccu** の「暗闇」に何百時間も、いることで、流線を描く、おもしろい波動が手や、指先、面前と体の回りに遊んでいるのを見た。

私が「より良い状態」のとき（つまり、リラックスして拡張されたと感じるとき、）、私はエネルギーとの優れた視覚のコンタクトを得ることができた。

私が収縮を感じた時は、心配で、そのようなコンタクトは難しく、こわがらせた

私が医学的なオルゴン研究者の管理の下で私の最初の **oraccu** を使っていた点に注意しなければならない。

毎日連続して、使い、1年の後、私は以前にもましてより強くてより生きていると感じるようになった。

私の頻繁に感じていた寒気は、はるかに厳しくなかった；

私の慢性乳様突起炎 **chronic mastoiditis**, (それを私は幼児期から持った) は消えた、そして、私は優れた健康を楽しんだ。

その使用と経験の中で私の **oraccu** への興味と敬意は、増大した。

私は小さな **oraccus** を造って、ライヒの研究を繰り返すことを開始した！

**TO-T** の実験で、それはすぐに **oraccu** の表面より上は一貫してより高い温度をデモンストレーションする。

私は、それでオルゴノスコープ~**an orgon-oscope** を造った。

私は何ヶ月間、脈と体温の記録をとった (**oraccu** を使う5分前に、また輝いて体熱の上がる期間の間、私の脈拍数と体温を書き留めた)

私の脈拍数がへって、より強くなる間、輝く熱を感じ、同じように私の体温が華氏 1.5 度非常に上がるのを見つけた。

私は **Reich** によって発明された内部に、つまり綿とスチールウールの層と金属的な層を交替させて巻いてある、中空の **B X** ケーブルを使った小さな「照射」チューブを造った。

これらは、私はローカル照射が切り傷と、やけどに非常に役立つのを見つけ出した。

最も単純な救急の照射はガラスの試験管から成り、ゆるくスチールウールを詰め込まれて、

多量の綿で栓がされている

私ののどへの何回かの試験管の 30 秒照射は、開始した咽喉痛を追い出すのに成功した。そして、私の歯と歯肉への毎日の 1 分の照射は、私が毎年苦しんだ歯の空洞の数を大いに少なくした。

第二次世界大戦と朝鮮戦争に元米海軍病院衛生兵として 4 年以上の現役勤務があり、私には、傷と負傷、(火傷)感染症-治癒の普通の処置と方法に接したかなりの経験があった。私は個人的に知っている多くの人の傷とやけどに私の照射を使ってみたが非常に優れた結果を得ている。

エネルギーの吸収を助けるために火傷（凍傷を含む）にワセリンを最初に塗り--そして、火傷のひどさによって最初 3~5 時間は、毎時 15 分、傷口から、1 インチ上から照射した。

まず最初に、痛みは完全になくなり、力を戻す。そして、各々の連続した照射で徐々に傷は減少する。

1 日目以後、私は毎日 3 から 5 回それぞれ 15 分の時間、傷への照射処置を継続する私は通常は、めったに、第二級さらに第三級の火傷に付随する痛みと不快を経験しなかった。

治癒するときは、常に急速で完璧なものであった

何年か前の、冬にアラスカのハイウエイ Alaska Highway をドライブしている間、私は凍傷で苦しんだ。(その年の、その時の旅行は、決して勧められたものではなかった) 感覚が完全になくなり、2 本の指の先端は、白くなった、

3 日後に、私は試験管の照射装置を指先に当てるのを開始した; 処置の 2 日間後に、指に通常の色と感覚が戻った。

切り傷と打ち傷に関して、私は Orgone エネルギー照射と照射を受けると、これらがより速く治癒するのを見つけた。

私は最初、15-30 分の照射の後、普通の消毒剤をつける。

そして、手がすぐ使える状態に巻いて、私は 15 分の間（毎日 3~5 回）傷を放射にさらすのを継続する

かつて、金属店で働いている間、私はこすり落す器具で私の親指を切り裂いた。

裂傷は縫合を要求した、そして、私が病院から戻ったとき、私は私の親指の上すぐに照射をした。

私は海軍で小手術がかなりの行われた、しかし、私はこの裂傷がこれほど速く、そして、きれいに治癒するのを唯の一回も決して、見たことがなかった

常に 3 日の間の何回もの装置での照射で吹出物を含めて部分的な感染症が、生まれたあと、

縫合は除去された。

私は oraccu (箱型または毛布) による、Orgone エネルギーの体への完全な総体的な、照射が私の感染症への抵抗を測り知れないほど上の方に強めることも発見した。

また、私は、毎日決まった、Orgone エネルギーの全身照射には寒けに対して他に代わるものがない保証となるのを発見した。

しばしば、私が寒けがやって来たと感じたとき、何回かの長期間 oraccu に座ることは冷えた徴候を完全に抑えるか、最小にした。

私は、少なくとも 4 回の出来事で寒さの徴候がおよそ数時間完全に連続するのを経験し、その時間の間、30 分間隔で oraccu を使った。

家内と私が最も近い医者から数マイルある、アラスカの荒野に住んでいたため、我々が行った最初の 1 つは、oraccu を収容する木の小屋を造ることであった

我々は我々の継続された健康のために oraccu に依存した、そして、我々の犬と同様に自身の上にも当然の事として照射を使った。

犬は、我々のエリアにたっぷり育ったとげが多いハリブキ針落 devil's-club で、しばしば切られた

高さは 1m くらいになり、茎には針状の刺が密生する。葉は茎に互生し、直径 30-40cm の掌状になり、葉柄にも葉脈にも刺がつく。

そして、我々の犬の友人は、不注意な観光客またはハンターによって投げ捨てられた壊れたビンの被害者でもあった。

私は、小さな oraccus で多くの植物がコントロールされた植物より速く、活発に成長するのを見た。



oraccu と個々のユーザーとの最高の交互作用のために、oraccus が体から多くてもわずか 2、3 インチのところ、物理的な壁がなければならぬ点に留意する必要がある。

私はかつて、ペットの猫のパーソナルな家となった 1 立方フィートの oraccu をすぐに造った。そして、その猫のために、私はふたを開けたままにした。

彼を見守っていて面白かったのは、彼が必要を感じたときはいつでも、彼の oraccu にとび込み、ちがう時は、あくびをするためにその中に座った、そして、エネルギーによって彼のたいへん魅力的な熱烈な目があつた。

私が年を認識している年をとったシェパードは、私の作った oraccu 毛布をしばしば分け与えた、私が彼を私のそばに横にならせるまで鼻から毛布の下にもぐった。

oraccu 毛布は、単純で造るのに簡単だ

大きなウールの毛布は (何枚かの毛布を合せたものでも、適当である) 一般に窓を掃除す

るために使われるトタン・ワイヤメッシュ galvanized iron wire mesh を間に挟んで階層化される。

これは、プラスチック製のシートが覆うことが後につづく

(防湿層として建設業界で使われる)、

そしてまたもう一つのシートが覆う。

毛布は端のまわりを太い糸で簡単に縫われ一緒にされるか、特別丈夫な銃で動かないように固定して留めることもできる。

私は通常およそ 3×6 フィートの毛布を使用する。それは別のものを覆いカバーするのに使う。

毛布は、箱方の oraccu より、いくつかの利益がある。

はるかに簡単に、容易に輸送することができる;

外へ運ぶことが簡単にでき、造るのに費用がかからない

ほぼ 20 年間 oraccu を使ったことで、私にいくつもの価値あることを教えた。

oraccu は機械的でなく、機能的に動いていて、生きている有機体がそうするのと同様に気象における変化に反応する。

生命が、「収縮する」日には、oraccu の感じは同様に収縮する、そして、私がそれに反応するまで長い期間が必要である。

透き通った、きらめく日には、oraccu は強くより早く敏感になるのを感じる (それは、この惑星で不足している状態に思える)

空気と生きている有機体で Orgone エネルギーが動いているので、

たとえ oraccu が生命に悪い効果または生命に反する効果を同じように与えたとしても、Orgone エネルギーの質を変えている。

高電圧装置、ラジオ-放射性物質、テレビ、蛍光、有害なガスと化学製品などを (ラジウム・ダイヤル・ウォッチと時計を含む)

どんな oraccu device の近くと中で決して使ってはならない、

または、人は最初に医学的な organomist に相談せずに

X 線処置をしている間も、どんな薬物でも服用している間も、oraccu を使ってはならない。

ユーザーは、彼自身が oraccu を軽く見てそれを使いすぎたり、テストすることに常に用心しなければならない。

私は、oraccu を決して日に干さなかった人や、または、oraccu 装置を息が詰まるクロゼットに 1ヶ月しまい込んでいた人々を知っている。

そのような家には、Oranur に特有の生命に非常に危険な緊迫した重さが、常にあった。

核実験の前後のすぐの期間の間、私は、使うことができず、通常の換気または外へ曝すことを要求する私の反発状態の oraccu を見つけ出した。

oraccu は、どんな地域でも不規則な間隔で現れる有害な DOR 雲 (致死的なオルゴンエネ

ルギーを含む曇)に、強く反応する、

そして、DOR 雲をライヒは我々の大気の UFO または宇宙航空機と結びつけた。

DOR 雲は、空が汚く、ダークグレイ-で黒い汚れのように見える。

これらは、私に細かく切られたスチールウールまたは空で『吹き飛ばされた雲』の一陣の攻撃を思い出させる、」。

これらは息苦しさの不潔感を与えて、吐き気を催させ(文字通り)、人に死の感覚を与える。

『DOR 雲がエリアを襲うとき、人は大気、葉、木そして野生生物からきらめきが出ていき放棄して出てくるのを見ることができる。

動物は、特に、ゆっくりと動き;鳥は、低く飛んだ。

そして、あなたはいつもより道の上でより多くの死んだ動物を見る。

DOR は酸素と水が不足し、その宿主であるホストが消費するのに必要な酸素と水を得るために、植物、岩と人を攻撃する。

Oranur または DOR の段階の間、「何本かの中空の BX ケーブルによって oraccu を接地することで、高くチャージしたものはまた腐りかけた、破壊的なエネルギーを吸いあげる』る」ことが望ましい

それは oraccu (または毛布)の底からバケツ 1 杯分の水に通じている。

望ましくは二、三日ごとに、定期的に水を変えなければならない。

現在、私は oraccu をよく知らない人には理解のため慎重なことばが必要であるのを感じている。

シリアスな研究者は、ゆっくりと、そして、用心深く研究することによって、そして最初に検討することのできるすべての文献を研究することで自分の方針を見つけ出す。

Orgone エネルギーの研究では、我々はしばしば原子力エネルギーよりこれは強力なエネルギーであると述べている。

オーゴン・エネルギーの機能は遅く、段階的である。そしてゆっくりとした、雲の形成または植物の開花においてわずかな段階でしばしば稼働する。

そんなんですべて新しいステップを踏み出すよう試みる前に、常に忍耐強い観察者であるよう努めなければならない

oraccu は、他のいくつかが持っているような無意味なインチキ製品を特徴づけたようなものでなく人類の病気に奇跡的に作用する万能薬である。

後の Theodore P. Wolfe 博士は「医学の歴史で変えることが出来ない最も重大な発見の一つと言ったが、それは、自然科学で素晴らしい業績を意味している。:

この発見を恐れ、それを憎悪する、または貪欲から破壊するか、不正使用する人々から保護するためにその領域の機能的な法則を理解し、その科学的で医学可能性を観察して、人

類を導くところへ進める、科学的な理解力がある人々に oraccu は依存する

## 注：

この本のための手書きが完成したあと、Barbara G. Koopman, M.D.、と *Orgonomy Journal* の仲間の編集者と医学的なオルゴノミスト *orgonomist* によって研究の再審理をした。

この章についての彼女の意見は、適切であったそして、私は彼女に対して感謝する：

あなたの Orac の所見のためには [オーゴン Energy Accumulator] を「1回かまたは2回は更新しクリーンにする必要がある：

治療例のため、毎日 30-60 分座る処方が多分あまりに多いだろう

(Dor を含んでいる平均の都市大気では、完全に禁忌的な症候が示されるだろう)

また Dor そして、過剰チャージを抜くためには、それを水の中に接地するとき、

我々が当初考えていたより、変化させるためにずっと頻繁に、水が必要である。

# 10 章

## 信頼性についての疑問

アメリカと、海外の 20 人以上の高い能力のある医者がいろいろな見地から、彼らの患者の処置において Orgone エネルギーに関して述べたことについて書いた記事がある。

これらの記事の多くは、Orgonomy のパイオニア的な研究の歴史で、または、医学的な Orgonomy の記念碑である。

1956 年に、この大量の重要な研究は、FDA エージェントの命令で、燃える炎によって燃やされた。

気まぐれな愛人を率い、機知に富んでいることが賢いことだと思って、うぬぼれ屋によるそれとない皮肉によって世論は、何とか回るだろう

悪意のある噂に憂き身をやつす、ずさんなジャーナリズムと社会は、猥褻なもののためと煽情的なものに、これまで飢えを示し、新しい発見に関することの破壊的な同盟者としてしばしば統合していく。

いつの時代も偉大な男性も女性も、誤解の黒い泥沼そして、嘲笑に直面した

ソクラテス、キリスト、ジョルダノー・ブルーノ、ガリレオ、センメルヴェイス・イグナーツ Semmelweiss、フランツ・アントン・メスメル、モーツァルト、ヴァン・ゴッホ、フロイト、キュリーなどなどは、各々の自分自身の道で追放された者であった。

センメルヴェイス・イグナーツ Semmelweiss、消毒法及び院内感染予防の先駆者とされ、「院内感染予防の父」、「母親たちの救い主」と呼ばれている

そして塩素水による消毒が産褥熱を激減させる事を啓蒙しようと数々の病院をまわりますが、センメルヴェイスの指示は半ば強要や脅しに近いものであったため、同業者も門前払いし、医学会もセンメルヴェイスを危険人物扱いにしていた。

1865 年、ウィーンの皮膚病学者フェルディナンド・リッター・フォン・ヘブラーに率いられた医師の集団が、嘘の説明でセンメルヴェイスを精神療養所施設に呼び出す。異変に気づいたセンメルヴェイスが逃亡を計った際、集団から殴打を受けてその時の負傷が元になり同施設で死亡。

センメルヴェイスの説が受け入れられなかった最大の理由は、「患者を殺していたのは医師の手である」という医師にとって受け入れがたい結論にあった(当時、センメルヴェイスの論文を読んだ医師が自殺するという事件まで起き、説を認めることは医師が大量殺人を行ってきたことを認めることになるからであった)。また、彼自身が論文を書くのを苦手としたために、研究成果を論文

として発表することが大きく遅れた点も不幸だった。それでも、スイスの雑誌に発表した論文がイギリスの外科医ジョセフ・リスタ  
一に読まれ、手を消毒することで細菌感染を予防するという消毒法がもたらされた。

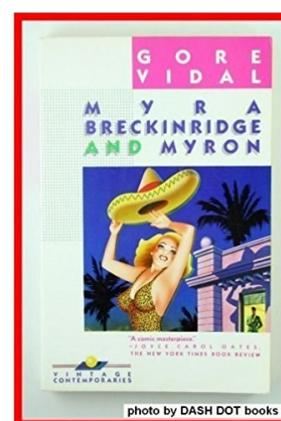
1889年、ルイ・パスツールが科学会議の席上において「センメルヴェイスが消し去ろうとしていた殺し屋とは連鎖球菌である」と発表  
した。

「マイラ・ブレケンリッジ Myra Breckenridge」のような本が数百万部で売れることができることは、現代の標準である間に、  
ウィルヘルム・ライヒによって「オルガスムスの機能」と題名を与えられた本が、FDAI  
のエージェントによって禁止される。

同時に彼らの泥沼から助け出すことができた不可欠な情報に彼らが背を向ける  
間、数百万人がポルノを支えることは、吐き気を催させて恥ずべき事実である。

「オルガスムスの機能」というウィルヘルム・ライヒによる、題名の本が、FDAI  
のエージェントによって禁止される間、マイラ・ブレケンリッジのような本が数  
百万部で売れることができることは現代の標準である

同時に彼らを彼らの泥沼から助け出すことができた不可欠な情報に背を向ける  
間、数百万人がポルノを支えることは、吐き気を催させて恥ずべき事実である。



つまり、人は単に善悪の間の違いを知らない。そして、健康で、病気である、(ゆ  
がめられ、変調された人である *distorted, modem man*)

きれいな水と不潔な水を選択をするとき、100回出されて99回  
一般市民は不潔な水を選ぶ。

または、きれいな水だけあるとしても、彼は水につばを吐くか、他の方法で汚す。

我々が健全であるものと病人のはっきりした違いを理解しない限り、この惑星をトータル  
な絶滅から守るのに何が出来るだろうか？

これらは厳しい言葉だと言うことを、私は知っている；

しかし、これらは辛辣であるが、重大な意味を持つ時間である

20世紀に Wilhelm Reich と彼の「オーゴン・ボックス」についてそのあたりに書かれた中  
傷的な記事によって何百万人ものアメリカ人は、興味をそそられた。

数百万人は死んだ、そしてこれからも、Reich 博士の仕事について理解する力が及ばずに、  
数百万人以上が死ぬだろう。

それらの人の死が、目的のない、役に立たないものであるとき、その時、多くの人の死が  
そうであるように、役に立たない無駄死になる

時間は過ぎ去っていくものだが、今や、我々にとっては時間が足り無くなっている。

カクテルパーティーで Reich と彼の「木の実の香りがする考え」についての気のきいた暗

示は全て、その辺に忍び笑いを引き起こす；

Reich の「セックスボックス」があるという国家的な敵意を持った話は全て

その辺でそれとない皮肉となる；

精神医学的なセミナーと医学総会室の閉じたドアの後で、すべてが悪意を持って知らぬ間に弱らせていった。

全ては偉人を「ひきずり降ろす」ための陳腐な笑いである

「ニューヨーク・ポスト見出し「Orgone による治療、2 年の懲役刑決定」—

この不潔なゴミの全ては、彼自身の汚染であり、人間を圧迫するためにもどってくる)

我々がもっている汚いしずくから出てきたしずくは、我々の生命と創造力の源泉を汚染する。

我々はある日、機械式携帯無線電話以外の何物でもないおしゃべりなならず者の中で、違いを見分けることを学ばなければならない。

(質問を彼にして質問で、彼の意見を得て彼の知識と実際的な仕事を、知る)

ある日、ライヒが予測したように、我々は彼らの感情的な表現で、生命の死因と生命を保護する者との間の違いを見分けることを学ぶ、つまりどんな良い森の住人でも破壊的なへビと良いへビの違いを知っているように人間は、ジャングルの中で、(我々の「文化的な」ジャングルを含めて) 単純な善悪と (健康と病気と) 合理的なもの和不合理的なものの違いを知らないと、長く生き残ることができない。

すぐに違いを知り始めて、明確な相違点を知る 1 つの方法とは；

事実と真実の間で、事実と、真実について、意見を対比することである。このようにして社会はやっと手に入れた事実の基盤の上にたって前進する。

これは、自明なことの繰り返しなのでまるで価値がないように見える

あなたは、単なる意見に基づいて、航空会社や、トロリー式市街電車、教室、法廷、そしてビジネスや家庭を動かすことはできない！

それは、全く、自殺的で愚かなことである。

そして、現在、我々の惑星の全ては、そのような自殺的な愚かさや恐ろしい症例で苦しむ。

どうしたら、我々はこの自殺的な混乱から外に出られるのだろうか？

毎日正しい判断力がない人間の愚かな例に関連して、我々がこの状況から離れて外へいく道が無いところで、

ライヒは、現在の危機を通して現在の混沌の外につながるドアに我々が行くのを援助するために、最も重要な洞察の先端部分の1つを与えた：

Semmelweis 博士の消毒法の発見に関する誤った意見は、何十万人もの母と赤ちゃんを殺した。

意見が合理的であるためには、意見-提供者は、少なくとも彼が非難する男と同じくらい多くこと、そして

彼が批判する研究または彼が批判する技法を知っていなければならない。

すぐに、どのように、根拠のない、偏った意見が優れた人と、彼の研究を破壊できるか見よう。

私に関連する事件は、多分何百かある多数の類似した事件の中の、わずか1つで、Wilhelm Reich と彼の Orgone の発見が敬意を呼び、同時に1滴1滴、毒を入れられた世論が作られた。

しかし、この場合、携帯電話のオピニオン・メーカーは、達成するために用意したことを達成しなかった

1962年12月に、私の友人 Oscar Tropp, 医学博士（前は軍精神科医で医学的な orgonomist として活動していた）は私に American Humanist Society の会議に出席したいと思うだろうと示唆した、このソサイティの New York 支部は、その月、いろいろな進行中の受けられる一連の講義のスポンサーになっていた

特に面白い講義は、12月16日に予定されていた。

「New York City ニューヨーク市にあるいかがわしい医学装置」という講義は、Irving Witlin 博士によってされることになっていた。（彼の博士号は、法律部門のものであった）

ヒューマニストソサイティ Humanist Society によって郵送で発表された：

今日の、人々はメスマー-Mesmer の時代より、進歩しているか？

国の「未発達な」部分は、我々の騙されやすさを笑うことが出来るか？

Education Department 教育文化省の管理者 Witlin、は、ニューヨークシティ NYC の食物と医薬品の保険局の官僚と、性的な力と、関節炎、性格欠陥と狂気を改善する今までと異なる装置であるオーゴン・アキュムレーターを議論する。

メスマーは、依然として生きている。

しかし私は、『Mesmer メスマーは、依然として今も生きていることを知っていることに満足している者であった』

私は Franz Anton Mesmer 博士の基本的な研究を翻訳し、出版した。

私は長年の研究を通して知った Mesmer が Reich の発見に全く類似した概念と方法でつまずいたので、メスマーへの私の興味は私の Reich への興味と同時だった。

実際、私に Mesmer の研究を調査させるよう導いたのは Orgonomy についての私の知識であったがそこに、私は Mesmer のように Reich も、嘲笑に苦しみ、亡命と最終的に悲嘆があったのを見つけ出した。

彼の研究の進展の経過を再現することなど気にすることなく、彼の同時代の人は、さんざん彼を中傷した。

メスマーは彼の人生で催眠術を 1 日として行ったことは決してなかったが、今日まで、彼は「催眠術の父」と考えられている、

彼は本当にパイオニアでその不可欠な治療技術がほとんど知られないままなので、私は論文でその主題をあつかった、

オルゴノミージャーナルの巻 1 の「感情的疫病対動物磁気」にそれは書かれている

そんなことで、私には特にそのレクチャーを受けたいと思う理由が 2 つあった、そして、私に Tropp 博士が知らせてくれたことに感謝した。

日曜日の夕方、New York City のグリーンニッチビルで、私はレクチャーホールに最初に入った。

ヒューマニストソサエティの New York 支部によって使われる殿堂は 100 人の人々で、一杯になっていた。

Witlin 博士（眼鏡をかけたがっしりした、精力的な男性）は、早く到着し彼の前のテーブルの上に一抱えの変った装置を持ってきて、装置を神経質に配置していた。

Witlin 博士（眼鏡をかけたどっしりした、精力的な人）は早く到着し、彼の前のテーブルで一抱えの新工夫と装置を神経質に準備をしていた。

彼は各々の装置を設定し、彼は奇怪な器材の各々の部分を笑い飛ばしながら単純な説明をした。

これらはプラスチックの、カップのような装置を含んでいて「破産のディベロッパ―開発者」と言った

それは彼が作り出した銅のプレートと（7.50ドルの値段の）「電子治療的なブレスレット」であり、そして「療法関節炎に」ショックを与えたと、彼は、言って笑った。

これは、「携帯用の電流計」に繋がっており、彼は誇りをもってそれを、「現在我々は、これを使用できないように取り上げた」と言った、（この「我々」とは Department of Health を意味している）。

この非公式の冗談を言う時間は、明らかに、Witlin 博士の正式な講義の舞台のムードを設定するために使われていた。

Humanist ヒューマニスト総会の議長をしているメンバーから正式に紹介された後、

Witlin 博士は、変わった装置が積まれた彼のテーブルについて言った、

彼の話の後、気にかかった人は、これらを検査するかもしれないと述べた

彼は部分的にメモを参照し、部分的に即興的に話した。

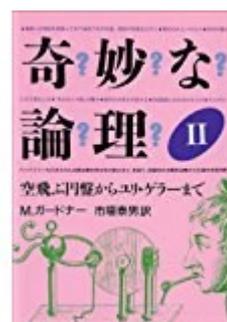
Witlin 博士が彼の正式な講義を開始するとすぐに彼が言っていたことの多くがマーチン・ガードナーによって 1957 年に発表された「サイエンスの名でされる流行と誤り Fads and Fallacies in the Name of Science,」という、ドーバー出版の本からだとは私は認識した。

運命の奇妙な気まぐれで、私はまさにその時、この本とガードナーによって書かれた他の本を数日調べていた。

私は 5 番街 42 番ストリートの公立図書館からの、Gardner の「Fads と Fallacies」の書評を書くという強い要請があって、私の宿題に没頭していた。

Witlin 博士は、彼の主題を暖めるためにフランツ・アントン・メスメルを古本屋の棚をすし詰めになっている手っ取り早い売上のために 2 冊で 15 セントで売られている薄っぺらなペーパーバックで見つかるようなものとして中傷的に常に歪曲して言及した。

そして Witlin 博士の講義の最後の部分は、もっぱら Wilhelm Reich とオーゴン・エネルギー・アキュムレーターに捧げられた。



彼の全ての講義を通して、Witlin 博士は、Gardner の Fads と Fallacies によって用いられたずるかしこい示唆（グロテスクで怪奇な人物として、「冗談を言って」屈辱的に表現することの連続）と同じ戦術を使った。

とりわけ、Witlin 博士は、「Reich は、ナチスとコミニュストによって外へはねつけられた」と言った！

（私は私自身で、否定し非難すべきことは、そこにありますかと聞いた？）

彼は Reich の仕事を他の「正気でない人種的な理論と関連させようと試みた：

『(Reich の仕事を少しでもまじめに研究をした人は、誰もが声に出すことができないような露骨な嘘である

他にも Witlin (博士) は歪曲し誤ったことを言った：

1- Reich は、「性的な衝動の完全に、拘束されない放出」を主張した

これは 1947 年という昔にプロ共産党員支持者によって口にされ、Witlin によって Gardner の Fads と Fallacies、第 2 版の 250 ページから再び取り上げられた同じ中傷的な子供だましである

2 Witlin 博士はライヒを奇妙な変人、tivent queer と言った

法律を勉強した人から出た素晴らしい意見である-

3-

「ライヒは org オルゴンエネルギーを発見した。そして、それは色が青くなければならなかった：

4-Reich は「バクテリアを破壊することができる、臍に挿入するチューブを発明した。

これはひねくれた真実である。そして、ライヒを、再び、若干の「狂った性的熱狂家」のように見られるために文脈から取り出された°、

「56 ページのパンフレット（「Orgone Energy Accumulator :」）でライヒが言ったこととして見つかる

それは Orgone エネルギーの特別の疾患症候群に関して医学的使用の性質を実験的で科学的に議論する。

このパンフレットでは、臍のバクテリアがスチールウールで満たされたガラスのパイプで照射を受けた後に、静止したようになるという事実への言及が、1 つある。

Reich は、パンフレットで、血球、組織、器官、傷、怠惰な人 bums、その他の上に Orgone 照射の結果を解説する

それでも、Witlin 博士は性器について得られた一つの言及を掘り出して、歪曲的にこの一

つの言及を引用する！

そして、彼らはライヒを「性的カルト」のリーダーと呼んだ

5 「マイケル・シルバート博士（ライヒの弟子）は、銃で自殺した。

もう一つ別の虚偽の陳述。

FDA の Orgonomy に対する共同被告である Michael Silvert 博士は、Reich の前に刑務所から、解放されて、銃を使うことはなしに、自殺した。

6、『Reich ライヒは、彼の弟子を彼らの持っているお金から切り離す方法を見つけ出した：

『これは 200 年前にメスマー Mesmer 博士に対して使われた、敵意と同じ嘘である

問題の真実は、これとは非常に反対である

ここで、そして海外でも、多くの医者、Reich によって訓練を受けた。

Reich からこれらの医者に与えられた知識は彼らが実践するのに測り知れないほど助けた。

そのために、彼らは正当に報いられた。

Reich は死んだとき、ごくわずかな金銭しかもっていなかった。

彼は、研究資金に個人の財産を注いで、それを二度と見ることはなかった

Witlin 博士が他に言ったことは、Orgone Energy Accumulator の説明を含んでいた、

そこにおいて、「それが完全に閉じられた時、人は確かに窒息するかもしれない。」と、彼は主張した。

(すべての実験的なアキュムレーターは、十分な空間が組み入れてあった。)

Witlin は合計（博士）でアキュムレーターを「いかがわしい器具」として絶えず言った。

そして Witlin は、偽医者はしばしば「金銭を」受けることができる関係にするために医者をよく訓練したと述べた。

Witlin は、彼の情報源に言及することなく、「誇大妄想的な似非科学者」を見つけることができるためにマーチン・ガードナーの利己的な基準を使った

輝いている Witlin 博士は、観客に、彼らの地方機関と政府の医薬と食料管理省を支持し必要などときには「犠牲を払う」ようにしたので彼の講義を完了した。

15 分の休憩時間の後、非公式の質疑応答の時間が開始された。

ヒューマニストソサエティのメンバーは、その時マーチン・ガードナーの本 Fads と Fallacies を仕入れていてそれはこのホールで購入することができることを、集まった人に知らせるために、観衆の中で立った。

(それは思いもかけないことであった)

青年は起きて、彼がその時、ライヒの仕事の一部を複製することに従事していることを観衆に知らせた

まったく、彼は、ライヒの後の作品の多くがSFのように「読める」と理解した。」

「私の考える限りでは、ライヒの発見は、ちょうどライヒが彼らFDAが使用するために主張したのに見えた。」と、彼は言った。

民間調査グループの責任者は、次に認められた。

彼は、ライヒに対する訴訟が決して終わっていないと述べた、

ライヒの調査結果の多くを彼自身で、確かめた、そして、FDAが、アキュムレーターが役に立たなかったという彼らの主張を立証する証拠をこれまで少しも出さなかった。

Witlin 博士はノーコメントだった。

次に観衆の女性はアキュムレーターでの仮死状態について Witlin 博士の述べたことを訂正した。そして、全アキュムレーターが十分に風の通り道の穴があげられていることを知らせた、

Witlin 博士はノーコメントだった。

ついに、Witlin 博士は私の考えを認め、以下のやりとりが起こった。

Eden :

Witlin 博士、あなたは法律家なのだから、私はあなたが事実と意見とのはっきりした相違点を知っていると思う。

Witlin :

私は、確かにそうおもう :

Eden

今晚のあなたの講義は Martin Gardner の本 **Fads** と **Fallacies** に重く依存している。

私が最近彼の本を読み終わったところなので、私は知っている。

Witlin :

私は、Martin Gardner に重く依存してはいない。

Eden :

全く正しい

Martin Gardner に「すこしは」依存していると言ってもらえますか？

Witlin:

私は、すこしはそれによっている。

Eden :

私がマーチン・ガードナーに言及する唯一の理由は

Orgone Energy が、原因である、  
あなたは最初からすべて、今夜、数回、ガードナーを引合いに出した、  
そして、第二に、ヒューマニストソサエティは「Fads and Fallacies」を売っている。  
そして、Martin Gardner が Wilhelm Reich の公共機関または Orgonomy でないことは完全  
に明らかである。

「Fads と Fallacies」は科学的な本ではないし、マルチン・ガードナーは科学者でもない。  
ガードナーは、

「借りられたトランプの一组での 12 のトリック Twelve Tricks With a Borrowed Deck.」  
と呼ばれている本を書いた

ガードナーは、おかしい冗談とトリック f funny jokes and tricks. の作家である [観衆は、  
笑い始めた。

彼は、「Annotated Alice のアリスの注釈」と呼ばれているもう一冊本を書いた。

「不思議の国のアリス」についてのすべてを書いている。

その時、不思議の国のアリスを読みたいならば、Martin Gardner を読む。

しかし、あなたが Orgone エネルギーを読みたいならば、は Wilhelm Reich を読むはずだ！

Martin Gardner は、オズの魔法使いと Who He Was と呼ばれている本の共著者でもない。

[多数の笑い声]

Gardner 氏は、Scientific American で毎月ゲームとトリックのコラムを書く。

あなたがゲームとトリックを読みたいならば、Martin Gardner のものを読むべきだ

[会議の議長は私の話に口を挟んだ。そして、これは「『Martin Gardner に関する議論』  
ではないと述べた]

Witlin :

質問があるなら聞くように、お願いします

Eden :

私には、2つの質問がある、私はあなたそれを答えて欲しい

最初の質問は、これである :

Witlin 博士、あなたは、現在の食品医薬品局または保健省、について話していない

-あなたは、個人的には、これまでに Orgone Energy Accumulator を自分で使ったことがある  
か？

Witlin : 私は、使ったことはない

Eden :

あなたは、かつて、Wilhelm Reich 博士による個人的な確認で与えられた Orgone energy-

の発見を、あなた自身が実験を一回でもしたことがあるか

Witlin :

私には、ない

Eden :

あなたは完全に機能不全で何かをここで議論する資格がないことが示された。あなたは全然何も知らない！

私はすべてを言うためにここにいる

Witlin :

FDA は、Reich を訴した、そして、審査員会は、彼に有罪を見つけ出した、私はこれを行うことができるだけだ

Eden エデン :

Witlinl 博士、それは間違っています、それは過失です！

Reich 博士は行った事実を、書いた

それを否定する一片の科学的な証拠も、これまで出されていない

ライヒのやった事実と単なる意見との違いは、そこにある！

私は座った。

中の観衆はざわめいた、

Witlin 博士は、ホール of 左側に着席している背が高い、初老の紳士の一団を認めた。

「Witlin 博士」、その人は開始した、「Sigmund フロイドは、Wilhelm Reich を非常にたいへんな科学者と考えた。

そして、あなたが証拠なしで立って『Wilhelm Reich は妙だった、彼はおかしかった』と言うとき、あなたの証拠は、どこにあるか？

[観衆の数人の人々はその男の質問を繰り返した。]

あなたがそう言うとき」と、初老の男は続けた。「私は、そのような意見が全く最低であると思う」

Witlin :

私は、オーゴン・ボックスが役に立たないと宣言された、そして、Reich と Silvert は投獄されたと繰り返すことができるだけである。

女性は、Witlin 博士にライヒがガンを治療することができると主張したという趣旨の声明を立証するよう頼むために立ち上がった。

「Witlin それは真実ではないわ」、彼女は言った、「その Wilhelm Reich は、治療することができるとは決して主張しなかったと思います?」、  
Witlin 博士はノーコメントだった。

『Witlin 博士が認めた次の男は、ライヒの癌 Biopathy (FDA 命令で破壊される) からその部分を示すために読んで聞かせた  
ライヒは、彼がガンを治療することができるかと主張しなかった、  
しかし、単に彼の失敗も成功も同じように、そして、Orgone Energy Accumulator ががん患者の上に引き起こした影響の観察を編集するだけだった。

その時、男性は、懐疑論者として来たが、彼が今晚聞いたものが「非常に面白かった」と述べるために立った。  
彼は、自分自身に読むためにどこでライヒの本を得られるか、Witlin 博士に尋ねた。

Witlin 博士は、彼に本がどこで得ることができるかについて、知らないと言った。  
その人も、Orgone Energy Accumulator を実験的な目的のために使っている彼への法律禁止令があったかどうか知りたかった。

「あなたは、研究のためにそれを使うのか?」 Witlin.博士は聞いた  
「はい (研究のために) :

Witlin 博士は、研究目的のためのアキュムレーターを使うことに対する法的禁止ではなかったと言った。  
だが、青年が、続けた」、あなたの部署がライヒの本を燃やした時から、どこで、あなたはこれらの資料をえることができますか?」

Witlin 博士は、笑って、『熱心な同僚は、そうは言ったが』、『真実ではない。』、しかし、彼はライヒの本が買えるかもしれない場所は知りません。  
私は、Witlin が言ったことに少しの疑問点もない

ライヒの本を燃やしたのは、本当ではなかった。  
私は、個人的に医者を知っていましたが  
都市にむかうトラックに本を積んでいて、破壊したのを見たと言った。  
ライヒの本がどこで得られるか、観衆に話すことができるかもしれないので、教えるよう私に言った。  
その時は、8 番街の上のマールボロ本屋はライヒの作品の少し売っていた、そして、私は観衆をそこにいかせた。

夕方の終わりに近づくと、他の人が Witlin 博士に「合法性」について尋ねた  
ヒューマニスト協会のメンバーは、「アキュムレーターが非合法化された時」でもアキュム  
レーターを使っており「M.D.博士の資格をえている」  
調査の担当重役は、再び起きて、アキュムレーターは「これまで非合法のものにはされな  
かったと述べた；  
誰でも、1つ造って、使うことができた、  
または、これらを売りさえた。」  
Witlin 博士は、これは正確にそうだと行った、

保健省は「誰でも不正行為をする場合は報告する。」ようにしなければならないとつけ加え  
た。そして、  
その時、会議の議長が更なる質問のための時間がまだあることを知らせたが、Witlin 博士  
は、去らなければならないと言った。  
Within 博士は、すまないと言ったが、彼には、新工夫と装置を詰め込む時間が必要だった。  
「おそらく他にも若干時間が必要だ」と、彼が言いました。  
彼の最終的な批評は『非常に面白い夕方だったとのことでした。』

## 11 オルゴン対原子力

ウィルヘルム・ライヒと Orgonomy の攻撃を扇動した人々は、完璧な仕事をした。

ライヒの大切な秘密の損失はアメリカ合衆国にとって、計り知れないものだ。

この科学的な天才の投獄と死は、破滅的なことだとわかるかもしれない。

ライヒと働いた医者の中の 1 人は、論評した：

「ウィルヘルム・ライヒの死は、人類の絶滅を意味していた。」、我々の惑星が核の深淵の上  
上に不安定に張られた綱の上を、進めば、この暗い予言が正確だとわかるかもしれない。

少数の科学者だけが、オーゴン・エネルギーの機能と原子との関係を理解している。

ライヒの死から、原子力エネルギーのフランケンシュタインが急成長するのを見て、私は、  
年年恐ろしい脅威と深い絶望とパニックを感じた、

地球上のどこでも孤独な殺人者の生命への憎悪と憤慨によってそれは、引き起こすことが  
できる。

おそらく人が正気に戻るために核戦争を要求すると思います。この争いで何人かは破壊さ  
れた地球を手入れし、不毛なものを拭くために、もう 10,000 年かけて、新しい賢い生物の  
形が再び始まるかもしれない。

ライヒは憎しみで狂った人が原子力より強力なエネルギーを発見するかもしれないことに、  
心から苦しみ悩まされたにちがいがなかった。

また、彼は研究と、生きることに同じように責任を感じていた。

彼の研究の最大の努力がアメリカ政府に注意することだったが、プロ共産党員支持者によ  
って絶えず妨害され左翼雑誌から繰り返し攻撃された

そしてソビエト連邦は彼の出版で知識を得て、オーゴン・エネルギー・アキュムレーター  
を利用した

そして彼のアシスタントは 2 台のモーターを、鉄のカーテンの後にさっと運びこんだ。

これらの事実の全ては、彼の研究結果を発表し、広めるという彼の決定に影響したにちが  
いかなかった。

ライヒの装置による研究は、Orgone の原子力エネルギーに対する効果を約束し高水準スパ  
イ活動活動の目標になった。

この容疑の証明は、全法廷記録を通して大きく現れており、証拠は抑えられた。

それは、そのようなファイルと記録に完全にアクセスしたアメリカのセキュリティ部門の  
責任である。

ここでの私の一つの目的は、ウィルヘルム・ライヒの研究の大きな意味と不可欠な重要性  
へ注意を集中することです。

ライヒの発見の重要性と現実の範囲が十分な衆目を得るとき、あまりに遅くなる前に、アメリカが自身の思いで再評価を行うことが私の強い望みである。

同様にこの結果としてライヒを滅ぼす陰謀に参加した人々は、法廷出頭する日があり。ライヒにされたものすごい不正を認める。

そうして、我々がそれをわかると、ライヒの Oranur 実験を理解することができ、「信用できないもの」が信用できるようになる。

原子力エネルギーとオーゴン・エネルギーは、「相互に排他的な」形でエネルギーの著しい対照をなす。

オーゴン・エネルギーは、プリミティブなもので、-----質量のないエネルギーでそこから重要な全ての物質が生まれる。

もう一方は、物質の破壊されたあとに残るエネルギーである。

$E=Mc^2$  は、リバーシブルな方程式です。

「E」は、オーゴン・エネルギーです。

Reich は長年の間オーゴンの機能を詳しく研究し推論した

核とオーゴンは、著しい対照があった、

そして、彼は事業を始めようとした

高濃縮のオーゴンは、原子または核エネルギーに何をもちか見る実験をした。

特に、ライヒはオーゴン・エネルギーが持つかもしれない核のエネルギーを無害化する効果を見つける可能性に興味があった。

彼は、この実験に非常に骨の折れる完全な準備をした。

1950 年に、ライヒはアメリカ合衆国をのみ込むかもしれない世界的な核戦争の危機について心配した。

これは中国の共産党の手による画期的な災害が発生する段階でした。そして、その中国は韓国での大虐殺の発生に燃料を供給していた。

1950 年 12 月の中ごろに、ライヒは 20 ミリキューリーの phosphorus リン-32 (P-32) をオークリッジ (テネシー) の原子力委員会に申し込んだ

この放射性同位元素の到着に備えて、オーゴン・エネルギー研究所と他の建物周辺のいろいろな場所で通常背景の放射カウントが、記録された。

前の大部分の場所と学生研究所の背景の 95 パーセントの範囲は、平均毎分 30 から 50cpm でした。

私が決定をすることができる限り、AEC に注文したこの核物質は届くのが遅れ、Orgonon に到着しなかった。

そこでライヒは私立の研究所に 2 ミリグラムのまじりけのないラジウムを注文した。

1951年1月5日にラジウムが到着したとき、ライヒは研究所から遠く隔たったガレージの、鉛容器の中に1ミリグラムを置いた。

この部門は、コントロールされることになっていた。

1ミリグラムのラジウムが入った二つ目の容器は、オーゴン・エネルギー室にあった強いオーゴン・エネルギー・アキュムレーターに置かれた。

およそ5時間後に、背景カウントは、着実に増加し始めた。

オーゴンルームの中の、空気は耐えられないほどチャージされた。

この実験に参加した医者と同僚は、同じような一般的徴候を報告した：

舌の塩気、体の中の圧力の感情、吐き気、めまいと上腹部の中の深い圧力。

他の人は、寒気と熱、めまいまたは震えを経験した。

通常穏やかな Orgone エネルギーは、殺人者の傾向を持つ「野獣」に変わったように見えた研究はそこで中止された、そして、誰も核物質が含まれた地域に入ることは許されなかった。

しかしラジウムを除去しても建物は「熱いままであった。1月6日から12日まで、各々1日1時間の間隔で核物質の置かれたオルゴンルームで実験は繰り返された。

1月12日に、1ミリ・グラムのラジウムはそのオーゴン「チャージャ」に置かれ、オーゴンチャージャは半時間だけ部屋に置かれた。

その時、全ては地獄になった！

研究所の窓を歩いていく、青っぽい、紫色がかった「雲」を、みることができた。

建物の外、90ヤードまでの中においた約35人の、参加者はひどい吐き気とめまいで、気が遠くなり、意識が薄くなりはじめて苦しみ始めた。

古典的物理学の見地からは、そのような比較的少ない量の、核物質が、致命的な危険な影響をうむ理由は、全くない！

核エネルギーはコンクリートでシールドされている。

しかしオーゴン・エネルギーは var/mg の速度ですべてを透過することができる。

新しいデータの氾濫は、ライヒと彼の調査スタッフを襲い始めた、

『Oranur 地区の全てが完全に病気でした。』

1人の医者はほとんど彼女の人生を失いかけて、ライヒの若い息子はひどく苦しんで、避難しなければならなかった、そして、ライヒも衝撃を受けた。

Oranur 実験は、単に災害の最初の前兆のようでした。

研究所の全ての参加者とマウスで血液検査（「ライヒ血液検査」）が、された。

核の源の除去にもかかわらず全ての同僚の血液は、激しい過剰な照射で苦しんでいるよう

に見えた。

核の源を除去し、オーゴン・アキュムレーターとオーゴンの部屋を全て解体したが、異常に高い背景カウントは、続いていた。

建物の空気の乾燥は、4回繰り返すことで有益な効果を得た；

しかし窓を15分間だけ閉めると、cpmは60から701まで上がり始め、参加者の何人かは、この実験の後の年月、苦しむことになった。

その後、1951年5月、ライヒがオーゴンの部屋の壁が危険なほど「熱い」点に注意した、しかし、この18×18フィートの室の裏が金属のシートは、ずっと以前に取り除かれていた。

起こったことを短く要約するために、ここで我々はひと休みしよう。

通常穏やかな大気のオーゴン・エネルギーは、比較的小さい核物質の源と接触した後、突然、致命的な殺人エネルギーに変わった。

このプロセスは、次のようにたとえることができる。

私には、穏やかな素晴らしいかわいい猫がいる。私と一緒に暮らすおとなしいネコである。

現在、私はこのエネルギーのかたまりでもあるかわいい猫を、針で刺激する、猫はオーゴン・エネルギーの単に1袋分だ。

私は繰り返し猫をちくりと刺し、あるいは、むちで打ちたたく。

激怒と殺人的な憎しみで狂乱し飛びあがるまで、猫を叩く！

大気圏のエネルギー領域で、宇宙オーゴン・エネルギーに核の効果のひきがねが引かれ、正確に感情的な反応が、ある

この感情的な反応は、正確に大気原子のエネルギー領域にある宇宙 Orgone エネルギーへの影響で起こることである。

それは、Oranur に連鎖反応を起こし、オルゴンエネルギーが遅くなり、致死性的オルゴンエネルギーが非常に凶暴になって高く充満しショートする！

このライヒの記念すべき Oranur 実験のダイジェストは、最も裸の輪郭以外の何ものでもなく、完全に手順を伝えるには不十分である。

「放射線宿酔」の病理学に関する新しい情報の雨は、ライヒと彼の同僚に流れ、最終的に身体の生物学的で、感情的な新しい洞察を規定する。

さらに Oranur への最初の猛攻撃の後、ライヒは Oranur 実験がオーゴン・エネルギーの存在が肯定され、核放射線に対する影響を免疫することを実際証明することがわかった。

高濃縮のオーゴン・エネルギーの中で長期に保存された核物質は崩壊のひきがねになるが、慎重に管理されるならば、放射線量を和らげる。

Oranur は、そうなった、

一般に 核放射線に対する効果的物質として非常に貴重な物質であることをわかってほしい！とライヒは思った —

さらに、Oranur は特別な特徴を示した：

それは、各々の人の最も弱い点を攻撃し、

そして、潜在的病気に対して人々を免疫し、さもなければ潜在的な病気を前面に引き出し、『致命的なものにした。』

私は、Oranur 実験のこの短い概略を完全に伝えようとして読者を混乱させてしまうこと心配している。

そして、私は研究を始めたときのこのエピソードを語る際、私自身の欠点を鋭く知っている。

私は、さらに問題を追求する人々のために、orgonomic な論文が破棄されたことを十分知っており、参考文献を示唆できるだけで、より多くの必須の技術情報を得ることは難しい。

すぐに、2、3 のライヒの Oranur 実験との関連を見よう。

我々は、『オルゴンエネルギーの海に存在する。』

我々はまた、家に住み、オフィスで働いていれば、知ってか知らずに実はオーゴン・エネルギー・アキュムレーターの中にいる。

このように、我々の多くは、長年オーゴン・エネルギーに非常に満たされた大気圏で生きて、働いてきた。

この実験以降の総合的なライヒの観察は、核実験にさらに向けられそれが我々の惑星に起こる場所に関係なく惑星を Oranur にする

ライヒは、オーゴン・エネルギーで非常に満たされた大気圏で、少量の核物質だけを利用した。

その結果は、Oranur でした。

度重なる核実験の放射線の巨大な量がノーマルな Otagon Energy にリリースされることによって、ノーマルな大気のオーゴン・エネルギーに正確に同じ効果が生じることになる。

見回すと、現在我々の地球で、頭上に、そして、海と、湖と空気の流れてオーゴン・エネルギーはどこにもある。

このように、原子物理学者が核実験の終わりと原子炉の結果として放射の比較的少量が我々の生命圏に現れると主張するのは正しいが

彼らは核物質に反作用し明確に、Oranur を「起動させる」オルゴンエネルギー流の連続体の「最小の」、「安全な」量を理解していない。

Oranur の病気は、現在健康に対する世界的な脅威で、それは最初にライヒの実験の参加者の多くを襲った。

あらゆる生きた存在が実質的に生きたオーゴン・エネルギー・アキュムレーターであると

は思わず、我々の原子物理学者と健康物理学者は、「低レベルの放射に含まれる本当の危険を、全く知らない。

「テレビの有害性は、瞬時、発散しているX線の量ではない；

そのような放射がそれ人間の生物エネルギーを危険にする「引き金効果を引くこと」にある。

危険の本質は、トランスの高電圧ではない；それは、Oranur 効果を生むので、生きた organotic なシステムにとって致命的なのだ！

我々の地下核実験の低レベルの産出ではそれはそれほど危険では、ない；

それは、再び人間の生存に有害なものとなる潜行性の Oranur 効果なのである。

ライヒは、テレビソースも、紫外線、高電圧の電気、その他の放射を含むエネルギーの第二形態の多くが、人間において、全ての生きた有機体において Oranur 効果を生じると思った。

それにもかかわらず、Oranur 実験は、「原子力の平和的な使用法に向けられている、

科学的な友愛関係は、オーゴン・エネルギーの機能領域を理解し、ライヒの生体に命を与える知識を応用するよう努力してください。

オーゴン・エネルギーは、原子力エネルギーを無害にすることができる。

人類のために実際的な希望としてこれは、追求する価値があり、我々の世界の上をおおうひどい核の不安がなくなることを意味しないか？

ライヒは、人類に原子力による自殺アトミックスーサイドに代わるものを選択できるように提供した。

我々がそれを把握することができないならば、神は我々を助ける！

私は、幼児乳児突然死の最近の伝染理論を疑っており、これは Oranur をうむ DOR によると思っています。

## 12 隠れるところは無い

Oranur 実験の余震は、世界中至る所に反響し続けた。

ライヒは、原子とオーゴン・エネルギーの関係を示した。

彼は、絶えずアメリカ政府に彼の手順を知らした。

ライヒのメイン研究所から原子力委員会は多くのレポートを受け取った。そのことは保健省、教育と福祉に関係した。ライヒは、完全に、Oranur の実験結果が国際的に関連することを知っていました。

彼は多くの機会に完全に連邦政府の信頼性ある代表と協力することを提案した、しかし、連邦政府の協力の申し込みまたは動きはワシントンから出てこなかった。

代わりに、ライヒの研究をやめさせようとして、彼がインチキ療法に関与していることを意味する法廷禁止命令を交付した。

世界の何百万もの人々は、核の使用を通して地球の至る所で慢性の Oranur の反応が生じ、そして、我々の生きている大気圏へ宇宙船から注がれる有害な DOR 雲による病気から、病人と多数が死んでいる。

(私が以前に言及したように)「放射線宿酔」が数百万人を若干のハンセン病のような恐ろしい病気で苦しめるとするならば、その病気の紛れもない面は、避けられることができなかった。

しかし、Oranur 病気の性質は、そんなに明白ではなく、確かに普通の素人と医者にとってそんなに明らかではありません。

Oranur 病は、一般に「風邪」または「ウイルス X」と呼ばれる一般的な症状を持つ：

慢性の虚弱、移動性のうずきと痛み、吐き気、下痢、など水と酸素が必要になり

これに加えて、Oranur (そして、DOR) は彼の最も弱い生物物理学的な点で各々の人を攻撃する

そして、肝炎、リウマチ、胆嚢トラブル、片頭痛、潰瘍などの古い病気が復活する、そして、誰も非難を Oranur に向けない

ますます多くの人々が人々が言っていることを聞くが、実際的な罪人は、通常、決して認められない「それは、何か大気が不正であるように感じる」または、「なんか気候がおかしい様子だ」と言う

社会はライヒと彼の発見に関する事実の用意ができてないのだが、そこは少数派がジャブをすることができる、教育とオリエンテーションの巨大な仕事に向き合っている。例えば、私は現在 Wilhehn Reich の発見に関してアメリカの行くべき道を教えている大学を1つだ

け、知っている。

その学校は、ワシントンスクエア（ニューヨーク市）のニューヨーク大学である。

ライヒの研究の禁止と、**orgonomic** な論文の広大な倉庫の燃焼で、私は精神医学的なオーゴン治療に関して書かれた 1 つの医学テキストを知っているだけである：

その先端 **Trap** にいる人は **Elsworth F Baker** 博士である

そして、ライヒの基本的な発見の拡張と推敲を目的としてアメリカ合衆国で 1 冊だけ（全世界の中ではあるかもしれないが）科学的な、技術的な雑誌「**Orgonomy** ジャーナル」が出版されている：

かなり大きな問題と危険性に直面して惑星原則で人類と向き合うような勇敢な努力の不足と対照的に 1 本の指で防壁で海を引き止めようとする小さい若者のようである。

最初に必要なことは、多くの科学者、医者と関心がある素人が、これにはかなり大きな問題が含まれていることがよく知られることである。

つまりそれはこの本の目的である。

**DOR** と **Oranur** の大気にある、固有の危険性の量を示そうとして、以下の出来事が与えられた。（それを私は個人的に経験した）

**Orgonomy Journal** の 1971 年 5 月号の「オラーナでのパーソナルな経験」の題の私の記事に、この情報の大部分は、書かれている：

+社会の全存在が、ますます機械化する傾向がある。

『カットされた薪の束を作るために斧とチェーンソーを両方使った誰もが、機械はたいへんな天の恵みであることを実感する、

しかし、この機械を動かすのは、供給された力からの第二のエネルギーである-

つまり、このエネルギーは主要な **Orgone** エネルギーの海に由来している。

そして、さらに、第二のエネルギーの源の大部分がいらいらし、そして、**Orgone** エネルギーに敵対的である時、メカニカルな作用の社会は、ジレンマへの警笛との間で不安定に進む。

一方、続けて、社会が螺旋状に成長するよう多くの機械を使いエネルギーの第二の源の使用をますます増やす。

生命エネルギーをより高く、より高い状態で、刺激する（例えば、高電圧の電気、原子力エネルギー、ガソリン）

それは生命に反目していて、破壊的である。

長年にわたって、私は、個人の **orgonotic** な感覚が（または生体エネルギー論の）個人の生き残りにどれくらい重要か理解して来た。

彼らは主観的な感情を信じないし、最小にする傾向があるが、多くの人は彼ら自身の感情とのよく発達した触れあいがある。

特に **Orgone** エネルギー機能が含まれる所で、我々の環境の **Oranur** の継続した増加は個人が信用して、彼の主観的な印象に頼ることを学ぶことが特に重要になる。

このように、**Oranur** によって汚染された空気に接した私自身の経験のいくつかを数え直すことは彼ら自身の主観的な印象の有効性を疑う傾向があるかもしれない他の人達の助けになると私は思った。

私が関連させる初の事件は、高電圧の電気によって生まれた **Oranur** の大気を処理したことだ、

私は、病院と医学部のために研究所の装置を製造した大企業の販売担当技術者として働いていた

私の仕事はこの器材を使用してデモンストレーションすることだった。そして、それは光源に水銀灯を使うマイクロ・スライドプロジェクターを含んでいた。

機械は、このランプを点灯するために高電圧の電気を要求した、それはちなみに、**Orgone** エネルギーが含まれるところに添加される刺激物として紫外線光が豊富である。

このプロジェクターの近くで働いたときはいつでも、私は目の部分と頭の周りを回るズキズキする頭痛が発生した。

長期間にわたる入浴は、泣くような痛みの圧力を軽減した。

それは私をプロジェクターと、頭痛の関係を軽減させ短くした。

しかし、私が1週間に何回か使用しデモンストレーションをしなければならなかったので、私はこの機械とのコンタクトを回避することができなかった。

換気の悪い室で医者のために機械をデモンストレーションをしている間、視ている数人は熟睡するようになった。

他のものは、無気力になった

つまりプロジェクターが **Oranur** の気に「ひき起こした」ことは抵抗力を発達させる代わりに、その影響にますます敏感になった。

結局、私はこの仕事を去って他の仕事を捜した。

私は、オフィスがマンハッタン中心部にあった野生の動物の輸入業者での仕事を得た

私は、雇い主と蛍光を大目に見ることができないことを検討した、

そして、親切に彼は私の仕事エリアを白熱の器具に戻すことに同意した。

(**Reich** は蛍光の明り **fluorescent lights** が **Orgone** エネルギーに関して悪い影響を及ぼす

と指摘した。

その人の体の外で **Orgone** に悪影響を与えるものは何にでも逆効果で、もちろん生きている人の有機体にも同じように逆効果である。

今度は、私は蛍光性に照らされた場所のイライラさせる大気に対する反応に慣れていた。彼らは私をととても不快に思っていて、私はその中に長くいたがそれよりたいへんなものは私の体の不快感であった

私の体の、特に手と足に寒気がきた。

私は絶え間なく酸素が必要だと感じて、非常にのどが渇くようになり、しばしば私の手のひらに斑点がつくことに気がついた。

私が蛍光器具の下で直接働いていたか、単に中だけかに関係なく、ほとんどこれらの存在の違いはなかった：

私が蛍光器具に近いほど効果が大きい、そのような状況の下で **Oranur** の大気の影響は明白だった。

しかし、ライヒが勧めたように私が開いたウインドウの近くで働くことができ、多くの水となまぬるいお茶を飲むことができるなら、そして、毎日数回手と顔と首の後ろを冷たい水に浸すことができるならば、私はある程度動くことができた。

とはいっても、そのような雰囲気での私の仕事の能力は、常に鋭く低下した。

私はますますいらいらするか鈍くなるようになって、各日の終りは休む以外に何にも行うことができないのを見い出した。

しかし **Manhattan** の輸入業者は私を仕事に戻るようにした。

それは、上述の反応への追加で、正確に 4 日続いた、私はこの空気にととても心配していることに気づき考えることができないし-私が「短絡し」絶えず悩まされた。

私の反応は、発汗が併発し、深い収縮から私の雇い主に対する厳しい、不合理な怒りへと広く揺れた。

私は、私の反応を理解することができなかった。

状況は、そのような反応が生まれるようには見えなかった；

そして、私はそれを説明することに困り、私の感覚を異常ではないかと疑い始めた。

しかし、家内は、私の目の下の黒い隈と私の皮膚の青白さを示した。

彼女は、私がすぐに仕事を止めるよう言った。

しかし、我々の財政的な状況は、良いものではなかった、そして、私は 2 日目、3 日目と続

けた

私の主観的な厳しい不安感覚、長く引き伸ばされた渇き、空気の必要性と機能の無能感は否定できなかつた。

私は私が厳しい **Oranur** 雰囲気にいることを知った、しかし、私は原因を説明するのに困っていた。

4日目の朝、いつもより早く出勤して、慎重にオフィスを調べた。

私がそこで感じた即座で圧倒的不快を説明するのに、2、3の蛍光備品と普通の金属ファイル・キャビネットの他に、引き金となる刺激物の所在を突き止めることができない。

昼食時間に、私は外気を吸いに通りに出た。

オフィスに戻り、私は偶然に私自身の下の床にエレベーターが、あるのに気がついた。

なじみの薄いオフィスとワークショップで私はまわりをちらっと見てきたので、答えは私に衝撃を与えた：

私のオフィスの下の全ての床は、X線機器のメーカーによってふさいであった

私は、すぐに仕事を辞めた。

次の事件は、さらに不可解であった

国で夏の行楽地を楽しむために、家内と私は、ニューヨーク市からおよそ90マイル動いた。

我々の収入を補うために、私はプロのエンジニアと一緒にやる測量士の見習いの職を得た。

私は、すぐに仕事を楽しんだ。

私の時間は、森林でのフィールド・ワークとオフィスでのテーブルでの書類の作成の仕事との間でほとんど等しく分かれていた。

私の雇い主は素直で、優しい人であった、そして、我々は互いに喜んでいた。

私は彼に蛍光に耐えることができないと話した、すると、彼は私のワークエリアの上の備品を白熱光のものに取り替えた。

それにもかかわらず、私のそのオフィスでの即座の、持続性の激しい不快感の主観的な反応は、疑う余地なく強かつた

森に入って、戸外で働くたびに、私は元気で、健康で、生きていると感じた。

しかし、オフィスに入ったときはいつでも、私は悩みの心からの不安と、熱と冷い感覚の閃光と常時人を悩ます感覚に襲われた

この時までには、私はほとんど **Oranur** のにおいを感じる事ができた。

しかし、どこで？

また、私は蛍光のいつものイライラさせる雰囲気を、完全によく知っていた。

その雰囲気は、全く悪かつた；

しかし、測量士のオフィスは、20倍より厳しくないとしても、10倍でより厳しかつた

私は、毎朝、おびただしい量の水と魔法びんのコーヒーを飲んだ。

私の顔は内部の熱で輝いた、しかし、私の皮膚はとても冷たかった  
私は、ばかで、鈍く、霧が出て、怒りまたは説明のできないめまいで一杯だと感じた。  
私は、ばかばかしい、鈍いか、最も霧深いか、怒りまたは説明のできないめまいで一杯であると感じた。  
どんな口実でも私はオフィスの外に動いて新鮮な空気を受ける、あるいは、私は手と顔を水に浸した。  
そして、私がオフィスで一人だったときはいつでも、この「敵」となる原因を捜した、しかし、そのかいもなかった。  
私は、おかしくなったか？  
私は、3ヶ月間仕事に入らなければならなかった。  
またそれは、財政的な問題から必要であった。  
また、どこかで、これを直接調査して知ることができるか？  
そして、この社会のどこかで、人は蛍光なしで働いて生きることができるか？  
私は「屈強」にそれを「克服した」  
私はライヒが **Oranur** の犠牲者に推薦したように、毎晩、長い微温の浸かる浴槽を楽しみにした。  
しかし、私は免疫を見つけられなかった。  
ゆっくり日がたってゆくと、私はそれが次第に弱くなってきていると感じた  
疑う余地なく、多くの時間を使う 3 ヶ月の戸外の測量を、私は強く要求することができた  
しかし、ついに、私は仕事を再び離れなければならないと思った。  
特に **Oranur** 雰囲気について私の緊迫した主観的な印象だけで、警戒する根拠を見つけ出すことができない時だったので、重苦しい決定であった。  
私は、もう一度捜査することを決めた。  
私は土曜日の朝に車で **Surveyors** のオフィスまで行った。そして、あたりを見まわして、挨拶した。  
オフィス自体は、実は大きなモーテル・ホテルの室に、置かれていた  
ホテルオフィスに、誰が **Surveyors** のオフィスに隣接した室を誰がよく使用するか知っているか、受付係に聞いた。  
（前は私の心にこれを尋ねることが浮かばなかった理由が私にはわからない  
従業員は隣接しているオフィスがいつの時から空だったと答えた。  
私は根気強く続けた；  
私は、そのオフィスの最後の居住者の身元を聞いた。  
従業員は彼のファイルを指して、私に答えた：

### No Place to Hide 105

数年間、私のオフィスに隣接したオフィスは、放射線学研究所によってふさがっていた  
私自身のオフィス壁の反対側は、**X**線室の場所であった、

そしてそれは壁と天井（鉛による）完全に線をひかれた、

（X線研究所が厳しい **Oranur** 反応を無意識に引き起こしたことが、私に明らかだった放射線の源が取り除かれたあと、ライヒの **Oranur Experiment** で起こったように、それは正確に長く持続した

私は、仕事をやめなければならなかった雇い主に説明する最善を尽くした。

その優れた人は、私自身を有能な精神科医の手にかかるよう、私に親切に教えた。

特に私が偶然によって **New York City** に戻るよう強制された時の経験から私は非常に価値あるレッスンをした。

私は次の仕事で、パーク街のマンハッタン事務所で働くことになった。

幸いにも、私の雇い主は、私の要請で私のオフィスに白熱光を備えるのを適切と考えた。

そのオフィスの場所の残りの床の全ては、蛍光性の光に照らされていた

ついに、2つの窓のあるプライベートなオフィスを私は得た。

とはいっても、**New York City** の全ての雰囲気は、私に耐えられなくなった：

蛍光性の光に照らされた金属地下鉄、金属とコンクリート建物（さらにこれDORをためこむ装置の働きをする）、スモッグ、自動車煙霧、そして、高圧器材は、私に至る所で、絶えず「放射されていることを感じた、：

もう一つの避けられない刺激物は、テレビであった。

私は、直接に大手企業のエレクトロニクス・エンジニアから

テレビは、低電圧のまたは「柔らかな」、X線を与えることを学んだ。

私の **Orgone Energy Accumulator** は、もう一つの部屋にあるテレビから 30 フィートくらいの近さに置かれると常に重苦しい圧迫感があった。

多くの場合、活動中のテレビを持っている誰かを訪ねている間、空気はとても耐えられないほどチャージされていた

私は去らなければならなかった。

激しくはなくても、マイクロスライド・プロジェクターをデモンストレーションをしている間の、私の反応は正確にその感覚と似ていた

私のプライベートなオフィスは白熱光を含んだという事実にもかかわらず、一般雰囲気は、**Oranur** の中の1つであった。

順々に、私は 12 の植物を集めたそれは何か緑の安らぎを与えた、そして、それが生きているのを見ると、それらがチャージを柔らかくするようだった。

開いた窓が風を吹き飛ばすので、室に扇風機を置くと、安心感を持たらした。

非常に乾いた日に、私はドラッグストアで購入できる気化器をオンにした；

また、湿気はチャージされた雰囲気を柔らかくするのを助ける

この頃、同じ時に私はこの仕事を得たので、家内と私はマンハッタン 7 番街の地下鉄の上

に完全に新しく建築されたアパートに移ったー

アパートは、二階であった。

我々が引っ越してきたとき、**Orgone Energy Accumulator** は分解されて、キャンバス・カバーで保護されて我々の開いたテラスに置かれていた。

数週間後に、必要を感じて、私はアキュムレーターを組み立てた。

3日後に、アパートの雰囲気は、疑う余地なく重苦しく、耐えられないほど **Oranur** であった。

しかし、なぜ？

私はリビングルームに座って、2階またはそれより以下の下の地下鉄電車の響きが過ぎてゆくの聞いた

衝動で、私は磁気コンパスをもって、次の電車が通るのを待った

電車が私の下で目に見えない2階を通ったので、コンパス針は45度それた！

建物の中と、アパートの中の金属がプラスして、地下鉄網の高電圧は、アキュムレーターとすべて相互作用し **Oranur** 効果を引き起こしたことは私には確かだった。

私はアキュムレーターを分解して、テラスで置いてある場所を替えた。

しかし、**Oranur** 雰囲気は数日間、根気強く続いた。

アキュムレーターが永久に影響を及ぼすのを恐れて、私は完全に全ての部分を分解して、燃やした。

力が及ばず、壁と床を冷水で洗い流して爆気をしばしば行い、さらにアキュムレーターの撤去にもかかわらず、**Oranur** 雰囲気は数週間継続した

4年の間、私は **New York City** で生きて、働いた、充滿した **Oranur** 雰囲気を逃れることはなかった。

ついに1966年5月に、家内と私はアラスカの荒野に戻り我々の幸運を（再び）みることに決めた。

その夏、我々は旧友を再訪問して、我々のために持っていた何カートンかの本を取ってくるために、アラスカの内部に旅行をした。

帰りの旅で、私は246Mileあたりでリチャードソン・ハイウェイから離れた開いた空き地で休むことに決めた。

我々は、全夜運転していたので『元気を回復するため2、3時間の休みが必要とされた。

私は、ハイウェイから離れてクリアな、砂利が広がった上に車を駐車し、我々のスリーピングバックを広げて、地上に置いた

朝6:45頃の、穏やかな、夏の日であった

私は、頭上に劇的に出ている異常に大きな、大きくうねる雲を賞賛したのを記憶している我々の直接後ろに、4分の1マイル離れて、一つのドーム形の山があった

我々は寝袋に入って、眠ってみた、しかし、太陽はあまりに熱く、蚊が非常に多かった。突然、私は説明ができないほどのどが渴いたことに気がついた。我々がわずか 1 時間ほど前に朝食を取ったので、強い私ののどの渴きはいつそう独特なものだった、そして、私はカップ数杯のコーヒーを平らげた。そして、我々は食堂を飲み干した。このように、我々は水が一時的に出された。我々は、我々の軽量テントを張ることによって蚊と日光を防ぐことに決めた。このあと、家内と我々のシェパード (Sergeant) は、中でぐっすりと眠っていた。しかし、睡眠は私には訪れなかった。私は、水について考えた。私ののどの渴きは強迫観念になっていた、そして、私はパニックにならないようにするために私の神経を抑えなければならなかった。

私は結局穏やかで合理的であるように自分に言い聞かせた、我々は水からほんの数マイルの短い距離のところにいる。

なぜ少しの渴きで完全にパニックになるか？

私は私の寝袋の上でうずくまって、私の体を通して連続する振動に震えるような気がした。私の中でトラック・エンジンが稼働しているような感じであった。

私が私の目を閉じたとき、ありとあらゆる明るさの赤と紫がかかったしみは私の内部の視野に脈動した。

私の脈は疾走し始めた。そして、私は熱があるにもかかわらず冷や汗が出て止まらなかった、それは私自身を分解して飛散することから守るためにできるすべてであった。

しかし、家内と犬が眠っている風景は、いくぶん私を安心させて、疲労も加わり生き残り本能を無視していた。

私は眠っていた。

数分で、体に電光がまっすぐ上がって、パニックに襲われた！

私の体はあぶられ、唇はカラカラで、舌はふくれあがった

「熱」は、あがった

私は家内を起こそうとしたが良く考えて、寝袋に戻った。

また、外見上の優しさ、そして、私の環境の無害性、私の妻が眠っている姿、そして、私の主観的な厳しい苦悩の感覚を信じている私の不本意さは、眠るように、私をなだめた。

私はどのくらい眠ったか、よくわからないが、30 分より長くはなかった

目覚めると私自身座っていて、空気の息苦しきであえいでいた。

私は、まるで渴いて死にそうだった、実際に喉の乾いた雄ジカが私の胸部を強打したように感じた

体のエンジンのような鼓動は助けられない程、早くなった

私は、私の全ての人生で最大の厳しい死の不安を経験していた！  
私の体のすべてのエネルギーは、私に逃げるよう訴えていた  
そのことは家内を驚かし、彼女にすぐここを去らなければならないと訴えていた。  
彼女は麻痺したように動き、非常に青白く見えた  
犬の **Sergeant** は私の目の前で彼は細く、弱くなって、老人のように見えた。  
犬は頭を下げ、目はほとんどとじていた。  
私は行動を調整することが難しいのがわかり、最初の 1 歩と、他のことも気をつけるよう  
自分自身に言いかけねばならなかった。  
面倒なことになることは何もしないと、自分に言い聞かせた；  
車とドライブにすべてを投じる。  
ここから逃げなさい！新鮮な空気と水を早くとりさい。  
我々は 2、3 時間は、再びハイウェイの上にあった。  
新鮮な空気はすぐに助けた  
我々が次のロードハウスに到達する頃には、私はかなり落ちついた、しかし、ものすごい  
渇きは根強く続いていた。  
家内と犬は、前部座席の上で熟睡していた。  
食堂に私たちは集まった、そして、我々の 3 人は全て自由に飲んだ。

それで、水に浸したタオルで自身と犬の **Sergeant** を洗った、そして、この後、沿道の流れ  
で洗濯を繰り返した。

我々は、これは非常に良いと感じた  
後で、私がこのこわがらせる事件に対する答えを見つけ出す日まで、その理由は分からな  
かった。

2、3 の友人は、我々のキャビンに訪ねて来た。

I asked them if they knew of any government projects where we had camped at Mile  
246.

我々は Mile246 でキャンプしたが、彼らが政府プロジェクトを知っているかどうか、私は  
聞いた。

もちろん彼らが通った道を、私に知らせた。

誰もが、「Donnelly e Area」の、政府の核施設と原子備蓄施設を知っていた。

この全域は、核兵器を含む地下組織でハチの巣状になっていた。

もちろん、私の友人は、私を安心させた、彼らはテレビで全部のプロジェクトがわかって  
いた、そして、それはすべて「全く安全だ。」

1967年3月に南東部アイダホへ我々は引っ越した、そこで、この本の初めに言ったように、私はアイダホフォールズ・ポーストレジスターの都市部と軍向けの編集者としての職を見つけた。

ゆっくりと、我々は我々の資金を作り直し、家を買って、コミュニティにいる我々自身を確認した。

我々は、国立 Reactor Testing ステーション (NRT のもの) が我々の市の西 40 マイルほどにあることを知った

しかし、友人はすべてが、通常通り、「全く安全である」ことを我々に保証した、そして、放射能による汚染からの危険はそこにはなかった。

この本の最初で私は事実の情報を与え私の Atomic Energy Commission への批判をのべた

最初に読者を Reich の発見と特に Oranur の領域に向けることが必要だったので、私と妻の主観的な印象を述べなかった。

私の現在の緊迫した Oranur の雰囲気に対する身体的で感情的な反応は更に進行した。

上記の私の以前の経験では、全て、まだ私は、原子炉から約 40~50 マイル離れた Oranur の雰囲気がとても危害が一杯ありえると思う気がなかったし、思うことができなかったと率直に認めなければならない。

私は、東海岸から西海岸までそして、北極圏まで、すべての方法で Oranur から逃げた。

私は、仕事の幸運と、素敵な機会とさらに経歴をえることを断念した。

その時、私にはもう一つ職場に優れた仕事があったそれを、私は、完全に楽しんでいて (以前の章で述べたとおり、後で、私は私自身の局の長官になった)。

私は、単に疲れていた

そして、家内も等しく疲れていた

このように、その緊迫した Oranur の雰囲気で 3 年生きた。そして我々はそれに、ついに耐えられなくなった。

月日が過ぎると、我々は次第に弱くなっていった

Orgone Energy Accumulator 毛布を使うことを我々は継続したが、おそろしいほど弱くなった

これまで家内の顔に傷がなかったが、彼女は、燃えたつような赤い皮膚発疹がでてきた。

彼女のまぶたの上に絶えず白いうろこスケール White scales が、出てきた。

我々の素晴らしい犬の友人 Sergeant の、耳の上に 5 人の獣医が診断できない、真菌のような感染症が発生した。

病気は、彼の耳の毛の喪失と白い粉の吹き出た外観から始まった

我々は見ている。そして、軍曹の耳の先端がゆっくり乾いて、崩壊したので、無力で、悲嘆にくれていた。

Orgone エネルギー「照射」の後で使われる 18 種類の異なる薬物にもかかわらずこれは、効果がないとわかった。

動くため、私は毎朝冷水浴をすることを始めた。(10 度 c) 50-30X1/2

ある日私は、昼食時間にも数秒間の冷たい水に入ることでそれをはがして薄片にした。

友人と知人の間の質問に、ほとんど、誰もが病気だったことを明かし、多くが「慢性の風邪」の徴候の不平を言った。

家内はしばしば、一度に数日間ベッドで居続けなければならないほど弱くなってベッドルームの窓を大きく開いて眠って、しばしば冬と夏も特別の新鮮な空気を吸うためにウインドウ・ファンを使った。

死にもの狂いで、我々はあらゆる機会に山と木のあるカントリーへの避難を開始した。

(アイダホの南東部は、ほぼ砂漠で占められた国である)、我々はエリアから遠く離れたと、強く感じた、そして、私の妻の皮膚発疹はおさまりはじめた。

我々がこの地域に居た最後の 6 ヶ月の間、私は我々のエリアが Oranur でとても危険だと感じた理由を見つけ出すために、私の作戦を開始した。

結果は AEC と国立核反応テストステーションと私の公的な交戦であった。そして、それを私はこの本の始めに詳述した。

ついに我々はこのように、再び動くよう強制された。

今はこれに加えて Oranur と DOR の大気から逃れられない。

嘆かわしい事実はこの惑星には Oranur と DOR によってある程度汚染されない所はないということである。

文明のなかに生きる人は、まさに彼の生命の基本となる惑星の空気、水、土地を破壊している

そしてほとんどの場合、彼が宇宙 Orgone エネルギー、つまりこの惑星の上の全命の基礎に対して行っていることを、全く知らない。

現在我々は、アイダホの北の 12 エーカーのホームサイトで生きている。

多分ここは、我々の欧州大陸で本当に最後に存続するうちの 1 つだろう自然環境保護区である

依然として Sergeant は、我々と生きていた。

新しい家へ引っ越した 4 日後に彼は死んだ、そして、我々が清めた端に彼を埋葬した

# 13

## 神の発見に向かって

自分から出たことを語る者は、自分の栄光を求めるが、自分をつかわされたかたの栄光を求める者は真実であって、その人の内には偽りがない。

ヨハネ福音書 7:18

人間の記録された歴史には、善か悪魔か、そして善か悪の原因となる超自然的な力が存在することを直観的に信じさせる世界的な証拠がある。

多くの宗教的な予言者によって宣言されたような重大で持続性のある直観は、実際はその根を持っていないなければならない。

ライヒは、我々の体の中で、または、その外で、人が経験するものは、基本的な現実由来しなければならないのだから、誰でも、何らかの方法で「正しい"right"」ことをしている、としばしば述べた。

我々には予言者がこの現実を見出した方法 **uncover the ways** を発見するだけである。

ライヒは特に彼の **Oranur Experiment** で、オルゴンエネルギーの「意味がある」動きにしばしばひどく印象を与えられたが、彼は極度の繊細さで機能するオルゴンのこの面に触れた。

彼が飲んだくれのメカニカルな力が、繊細なオルゴンエネルギーを虐待することと同じくらい、その発見を宗教的に神秘化することを恐れていたことは、明らかである。

彼の出版された研究である、「エーテル、神と悪魔」と姉妹篇「コスミックスーパーインポジション」の2つは、我々の世界の基本的な機能的な法則を扱う。

現在その後を追うと、ライヒの研究は創造主の客観的な理解の方へとアプローチしていたことを事実示しているというのが、私自身の要約である。

20世紀までは、神についての知識は、常に向こう側にいるものと考えられるか、人知の範囲外だった。

人間は、出生から、神の子供であるが、神についてのどんな実際的な、事実の知識も得るのは不可能であると教えられてきた。

(神は「知ることでできないもの」である。)

必然的にそのような真実の回避は、「合理化された社会的狂気」になりうると言われることに、発展した。

いくつかの徴候を見よう：

神の生み出した人間は血なまぐさい戦争で彼の兄弟を殺害する、そして天国のような父の名において、双方が騒乱状態で戦う。

神を知ることができない人間は、神を恐れるようにされた何十億もの子供たちの生命を押

し曲げて、押しつぶす。

人間を神と神の性質についての法則についての知識を持ってくるあらゆる試みは、最も偉大な人類の援助者の迫害に終わった。

正確に 2,000 年前キリストが正気でないと思われて、殺害されたように、今日正気でないように、キリストの人生を送ることをあえてした人は誰でもすぐに収監されるか、殺害される。

宗教的な違いがどうであれ、世界の宗教指導者は、人間の幸せが神と神の法則を知ることから生じていることに同意する。

人間の惨めさは、無知の結果または自然な法則の回避にある。

今世紀までは、神についてのどんな知識でも、正確に個々の解釈の問題であった。

たとえば聖ジェローム **St. Jerome** の、聖書の彼の翻訳において、「慈善団体 **charity**」というラテン語の単語はより正確な「愛」という意味を与えるよりは、むしろキリスト教的同胞愛という単語に訳される。

現在、地球の多くの、人類はその宗教的なイデオロギーで閉じ込められたままで、古代の野蛮性をほとんど何も拒絶しなかったニュー・リーダーを支えている。(しばしば政治的ドグマで偽装している)

今日、人類は、これまでのすべてのごまかしと、常識と謙遜を取り除いて空になったその新しい政治的な宗教である赤いファシズムとブラック・ファシズムで苦しむ。

そのようなイデオロギーは、悪意のある権力の組織をほとんど何も暴露しない

どのように創造主が我々の世界で、そして自身の体で機能するか、神の発見に向かって事実の検索を開始できるか見よう。

神についての本当の、事実の知識は「人間を自由にする」ことが可能である。しかし真実は、両刃の剣である。

奴隷の債務を切ることができるとしても、それは彼を自由な人間にすることができない。

奴隷自身は、自由を求めなければならない、力で酔っぱらいになることなく彼自身の体で自由を含めることができなければならない、そして、彼の自由のために必要なものと責任を厳しく負わなければならない。

政権を握っているものの持つ憎しみと怒った奴隷より危険なものは何も、ない

『常に神の存在の要求は、宗教の世界の大多数がフォローする創造する力の特質または特

徴を少なくとも含んでいる：

A.神は絶えず動く力で **God is the prime mover**、または第一の原因である、そして、すべての創造はこの創造主から生じる；

B.神は愛と生命である、そして、生命の、原理は、当然、地球で生きているすべてを生かしている；

C.神は、惑星と主の創造物の（人間を含めて）内側にも外側にも宇宙の中の至る所に存在する、；

D、我々の世界を定める基本的な自然な法則として.神は表される：

回転と惑星と天体の動き、重力の法則、自然のサイクル（季節の変化、潮流）と生きた生命の動き（例えば、若い母の愛を心に抱いた動物の動きと成長と **生命を慈しむ動き** に表れるもの。）

しばらくの間は、人類が「神」として言及する性質または上記のような特質に限ろう：

我々は、創造主が人間にして「欲しい」と思うかどうかという道徳的な考慮点もあえて省略する。

そのような考慮点は人間を多様で拮抗的な宗教に分けることに終わるだけだった。そして、それぞれが他に本当に正しいと主張し誤りがあるとする。

道徳のコードを評価できるならば、我々は理性的に「神が我々にして欲しい」ことを理解できるようになる前に、最初に神とは何であるか理解するよう、努めなければならない

1

**How else can we bring order out of chaos?**

どれくらい、我々は混沌から他に秩序を持ち出すことができるか？

人間の歴史は、基本的な自然な法則に触れる人間に対する持続的な敵意を暴露している。

「すべての領域の担当記者は苦しまなければならない」というような説明は、単に恐ろしい不正にたいする安易な弁解である。

我々は、したがって、正直な自然な法則に関するどんな事実も **証拠**の発見も、避けるか、公表しないようにされていると予想することは、正当さを持っている。

そのような正直な証拠も、これらの重要な質問に対する答えも暴露されなければならない：  
なぜ、人間はここまで実際的な感覚で彼の神を知ることができなかったのか？

なぜ、人間はそのような知識をもたらそうと試みた者すべてを、しばしば死とっていいほど、しいたげたのか？

過去の事件は、神の面に「さわる」ことに対してクローズし、やって来る人には誰でもこうした結果が与えられることを明らかに示している。

我々は、したがって、探求の間に以下を予想する用意ができていなければならない：

見てほしいのはこの章にあるこの声明へのアイダホのフランク・チャーチ・上院議員による確認と私の対応である。

1.

神についての事実の、本当の知識は、個々に、社会的に、人の生命の若干のエリアに、重大な発芽する根を持っているとしたら深い悔りに逢うし、流血を伴う憎しみも生まれると考えられていた

2.

神についての事実の知識は、人間の最も重大な恐怖と不合理なものの表現と密接に関係する;

3.

そのような知識の先駆的発見者と彼の発見は、通常、知られていない;

そして、彼らは「公式に」有罪と判決されて有名になり、発見者自身「精神異常者」か「くわせ者」とされて、普通の犯人よりひどく取り扱われる;

4.

普遍的な自然の法則として表される神についての事実の知識は、すべての個人と組織によって最も激しく反対されその存在が神の自然の法則について無知な者、または倒錯した者とされる。

このように、事実への、無言の不安または道を開くことへの敵意と回避は、常に我々の創造主についての本当の知識の方へリードする経路をふさぐ人々から予想される。

予備的アプローチ

どこで、我々は神の発見の方へ、旅を開始するか?

我々は、どんな道を選ぶか?

現在、我々の前に人間の出現以来すべての人間の表現の発展をたどる地図が、広げられる。

我々は社会と経済の進展をたどると、帝国の興亡、考え方の成長と低下、機械化されたテクノロジーの著しい進展といった多数の糸がつむがれているのを見る。

人間は木が上へ枝分れするようにそれは多種多様な互いに異なるパターンで外へ、上へと放射するがこれらのわずか 1 つの後を追うことに完全な生命を費やした、これらの追跡で多くの複合体になった複雑なこれらは一個の両親の幹から取り去られる。

ここには、その多彩に分枝した宗教があり、空のスペースで終わっている。

そして、親幹から分岐している数学、天文学、医療、生物学、芸術といったすべての結末は空のスペースにある。(彼らの神の検索は実を結ばない)

どこにおいても我々は創造主 エレンバイタル 宇宙意識、自然の力、エーテル、宇宙意識の暗示を発見する、

我々は、あらゆる枝分れする前の「最初の原理」への言及を発見する

ある人たちは神を少し熱狂的に、「必要性 necessity」と言う。

しかし、どこにも、神が実際に何であるか、具体的に、客観的に証明できる証拠を発見しない

確立した枝分れに沿ったすべての検索は、実を結ばないと判明した。

このように、我々は、複雑にさせることと分岐することを捨て、親幹に戻ると、人間の起源と、生命自体とものごとのまさしくルーツがある。

神は、生命である

人間は大地で最も順応性のある独創的な住民であるが、彼は創造力の所有者で創造と、形成と操作力の所有者である。

彼は発見するかもしれないか、破壊するかもしれない。

神だけが、生命の促進者「quickener」で創成力である。

そして、我々は、尋ねることによって、神の発見に対する最初の、仮のステップを手にとる：

我々は、生命について正確に何を言っているか？

我々は、生きてるとき何がどのように、おこっているのかわかっているか？

生者を死者と区別すること

## P

我々の答えは以下の通りである：

我々は、それが動くので、何かが生きているということを知っている。

運動は、生命の重要な質である。

完全に生きていない物質は、運動が欠けている。

しかし、多くの種類の運動がある。

小川の水の、動き；

雲の動き；

大地と星の、動き；

時計のメカニズムの、動き。

明らかに、生命の動きは、単なる機械の運動または回転とは全く異なる。

我々はこのように、次の質問に到達する：

何が、生命運動を機械の運動を区別するのか

生命を識別する特定の公式を発見したのは、ウィルヘルム・ライヒであった。

彼は、この生命特有の公式をこのように表した：

機械的圧力>チャージ>解放>緩和。

この公式は、生命の全ての領域に特有である。

それがたとえ何であろうとも、あらゆる生物は、アメーバから象まで、生命のこの基本的な4拍子の脈打つリズムを表す。

生命の公式の発見は見事に輝きルミネートする核の認識することで生まれた、それは我々の終りのない神の探求で第一の役割を行う。

この生命の公式が基本的な自然の法則の表現力なので、それが自然で、そして、人でどのように機能するか注意して見ることで、我々は目標に上るための最初の安定した足場を得た。

基本的な生命-公式（機械的圧力>チャージ>解放>緩和。）は、顕微鏡で生きている最も小さい生きものの中に見ることができる。

生きた生命のこの基本的な表現が終わるとき、生命自体は終わる。

生命公式の4拍子の連続は、多くのテンポを持っている。

生命の個々の細胞、器官とさまざまな種において、その脈の発現は、より速く、または、よりゆっくり起こる。

そしてライヒの生命有機体つまり生命の膜の範囲内にある波動と放出の重要性と、生命-公式の発見は、我々の研究から生じる2つの重要な質問に直面する。

生命-公式が全ての生命領域の基礎であるならば、何が、圧力、チャージ、解放と緩和として表される波動を引き起こすのか？

言い換えると、我々はこの、動き、生命をつくり、命を支える力の特性を確定することを求めている。

それは見ることができ、感じることができ、客観的に確かめられることができるのか？

そして、もしそうならば、なぜ、この力は、何千年の間も未確認のままだったのか？

かなり簡潔な意見にするために止まろう。

宇宙では、神のパワーは（または人間が「神」と称するものは）、創造となって表れる。

宗教的なイデオロギーの間に違いが存在しても問題なく、至高の存在を支持する人々は、Creative Power 自体が人の生命とすべてのライフの恒久化の原因であることに同意する。

人間で、神の創造的なプロセスは、男性と女性の生殖抱擁において、最も深く表される。

この表現力豊かな「生命の言語」は、生命のない大気と我々の宇宙の中に存在する。

また、それは生殖細胞で、若者に性的な、出産の機能が開発されるずっと前の幼児（子供）に存在する、

その、生命の-公式が、オルガスム自体の相関関係の彼の発見に至った人間の生物の生殖機

能の長い臨床調査の後だけ、ライヒによって発見されたことは極端に重要である。

ライヒのオルガスムの創造的な相関関係についての研究までの、人間の知識は、ゆがめられるか、公表されないようにされた。

完全に服従させるために、回避と、抑制と神秘的にするか機械学による誤解の長い歴史がある。

また、ここでも人は、合理的な（つまり、健康な）sexologieal な啓蒙にはすべて先駆者の殉教者がいることを、発見する。

手短に言えば、まさしくその「悪魔」として神から与えられた性器性欲を取り扱うことによって、人間はこの世の仮想地獄で千年にわたって自分自身を非難されるようになった。

彼の生命の中心に触れることを拒否することによって、人は、終わりまでパラダイスを失い唯一の通り道を閉めて離れ続ける

神を生命として知っているならば、実際主観的な現実として戻らなければならない。

それは、当然、オルガスム公式が生命の公式であることを発見したのはライヒであった。

そして、自然の法則が基本的な表現力として人間の中で動いている。

現在の、我々は、神の発見の方へのアプローチがなぜこれらの年月の間ずっと人類によって避けられたか理解し始めることができる。

神についての知識は、人間の社会から実質的に非合法化された。

それでもあらゆる生まれたばかりの子供は、世界に生命のまさしくその樹液を持ってき続け、人は本当に「神からのもの」である。

このように、人類は、コスモスでの影響力を活気づける若干の活性化を常に知っていたが、それ以外の人類の目を逃れていた。

我々は、この力が確認されず、何千年もそれほど知られなかった理由に関して、2回目の質問にこのように、答えた。

現在、我々が進む前に、更なる1つの点は注意を必要とする。

我々の世界の創造または生命の原理そしてまた、Love 愛の原則もが神の特質と考えられるちょうどその時、注意が必要である。

人間は、神が Love と生命であるという正しい感覚を、急速に抱いた。

「愛」と『生命』とは何か、実際に立証することは、人間はまれだった。」

神は、愛である

その基本的な、生物学的な自然の発見と（ゆがめられ、そして、ポルノ的な第二のものとして区別される）、人間動物の性的な表現は、典型的人間が特定の生命-公式を回避するため沈黙、不安または敵意で受け取られることを同時に表した。

研究の彼の有効期間の間、ライヒの、その後の確証され科学的に証明できる仕事はこの一つの素晴らしい発見に基づいており、病気で、低迷していて、絶望的な人間の世界にほとんど気づかれずにやって来た。

さらに、ライヒの研究は、大部分の人類は、神の Love 愛と生命を彼ら自身の体を感じるための能力の慢性的な欠如で苦しんでいることを決定的に証明した

ライヒは、オルガスムを「性的な行為の頂点は生物の全体の統一をめざす無意識の伸縮」と言った。

この反射は、その無意識のキャラクタと普通の喜びへの不安のため、今日の方の人間に公表されないでいる。」

（オルガスムスの機能から。）

その時ライヒはオルガスム反射のこの説明に到達した、彼は非常に生命の基本的な表現をうまく解説しただけでなく、彼は人類に無法な無際限に関係することも可能な大火災の原因を指示した。

**The Prime Mover** 絶えず動くものたち

我々は、現在の他の問題に戻る：

人間の生物の愛と-生命の公式の表現において動機づけするのは、何であるか？

最初は、ライヒは、体でおこっている生物電気エネルギーの型に対処しているのだと思った。

しかし、長期間にわたる調査は、彼に生命の原因である生物学的エネルギーが今まで発見されたどんなエネルギーとも実際に異なると信じさせた。

彼は、この生物学的エネルギーに「オルゴン」という名前をつけた。

彼は、それが、当然、宇宙、原始のエネルギーとしての空気の中にある生命エネルギーであると発見した。

人間の神の発見につながる事実の知識が、確立される。

我々の差し迫った将来に待つ問題である：

この時代は、その神を実際的な、具体的な関係として知って始めることに最後に成功する

か？

または、憎悪と死の主唱者を支え続けることで、自滅するか？

我々は、もはや避けることができない重要な選択に直面する：

それは、原子力による自殺か、生命を与える **Orgone** エネルギーなのかの選択になる？

# 14

## 誰の責任なのか？

今我々は一週して、この章に、戻ってきた。

また、問題は外でベルを鳴らす：

「誰が、真実を望むのか？」反響する疑問に答える？：

「なぜ、人類は新しい当り前のことを避けることを続けるのか？」、答えは歴史に見つけ出すことができない；

これらは、むしろ、人間の感情的な病理学の問題である。(人類の全面的な文化的な病気)多くの人間の改良に対する各々の進歩的なステップと、幸せな惑星存在の方へ各々の 1 インチ前方への長い闘いにおいて、ひどく反対された。

私の家が出火して、私が便利な消火活動装置がなく全焼するならば、無知によることになる

しかし、私の家が出火し、明らかに消火器具を使わないで拒否するなら、それは単なる無知でなく犯罪者怠慢である！

無知からの誤りは、それだけの問題である；しかし、事実（現実）に直面し、故意にそのような事実の証拠書類を避け、抑え、破壊し拒否することは、単に嘆かわしい

ほぼ 20 年前、私が最初にライヒの仰天するほどの発見に興味を持つようになったとき私はすべての人に関係し興味のある人が顕れそのような露の真実を供給すれば、彼らは熱心に追跡すると心から思っていた。

Reich のガンでの不可欠な仕事だけでもものすごい、痛みを伴う死から、何百万人もの人を救うかもしれない。

これまで数少ない病理学者だけが、Reich の癌 Biopathy の途方もない仕事を知る

このすばらしい仕事を読んだとき、私は私の興奮を思い出す。

まさしく医学の場でがん患者に依存した研究所の責任者に、私は本を示した。

私は、彼の反応を忘れることができない。

彼は本を開いて、扉と出版者をちらっと見た。

「この Wilhehn Reich は、誰か？」、彼は軽蔑するように言った。

「私は、彼について決して耳にしなかった。」、次の意見は

hell

本は、評判の良い出版社から出版されていない

最後に、短い文章を読んだ後に、彼は我々の前に本をテーブルの上にドンと置いて、叫ぶ  
「私は、そのようなたわごとを読む時間はなかった  
それはこの研究者の、長年の慎重に文書化されたガン病理学の分野で重要性のある実験への反応であった。

おそらく最も多くの人々が問題を人間の特定の領域に関係させたことは、それらの問題の解決にとって悩みの種、またはまさしくブロック・アクセスとして混乱させるものであると私にはしばしば思われた。

それは、確かにおかしいように、みえる、しかし、医学と科学的な先駆者に与えられた承認は、これが真実であることを証明する。

キリストは、これらの陰謀を理解した：

あなたがた律法学者は、わざわいである。知識のかぎを取りあげて、自分がいらないばかりか、はいろうとする人たちを妨げてきた」。あなたにとっての悲痛は、弁護士が汝らから離れ、知識のキーを持っていかれる：ルカ伝 11:52

Wilhelm Reich と他の 20 人より多くのきわめて優秀な資格のある医者と科学者が Orgonomy の新しくて不可欠な科学に関して膨大な材料を公開した、

これらの重要な調査結果を調べるのは、誰の責任であるか？

Reich は、多くの政府機関に彼の Oranur Experiment の結果を送った。

これらの調査結果を研究して、再現して、報告するのは、誰の責任であるか？

Wilhelm Reich は、中傷、嘲笑と致命的な襲撃に直面して彼の科学的な完全性を維持するために、最高の価格を支払った。

彼は、人類に「負っていた」責任を十二分に履行した。

病気と社会的惨めさのもつれ合ったジャングルを通して切り開く難しい経路に Reich を進めたのは、誰の責任であるか？

長年、私は Reich の発見において、興味あるいろいろな州と連邦政府官僚を試みた。

U.S.の上院議員 Frank Church からの手紙で、私の最新の試みは、1971年2月20日に結論を出した。

私がアイダホフォールズに近い。

国家原子炉の廃棄物処理テストステーションの実施を批判していたときの、1970年から実際に始まったこの通信を調べよう

チャーチ上院議員と私自身の間の最新のやりとりは、私が彼に以下の通りに手紙を書いたことから、始まった：

1970年12月26日

Frank Church フランクチャーチ上院議員

米国議会 Washington, D.C. 20510

親愛なるフランク Frank :

12月10日のあなたの手紙は大変ありがたく思っています。

家内と私は、あなたとあなたの家族が来たるべき新年のために、最高の休暇を過ごされることを願っています。

あなたは A.E.C での私との個人的論争を思い出すだろう。そのとき、私は Idaho Falls に住んでいた、そして、資料 I は私が原子力産業が南東部 Idaho の人々に重大な危険を構成すると思った根拠を詳述してあなたに送った。

私がここで動き、北 Idaho に期待したように、健全性が戻っていることを見つけ出す付随する危険にもかかわらず、私は我が国と世界で、そして、(電気の) パワーを伸ばして供給するのに必要な原子力エネルギーの発展ため一般に America の役割のメンテナンスが必要なことを、完全に認識している。

しかし、無限に大きな力の源の選択肢がある、それは生命に不都合ではないし人類のために新しい夜明けの到来の希望を告げることができる

私は、あなたに最近出た本を参照する (サイキック心霊現象の発見 鉄のカーテンの後で)

オストランダーとシュローダーによって、アメリカのニュージャージー Englewood Cliffs の、ブレンティス・ホールによって今年出版された。

ソ連が遅い Wilhehn ライヒ博士の後期のむ仕事についてよくわかっている、「精神サイキック心霊現象的である」という言葉は不適切である

1957年に米国の連邦刑務所で死んだ、そして、宇宙生命エネルギー (原子力エネルギーの正反対) の発見が大国の生き残りの鍵を握る。

私がこの点で言うすべては、高い能力のある小さなグループがあり、このエネルギーについての知識と使用を進めるために英雄的に働く熱心な科学者がいるということである

現在まで、研究は明らかに我々の最も緊急の問題の解決を目指している

大気汚染、砂漠とかんばつ展開の反転と原子力の実地的な代わりなるものは何かということに対する答えである。

私は、あなたに公開が確認された論文のボール箱を送ることができた、

しかし、あなたのオフィスの圧力から離れて、個人の、親しい交流によって、問題をよく

説明することができる。

それで、あなたがこの近辺に着いたならば、ぜひこの非常に大切な問題をあなたと協議したい

そして米国にとって可能性のあるアプローチを調査してほしい。

我が州へのご配慮と、わが国のためのあなたの心からのご懸念感謝申し上げます  
あなたとあなたの家族にとって新年が良い年でありますように

**Jerome Eden**

1970年12月31日に

Church 上院議員から、次の電報を入手した：

鉄のカーテンの後でサイキックの発見は、非常に刺激的な本である

そして、ロシア人がオーゴン・エネルギーを研究して、それを知っていることを明らかに示す。

私の客の1人は、著者の1人によってされる講義に出席した。

彼女 [著者] は、彼ら [ロシア人] が Reich がかつて書いたすべてはあると言った。

(Elsworth F Baker 博士から得た親書から

REURLET : reurlet、あなたの手紙について (公式ドキュメンタリー用の アメリカの歴史的文書のコード名、記号、略語

SHARE YOUR CONCERN RE ATOMIC WASTES.

放射性汚染廃棄物質のあなたのご心配を理解いたしました。

ご親切なことば、に感謝します

**FRANK CHURCH**

その同じ晩、私は以下の手紙を Church 上院議員に送った：

1970年12月31日 Frank Church 上院議員

米国の議会

ワシントン D.C 20510

親愛なるフランク：

今晚のあなたの電報ありがとう、

それで、あなたを通して我々の全てが惑星にいないとしても私は我が国の我々の政府に輸入の最も深い問題に、再び興味を起こさせようとすることに決めた。

12月26日の私の手紙に対するあなたの返答は、私には失望であった、

私の背景にあることが心に残ることを願っている

私は、あなたが放射性危険に関して事実を述べる勇敢な人だということを知っている。

私は、あなたの意見を連邦議会議事録で読んだ。

我が国そして、我々の惑星は、ものすごいジレンマに直面する：

我々は経済成長のための原子力を必要とする、そして、同時に、この同じ原子力は我々を絶滅し威嚇する。

数年前、我々の国が軍の危機に直面したとき、アルバート、アインシュタイン、は強力な力を持つ原子力の発見をスケッチしてルーズベルト大統領に手紙を書いた：

その一枚の手紙は、歴史の道を変えた。

私は、この日のこの時の手紙で、人間に関する運命を変えることができると謙虚に提案している。

ウィリアムライヒ博士（帰化したアメリカの市民）は、静かに、そして、ファンファーレもなしに、長年働いて、宇宙生命エネルギーを発見した。（それを彼は「オーゴン」エネルギー後で「オーガニック **organic 有機**」と呼んだ）

静かに公開された本と雑誌で、多くの高い地位の医者と科学者は、彼の仕事を補強した。

私は、その公開されたアインシュタインとライヒとの間の手紙の直接複写写真の全てを、含めてある資料を持つ。

オーゴン・エネルギーは、原子力エネルギーの正反対である； **そして、Orgone**  
**はそれより断然強力である。**

ライヒ博士は、我が国の特定の敵に、簡単な、詐欺的な告発で連れて行かれた

そしてその人は2つのことをするために、米エージェンシーと米法廷を使った：

**Or-gonomy** の更なる研究を破壊して、「精神異常者」としてライヒの評判を落す。

ライヒは、それと勇敢に戦った

その後事件が展開したので、私は素朴に加わらなければならなかった

しかし、にもかかわらず **nevertheless**、彼が解放される一週間前の、**957**年11月3日に死んだ連邦刑務所に行った、

123

ライヒのアシスタントのうちの1人は **Reich** が発明した2台のモーターを持って鉄のカーテンの後に姿を消した。そして、それは推進力として **Orgone** を利用していた。

また、ライヒによって発明された特別の装置がソビエト連邦でも使われていることは知られている。

最近の本は、USSR が Reich の発見を利用していることを示す。(私はそれを 12 月 26 日の手紙で言及した)

ライヒの発見の提案と、そして、特に我が国政府が仕事を進める用意があると定めることは私が言ったように、人類の希望で新しい夜明けである。

これは推進力の無限に強力な新しい源を意味している。

国家で世界的な天気支配力の実用的な手段を意味する (可能なことはすでに証明され技術的に信頼できる)

かんばつと砂漠化を反転させることを意味する。

原子力よりはるかに安全で生命に効果的なものにとって代わることは、肯定的な答えを意味する

それはさらに、この宇宙生命エネルギーで我々の抱えている汚染問題に対する実的な解決法の答えを利用し、全く新しい産業と装置が生まれることを意味する。

この素晴らしい力の源が我々の敵の手に落ちたならばと考えるならば、我々は、キーをホワイト Housel Now に手渡した方がよい、

(そして、彼らがここのスタートを告げる銃で我々をすでに叩きそうである)

現在、大晦日である、Frank と、私は少し小さな町で、座って話している。(多分みんなの地図の上にはないだろう)

1 人はタイプライターを手元に置いている。

そして、私は、Frank Church は私を信じることができないと心に思う。

なぜ、彼は私を信じなければならないのか？

彼は、私が何か奇妙な変人だと思っている。

したがって、事態が覆されると主張しよう：

私は、アメリカの上院議員である、そして、あなたは北 Idaho の普通の市民である。あなたには、全ての Reich の出版された記録がある；

あなたには裁判所の記録部分が手元にあり裁判所による裁判過程を研究している；

あなたは、Reich の最初の実験の多くを再現してみた

**あなたは、何をしたいのか？**

私の妻の神は、彼女に恵みを与えているが、それは絶望的だと私に話す

多分、そうだろう、Frank。

この問題は、これまでに議会の詳細な調査の前に、多くのリーダーを作り、それをつぶすことがされなければならない。

私は、あなたに約束する

私の本では、**Wilhelm Reich**はこの地球を歩いた最も偉大な人のうちの1人であった。

彼の死は、国家の不名誉であった。

1958年8月の彼の科学的な研究の燃焼と禁止は、ぞっとさせる

そして、外国の権力の意志による彼の発見の窃盗は破滅的である（「正しい人間が正しいことをしない限り破滅的である、一現実に **Reich** が行ったこと」はモーターを発明はせず、**Orgone** エネルギーでそれを動かす方法を発見した

あなたが関心があるならば、**WILHELM REICH**の「請願者 **THE Wilhelm Reich** 財団と **Michael Silvert**、対（回答者）アメリカ合衆国」：を調べなさい、

アメリカ合衆国裁判所に事件移送命令書を請願しなさい

最初の迂回の訴えである

アメリカ合衆国最高裁判所

1956年10月、No.688（Washington、1957年1月10日）。

1957）。

私は、たいまつをあなた **Frank** の手に渡した

神は、正しいことと行いを知るために、あなたに知恵を与えるだろう。

あなたとあなたの家族へ新年のご挨拶を送る。

心から思いをこめて、 敬具

**Jerome Eden**、

その1ヵ月後、私は **Church** 上院議員から以下のコメントを得た：

**Dear ferry** 1971年1月21日：

我が国で現在承認されたもの以外のエネルギー源に関する情報を得たあなたのごく最近の手紙に感謝する、

私は、私にこの情報を流す際に、あなたの使った時間に感謝する。

あなたの書いたコメントについてのレポートのためにワシントンで勝手に国立サイエンス **Academy** にあなたの名前の使用なしであなたの手紙を転送させてもらった。

私はそのレポートを入手したときの手ざわりに、私の思いは戻っている。

拝啓、敬具、**FRANK Church**、

1971年2月20日に、私は **Church** 上院議員からの以下の手紙と同封物を入手した：

1971年2月16日 : Dear Jerry

「オーゴン・エネルギー」に関するあなたの質問に答えて米国科学アカデミーから私の受け取った返事は、同封されています。

この返事があなたの助けになればいいのですが。

どうかよろしく、

敬具、Frank Church、

この返事があなたの助けになればいいのですが。

読者のために、私は上のチャーチ上院議員のメモの言葉「あなたの利益のため」を強調した。

私は、誰の責任か？上院議員に聞いてはいなかった

1QS Chwch to make inquiries for me.

私のための質問を得る 1QS Chwch

私は、選ばれた公務員としてそして、彼が役に立つ彼の州と国の福祉のために自分自身でこの重要な問題を調査するためにチャーチ上院議員に尋ねていた。

National Academy of Sciences からの答えを予想して、私は Church 上院議員に以下の手紙を下書きしたが、私は彼に送らなかった。

1971年1月25日 :

Dear Frank

Wilhelm Reich 博士の不可欠なエネルギー的な発掘に関するあなたの手紙 (1月21日の) は、純真な超大作であった。[Church 上院議員への私自身の手紙も等しく「単純な超大作」だったと私は、つけ加えるかもしれない! ]、

あなたは「[私の] コメントについてのレポートのために、サイエンスの国立 Academy に、この情報を伝えている」。

私はあなたを侮辱するつもりでない、フランク人どうか、私を理解してください。

しかし、ちょっと以下を考えてみなさい :

あなたは、ライト兄弟の発見に関して、NATIONAL ACADEMY OF HOT AIR BALLOONS 熱気球ナショナルアカデミーから、1902年にどんな「公式レポート」を得ただろうか？

あなたは、ガリレオの発見に関して、ITALIAN FRATERNITY OF SCIENCE イタリア科

学友愛協会から、1600年にどんな「公式レポート」を得ただろうか？

あなたは、トーマス A.エジソンの白熱電球に関して、AMERICAN CANDLEMAKERS INSTITUTE **ろうソクメーカー研究**から1889年にどんな「公式レポート」を得ただろうか？

誰もいないだけでなく学位に関係なく誰もいない

そして、彼が詳細な調査の中でフィールドの研究を個人的にしない限り、アカデミックな存在は新しい場の研究について審判を通す資格を与えられる！

I71

今はあなたがどんなレポートを入手したか知りたい？

(そうでない場合は首尾よくかんでそれをのみこんでください)

これは、あなたが受けとったものである：

あなたの質問は、我々の調査の委員会に任せられた

それらが、(ガリレオ、ライト兄弟、エジソンと現在ウィルヘルム・ライヒ博士) といった背景と歴史を調べた。

彼の研究と主張の慎重な分析は、我々を問題の紳士が明らかに欺かれたという確信に連れていく、彼の主張のための科学的な真実の基礎ではないものを持ってきている、たぶん個人の悪評や財政的な増加のための操作をしているのだろう。

科学的な純度同盟によって(1600、1889、1902など)行われた調査は、それがくわせ者であることを示す)

彼らの恐れ **pra** を略奪して、市民の乳をしぼることは問題となっていた

役に立たない装置を根づかせていて、詐欺的な主張をしている。

したがって、市民の保護のために、我々は、純度監視同盟が彼らの出版物を押収し、彼らの実験を破壊した

そして、実行可能な場合は、-公的に、または、個人的に扱いきい欺瞞と信仰を改めさせた。

ある場合には、連邦政府による監禁が、着手された

我々は上記があなたの質問に、十分に答えていると思う。

我々は、あなたがこの明らかに詐欺的な個人と彼の疑わしい活動の更なる調査をやめるのが賢明だろうと感じる

我々は、あなたの選挙区にあなたが、上院議員として徹底的にお役に立つこの機会を評価する。

あなたが(ガリレオ、ライト兄弟、エジソンまたはウィルヘルム・ライヒ博士について)

更なる問合わせがあるならば、ぜひ我々の常なる完全さで応じたい。

謹んであなたの船にマストを立てなさい、  
アーノルド・ベネディクト Hatchet、DhP、Rx DDT  
ディレクター、閉じたカーテンの向こう側の調査  
米国科学アカデミーからの実際の返答は、いくらか異なった。  
返答の結果は、実際上は、同じことであった：

## 1971年1月28日 Frank Church 閣下

米国議会

Washington, D.C. 20510

親愛なる Church 上院議員：

私の知る限りでは、測定可能な「オーゴン・エネルギー」は、自然科学者によって理解できるようこれまで示されなかった。

したがって、我々は、「技術的に信頼できることが可能だということが証明された」というような声明を疑う。

[イタリックは加わった。]

そのような証拠が特定のデータの形で存在するならば、それはあなたの本人の主張を評価するのに有効だろう。

そのような証拠が欠如しているなら、我々は建設的にコメントすることができない。

[イタリックは加わった。]、敬具、John S. Coleman、

これは部門の相談役の、素晴らしい科学的戦術である

それは正統な国立アカデミーの役員に重役にふさわしい面白い、駆け引きである、。

国立 Academy の科学者は Orgonomy の上で米国の米国議会図書館、保健省、Education 教育省そして、ウェルフェア、原子力委員会、連邦捜査局、米国空軍、に送られた、またはアメリカの裁判官に預けられた大部の論文にアクセスしない？

かくして、明らかに、そのような論文を見つける努力をすることなく、Orgonomy の上で大部の発表された論理学を読むこともない、(彼はソビエト大使館を尋ねることができた!) それでも米国科学アカデミーの役員ジョン S. コールマン相談役は、Orgone エネルギーが「自然科学者によって理解できるかかなりの方向でこれまで示された」と述べたと公表す

る

アルバート・アインシュタイン博士は、自然科学者でなかったのか？

医者、数学者、生物学者と化学者は、Orgone エネルギーの科学的な有効性を証明している書類を実証することを発表した

-彼らはしない、そして、なぜ彼らはしないのか、自然科学者なのか？

そして、ジョン S. コールマンは役員で相談役であるけれども

支持できる証拠物理的な「不足」によって-「建設的にコメントすることができない」、何も、役員ジョン S. コールマン相談役が破壊的にコメントするのを明らかに防ぐことはないのだが「そのような証拠が存在するならば言えるのだが」と、コールマンが言うことは示さなければならない。

私は発表されている「請願者の返事の要点」No.688 に合せて書いた、:

米国 最高裁判所、1956年10月の期日、:

ユナイテッドステイツオブアメリカ対ウィリアムライヒほか、:

食物、薬と化粧品機関のエージェントの命令で、以下の科学的な研究は、1956年6月と8月の間に燃やされた。

あなたは Occer John S. Coleman 相談役から聞いているか？

1. 『オルガスムの機能 (1942 (禁止される))
2. The Dancer Biopathy, 1948 (banned)
2. ダンサーBiopathy、1948 (禁止される)
3. オーゴン・エネルギー小囊 (バイオン)、1942
4. Experiment XX, 1945
4. 実験 XX、1945
5. The Visualization of the Atmospheric Orgone, 1942
5. 大気のオーゴン (1942) の視覚化
6. The Mechanism of the Concentration of the Atmospheric Orgone, 1943
6. 大気のオーゴン (1943) の集中過程
7. Thermal Organometry, 1943-44
7. サームの Organometry、1943~44
8. Electroscopical Organometry, 1943-44
8. 電子エレクトロスコープ的なオルゴンメーターOrganometry、1943~44
9. Quantitative Determination of the Orgone, 1944
9. オーゴン (1944) の量的決定
10. The Carcinomatous Shrinking Biopathy, 1942-43

10. 癌性収縮の病理学、1942～43
11. Orgone-Biophysical Blood Tests, 1942-43
11. オーゴン生物物理学的な血液検査、1942～43
12. Anorgonia in the Carcinomatous Shrinking Biopathy, 1945
12. 癌性収縮の病理学 Biopathy の Anorgonia (1945)
13. Orgonotic Pulsation, 1944
13. Orgonotic パルゼーション、1944
14. オーゴン・エネルギーのモーター力 (1949)
15. Vacor 層状組織の更なる特徴 (1949)
1. Public Responsibility in the Early Diagnosis of Cancer, 1949
1. ガンの早めの診断の公的な義務 (1949)
17. 宇宙オーゴン・エネルギーと「エーテル」(1949)
18. エーテル、神と悪魔 (1949)
19. Orgonomic とがんの化学研究 :
20. A Brief Comparison, 1950
- 20 比較と要約、1950 の
- 21 ロシアからのオルゴン研究論文の注文 1950
- 22.
- Orgonomie Equations On Scientific "Control," 1950
- 22
- Orgonomie 公式の科学的「コントロール」、1950
- 23.
- General Form, 1950
- 23 一般公式、1950
- 24.
- Meteorological Functions in Orgone-Charged Vacuum Tubes, 1950
- 24
- 気象 Functions Orgone-Charged Vacuum Tubes、1950
- 25 The Orgonomic Anti-Nuclear Radiation Project (ORANUR ), 1950
- 25 Orgonomic Anti-Nuclear Radiation Project (ORANUR)、1950
- 26.
- "Cancer Cells" in Experiment XX, 1951
- 26 の
- 「ガン細胞 Cells」 Experiment XX、1951
- 27.

The Anti-Nuclear Radiation Effect of Cosmic Orgone Energy, 1951  
27  
Anti-Nuclear Radiation Effect Cosmic Orgone Energy、 1951  
28.  
Complete Orgonometric Equations, 1951  
28  
完璧な Orgonometric 方定式 、 1951  
29.  
The Storm of November 25th and 26th, 1950, 1951  
29  
11 月 25 日と第 26 の嵐、 1950、 1951  
30.  
The Leukemia Problem: I. Approach, 1951  
30  
Leukemia Problem : 私 Approach、 1951  
31.  
The Orgone Energy Accumulator, Its Scientific and Medical Use, 1951  
31  
Orgone Energy Accumulator、 Its Scientific と Medical な Use (1951 )  
32.  
Armoring in a Newborn Infant, 1951  
32  
武装する新生児、 1951  
33.  
"Dowsing" as an Object of Orgonomic Research (1948), 1951  
33  
Object として「ダウジングする」こと Orgonomic Research (1948)、 1951  
34.  
Three Experiments (1939), 1951  
34  
3 つの実験 (1939)、 1951  
Wilhehn Reich on the Road to Biogenesis (1935-1939 ), 1951 35.  
35  
Wilhehn Reich の Road Biogenesis (1935~1939)、 1951  
36  
The Oranur Experiment: First Report (1947-1951), 1951 i

36

Oranur Experiment :

最初のものレポート (1947~1951)、1951 の i

37

My Experience With the Orgone Accumulator, 1949

. 37

私の Experience With が、Orgone Accumulator (1949 の) である

38.

The Treatment of a Mediastinal Malignancy with the Orgone Accumulator, 1949

38

Orgone Accumulator、1949 38 による Mediastinal Malignancy の Treatment

39

Orgone Therapy of an Early Breast Cancer, 1950

39.

オーゴン Therapy Early Breast Cancer、1950 39 の

40.

Limited Surgery in Orgonomic Cancer Therapy, 1951

40

制限された Surgery Orgonomic Cancer Therapy、1951

41

Again the Common Cold, 1947

41.

再び Common Cold 1947

42

Emotional Plague Versus Orgone Biophysics, 1948

42.

感情的な Plague Versus Orgone Biophysics、1948

43.

Orgonomic Treatment of Ichthyosis, 1951

43

Orgonomic Treatment Ichthyosis、1951

44.

Orgone Therapy~a lecture delivered before the Medical Students Union, Oslo, Norway,

1950

44 前に届けられるオーゴン Therapy~a 講義

Medical Students 連盟、Oslo, Norway、1950

45.

Orgone Therapy in Rheumatic Fever, 1950

45 オーゴン Therapy Rheumatic Fever、1950

46.

The Treatment of a Hypertensive Biopathy with the Orgone Energy Accumulator, 1951

46

Hypertensive Biopathy の治療

Orgone Energy Accumulator、1951

47.

Wilhelm Reich's Concept, "Cancer Biopathy," 1950

47 の

Wilhelm Reich の Concept、「ガン Biopathy」、1950

48.

The Second Law of Thermodynamics and the Orgone Accumulator, 1949

48 Second Law Thermodynamics と Orgone Accumulator (1949)

49 Mathematical Questions Without Answers, 1951

49

数学的な疑問 答えの無い問い Questions Without Answers、1951

50.

Life and Matter. A Series of Three Experiments, 1938

50

生命と物質 3つの実験から 、1938

51 身体的な Orgone セラピーについての議論 、1951

1951年の科学の歴史から、

30年にわたる苦心して念入りに作られて発表された科学的な調査結果がこの当局を確信させることができないならば、生命エネルギーの発見の本当の性質について、他のどの社会的当局も確信させることができないし、法廷での訴訟も、それを、どこも決して助けない。

-ウィルヘルム・ライヒ博士

(ライヒの「FDAの禁止命令に対する返答」から。)

# 15

## 生命のための最後の戦い

今日、人間はその恐ろしい全歴史の中で最もたいへんな危機に直面している。  
この危険な期間は、ごく少数しか認識してない微妙な脅迫の出現のため、いっそう威嚇的である  
人と惑星のすべての生命が次の二三十年間を生き残るかどうにかかわらず、本当に多くの時間を我々が使ったならば、完全に、真正面に我々の問題に直面する能力によって、状況を評価することで最高に我々の頭を利用して、ウィリアムライヒと **Orgone** エネルギーの発見によって我々に与えられた新しい事実と洞察に適合した、技術的で感情的な行動を適応させることが出来る。

人類が核のホロコーストを生き残ることができないことはよく知られている。  
オーゴン・エネルギーは、原子よりはるかに強力である。  
**Reich** のオラーナ実験が明らかにデモンストレーションをしたように、その慈善性は、その等しいパワーに合うだけの致命的な殺人者にも変わる。  
**Oranur Experiment** の有効性を疑うどんな古典的な物理学者または科学者でも、彼の頭を **Oranur** によって汚染された **Orgone Energy Accumulator** に突き入れることによって、その現実を簡単に確信することがありえる。  
パーソナルな反応結果はそれ以上彼の力が及ばないほど頭の中の疑いをノックアウトする！  
そのような実験的なセットアップのための進行は、**Reich** のオラーナ実験を与えられるしたがって、慎重さと知恵で更に進もう。  
しかし、すぐに必ず進行しよう  
何がすることができるか？  
以下の提案は、原子自殺に向かう我々の現在の傾向を覆す際に実行されることが出来るステップだけに働く概略として提供される：

1. 米国原子力委員会は米国 **Orgone Energy** 委員会 (U.S.O.R.C.) にすぐに変わらなければならない。そして、この広大な新しい分野で働く証明書を確立した医者と科学者によって責任者が決められる。

U.S.O.R.C. **米国 Orgone Energy 委員会** は、以下の責任を任されていなければならない：

**A.** 現在の原子力装置と施設を研究して、Oranur に照らしてこれらの現在と潜在的危険に関して、忠告をする;

**B.** Orgone エネルギー機能で公共と個人的な産業を指向するために、特に核放射線、X線、高電圧の電気などを利用しているそれらの産業で、差し迫った教育プログラムを確立する

**C.** 大学、医学部と病院レベルに、Orgonomy での健康診断と保健当局を正しい位置に置くために、教育プログラムを確立しなさい;

ますます多くの科学者、エンジニア、医者と教育者がこの新しい分野に自分自身を基づいていくなれば、Orgonomy が方向づける国家クラッシュ・プログラムも設けられる。

3. U.S.OR.C.は、Cosmic Orgone 技術部 (CORE) を設立する。U.S.OR.C.は (CORE) に対する責任ある味方となる :

A. ライヒの天候コントロール研究の指導と探究;

B. 現在の惑星 DOR 来襲の源を観察する、そしてそれが国家と惑星をかんばんつで威嚇する展開の、観察を継続する;

これは、山火事、かんばんつとスモッグ除去の規制への統一的な努力に向けた全国的な「雲を破壊するクラウドバスター」ステーションの開発を含む

C. 我々の大気に宇宙航空機によって置かれている問題を観察する

4.

U.S.OR.C.は医学的オルゴノミー部門を設立する。そして、研究と教育の国家プログラムを開発する訓練された医学的オルゴノミスト **orgonomists** によって率いられる。そしてライヒの、自然法則と **Orgone Energy Accumulator** の基本的な発見を利用する、

医学的 DOR バスター、癌バイオマスター、オラーナ問題、ライヒの血液検査、その他、上記の提案は、単に最初に完成していなければならない最も緊急の組織的作業のいくつかだけのラフな輪郭である。

そして、多くの **Orgone Energy** は発生すると多くの問題が予想される。

にもかかわらず、我々は初めから異議と、質問と手続きの詳細で行き詰まるようになることはできない。

ライヒが示したように、コロンブスが彼の 3 隻の船を建造するために必要なすべての釘を数えるために止まったならば、彼は海に決して進まなかった!

最終的な言葉が、ライヒと **Orgonomy** に対する訴訟事件と比較して話されなければならない。

真実と事実に行われた不正と **Wilhelm Reich** の死亡は、国家で人間の災害であった。

地球において研究のこの不可欠な新しい場が押しつぶされたので、数百万人は不必要に苦しみ、死ぬ、そして、素晴らしい科学者は滅ぼされた。

Reich のケースの即時の完全で開いた調査は、議会によってされなければならない。

公的な信頼を破ることで有罪と判決された人々は、連れて行かれなければならない

そして、ライヒの答えの要約にある正義のブーメランの法律に基づき罰される。

しかし、これだけでは確実な将来の正義と安全の確保には十分でない

ライヒ論拠、法廷記録、隠された記録などの詳細な詳細な調査と、

どんな処置が民主主義の人間を保護するのにされなければならないかを示し、そして現在の

の、科学的な我々の状態と将来の世代のためにそれを自由にする。

公的な責任として

何がどうあれ、どんな社会でも、力を出して働き、出し惜しみせず力を出す人々は、彼らが望むものを得る。

彼らが彼らの身の回りに続いていることを公然と承認するので、または、分離された問題であるように彼らの沈黙が常に解釈されるので、それを手に入れる

どんな個人でも議員、上院議員、知事、その他に手紙を書くことは、数秒だけで出来る。

あなたの 1 通の手紙は、あなたの代表によって無視されることはできない。(数千または数 100 万人と掛け算される)

**あなたが個人で、真実を裁判官に要求すれば、我が国は真実と真実の裁判官を得る。**

我々全員を絶滅で脅かすこの切迫した原子力による危機に照らして、

我々の党派心の強い憤慨とその違いを取っておこう、そして、我々の国と我々の地球の子供たちの黒、白、赤、黄色のすべての子供たちについて考えよう。

すべての子供たちの中の機能である、青いオルゴンエネルギーの創造主は、人の色や、クラスまたは教育に関して差別をしない。

我々の注意を、したがって、神に集中させよう』創造者、そして、機能的な法則を理解しようとする際に、我々は、本当に生命と「人間を自由の身にする」ことができる真実からの贈り物を順番に受け取る

# エピローグ

青春期への公開状：

20世紀の最後の10年間に、新しい世界は、新たに独立した人は、前の古い世界の至る所で生誕の惨めさとの闘いで苦しみ、破壊と死の痛みの熱狂の中で死んでいく。証拠を見た。

青春期は、邪悪な地平線の向こうに我々を待つ新しい世界の中心でもある。

プラス面では、青春期は新しい命の新しい強さ、必要な変化への要求と能力、そのような変化への仕事の勇気がある。

借方の記入側には、青春期には我慢と、知恵と愛と、実際的な仕事と知識を通して、経験からだけ生まれる謙遜さが不足している。

地球の血の歴史を通して、青春期は個人的には公的な奴隷状態に売られた、

国際的なチェス・ゲームの駒として犠牲にされる、

政治のパターンに合致するために、機械学のギアに合うようにされる、

社会の堅い、利己的な領域に合致するように骨抜きにされる、

軍の機械的な屠殺場に徴兵されるか、精神病院または服役施設（捨てられて、粉碎される）に閉じ込められる。

しかし依然として — 私は、言う — 青春期は、（世界の1つの最後の光）地球の希望である。

したがって、この終わりのことばは、主に我々の攻囲された惑星の若者に伝えられる。

合理的な、健全で、何か創造性のある人でもない、あるいは、社会的に役に立つ何もない、私は言う-不合理であるか、破壊的であるか、病気であるか、軽蔑的な手段で完了させることができる、そういう人はダイナマイトを仕掛けることにでジャガイモを伸ばすことはできない。

問題なく、何トンのダイナマイトをあなたが仕掛けて、爆発させると

あなたは、それによって人への1個のジャガイモも栽培してない

これは、一見したところばからしく見える明らかな事実である。

誰が、あなたにダイナマイトを仕掛けるか、モロトフ・カクテルを植え付けることによって庭か、家かに新しい世界を構築するように助言するのか

それでも、これは、正確に人類の敵があなたにさせることである。そのような殺人者は、ガラガラヘビがウサギのためにそうしなかったのと同様にあなたの福祉に対する懸念はない。

主目的は、権力である；

そして、あなたのものは生きている人のエネルギーを供給することである。

ヘビはあなた（宣伝または錠剤で）を毒殺して、あなたの創造力を麻痺させて、あなたの人生を吸いつくして、そして、あなたがもはや「社会的に役に立たない」とき新しい、新しいウサギのために、あなたを捨てる

あまりに遅くなる前に、あなたの若い、パワーを用いて強さを罠で捕らえ、隷属させて、破壊しようと企むそのような生命の殺人者を認め、知りなさい。

人間の毒蛇、詐欺師、ものやさしいキツネまたは不潔なハゲワシの感情的な表現力を読むことを学びなさい。

あなたがやみくもにこれまたはその「新しいリーダー」の後について行く前に、単純な、直接の質問をしなさい；

そして、単純な、まっすぐな答えを要求しなさい！

もっともらしいニューリーダーがどのように、建設的、創造的な仕事を、実行したのか？  
彼は、かつて彼自身の2つの手で家を建設し、農家か、成長した健全な、幸せな子供たちとか、さらに健全な鶏を世話をしたことがあるのか？

彼は単に中身が空のまたは別のものであるだけで、政治的なおしゃべりと疫病でほら吹きで非難し、嘲笑して、破壊するだけのものかもしれない？

人は、中傷する能力または爆弾を洗面所に仕掛ける能力を持つ、軽蔑に値する建築家のサービスに助けを求めない、

人は、建築家に尋ねる（特に社交的な建築家に）：

「あなたが命を高めるために希望するあなたの具体的な、実用的なプランを教えてください！

あなたがすでに築いた構造を調べさせてください！」

あなたの人生は、憎しみ怒った小さな男のように、致命的なものではない

その人は当惑して助けのない多数の背中を、行く途中に力がかきむしる。

**Wilhelm Reich** は、我々にこの苦々しい真実を教えた；

そして、彼はあなたに生命のためのこの最終ラウンドの戦いで使う多くの不可欠な道具を与えた。

はい、あなたには不平と、多くの痛い、合法的な不満がある

私が、非常に長い間あなたの惨めさと接触してきた。

私は、公立学校で何年か先生をしていた；

そしてあなたの合法的な憤慨についての私の深い知識を証明する私の本を、こどもたちに捧げる。

1959年に、私は、あなたの生命と愛のための必死の争いに真剣に取り組もうとするために教育者として、私の職業から首になった。

抗議することが流行になるかなり前のことだった。

誰もウィルヘルム・ライヒの衝撃的な逮捕と、彼の確信、禁固と死亡に対して抗議行進を手配しなかったちょうどその時、私の解任に抗議するため誰も大通りに沿って行進しなかったし監視役にはならなかった。

あなたは、顔につばを吐かれ、不正をされてはねつけられたただ一人の人ではない！

今日生きている大人は、キリストの生命の磔を経なかったのではない！

公共記念碑の上に排尿して、そして、国旗を燃やしてキリストの命の磔を軽減しない彼らは、殺人の種をもっとたくさん入れるだけである！

約200年前、もう一人の偉人（Franz Anton Mesmer 博士）は、書いた：

「真実は、誤りの間に直線で引き寄せられる。そして、社会的な激烈な逸脱が必然的に極左、または、全体主義の極右に連れていくことを示している。

創造的な生命に専用の、まっすぐな通り道は、しばしば多くの規律と忍耐を、ゆっくり念入りに、要求をしている。

現在、あなたが善と悪と健康と病気、神と悪魔、青春期の愛情と逸脱、きわめて必要な仕事と寄生虫の売春を区別することができないならば、あなたの将来は、どのようになるか？

どんな具合に、あなたはそのような決定的な重要な相違点を知ることができるのか？

まず第一に、私は Wilhehn ライヒの長い、愛された労働を心から推薦する。

あなたは神の方法と勇気を持っているかもしれないあなたの体の合理的な生命と愛であるものに案内されるために、合理的なものの本当の星は進歩する

愛、仕事と知恵 Love, Work, and Knowledge.

生命の燃えるような輝きは、本当にあなたの手にある。

あなたは、より優れた存在のための長い闘いにおいて一人ではない。

私は熱烈に祈願する。そして、あなたは古くからの堆積物にあなたの神から与えられた生命エネルギーを使って、最後の望みの残りを破壊したりしない。そして、我々が継続しなければならぬ麻痺する惑星で依然として存続することを共有する

最も心から、Jerome Eden



# 付録 A

1954年2月25日

クリフォード Clifford 判事閣下

連邦裁判所 議会 Federal Court House

メイン州 ポートランド

親愛なるクリフォード Clifford 判事：

私は、勝手にあなたに FDA 食品医薬品局によって提出された **Orgone Energy Accumulator** に関する告訴に対する私の「返答」を送信させてもらっている。

私の「返答」は、基本的な自然の法則の問題を述べようとする自然科学者として、私の立場をまとめている。

問題の法的見地を審査することは、私の範中ではない。

今日の科学の世界の問題としてだけでなく私の事実の位置の論拠が、食品医薬品局がそのような行動をする時から、私の心において私は食品医薬品局がこの論拠に入ってくることを許さない。

政府のこの特別な部局の権限の承認の意味を示して、原始の、核以前の宇宙オーゴン・エネルギーについての見解を述べてほしい。

私は、したがってこのケースを、あなたの手に対する完全な信頼の中に、置く。

敬具、/S/ ウィルヘルム ライヒ博士

## 返答

食品医薬品局 (FDA) のウィルヘルム・ライヒ博士の自然科学的な活動を命じなさいという要請を尊重しました。

告訴に関するドキュメンタリーならびに法律状況をはっきりさせるために、我々は、最初から、事実を正当に取扱うために、具体的な事実と法的手続きを見ていかなければならない。

アメリカ政府は、技術的に、法的に、Wilhehn Reich の自然科学的な仕事を告訴した。

実際に、FDA食品医薬品局は「アメリカ政府」ではない。  
単にその行政庁の一つとして食品、医薬に対処しているだけである。  
基礎となる自然法則に対処することは、公的な権限を与えられていない。  
ORGONOMYは、基礎的自然科学の枝葉である。  
研究のその中心対象は、基礎自然科学の説明である。

現在、上記の事実とともに法的手続きに連れて行くためのラインで、以下は提出される：  
合衆国の慣習法の構造は、初源となる自然法に基づく。  
この自然法 **Natural Law** は形而上学的に、宗教的に、メカニスティクに、いろいろな考え方でこれまで解釈されてきた。  
存在のまさしくそのルーツを含む発見に基づいた自然科学的な問合せを、決して具体的ではないが、科学的な問合せを受けた。

確実な生活様式の基礎としての自然法 **Natural Law** の概念は、生命自体の実際的で具体的な役割の中に、しっかりと基づいていなければならない。

生命が実際に何であるか、どのようにそれは働くかという事実（その基本的な機能的な徴候）の説明によって結果として、正しく生命のポジティブな面として自然法の解釈と慣習法の基礎を明らかにした。

この基本的な前提から、大方自由な、煩わされない、妨げられない、自然科学的な活動で、そして、特に生命エネルギーの調査において自然科学者の主張を引き出すべきだ。

FDAの告訴は、現在、ここで、海外で我々全員の命に反響して、基本的な社会問題と、実際に親しく相互関係する。

アブラハムリンカーンは、かつて以下のように述べた：  
「私が言うことは、人がその他の同意なしでもう一人の人を支配するには十分優れていないということである。」

私は、これが導く原則（アメリカの共和主義のとどまるべき主となる錨）であると言う。」、この時点において、「私は、FDAによって私の基本的な自然研究活動が支配されることを拒否する」と私は簡単に宣言することができる、

しかし、正確にここで、私のこの憲法上の権利において、自然法とコモン法の解釈の基本

的な混乱が、明らかになる。

人間の幸せと自治を破壊する狙いをもった共謀者が、そこにいる。

現在、フリーな、妨げられない質問は、私が正しいのと同じように人類を損なう共謀者も正しいのか？

明らかに、同じ事ではない。

私は、現在のアメリカ社会のこの基本的なジレンマに答えようとはしない

私の、アプローチはこの法律の事実のジレンマを開くだけである。

それは、原告の位置で、実験的で理論的な生命の機能から感情的な、教育的で、社会的で、経済的、知的な、医学に命じてたいへんいろいろなことをしなければならない、自然法によっても、アメリカの慣習法の **Common Law** の結果でも彼がたとえ誰でも、誰も命じる権力または法的権利はない：

人間の中にも外にもある生命を含む自然現象の研究と所見；

我々の熟している若者を含めて、全ての生きている人間存在の仲間を刺激し引き起こす；

宇宙の自然な生命力エランビタールに関わる抽象概念と最終ラウンドの数式の出現で、その人間の同胞の間にこれらが普及することは正しい；

基礎の器具の取扱い、使用と配布は、何らかの分野を再び探す（医学、教育的な、予防手段、検診、生物学的な）そして、なんらかの分野がそのような基本的な活動から現れて、そのような原理に基づいて、必ず無料のままでされなければならない。

言い換えると、「混ぜ物をする」ような種類の活動と器具に商標を付けるような試みは欺瞞として、原告の地平線の狭さを特徴づけるだけである。

決して人間の作った法律でなく、またそれが過去に由来するからとか、遠い地域まで適用されたからとかも問題ではない、予知できない将来に、それが止まれば自然法より大きい問題だと主張するので、これまで公的な権限を与えられることがなかったので、公的な権限を与えられなければならなくなる。

そして、それが創造の永遠のリズムとすべてのものの自然な低下から必然的に戻さなければならなくなる。

これは正当で、例えば「神」とか、「自然法」とか、「宇宙の初源的力」とか、「エーテル」とか「宇宙 **Orgone Energy**」といった言葉で話すかどうかは問題ではない。

現在の国際的な人間の情勢の臨界状態は、自分自身の内も外も、自然との人間の関係の完

全で、正直で、断固とした説明の方へ、努力に対する迷惑な干渉に対する防衛手段と安全が必要とされる;

言い換えると、自然の法と彼の関係の問題である。

道徳的に、法的に、または、実際に自然科学者に裁判所で彼の科学的な結果と基礎研究の方法を暴露することを強制するために、各々をすることは許されない。

この点は、生物学的病気の男性が荒廃した、貧困な多数の上に彼らの手に力を独占的に保持するところにある世界の危機で強調される。

基礎的な自然原理の問題の「被告」として出廷するために、研究は、控え目に言っても、本来驚異的に見える。

それは、ライフ **Energy** の発見の位置を支持してもらうために、証拠の発表を必要とする。そのような発表は、しかし、口で言い表せない複雑化と多分国家的な災害となることの実施となる。

この証拠は、高、信頼できる位置で **the US** 政府の順当に許可されたパーソナリティに、いつでも提示されることができるだけのものである

科学的な問題は、多分裁判所で決めることができない。

決して訴訟によってでなく、意見の親しみやすいやりとりで、引き伸ばされた、誠実な本物の所見によってこれらは澄明にすることができるだけである。

告訴の唯一の目的は、**panmunjom** 流のオルゴノミックな基礎研究を終りのない、高くつく法的手続きにもつれさせることになっていて、正確に終わったものでどれも合理的で人間の社会にとって有用なものは何もない。

基本的な自然法の領域の問合せは、どんな地域でも、国または地域でも、この球体の上のどこでも、または他のどの種類の社会的当局でも、自身の裁判の外側にある場所で問題にされるだけである。

人間の知る権利、学ぶために、問い合わせるために、本物の誤りを知るために、人間の感情を調査することは、必ず、安全でなければならない、

単語自由が空のスローガン以上のものであるならば。

30年にわたり苦心して念入りに作られ発表された科学的な調査結果がこの当局を確信させることができなかつたし、他の社会的当局を本当のものとして確信させることができないならば、異議を唱える（もちろんソビエト U 連邦によって「関心」が示されていることを除いて）。

生命 **Energy** の発見の性質は、法廷の訴訟でも、そうするのをどこも決して助けない。

真実と正義の名において、彼の単なる告訴による自然科学の問題での彼の無知をすでに示

した原告に対する「被告」としては私は、したがって、出廷しないと思う。

私は、誤って、私のすべての活動において完全に命じられたことの危険をおかしてそうした。

そのような禁止命令は、ほとんど何も意味しない

称賛されるか、ののしられるかにかかわらず、生命エネルギーの私の発見は、何百もの団体で、今日地球上でほとんど広く知られている。

たとえ何が私に起こっても、誰によってももはや止めることはできない。

オーゴン **Energy Accumulators** (「装置」) は宇宙 **Orgone Energy** に集中するために設計した、そして、このように医療の更なる研究に利用できるようにするために、生物学と物理学と他の多くの領域で、私の知識と同意なしで、どんな使用料の支払いもなしで今日構築されている。

これらの考慮点に基づくと、私は、**Orgonomy** に対する告訴が完全に問題外のものと思う。

**Wilhelm Reich** 基金の基礎研究の議長

**Wilhelm Reich**, 博士

私の意見では、裁判所の基本的な「間違い」は簡単に、**FDA** のエージェントによって持ってこられた詐欺の申し立てに対して **Orgonomy** について反証をあげる膨大な文献を調べることをしなかったことであった。

この文献は、裁判所で入手自由だった。

一旦裁判官の禁止命令のサインがされたら即座に、それはアメリカ合衆国の基礎自然研究の絞殺につながる事件の運動を開催して、ウィルヘルム・ライヒの禁固と死亡となった

**J. E. 3**

## 付録 B

アメリカ合衆国南部 **Maine** メイン州の地区のための合衆国地方裁判所で

原告ウィリアムライヒ財団、メインコーポレーション;

v.

ウィリアムライヒとイルゼ オーレンドルフ Ilse OLLENDORFF、

被告

民事訴訟 No.1058

禁止命令に対する命令

この中の禁止命令が被告その他にさらに禁じることへの不満を提出していた原告は、連邦食品医薬品化粧品法違反を主張した；

そして、1854年2月10日に、各々の被告は出頭命令と不満についてのコピーを順当に交付されていた

そして時間が期限切れになったので、被告ではなく自分で、または、代表によって答えた；

そして、1954年2月26日に、コピーと一緒に承認要求 Admissions は各々の被告に順当に出されていた；

そして、言われた要請に答えることが被告にはされていない、したがって、時間期限切れになった；

そして、その中で各々の被告は欠席になった；

そして、そこから命じられない限り、被告が FDA の法、21 の U.S.C. 331(a)と(k)の意味の範囲内でオーゴン・エネルギー・アキュムレーター装置を紹介し続け、紹介する原因となり、届けられるか、州の間の商的行為として届けられる原因となるように見える、そして法廷から、これは前提として完全に忠告されていた：

これはここで命じ、裁かれ、命じられた。

その被告、ウィルヘルムライヒ財団とウィルヘルムライヒ、そして、ILSE OLLENDORFF、そして、彼らの役員、エージェント、使用人、従業員、弁護士、すべての会社、協会のそれぞれみんな、

そして、組織と活発な提携または彼らがまたはそのどれにも参加するすべての人、そして、彼らは、セクション 301(a)または (21 の U.S.C.C Federal 食品医薬品化粧品法の 331(a)または(k))、301(k)に違反する、どんなスタイルでもまたはモデルでも、すべてのアクセサリ、構成要素またはそのパーツまたはどんな類似した装置でも、どんなスタイルまたはモデルでも、どんなオーゴン・エネルギー・アキュムレーター装置でもそれと意味されるか、嫌疑のかかるオーゴン・エネルギーを集め、蓄えると述べたどんな装置に関しても以下の行為のどれでもすることは、直接または間接的に抑制されるよう、永久に命じられた

(1)持ち出したりは与えること、持ち出されるか、配達するか、州の間の広範囲の商業的な紹介を引き起こすそのような装置の記事

(a)

誤った商標を付けられた法 (21 の U.S.C. 352(a)) の第 502(a)節の意味の範囲内で  
その標識化のどんな代表または提案の理由でも  
記事が、どんなスタイルまたはモデルでも、目立つ治療剤であるようなどんな病気の予  
防手段であっても有益であるという、または、病気状態が治療、緩和、処置とどんな病気、  
徴候または状態の予防にでも効果的であるという印象を、それは伝える;

または誤った商標を付けた法 (21 の U.S.C. 352(a)) の第 502 節(2)の意味の範囲内(b) で  
オーゴン・エネルギーが存在するという嫌疑のかかっている印象を伝えるどんな理由でも  
その誤った標識化の提案の表現;

または誤った商標についての法 (21 の U.S.C. 352(a)) の第 502(a)節の意味の範囲内(c) で  
どんな写真表現もまたは、さもなければ、印象を伝えるキャプションによる提案理由で嫌  
疑のかかっているオーゴン・エネルギーまたは嫌疑のかかっている活発なオーゴン・エネ  
ルギー・フィールを表すその実際の写真を使用すること

または誤った商標の法 (21 の U.S.C. 352(a)) の第 502 節(a)の意味の範囲内での(d)  
虚偽かまぎらわしい他の説明または提案の理由でも;

または法の第 501 節(c)の意味する範囲内の(e) Adulterated、(21 U.S.C. 351(c))、その強さ  
が異なるか(1)またはその品質が、下に落ちる

またはそれは(2)、空気から集まったことを意味するか、所有すると述べそう言われた装置  
として嫌疑のかかるオーゴン・エネルギーを蓄えるとしている;

または(2)

そのような装置が賃貸または他のどの性質のものも含めて売りに出された状態として保た  
れる間、商標を付けられるか、州の間の商業的出荷の後いかなる点においても混合された  
物として惨めなと言われる装置で終わることも考え、どんな法律でも出し、どんなオーゴ  
ン・エネルギー・アキュムレーター装置に関しても、どんな形でも法令を与える  
;

そのさらなる命令、

(1)

すべてのオーゴン・エネルギー・アキュムレーター装置 (そして、これらの標識化 (それ  
は州の間の商業的に出荷され、そして、それが(a)レンタル原則で、またはさもなければ(b)

被告の誰かによって所有・支配される、あるいは、被告の、Rangeley (メイン) の、彼らの事業所に被告によって回収される;

そして、(2)装置はすぐに上の(1)とこれらの部分に言及したために、被告によって破壊されねばならぬ、さもなければ、これらは解体されるかもしれず、材料になるかもしれない  
そこからこれらは、解体の後、救助されるようにした;

そして、(3)パラグラフ(1) (ちょうど上の) に記載の標識化が、特定の購入価格が彼らの所有者によって払われたがそれらのアイテム以外は、被告によって破壊される;

そして、(4)

州の間の商業で出荷されて、Rangeley (メインまたはどこか他の所) と待っている修理または再び船積みに戻されるオーゴン・アキュムレーター装置のその全ての部分または部分は被告によって破壊される、または、彼らは解体されるかもしれない、そして、彼らがいた材料は解体の後救出されて作った;

そして、(5)

書面にしたか、印刷されたか、グラフィック内容と彼らの表紙、(もしあれば)の以下のアイテムのすべてのコピー (アイテムはその装置の記事のラベルをつけて構成した、そして、それはオーゴン・エネルギー・アキュムレーターの存在に関連する声明と表現を含む)、そして、治療、緩和、処置と病気、徴候と状況の予防においてアキュムレーターを使用することによるそのような嫌疑のかかっているオーゴン・エネルギーの使用について言われた:

「オーゴンの発見」 Wilhelm Reich

オルガスムの機能 vol I-

ガンバイオシー vol II-

性革命 Wilhelm Reich

エーテル、神と悪魔 Wilhelm Reich

宇宙スーパーインポーズ Wilhelm Reich

「聞け 小人よ」 Wilhelm Reich

ファシズムの群衆心理 WiAielm Reich

性格分析 Wilhelm Reich

キリストの殺人 Wilhelm ライヒ

ピープルのトラブル People in Trouble Wilhelm Reich

この本は被告によって発表を控えられ、標題としては二度と用いられていない;

しかし、そのような声明と表現と他の関連のある材料も削除された場合は、そのような出版物が被告によって使われるかもしれない;』

(8)

指示を含んでいるすべてのその書面にして、印刷されて、グラフィック内容  
どんなオーゴン・エネルギー・アキュムレーター装置の使用のためにでも、  
そのアセンブリのための指示、は  
すべて印刷され  
そして、他はアナウンスする、  
そして、  
パラグラフにリストされるアイテムのために指示は空白  
すぐ上の、すべての文書、

(以下の通り) で名称を与えられる速報、パンフレット、一部ジャーナルと小冊子 :

(8)

オーゴン・エネルギー・アキュムレーター装置の使用のために指示を含めてグラフィック  
内容とすべてを書面にして、印刷し、

その部品組み立ての指示はすべて印刷され

そして、他のメニューはアナウンスする、 -

そして、指示空白

すぐに上のパラグラフにリストされたアイテムのために、

一部名称を与えられたすべての文書、速報、パンフレット、ジャーナルと小冊子 : (以下の通り)

カタログシート、医者 report、

オーゴン・エネルギーアキュムレーター、の使用のためのアプリケーション

柔らかいオーゴン放射、に関するさらなる情報

オーゴン・エネルギー・アキュムレーターその科学的な、そして、医学的である

『禁止命令にもかかわらず、Farrar Straus と Giroux (j) によって、削除なしで、この命  
じられた文献のいくつかは、その原形で再版された。

E.

USE, ORGONE ENERGY BULLETIN,

使用と、オーゴン・エネルギー速報、  
オーゴン・エネルギー非常事態  
性経済学と国際的なオーゴン研究ジャーナル  
国際オルゴノミー定期刊行物  
感情的な流行病 対 オーゴン生物物理学  
(オーゴンの年代記) ANNALS OF THE ORGONE

I 研究、そしてオラーナ実験、それらに限られていないが、列挙されたものは破壊される;

そして、(7)命令と規定を含む、上の(6)のパラグラフ(1)を含んでいるために、  
Health、教育と福祉の部門の典型を認可する食品医薬品局は、その従業員の管理の中で、  
実行する

(8)

この法令の監督と確保遵守の目的で、食品医薬品局の職員に言っている、  
合理的な時間に、被告にアクセスして、すべての本、元帳、口座、通信、メモ、そして、  
他の記録、そして、文書をコピーすることを許可する、[イタリックはJ.エデンによる。]

または、言われた被告のコントロールの所有の中で  
Rangeley、メインまたはどこか他の所で、この命令に含まれるどんな内容に関してもすべ  
ての提携された人、会社、協会と組織を含めて命じる。

しかし、制限または干渉が言われた被告の誰からもなくても言われた被告または系列会社  
の言われた役員と従業員の合理的な便宜がなくても  
秘書とのそのような権限を有する代表者は、どんな被告の従業員とでもまたはどんな系列  
会社でも、そのような内容主題に関して役員と面談するのを許される、

そして、(9)被告が、直接、または、間接的に、言われた法に違反して、集会し(建設)  
に情報を広めることまたはオーゴン・エネルギー・アキュムレーター装置を作る人へまた  
は、他の動物のために治療的であるか予防用途のために使用されることを禁ずる。

1954年3月19日午後2時45分

/S/ JOFIN D. CLIFFORD, JR.

米国の地方裁判所判事

メイン州地区のための

オリジナルの本当のコピーは、1954年3月19日の午後2時45分に綴じ込んだ。

証明する：

/Morris Cox Clerk (合衆国地方裁判所)

『なぜアインシュタイン事件のファイルリストがないのか？  
誰も言わないし何も注意しない？』

-J. エデン

# 付録 C

**医師**、科学者と教育者がウィルヘルム・ライヒの作業を実証して、その論文には機能が書かれていた：

そして、その論文が、FDAによって囲いの中に入れて燃やされた

Andexson、William A.、M.D.、外科医、Bloomfield、N.J.

Atkin、R. H.、数学的な物理学者、London、England

Baker、Elsworth F. 医学博士、前、女性への医学的サービスのチーフ  
ニュージャージー州病院、マルボーロ、N.J.

Baumann、Jacob、心理学者、チューリッヒ、スイス

Bremer、Kenneth 医学博士、オレンジ記念病院、N.J.

Cott、Allan、博士、かつて女性への医学的サービスの副チーフ、  
ニュージャージー州病院、Marlboro、N.J.

Gold、Philip、医師、かつて、精神衛生クリニック、精神科医  
Bellevue 病院、N.Y.C.

Sheffield、Mass. Hamilton、A. E.所長、Hamilton 学校、

Hoppe、Walter、医学博士、医師でチーフの精神科医 (Tel Aviv)  
(formerly with Psychiatric Clinic, Bonhoeffer, Berlin).

(かつて、精神医学クリニック、Bonhoeffer、ベルリン)

Levine、Emanuel、医学博士.、かつて、精神科医スタッフ、バーモント州

Hosp. 異常精神医学、Waterbury、Vt. McDonald、Helen E.、博士、かつて、科学省の Fulton、  
Mo 、William ウッド大学の責任者

;

Teaching & Research Fellow, Univ. of Calif., Berkeley, Calif. Neill, A.S., Director,  
Summerhill School, Leiston, Suffolk, England.

教育と研究の仲間、カリフォルニア大学、バークレイ大学、カルフォルニア. アレクサンダー・  
サザーランド、ニール A.S.Neill サマーヒルスクール所長、イングランドサフォーク  
州 レイストン、

Oller、Charles L、医学博士、神経学のアメリカ American 委員会の精神医学有資格者;  
Neurology の仲間、医学グラジュエイトスクール Graduate School of Medicine、ペンシル  
ベニア大学

Raknes、Ola、博士、心理学者;

スウェーデン スtockホルムの 13 回目の心理学国際会議 講師、

Raphael、Chester M.、M.D.、前上級住民精神科医、

Marlboro、N.J. New Jersey state Hosp

Sharaf、Myron、M.A.、教育の特別研究生で研究員

ハーバート大学.の心理学アシスタント

Singer,Richard、医学博士.、(かつて Jersey と City 医療センターをもつ) ;

Bellevue 精神医学病院とヒルサイド病院 (N.J.)

Silvert、Michael、医学博士.精神科医、V.A

Mental Hygiene Clinic、管理者 N.Y.C.;

Topeka, Kan.

心理学者、精神分析の Menninger メニンガー財団学校、前の Resident

Sobey, Victor M., M.D., formerly Sta\$ Psychiatrist, Newark Mental

Sobey、Victor M.、医学博士、かつて、Sta\$精神科医、Newark 精神医学

衛生クリニック、Newark (N.J.) とユニオンカントリー精神異常者衛生クリニック、連盟、  
N.J 州.

Weverick、N.医学博士.モントリオール Canada

Willie, James A., M.D., formerly Senior Psychiatrist, New Hamp-s}~e State Hosp.,

Concord, N.H. Wolfe, Theodore P., M.D., Associate, Columbia University (N.Y.C.),  
Willie, James A., 医学博士., かつて、上級精神科医、新しいハンプシャー州病院、  
Concord, N.H.

Wolfe, Theodore P., M.D.,

仲間、Columbia University コロンビア大学の仲間 (N.Y.C.)、

そして、精神病医 心理学者と内科研究員、長老派教会ホスピタル病院、N.Y.C.

## 付録 D

以下は、Wilhelm Reich によってアメリカ合衆国控訴裁判所、最初の回路 **the Court of Appeals for the First Circuit.**のために提示された控訴の概要からの抜粋である。

デイビッド Blasband による、全ての論拠の要約は、優れた論文「アメリカ合衆国対ウィルヘルム・ライヒ」で見つかる

そして、それは1967年と1968年の *Orgonomy* ジャーナルの、第1巻と第2巻の (no. 1,) にある (Bibliography 参考文献を見なさい)

### Part I 公正であるための-訴え

#### A 訴えの一般的な技術的基盤とその議論

1956年5月7日の生命エネルギーの発見に対する判決は、法曹界の歴史で先例のない法律状態 **under legal conditions** と社会的状況の下でされた。

これらの異常な状況と状況は、技術的に、陪審の前に完全に問題をはっきりさせる際に、被告をブロックした

陪審員は、その評決を知らないようにされた。

しかし、この証拠は原始の、質量のない宇宙エネルギー（または、生命エネルギー）の発見者であるウィルヘルム・ライヒ博士の基礎研究作業の最高機密との関係で浸漬されて、妨害された。

#### B 訴えの.一般的目的

先例が法律学の史料になくて、これは異常な論拠での判断を取り消すという訴えである。そして、実際、法律での前例がない。

これまで、人類は、この論拠の基礎をなすような状況に直面しなかった。

**On November 4th, 1955, information appeared in "C.R.L.F.O. Orbit**

1955年11月4日に、情報は「C.R.L.F.O.」の軌道に現れた：

惑星間『戦争』の場合

宇宙戦争の可能性は、マッカーサーのヒントにある

CRIFOの信条を支持することは、タイムリーである、これまで、人類は、この論拠の基礎をなすような状況に直面しなかった。これは1955年10月7日ナポリの市長アキレ・ラウロを訪ねる前にダグラス・マッカーサー将軍によって言われた考えさせられる言葉である。市長はニューヨークタイムズに、以下の通りに将軍の述べたことを明かした：

もう一つの戦争は心中になる、そして、それを避けるには鉄のカーテンの両面の十分な分別にある... ..

彼は、科学の発達のため、地球上のすべての国が生き残って、他の惑星からの人々による攻撃に対する一般の戦線を作るために結びつかなければならないと思っている

市長は将軍の意見に、将来の政治活動は宇宙か惑星間であると、つけ加えた

最高機密の性質の実際先例のない問題と、その法的対処は法廷の前に法的対立に関与する：

(A) Oranur 実験 1951年1月5日に（開始され]（依然として遂行されている))

これまで、この惑星の大気のエネルギーは、Oranurの場合のように原子力エネルギーで刺激的なものにならなかった：

NR核物質の最小の量は、ORエネルギーのたいへんな集中を刺激する。

（原子爆発における、NR核エネルギーのものすごい量は、非集中化されている大気のエネルギーを刺激する（「静電的 Static.」な場合を除いて古典的な科学には未知のものである））

(B) これまで人類の科学的な成長では宇宙からの侵略者の問題は、地球の大気に宇宙からの来客者は侵入しないので、そのような基本的に自然科学では公式化されていない問題を起こした。

それまでの、通常のテクノロジーは、1951年あたりではそのような問題に対処するのに準備ができてなかった。

そして、これまでの、論拠はそのような事実が除外されたもので、陪審員によって審理されなかった、そしてそれは被告の禁止命令の方法を決定した。

### (C) Oranur と宇宙問題との統合

これまでの人間の発展の歴史において、そのような 2 つの革命としてある、独立した事件が 1 つの完全に統合されたものに合併することはなかった。

Cosmic Energy の発見は、1953 年まで宇宙から侵入とそれとの重大な関連を全く知らないなかったがそのあと宇宙から侵入を彼は研究した。

これまで、人間の社会は、そのような重大な問題と接触するための準備ができていなかった：

地球の民族は、感情的に、宇宙からの侵入とその宇宙船で使われる Cosmic Energy の発見に対応することの両方の挑戦を受け入れる準備ができていなかった。

また、重大な経済、社会、政治、立法上の問題や、人の歴史の中で先例もないことがここに含まれる。

## 2. 先例のない法律状況

先例のない法律状況を既知のもので例示することによろう。

我々は、誰も宇宙については何も聞いていなかったと思う

---

NR は、原子力エネルギーである

J. エデン.

OR は Orgone エネルギーである

Reich は、Oranur 効果を生み出すために、1 ミリグラムのラジウムだけを使った。

バリー・コモナー Barry Commoner は

「科学とサバイバル Survivol」(バランタイン・ブックス、ニューヨーク、1988) の中で 1948~1982 年に、惑星核兵器テストが [ストロンチウム-90 だけで) ラジウム 10 億グラムの等価物の「環境放射能を導入する」と見積もった

j エデンがイタリック、を加えた

これからエネルギーモーターは、宇宙旅行で使われるはずだが、ジェット推進で使われる「推進力」の機械の原則を誰でも今は知っている。

今はジェット推進に取り組んでいる人々だけでなく、ジェット推進もこの種の新しい推進

エネルギーの運動についても、誰も知らなかった数年前の時間に戻らなくてはならない  
政府の行政庁が（当初蒸気機関を管理するために作られた）、蒸気機関産業の圧力の下で、  
推進力が欺瞞だ、「それは、存在しない」と断言することがあったと想像してみよう。  
この蒸気機関当局が、「欺瞞」を主張して、さらに、推進力・エンジニアに対して裁判所で  
不満を吐き出すと想像しなさい。

これまで法廷は、「ジェット推進力」の原則に同意しなかった。

したがって、法廷はそれについては何も知らない。

試されてはいない知識と、まだ初期のスラスト・エンジンの法律状況について話すための  
制定法が、本にはない、

競争している蒸気機関メーカーによって、推進力・エンジニアのまわりに中傷を広げられ、  
蒸気機関管理者の原告は、中傷を巧みに使うことに成功した。

そのうえ、推進力エンジン研究は最高機密の事実としても一つの政府機関によって分類  
され、蓋をされている、（多分原告にはこのことは知られていただろう）しかし、彼は裁判  
所に伝えることに失敗する。

静かな、宇宙エネルギー・モーター・エンジンの論拠は、スラスト・エンジンに関してこ  
こで示したのと正確に同じ位置にある

しかしここに、1つ重要な違いが、ある：

将来の宇宙テクノロジーの領域は、地球の大気の機械の推進力のそれよりとても広大であ  
る。

エンジニアが出廷しなかった問題は、重要で、特例に関係する。

禁止命令は、市民をだますための詐欺的な生産の単調な論拠に関しなかった。

それは、それどころか、認められた、広く名の知られた科学者によって自然科学でこれま  
でにされた最も重要な発見であった

そこで、医者（任意に偽医者として詐欺的なペテン師...として法廷にゆがめて伝えられた。

それは、先例のない論拠の性質に特有である

米国の弁護士（ピーター・ミルズ）が動くのに失敗したために、

禁止命令への不満に署名する前に出ていき、

文学からの引用の正確さに関して、告訴がチェックされ

伝えられるところでは役立たず主張は、禁止され直される。

この怠慢は、明らかに試験証拠の記録から現れる

「詐欺的な」装置として「ラベルをつけ」て囲いの中に入れられた本は、実際の発見のず  
っと前に出版されていた：

「性格分析」（1928-1937）、

「性革命」（1930-1935）

「ファシズムの群衆心理」(1933)

あるいは、医療とは無関係な問題を扱った、

例えば「宇宙スーパーインポーズ、

「エーテル、神と悪魔」、

「聞け、小人物よ」、

「CORE。」

アメリカ政府官僚は、ここまで抜け目なく、永続的に、そして、成功のうちに U.S.の法廷を誤った方向に導くことで、どんな利益があったのだろうか？

現在、アメリカ空軍は、地球の大気への侵入についての完全な知識がある；(侵入者は聞いたこともない運動の性質を使っている)

AAF も、Wilhelm Reich によるこの地球で新しいモーター力の発見に気づいた。

The AAF は、研究して、原始の宇宙力の発見を保護することを引き受けた

この新しい力なしで、十分な技術的方法で宇宙から侵入者に対処する見込みはなかった。

しかし、Cosmic Energy の発見は、人類の履歴で、有機体の中も外も革命となる事件を構成する；

この破壊と混沌が、とても起こる発見は爆発爆弾のように処理してはならない(水素爆弾より危険な)

国家米国の商業的利益と結合した外国の大国の政治的な興味は、**orgonomic** な研究に 1948 年に、登場した

オルゴノミックなモーター機能が私の研究所で発見されて、この発見に関する文書はピーター・ミルズ(ディスカバリーの後の検察官)を含めてミルズとミルズの法律事務所で作成された。

この OR-Motor (最初の文書はピーター・ミルズによって公証された)は、将来(Cosmic Energy Motor)の静かな、無煙の、滑らかな機能的移動に関する機械の方への技術的發展の第一歩であった。

必然的に、この新しいモーターの性質は、蒸気機関と電気モーターを取り替える。

Cosmic Energy Ocean で含まれるほとんど無限のパワーの手段によって供給される。

これまででは想像を絶する広漠たる広がりの中で我々の Space Ships を動かすモーターである...

UFO 問題をめぐって 8 年の闘いにおいて明確な現実の機械学の科学の敵の人を納得させるのに証明の量は十分でなかった

証拠の量は、スターリン的方法の機械学の相続人には納得させられない。

我々の宇宙問題に関する仕事は、本質の回避のぬかるみで止まっている  
大袈裟な親愛表現と偽の社交性、「敵を作らない」、嘲笑を避けることは、人類の存在より  
とても重要なようである。

「どんな確実な証拠があるのか?」、答えは以下の通りである

人の敵は、社会的に科学的な場面で重要なすべてを混乱させるのが許されるのでその存在  
と同じくらい長く、何ごともない。

「あなたは、何を望むのか?」、

そして、宇宙からのオルゴンエネルギーと宇宙船の両方の圧力によって悩まされ勤勉な、  
おびえている小人の1役員は、は2、3尋ねた：

「UFOは来なければならないし、ATICのあなたの机に降りなければならない」、それは何  
も納得させない。彼らは、おびえていたのである

**Orgonomy** は、彼らが審判することができる前に「権威者」に学ぶため宇宙研究の先駆者  
のところへ行かせるために、解決しないようにされて、ずっと以前に沈んだ。

市民は、これらの新しい方法に慣れる。

**Humanity** 人間は宇宙問題に対処する見込みを以下で可能にする前に、それ自体と社会をぜ  
ひ再構築しなければならない。

しかし、**DOR** の非常事態の5年の間に、**orgonomy** で1ダース以上の労働者の経験から判  
断すると、地球上の人は、彼の宿命で成長する必要がある;

さらに、我々の惑星を捕らえた **Oranur** のパワーを彼は逃れられない。

人間の生物学的革命は、進行中である

# 参考文献

Books by Wilhelm Reich, currently available Character Analysis, 3rd ed. New York:

Wilhelm Reich、現在入手できる本

性格分析、3 版. New York :

Farrar Straws と Giroux

Function of the Orgasm, 2nd ed. New York:

Orgasm の機能 (2 冊目の ed. New York) :

Farrar Straws と Giroux

Listen, Little Man! New York:

聞け、小人物よ New York :

Farrar Straws と Giroux

キリストの殺害 :

人間の感情的疫病 The Emotional Plague of Mankind. New York:

Farrar ストローと Giroux

著作選集 Selected Writings.

New York:

Farrar Straws と Giroux

性革命

New York :

Farrar Straws と Giroux

By Wilhelm Reich, banned or burned The Cancer Biopathy New York:

Wilhelm Reich、ガンバイオパシーBiopathy New York 禁止したか、燃やした :

オーゴン協会出版部、1948

CORE (Cosmic Orgone Engineering), "DROP DESERT:

CORE (宇宙 Orgone Engineering)、"DROP DESERT :

Part 1.

宇宙船と、DOR と Drought」(1954)

Orgonon, Rangeley, Maine:

オーゴン協会プレス

CORE、第 7 巻、no.1-2、1955 年 3 月

公開された医者 of 調査結果と Reich 以外の科学者を含める。

Cosmic Superimposition.

宇宙スーパーインポーズ

Organon, Maine:

Wilhelm Reich 財団、1951 年

アインシュタイン問題 (文書の巻 A-Xie)

Orgonon, Maine:

オーゴン協会、出版部 1953

Ether, God and Devil.

エーテル、神と悪魔

Orgonon, Maine:

オーゴン協会出版部、1949 年

ファシズムの群衆心理

New York:

オーゴン協会プレス、1946

Oranur 実験 :

最初のレポート {1947-51}

Orgonon, Maine:

Wilhelm Reich 財団、1951 の

ピープルのトラブル

Orgonon, Maine:

オーゴン協会出版部、1953

Court Proceedings

公判の進行

Supreme Court of the United States, October Term, 1956:

United States 最高裁判所、1956 年の 10 月、:

No. fi88, "Petition for a Writ of Certiorari to the U.S. Court of Appeals for the First Circuit," Washington, D.C., Jan. 10, 1957.

fi88 でない、「First Circuit のための U.S. Court of Appeals への Certiorari の Writ のための嘆願書」、Washington, D.C.、1957 年 1 月 10 日

Supreme Court of the United States, October Term, 1956:

合衆国 10 月のことば、1956 年の最高裁判所 :

No. 688, "Petitioner's Reply Brief," Washington, D.C. Feb. 18, 1957.

No.688、『請願者の Reply Brief』、1957年2月18日ワシントン D.C.

Based on Orgonomy and Wilhelm Reich

Orgonomy と Wilhelm Reich に基づく

Baker, Elsworth F., M.D., Man in the Trap.

Baker、Elsworth F.、医学博士.、畏の人。

New York :

Macmillan, 1967.

Bean, Orson, Me and the Orgone.

Bean、Orson、Me と Orgone。

New York:

St. Martin's Press, 1971.

St. Martin 出版、1971 の

参考文献 1~

Eden, Jerome, Su\$er the Children.

Eden (Jerome) Su\$er が、Children.である

Mt. Vernon, N. Y.:

Vernon 山、N. Y. :

Eden プレス、1959 の

Journal of Orgonmny (a scientific journal published since 1967), Orgonomic Publications, Inc., Box 476, Ansonia Station, New

Orgonmny (1967 年以降公開される科学的なジャーナル)、Orgonomic 出版物、会社、私書箱 476、新しくて、Ansonia 位置 Journal

York, N. Y. 10023.

Raknes, Ola, Wilhelm Reich and Orgonomy.

New York :

St. Martin のプレス、1970 の

Reich、Iise Ollendorff、Wilhelm Reich :

Personal Biography

New York:

St. Martin のプレス、1969 年

Reich は、Freud についての意見を述べる、ed. Mary Higgins と Chester M. Raphael、

M.D. New York:

Farrar Straws と Giroux (1967)

Wolfe、Theodore P.、感情的な流行病対オーゴン生物物理学

New York:

オーゴン協会出版部、1948 の

(Destroyed.) On Nuclear Radiation and Atomic Hazards Curtis, Richard, and Hogan, Elizabeth, Perils of the Peaceful Atom.

(破壊された) On Nuclear Radiation と Atomic Hazards Curtis, Richard,そして、Hogan, Elizabeth、Peaceful Atom の Perils。

New York:

Ballantine Books, 1969.

Gofman, John W., M.D., として、Tamplin, Arthur R., 博士 (毒を入れられる)

Power. Emmaus, Pa. :

Rodale Press Inc., 1971.

Russell, Walter と Lao (Atomic Suicide 原子的自殺的)

Swannanoa, Waynesboro, Va. :

Science と Philosophy の大学 (1957)

Schubert, Jack, and Lapp, Ralph, Radiation.

Schubert (ジャック) とラップランド、Ralph、Radiation

New York:

バイキング・プレス、1957 の

Snyder, Ernest E., Ed.D., Please Stop Killing Mel New York:

Snyder, Ernest E., 教育学博士、Mel New York を殺すのを止めてください :

New American Library, 1971.

ニューアメリカンライブラリー、1971

On Soviet Nuclear Espionage

ソビエト核スパイ活動で

Toledano, Ralph de、歴史で最もたいへんな計画。

New York :

Dwell, Sloan and Pearce.

住みなさい、Sloan と Pearce。

Reprinted in Conservative Book Club Omni-bus, vol. 2, New Rochelle, N. Y. On Unidentified Flying Objects Binder, Otto O., Flying Saucers Are Watching Us.

保守党の Book クラブ Omni-バス、第 2 巻、New Rochelle, N. Y. On Unidentified Flying Objects Binder、Otto O., Flying Saucers Are Watching Us で再版される

New York:

Belmont Productions, 1968.

What We Really Know About Flying Saucers.

我々が空飛ぶ円盤について本当に知るもの

Greenwich, Conn.:

Fawcett, 1967.

Chambers、Howard V.、空飛ぶ円盤論争に関する事実。

New York :

Grosset and Dunlap, 1968.

Grosset と Dunlap (1968)

Edwards, Frank, Flying Saucers-Here and Now.

Edwards、Frank、空飛ぶ円盤-現時点

New York :

Flying Saucers-Serious Business.

空飛ぶ円盤 深刻なビジネス

New York :

Bantam Books, 1967.

Fuller、John G.、Intenvpted 旅行

新しい Xork :

Dell, 1987.

Dell、1987 の

Lorenzen, Coral E., Flying Saucers:

Lorenzen、珊瑚 E.、空飛ぶ円盤 :

The Startling Evidence of the Invasion from Outer Space.

Outer Space から Invasion への Startling Evidence

New York :

New American Library, 1988.

ニューアメリカンライブラリー、1988 の

Lorenzen, Coral and Jim, UFOs:

The Whole Story.

New York:

ニューアメリカンライブラリー、1969 の

Lorenzen, Jim and Coral 珊瑚, UFOs Over the Americas. (Americas の上の UFO)。

New York:

ニューアメリカンライブラリー、New York : 1968

Steiger (Brad) と Whritenow、Joan、空飛ぶ円盤は敵対的である  
New York:

Universal Publ. and Distrib.  
Corp., 1987.

Vallee (Jacques と Janine)、空飛ぶ円盤は科学への挑戦である  
Chicago:

Refinery, 1966.

Wilkins、Harold T.、無検閲の空飛ぶ円盤  
New York:

Pyramid Books, 1987.

## 訳者の付録

### コリアのオルゴンモーターの発展

双極性の質量のないエネルギー（オーゴンと DOR）は、二極性電荷で成る質量のないエネルギーである、別名テスラの electric 放射線である、

それは慣性の影響を欠いていて、縦方向に広がる。

普通の質量に結び付いている電気を特徴づける単極電荷（電子、陽子）と対照的に、二極性の電荷は、連続的に極性の状態の間を行き来して、より正確にその状態を言うと、前へ流れる間に、絶えず極性を変えている。

二極性の電気は、質量のない現象である。

質量に結び付いた電荷（単極の）によって、フィールドが二極性のエネルギーをキャプチャーすると、これらは加速される。;

結び付いている同じ質量の電荷が減速すると、黒体光子の局地的生産となる。

Correas コリアは二極性の放射線の宇宙スペクトルと、電子と陽子から発せられる黒体スペクトラについての論文を出版した。そして、従来の電磁気理論を深く変える正確な新しい方程式を提供した。

これら黒体スペクトラと二極性の放射線の宇宙スペクトルの、連続した両極性のスペクトルが、どのように生物学的に物理的に2つの異なった、領域を含んでいるかも示した

それは W.ライヒのオーゴン（OR）エネルギーと DOR（dorgone または破壊的なオーゴン）の区別と、にも一致している。

OR と DOR の間の分離は、79.4keV で起こる。

これは、厳密にエーテル的 aetherometric な潜熱または潜在的な質量のないエネルギーの発見である。

## フリーエネルギー技術開発の特徴と種々相

---

## Chap.3a. イーサ応用： イーサ・モータ、その他

1. ライヒによるオーゴン・モータの発明 by R.ブラスバンド(アメリカ)
    - 1.1 モータ駆動力としてのオーゴン・エネルギー
    - 1.2 バイオンおよび大気からのオーゴン・エネルギー
    - 1.3 オーゴン・エネルギー・モータの起源
  
  2. コリアによるイーサ・モータ
    - 2.1 コリアによるオーゴン・モータの再現/再発明(書籍)
    - 2.2 カナダのフリーエネルギー発電のブレイクスルー(プレスリリース)
    - 2.3 PAGD, イーサ・モータ、およびフリーエネルギー by アーサ・アクセルラド教授
    - 2.4 コリアによるオーバー・ユニティの patents
  
  3. テスラのフリーエネルギー・レシーバー
- 

## Chap.3a. イーサ応用： イーサ・モータ、他

本章では、イーサ・エネルギーをモータ、その他に応用した例を取り扱う。

### 1 ライヒによるオーゴン・モータの発明

by R. ブラスバンド(アメリカ)

ライヒがオーゴンと呼んだものは、イーサであると言われている。したがってオーゴン・モータはイーサ・モータである。下記は、文献[1]の抜粋・概訳である。

---

### 1.1 モータ駆動力としてのオーゴン・エナジー

1940年に、感情の性質の研究過程で、精神分析学者ヴィルヘルム・ライヒは、生命エネルギーのように生物学的システムのなかで機能する今まであまり知られていなかった宇宙エネルギーを発見した。

それから7年間この研究を続けて、このエネルギー、“オーゴン・エナジー”は空気中から捕集できて、入れ物の中に蓄積でき、モータを駆動させることができることを見出した。

1937年に、ひとの感情は、本質的に生体電気として表れると信じて、ライヒは、被検者のいろんな感情表現時における皮膚電位の変化を調べた(1)。この研究から、感情の状態により身体機能の中で“何か”が動いたという客観的理論的な考えに確信が得られた。

しかし、この“何か”は、電氣的に測定できても、本質的には電気ではない。何故なら、本研究における被験者により感じられた、あるいは表現された大量のフィーリングは、皮膚表面に現れた数十の電圧(ミリボルト)によって説明できないからである。それに、体に電気を印加することは、常に異物で邪魔なものとして知覚されるのである。

“何か”をもっとよく描き出すために、ライヒは、顕微鏡を用いて、生物学的エネルギー源の食物を研究した。彼は、全ての食物は、その性質に関わらず、ゆでると、小胞に破壊されて、動き回り、内的脈動を示し、その透明な液状内容物の中に青みがかつたちらちらする光を発することを発見した。

ライヒは、この小胞を“バイオン”と名付けた(2)。そして、ライヒは、土、鉄、カーボン、砂のような無機材料も、圧熱滅菌器で処理したり蛍光灯に晒すと、有機材料で観測されたことに類似の小胞に破壊されバイオンになることを発見した。さらに、栄養物のな

かに置くと、カーボンと砂バイオンは培養できた。

バイオンは、幾つかの驚くべき性質を示した。その性質の中には、皮膚に近いところに置くと強い炎症性反応を発生して、バクテリアを動かなくするか破壊する能力、ゴムに冷光を発生させ、帯電させる能力があった。(訳注:原文の ruminare は luminate の誤記かと思う、検討を要する。以下同様)

オスロのライヒの研究所の空気は常に“重かった”: すなわち、金属的装置は、自然に磁化した。写真乾板は、自然に霞がかかった。ライヒは、冬でさえ、日焼けし、並外れて強く十分よく感じた。ただし、目の炎症を除いてのことである。目の炎症は明らかに顕微鏡でバイオンを観測していたことに関係していた。

## 1.2 バイオンおよび大気からのオーゴン・エナジー

しかしながら、ライヒは、培養物は放射能を持っていないかと心配した。そこで、放射線の専門家に相談したが、それは無いという結果であった。引き続いて数か月間研究を続け、バイオン培養物からの放射は既知の通常のエネギー形態によっては説明がつかないことを確信した。

彼は、西洋科学では、今まで知られていない自然力(natural force)を、自分は研究していると結論せざるを得なかった。彼は、それを“オーゴン・エナジー”と名付けた。その理由は、有機材料により吸収される能力、それと彼の研究は、ひとの器官の機能の医学的研究からスタートしたという事実にあった。

オーゴン・エナジーは、“紫色の霧”および細かい稲光のような白みがかかったスパークの形で発光した。この発光をもっとよく見えるようにするために、ライヒは、バイオン培養皿を金属の裏張りをした木箱の中に置いた。これは、金属は、放射を箱の内部に向かって反射し、木は放射が逃げるのを防ぐであろうから、もっとよく見えると考えたのであった。

木箱の1側面に取り付けたガラスの覗き窓から、実際、発光がよく見えるようになった。ところが、彼が驚いたことは、光る効果が、培養物を取り除いても、残っていることであった。それは、箱内を完全に空気で吹き飛ばしても、洗浄しても残っていたのである。

ライヒは、オーゴン・エネルギーはどこにでもあるということと、なんらかの方法で、箱の構造が大気からのエネルギーを濃縮するのを可能としているということ、悟った。

彼は、さらに研究を進めて、オーゴン・エネルギーは、金属に引っ張られ、金属から反射し、非金属材料により吸収されることを発見した。したがって、金属を一番内側にし、金属と非金属を交互にした層からなる箱は、大気から箱内部に向かってエネルギー勾配を作り出す。

最も具合の良い組み合わせ材料は、セロテックス、岩綿、スチールウール、および亜鉛メッキ鋼板であった。しかし、プラスチック、ファイバーグラス、他の金属を使うことができる(Fig.1)。

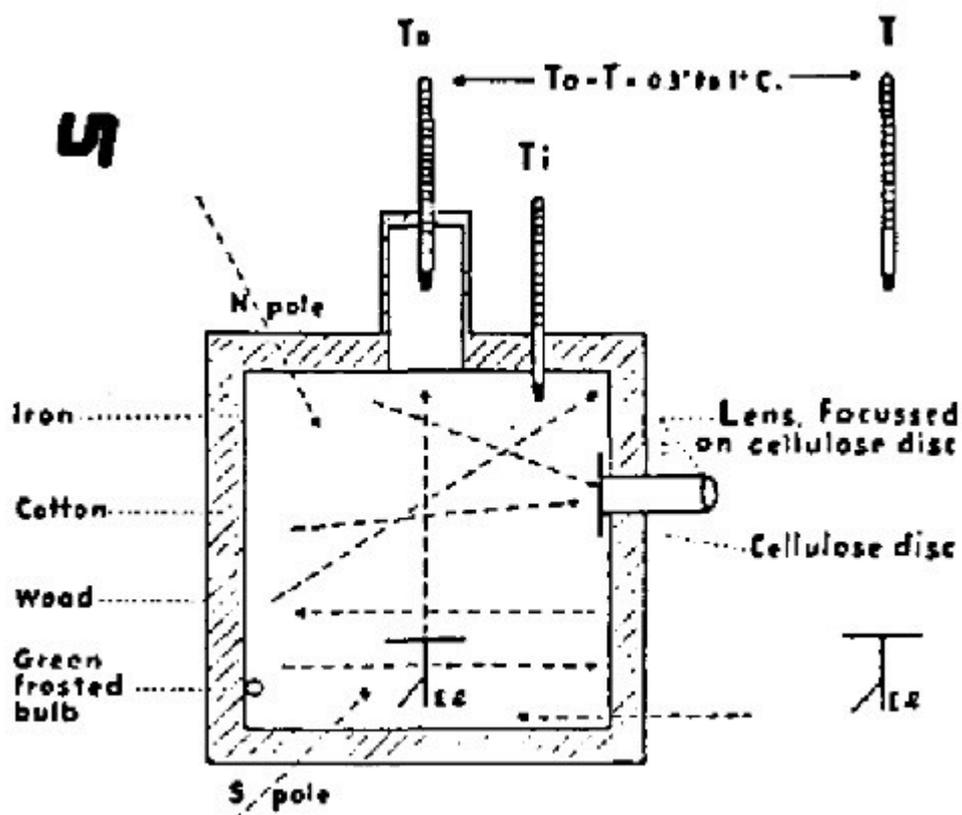


Fig.1 ライヒのオーゴン集積器の基本的設計の断面図[1]

To=集積器の上の温度、Ti=内部温度、T=コントロール(室温)、EL=箔検電器。

→=放射の方向、サイズ:1立方フット。

アルミニウムは、厳密に実験を行うのには使うことができるだろうが、生体器官に対しては毒である。後に、ライヒは、6層からなるボックスは、環境のオーゴン・エナジーを6倍に強くするというのを、事実に基づく測定から発見した。

ライヒが入れ物と呼んだ“オーゴン・エナジー集積器”の内部は、暖かくひりひり(ちくちく)と感じた。しかし金属は冷たかった。この主観的な感じは、集積器の内部温度を測定することによって確信した。それは、箱の外の周囲温度あるいはコントロール(対照)ボックスの内部温度よりも、 $0.1^{\circ}\text{C}$ の数倍から最大で $2^{\circ}\text{C}$ 高かった(3)。

ライヒは、この発見には、とてつもない重要性があることを知っていた。それは、熱力学第2法則の破れであった。熱力学第2法則は、古典物理学では破ることのできない神聖なものと考えられていたのである。集積器は何も仕事することなしに、それ自身の温度を上げることはできない。

ライヒによるさまざまな比較対照実験、および最近行われたライヒの学生の実験で、この現象が確認されている(4,5,6)。

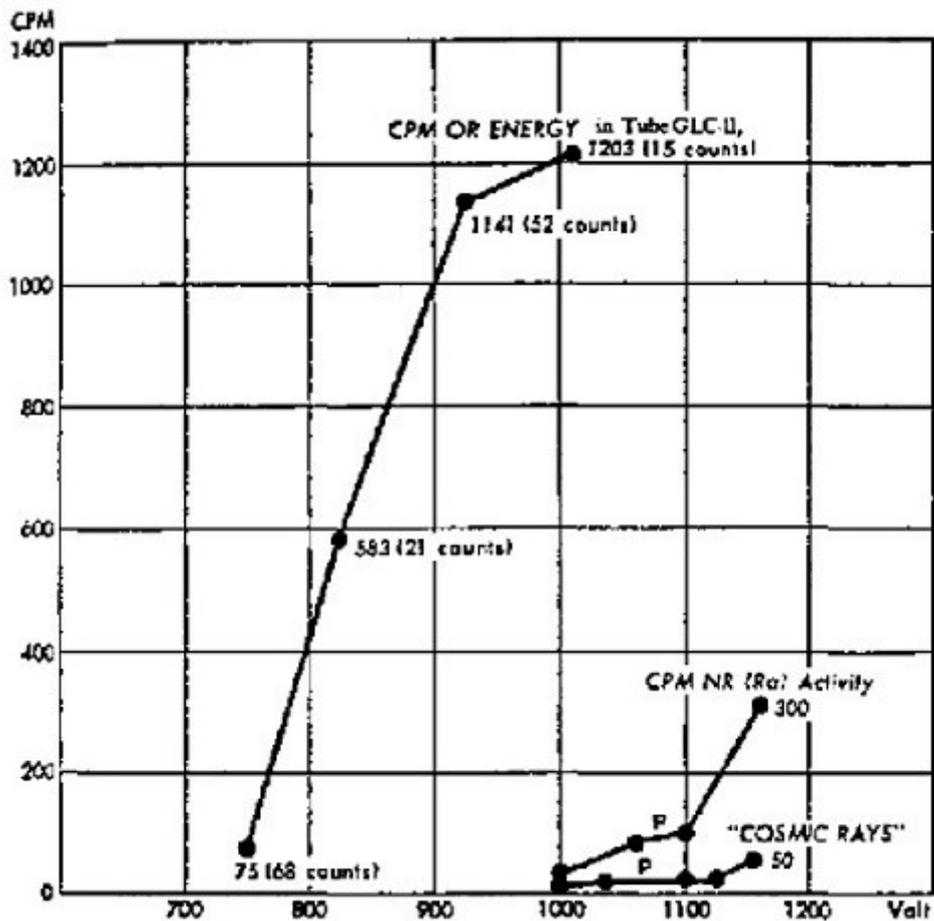


Fig.2 約 1,000V における“宇宙線バックグラウンド”[1]

異常エネルギー・フォースの存在を客観的に見えるようにしたもう一つの方法は、箱の中の静電気箔検電器の振舞である。静電気を帯電した箔検電器からのいわゆる“自然漏洩”は、集積器の中では、有意に遅れる(7)。この現象は、既知の古典的電気プロセスでは説明できない。

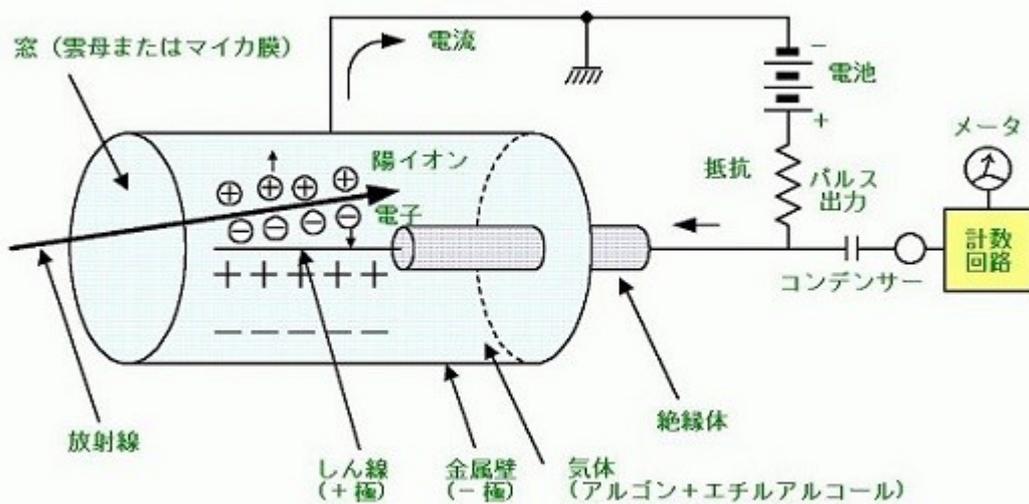
ライヒは、静電気はオーゴン・エネルギーのよく見かける現れであることを理解するに至った。集積器内の箔検電器からの自然漏洩が遅くなるのは、箱外のオーゴン濃度よりも高い濃度の中への放電だからである。

箔検電器の放電率が遅くなることと、箱内の温度上昇(集積器内部温度から外部空気温度を引いた値、 $T_o - T$ )は、互いに平行している。両者ともに、外部エネルギー因子、最も大きくは天候に依存する。このことからやって来つつある先の天候変化を予

測するのに使うことができる。

### 1.3 オーゴン・エナジー・モータの起源

1947年に、7年間のオーゴン・エナジーの生物学的・物理学的特性の研究により、ラ  
イヒは、オーゴン・エナジーと放射能のあいだの相互作用を研究するための準備とし  
て、ガイガー・ミュラー・カウンター(GM管)を手に入れた。



### GM管による測定原理

【出典】 日本原子力研究所 国際原子力総合技術センター：原子力基礎用語集、  
p. 10(1997年)

#### GM 管の構造と原理:

主にハロゲンガスが封入された中空の円筒の芯に細い線の+  
電極がある。円筒と芯の間には、高電圧がかけられる。電離放射  
線が円筒を通過する際に、円筒内のハロゲンガスが電離され、  
正に帯電したイオンと電子が発生する。イオンは陰極へ、電子  
は陽極に向かって加速される。

このとき加速されたイオンがハロゲンガスの分子に衝突して電  
離させる。このようにして、円筒内のハロゲンガス中に荷電粒子

のなだれが発生し、結果として陰極から陽極へと向かって短く強いパルス電流が生じ、このパルスを測定・計数することによって、放射線の量を測定する。

メイン州ラングリーの彼の研究所において、ライヒは、GM 管は自然放射能と宇宙からのガンマ線により発生するバックグラウンドを記録していて、はじめは正常に動いていた。しかしながら、それは、オーゴン・エナジーを集積する構造体の近くでは、反応しなくなった。数日以内に、バックグラウンドや小さな X 線源にも反応しなくなり、説明不能だが、その測定器は“死んで”しまった。

装置は、周期的にチェックしたが、完全に無反応のままであった。しかし、約2か月後のこと、いつもの定期的チェックのとき、インパルス・レコーダーが、1秒間に1回転の速度で、即座に回転し始めた。このデバイスに対しては、非常に大きな速度である。

(訳注:放射線が GM 管に入射すると電気パルスが発生し、その[パルス数/時間]を計数して放射線の強さを調べるのであるが、この当時のパルス計数器は、今のようないデジタル方式ではなく、恐らくパルス・モータのような回転方式を用いていたのではないだろうか)

これは、1秒あたり約 100 パルスに相当するが、1 秒あたり 15-25 パルスという通常のバックグラウンドに比べてとてつもない反応である。さらにテストを続けて、ライヒは、1秒あたり 6,000-8,000 パルスのカウント数を得た。これは1秒あたり 1.15 回転に相当する連続的回転であった(8)。

その時点で、放射線源を用いて得られた最大のカウント数は 3,000cpm(1 秒当たりのカウント数)であった。これは同じ型番の GM 管を用いてのことである。ライヒは、オーゴン・エナジーの中にモータ駆動力が存在することを知ったのである。

オーゴン・エナジーは、何がしかの方法で、GM 管を通して電磁氣的・機械的エネルギーに変換されている。GM 管効果の機能を詳しく分析して、オーゴン・エナジー密度を高くする特殊真空管を用いて、ライヒは、のちにオーゴン・エナジーで直接モータを回転させる方法を発見した。

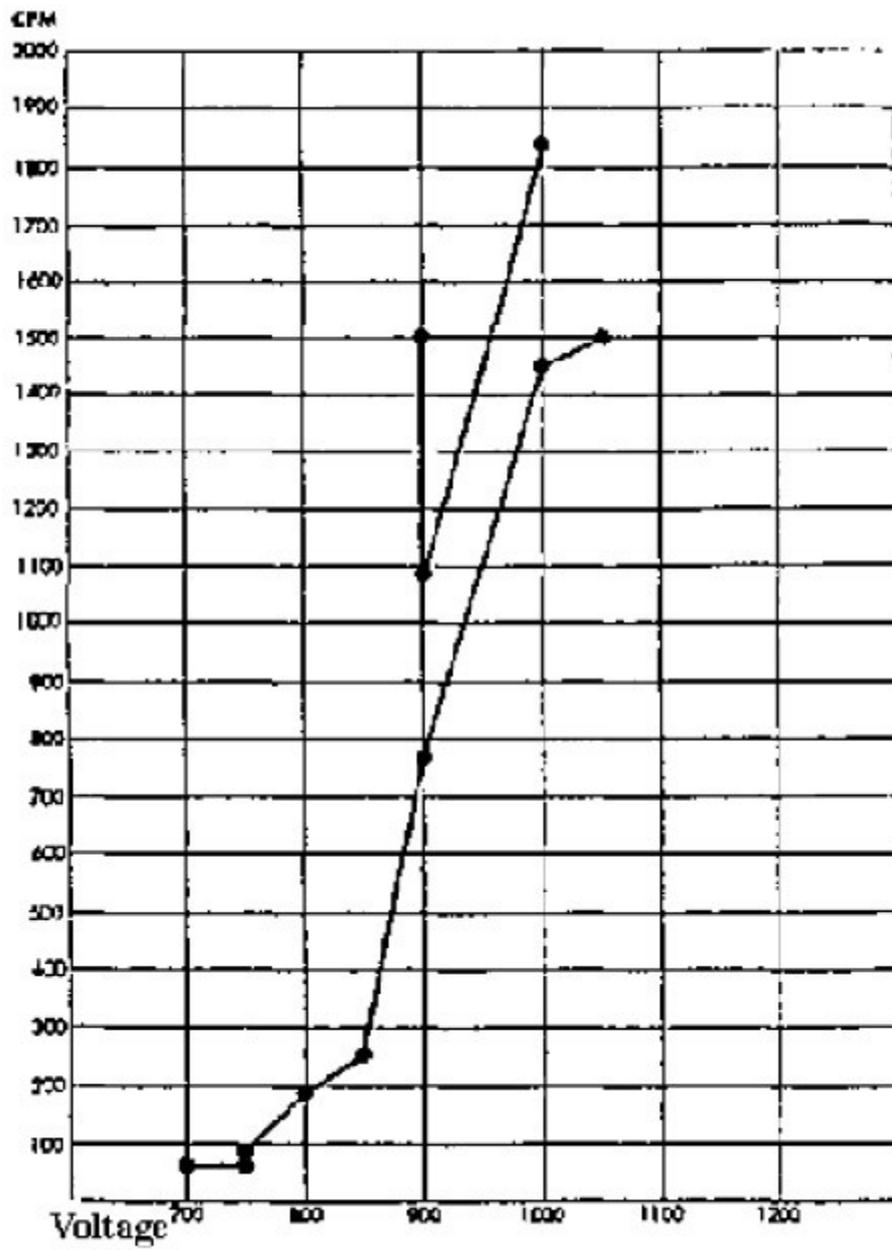


Fig.3 オーゴン・エナジーの GM 管効果(cpm)および電圧の増加[1]

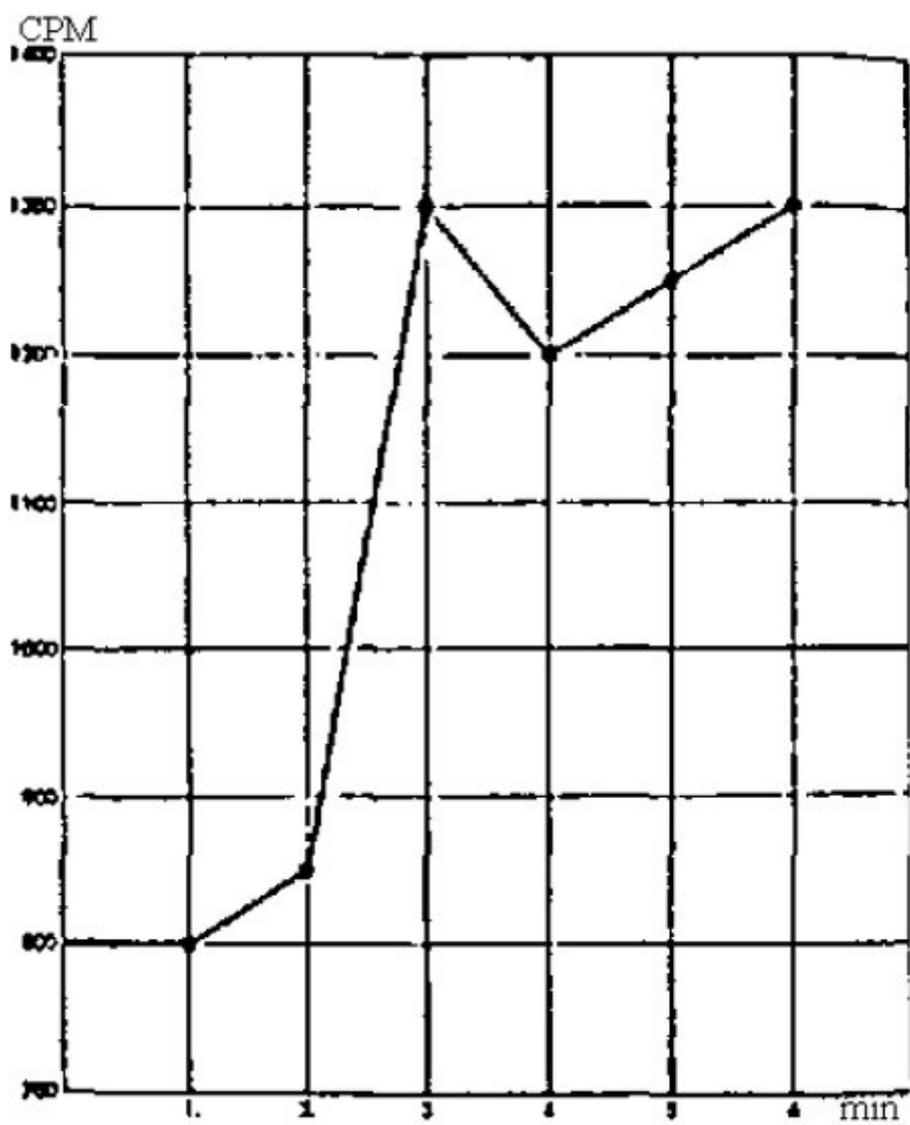


Fig.4 オーゴン・エネルギーの自己チャージ容量[1]

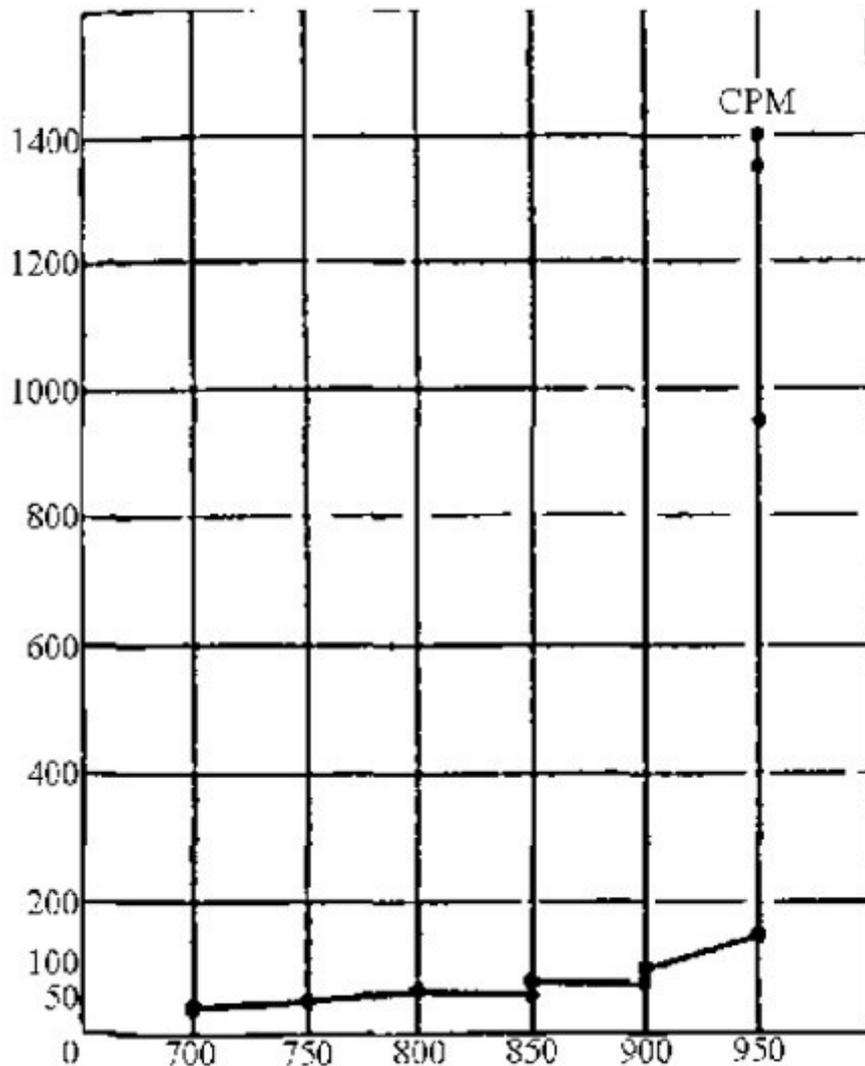


Fig.5 1か月間実験室から100フィート離れた位置にある対照 GM 管の反応[1]

ライヒは、GM 管中で外側にある金属円筒は、大気中からオーゴン・エネルギーを引きつけるということと、これをガラス製計数管から単に取り去るだけで GM 効果は失われるということを見出した。モータ効果は、金属円筒を再挿入するか、あるいは裸のガラス製計数管をオーゴン・エネルギー集積器の中に入れるかすれば、即座に、再び現れた。

この効果は、暴風雨の前に小さくなり、それが過ぎ去ると回復した。これは、さまざまに変化する天候において集積器内の温度と箔検電器に関する初期の観測と一致していた。

これらのことと、他の観測結果から、ライヒは、実験室内の高いオーゴンチャージ状態に、一定期間ひたって計数管が充分満杯になったので、このモータ効果が発生したと確信した。計数管は、内部の金属カソードと外側の非金属の防護コーティングからなるので、計数管は、本質的にオーゴン・エネルギー集積器である。

計数管の中のオーゴン・エネルギーは、GM 管からの電気刺激により先のとがった光の稲妻のような状態にエキサイトする。この状態において、オーゴン・エネルギーは、装置によりカウントされる。さまざまな対照実験を行った結果、高い cpm の GM モータ効果は、計数管内部のオーゴン・エネルギーの高密度の励起によってのみ説明できることが分かった。

ライヒは、もっと複雑な GM 管を手に入れた。それは、計数管に与える電圧を変えられるようになっていた。電界計のように、初め、それはバックグラウンド放射のみカウントしていた。しかし、3 日以内にバースト時には 3,600cpm を記録した。4 週間目には、インパルスカウンターは連続回転になり、1,000V で 2,000cpm 近くまでになった。

Fig.2 は、放射線源(ラジウム)およびいわゆる宇宙線に比較したときの濃縮したオーゴン・エネルギーのパワーを示している(9)。Fig.3 は、電圧増加にともなう cpm の非線形変化によるオーゴン・エネルギーの非メカニカルな機能的特性を示している。

Fig.4 は、チャージそれ自体に対するオーゴン・エネルギーの容量を示している。カウントは、1 フート立方のオーゴン・エネルギー集積器のなかに 1cm の鉛と 1/4 cm の鉄の円筒をいれ、その中に GM 管を入れて、得た値である。GM 管は 950V の一定電圧をかけて、6 分間続けて作動させた。GM 管の中のエネルギーをエキサイトする電圧をかけずに、2 分後にインパルスが鋭く増加していることに注意されたい(11)。

Fig.5 は、1 か月間実験室から 100 フィート離れたところに置いた対照 GM 管の反応を示している。離れたのに関わらず、実験室のエネルギー・フィールドの中に在るだけで、ロータリー・モータ効果を生ずるに十分なオーゴン・エネルギーに満たされていたのである(12)。(中略)

ライヒは、オーゴン・エネルギーからメカニカルなモーター駆動力への直接変換の途中にあるもの全てを無くしてしまうことにより全システムを単純化できるならば、モータ反応はもっと改善され得ると感じた。彼の第一ステップは、GM 管中において、オーゴンをチャージした、ガス封入なしの計数管を試みることであった。しかし、これは何の反

応も得られずに失敗した。

しかし、オーゴン・エネルギー集積器のように働く特殊な真空管(ヴェイカー管“Vacor tube”)を製作したとき、強力な反応が得られた。それは、内部に平行なアルミ板(複数)があり、それぞれ陽極と陰極につながれた構造であった。真空の圧力は  $1/2\mu$  であり、どんなガスの存在も排除するのに十分であった。

数週間、オーゴン・エネルギー集積器の中にひたしておいた後に、この管は、ガスがないのにもかかわらず、オーゴンをチャージしたプラスティック棒で刺激したときに、深い青色に発光した。そして、100V-1,000V の電圧をかけると、管内の発光色は、夜空が夜明けの色になり、それから白昼の色に変わるのと同じような変化をした。

惑星上の夜明けと白昼の発光は、地球のオーゴン・エネルギー・フィールドの変化をトリガーする、太陽からの刺激の結果であるようだ、とライヒには強く思えた(13)。

ヴェイカー管は、GM 管に留めると、電圧 350-500V において、1秒あたり数 1,000 パルスが発生した。これは、通常の GM 管から発生するパルス数より、かなり高い値である。通常の GM 管では、最大で 100-130 パルス/秒得るのに 750-1,000V 必要になる。

ヴェイカー管とインパルス・カウンターの間の高電圧回路を取り除くと、1秒当たり 20-25,000 パルスまで、上昇した。箔検電器でヴェイカー管の中の二枚のアルミ板の間の電圧を測定した。それは、極端に高い 34,000V であった。

1949 年、ライヒは、オーゴン・エネルギー・モータ駆動力の成功を下記のように報告した:

1948 年6月 24 日、p.m.1 時、私は、モータ (Western Electric, KS-9154, Serial No. 1227)を、オーゴン・エネルギー・モータ駆動力により駆動させるのに成功した。このオーゴン・エネルギー・モータ駆動力は、私が、1947 年 8 月 8 日にガイガー・ミュラー・カウンターの途中で発見したものである。電子的増幅器、高電圧なしで、オーゴン・エネルギー・モータ駆動力を十分に伝達可能である。

オーゴン・モータを回転させるには、Y ファクターと呼ばれる、あるファクターが必要である。このファクターは、現在は、わかっていない。

今までに用いられたオーゴン・エネルギーは下記のとおりである。

- a. オーゴンをチャージしたヴェイカー管
- b. 大気のオーゴン
- c. 地球のオーゴン
- d. 生物・生体のオーゴン・エネルギー

核分裂の過程で使われている材料は必要でない。インパルスの連続的発生は、調節可能である。インパルスの連続は、一様であり連続的である。用いられたオーゴン・エネルギーの量の宇宙エネルギー源の膨大な貯水池に対する関係はごくわずかである。

モータの速度は調節可能である。それは下記のものに依存している。

- a. 接続したヴェイカー管の数。
- b. 例えば、温度差  $T_0 - T$ 、箔検電器の放電速度、等々、今までに発見されたオーゴンの機能に一致する天候条件。
- c. Y-ファクター機能。

真空管(ヴェイカー管)の機能は、“無の空間”理論を破っている。場の作用は宇宙のオーゴン・エネルギーの活動によるものである。真空管のなかのエネルギー・フィールドの強さは特殊な機能の装置で示され測定され得る(14)。

ライヒは、地方の新聞記者も含めて信頼できる目撃者にモータをデモンストレーションした。しかしながら、彼は、Y-ファクターの機能を明かさないうちに亡くなった。彼は、世の中は無数のエネルギー源に対する責任の準備ができていないと感じたからであった。

[文献]

[1]New Energy Technologies: [モータ駆動力としてのオーゴン・エナジー](#)

[本文の文献]

1. Reich, W., "Experimental Investigation of the Electrical Function of Sexuality and Anxiety". The Journal of Orgonomy. 3: 1. 1969.
2. Reich, W., The Cancer Biopathy. Orgone Institute Press. N.Y., 1948. p.11.
3. ibid. p.95.
4. Risenblum, C.F. (pseudonym for C.F. Baker). "The Orgone Accumulator Temperature Difference: Experimental Protocol". J. Orgonomy. 6:1. 1972.
5. Blasband, R.A.. "Thermal Orgonometry". J. Orgonomy. 5:2. 1971.
6. Seiler, H.P. "New Experiments in Thermal Orgonometry". J. Orgonomy. 16:2. 1982.
7. Reich, W.. The Cancer Biopathy. p.108.
8. Reich, W.. "The Geiger-Muller Effect of Cosmic Orgone Energy (1947)". Orgone Energy Bulletin. 3:4. 1951. p.201.
9. ibid. p.231.
10. ibid. p.230.
11. ibid. p.232.
12. ibid. p.233.
13. ibid. p.249.
14. Reich, W.. "A Motor Force in Orgone Energy". Orgone Energy Bulletin. 1:1. 1949. p.7.

---

## 2 コリアによるイーサ・モータ

イーサ・モータは、古い時代にテスラおよびライヒにより研究されたが、どれも秘密になっていた。最近、コリアが、それをよみがえらせた。下記は、文献[1]の抜粋・概訳である。

---

まず、書籍から紹介していく。著者の Dr.コリア・PN は、生物物理学者、分子生物学者、血液学者、政治学者、著者、発明家である。トロント大学薬学部から修士号・博士号を得ている。共著者の Ms.コリア・AN は彼のパートナーである。(註:コリアは、コにアクセントがある)

## 2.1 コリアによるオーゴン・モータの再現/再発明(書籍)

コリア PN &コリア AN 著:

## 「イーサ・モータの発見(1): オーゴン・モータの再発見」

### 内容

・初めに: ヴィルヘルム・ライヒ死後の50年

1. Y-ファクター機能の考古学
2. ライヒの Y-fed 2-phase モータの回路
3. 改良型 Y-fed PAGD-driven split-phase イーサ・モータ
4. 潜熱の熱電気変換の発見
5. 改良型イーサ・モータの大気の日変化に対する応答
6. AC スピナー・モータ; テスラの初めのイーサ・モータから Western Electric KS スピナー・モータへ

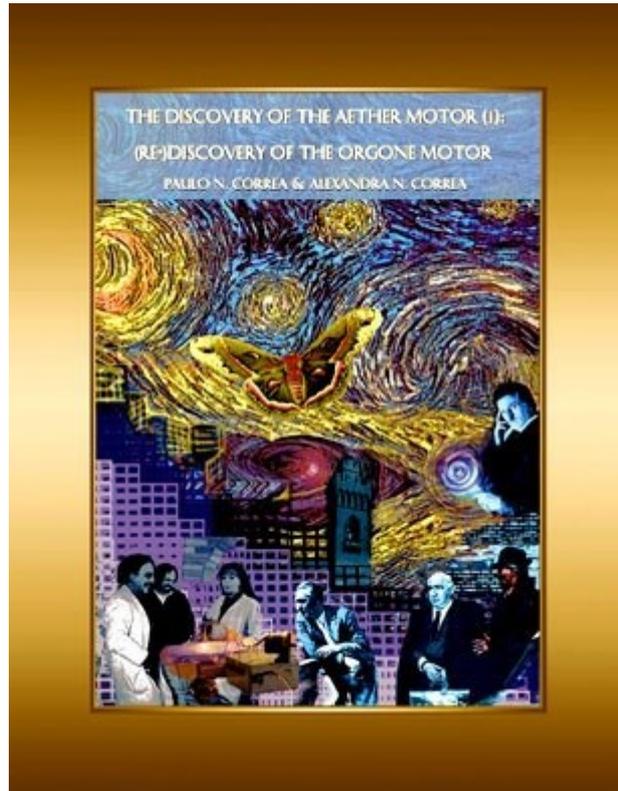
・歴史に関する文書など

(上記の PAGD は、Pulsed Abnormal Glow Discharges である。)

(下記概要は、文献[1]からの抜粋・概訳である。)

### 概要

本書、イーサ・モータ/コンバータに関する2巻の出版の第1の部分、は、テスラのイーサ・モータの研究とヴィルヘルム・ライヒのオーゴン・モータの研究・再現・改良に捧



The Discovery of the Aether Motor (1):  
(Re-)Discovery of the Orgone Motor  
by Paulo N. Correa & Alexandra N. Correa  
ISBN - 0-9689060-3-6  
Printed by University of Toronto Press  
343 pages, Figures, Tables, Bibliographies  
Price: \$150.00 / \$110.00 ISFA + shipping

げたものである。ライヒの探索は、その出発点を、大部分が、テスラが開始した探索を止めたところから始まっている。

本シリーズの第2巻では、完全なイーサ・モータ/コンバータを開発するために、コリアは、オーゴン・モータの原理を超えて行く。これら2冊の本(巻 IIIA および巻 IIIB)は、イーサロメリー実験(イーサ測定法実験)の旅の一部分でもあり、その技術的な完成をマークしている。

著者は、読者に新技術を提供している。無質量のエネルギーのパワー・テクノロジーである。それは、主要であるイーサ、電気と非電気すなわち二極性エネルギー(テスラ)および潜熱の両方を用いている。両方の研究のわかりやすい指標が、第二の巻の発行で計画されている。

本巻で、コリアは、イーサ・モータ/コンバータに背後にある主要原理を提供している。広い意味で、これらは、(1)共鳴二極性トランスミッター;(2)オーゴン・モータ作動の鍵として働くライヒの秘密の Y-ファクターの解説と識別;(3)伝送を増幅し潜熱を二極性電気に変換するにに必要な受信機回路;(4)ドラグカップ・モータとライヒのスピナーズ KS-8624 および KS-9154 を駆動するのに用いたプラズマよびプラズマ無しの方法あるいはバッテリーかコンデンサーを充電する方法に関するものである。

KS シリーズのモータとその特殊な応用に関する超特別な歴史も含んでいる。本書は、科学技術のニューエイジ-質量無しのエネルギーの時代 - の開始となる記述である。やってくるのに長い時間がかかったが、しかし、ついに、質量無しの科学技術の創立のための二人のパイオニアの業績を理解し、それを聡明に利用することを可能とすると時期が来たと思われる。…

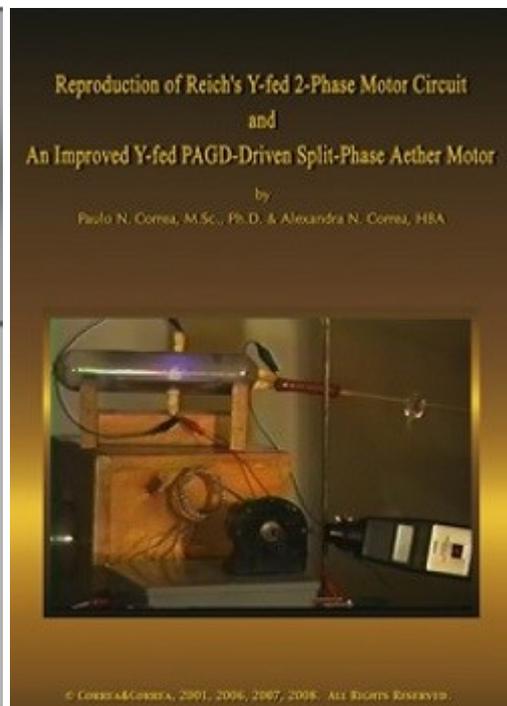
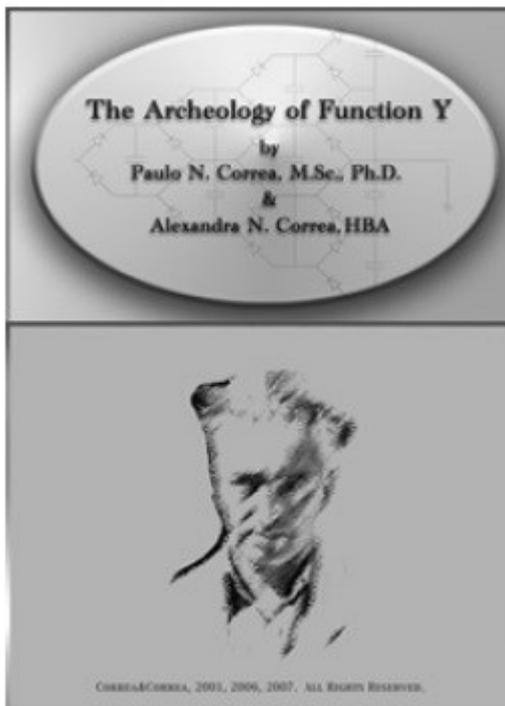
---

コリア・PN &コリア・AN 著:

**「オーゴン・モータの再発見」**

- (1) Y-ファクター機能の考古学
- (2) ライヒの Y-供給オーゴンモータ回路
- (3) 改良型の Y-供給 PAGD ドライブ・イーサ・モータ
- (4) 潜熱の熱電気変換の発見
- (5) 改良型イーサ・モータの大気に対する応答の日変動
- (6) AC スピナー・モータ

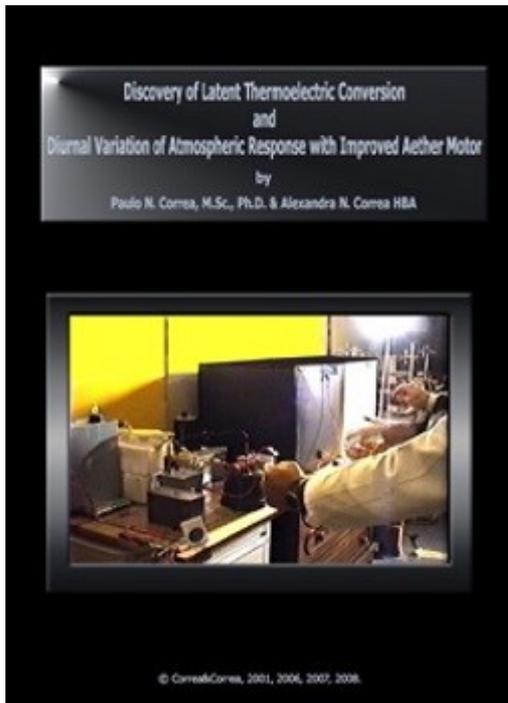
これらの概要は、文献[2]に記載されている。



「オーゴン・モータの再発見」

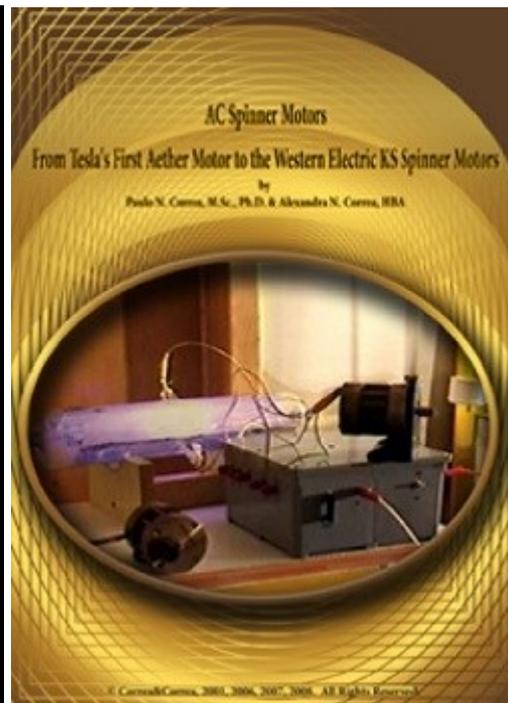
「オーゴン・モータの再発見」

- (1) Y-ファクター機能の考古学
- (2) ライヒの Y-供給オーゴンモータ回路
- (3) 改良型の Y-供給 PAGD ドライブ・イーサ・モータ



「オーゴン・モータの再発見」

- (4) 潜熱の熱電気変換の発見
- (5) 改良型イーサ・モータの大気に対する応答の日変動



「オーゴン・モータの再発見」

- (6) AC スピナー・モータ

コリアは次のように書いている:

“…だから、ライヒの2相オーゴン・モータの出発点は、テスラ オリジナルの設計にあったということが明白になるのである。…”

詳細は、文献[1-2]を読みたい。

文献

[1] Books from Akronos Publishing: <http://www.aetherometry.com/index2.html>

[2] [http://www.aetherometry.com/Electronic\\_Publications/Science/abs-AS2v3.php](http://www.aetherometry.com/Electronic_Publications/Science/abs-AS2v3.php)

---

## 2.2 カナダのフリーエネルギー発電のブレイクスルー(プレスリリース)

下記は、イーサ・モータを発明したコリアの新聞発表[1]の抜粋・概訳である。

-----

### 「ラボフェックス社・実験応用物理プラズマ物理研」-新聞発表 カナダ・オンタリオ州・コンコード, L4K 2J6

- 発電におけるカナダのブレイクスルー
- パルス冷プラズマからの汚染なしの電力
- 消費電力より大きな出力を生む
- 生産準備中
- 米国・英国・イスラエル・の патентで完全に防護済

**パウロ・コリア**博士(M.Sc.,Ph.D.;カナダのオンタリオ州の Labofex 社- Experimental and Applied Plasma Physics の研究ディレクター)およびパートナーの**アレサンドラ・コリア**(BA)は、クリーンな電力発生分野で重要なブレイクスルーを宣言した。

電力を取り出すプロセスの技術の基本は、特許によって完全に保護されている。特許は、US Patent **No. 5,416,391** (May 16, 1995, "Electromechanical Transduction of Plasma Pulses"), **No.5,449,989**(September 12, 1995, "Energy Conversion System") および **No.5,502,354**(March 26, 1996, "Direct Current Energized Pulse Generator Utilizing Autogenous Cyclical Pulsed Abnormal Glow Discharges" の3件である。

コリアのグリッド非依存性のエネルギー変換システムは、エネルギー反応器を用いているが、この反応器の機能は、真空中のある金属の未知の自発放出特性に基づ

いている。これは**ハロルド・アスプデン博士**の電気力学の法則に従う異常陰極反応を伴っている。

関係するモータ・ドライブは、反応器の中に蓄積されたエネルギーの直接的電気機械変換を考慮している。反応器は、必要な時だけアクティブになるポータブル型真空バッテリーと考えられる。

コリアの技術は、自己励起振動を作るために冷陰極放電プラズマを採用しているが、これは、電力を発生させるために、自動電子放出によりトリガーされるパルス異常放電の形態のプラズマである。回路は、持続真空アーク放電が立ち上がることを阻止するのに十分なインピーダンスの直流電源によりドライブされる。

特殊な回路と組み合わせて、運転にかかる電力よりとても大きい、入力電力以上の、過剰な電力が抽出できる。したがって、**本システムは、over-unity システムに属する**であろう。

低い品質の熱を出力すると言われている低温核融合とは違って、コリアの技術では、電力レベルの電気を直接発生する。低温核融合や熱核融合のプロセスは使用しない。

本装置のもう一つ重要な特徴は、放射性元素を使用せず、放射線や放射性同位元素を放出しないということである。本エネルギー・システムは、完全にクリーン(汚染なし)で、すべてを完備する自給自足型であり、容易にリサイクル可能な材料から構成されている。

生産された電力の貯蔵は、通常の方法でよいし、機械的でも電氣的でもよい。電気自動車、スタンドアロンの電源、およびオートノマス・ハウス(各種のエネルギーを自給自足する住居のこと)に対するエネルギー変換システムの応用面は、開発中である。

発明者は、エネルギーを自己充足する自動車を作ることによって、この技術は、電気自動車を経済的に引き合うものにするための、大きなインフラストラクチャの拡大を飛び越える可能性を提供するであろうことを期待している。



他に可能性のある応用面は、パルス・レーザー、インバータ、トランス、およびモータ回路である。現在、発明者は、応用面の開発についてライセンスの相談を行っている。

パウロ・コリア(左)、ユージーン・マロブ(右)、文献[2]より

Contact: Dr. Paulo Correa, Research Director FAX: (905) 738-8427

## 文献

[1]<http://www.rexresearch.com/correa/correa.htm>

[2][http://www.bibliotecapleyades.net/ciencia/esp\\_ciencia\\_aether\\_a.htm](http://www.bibliotecapleyades.net/ciencia/esp_ciencia_aether_a.htm)

---

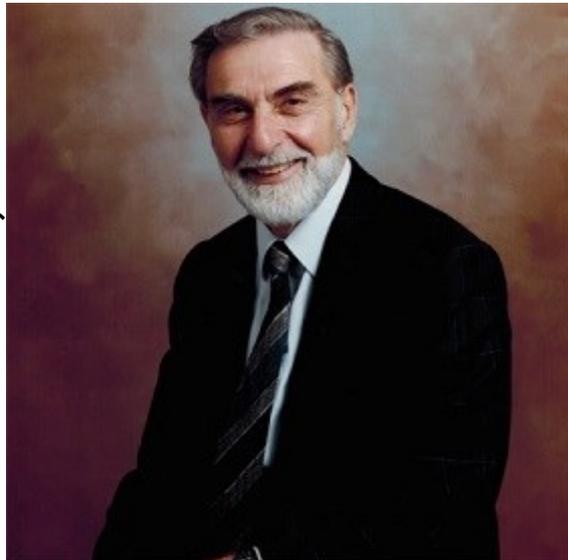
## 2.3 PAGD, イーサ・モータ、およびフリーエネルギー by アーサ・アクセルラド教授

下記は、文献[1]の抜粋・概訳である。

---

パウロ・コリア博士と彼のパートナーで妻のアレクサンドラについて私が知っていることを話しておきたい。お二人は、最近、とても驚異的なことを成し遂げた。彼等が行ったことは、基礎科学における驚くべき一連の発見である。

彼等は、プラズマ物理における研究から始まっているが、近い将来我々の世界に大きなインパクトをもたらすことはほとんど確かな分野である。コリア夫妻は、真空中の荷電金属から、システムに投入したエネルギーよりも大きなエネルギーを開放することができる原理を、いまや説得力のある方法で示している。



アーサ・アクセルラド  
(トロント大学教授、2015年5月他界)

私は、その専門分野に習熟していないので、コリア夫妻の発明を科学的に詳細に考察することはできないだろう。しかしながら、私が言いたいことは、コリアの経験したことと達成したことが、科学が発生する方法と、科学者に何が起こり得るのか、そして何故それが重要か、ということについて我々に何を教えてくれるのかということである。

私は、パウロ・コリアを20年以上前から知っている。私の学部学生として開発をしているときに初めて会い、それ以来、生物医学の科学者およびパートナーとして、永い年月にわたり、私の親密な友人であった。したがって、私は彼を非常に良く知っているといつてよいだろう。少なくとも、彼について書くことができる資格があると思う。それに、トロント大学で一緒に行った研究についても、少し書くことができる。

我々の友情はユニークである、と私は信じている。我々は、相手の言うことに耳を傾け、互いに信じあい、恐れることもなく互いに批判しあいさえするのである。我々は、互いの憤怒というリスクもなしに、忠告を探し忠告を与えるのである。我々は、互いの知的モータの回転速度を上げることができ、互いのアイデアの上に創ることができる。



トロント大学、Hart House

おそらく、実験室で我々が最もエキサイトしたな時期は、パウロと私が生物医学の文献に存在していた矛盾に出会ったときやってきた。それは、慢性骨髄増殖性異常赤血球増加症 vera(PV)の患者の研究で、循環している赤血球細胞の数の大きな増加が起こる未知の原因の潜在的致死条件から起こったことである。(中略)

フルタイムの学部生は約6万7千人と大学院生約1万5千名を合わせて8万2千名余りで在籍数はカナダ最多。アメリカを含めた北米全体でも5番目の規模を有する。

パウロ・コリアは、教授が間違っていると思ったら、教授に挑戦することを、結果がどうであれ恐れはしなかった。彼は、基礎生物細胞学の分野に貢献したあと、誰かのポストドック(博士号取得後の研究者)として生物医学者になるというより、アレクサンドラと一緒に独立した研究所(ラボフェックス社という名前の会社)を立ち上げた。そこで、もう15年研究している。

同時に、彼らは、この研究所でフルタイムの研究者として、助成金を受けずに、研究を追求した。彼らは、音楽を作曲したり、詩を書いたりした。また株の投資も行ったが、ある程度の失敗をした。しかし驚異的な成功もした。これで、二人の生活費とファーストクラスの生物物理研究所を維持する経費の資金を得た。早くから、私は、彼をルネッサンス・マンと呼んでいた。

コリアの研究は、真空中で冷陰極からの電子放出の間にかかるパルス異常グロー放電の研究で始まった。ラボフェックス社の研究所において、コリア夫妻は、異常グロ

一放電が自動的にパルス状態になる条件のときに異常カソード・リアクション・フォースが現れる電気力学の実験研究を進めた。

異常グローの外的脈動(external pulsation)は、以前に、Ernesto Manuel により研究されている。彼は、今日のソフトドリンク缶のプラスチック・コーティングに使われる方法のpatent(1969)を得ている。しかし、コリア夫妻は、ある一定の物理的条件下で、異常グローはフィールド・エミッション(電界放出)により自動的に、パルス振動することを発見しているのである。

真空アーク放電のなかで、電界放出により展開される異常カソード・リアクション・フォースは、1930年代から物理学者たちに知られていた。これは、英国、サウサンプトン大学のハロルド・アспデン教授をして、その研究に導入させることになった。アспデンは、電子と重イオンの間のプラズマ中の異常エネルギー伝達の原理を電子流と電流の累進増加が真空が誘起する加速で起こるという結果を明確に宣言した。

アспデン博士は、そのような放電管のなかでは、電流は、一定電圧下で無制限に増大するだろう、そして電流制限をしないと放電管は破壊するだろうと予言した。米国とロシアで以前行われたこの種の実験は、明らかに電極が燃えてしまって失敗に終わっている。



ハロルド・アспデン博士

アレクサンドラ・コリアは、ガラス吹きのエキスパートであり、その知識・技術は、自動パルス異常グロー放電が起こる特殊真空管の設計に絶対欠くことができないし、実験初期には必要欠くべからざるものであった。

真空管設計の彼女の専門知識は、これらのシステムで発生する過剰な熱という障害を克服した。また、パルス異常グロー放電(PAGD)を詳しく研究することを可能にした。

しかし、プラズマ物理は、コリアが進める研究の通路として位置づけられ運命づけられていたというわけではない。それに対する刺激(激励)は、完全に異なる方向からやってきた。アспデンの1969年の電気力学の法則は、電界の中で観測される陰

極・リアクション・フォースの異常現象を、既に完全に説明していたし、相互作用は、荷電キャリアの質量比によって影響を受けていることを示していた。

実際、コリア夫妻は、電気力学の相互作用についての色々な観察による彼らの最近の理論的・実験的研究のなかに向かって突き進んでいったように思える。ここで、電気力学の相互作用は、質量に縛られた電荷(例えば、電子とか重イオン)を必要とするのではなく、慣性の無い中性か両極性の電荷を意味している。したがって、そのエネルギーは mass-free(無質量)である。

この目的のために立ち上げた第二の実験室(the Aurora Biophysics Research Institute, ABRI)で行った彼らの研究のこの段階で、彼らは、テスラとライヒの研究を体系的に吟味熟読することによって、非常に大きな刺激を受けた。

このことから、彼らは、異なるアプローチで、異なる観点から電気力学の数学的再検討をすることとなった。このアプローチの出発点は、さまざまに上手く定義された条件下における箔検電器の今までに説明されなかった異常停止現象の研究であった。

彼らの研究がこの段階まで完成したとき、消費する質量束縛電力(massbound electric power)を過剰にする無質量の電気放射を増幅する方法を発見した。結局、彼らは、この知見を無質量エネルギーの非電氣的相互作用の理解に拡張したとき、彼らは、ヴィルヘルム・ライヒ博士の不可解なオーゴン・モータの背後に潜む原理を再発見した。そして、より良いものに改良し、“**イーサ・モータ**”と呼んだ。

ある日、私の妻バーバラと私は、パウロ・コリアとアレクサンドラ・コリアの、この“イーサ・モータ”を目撃した。それは、二つのオーゴン集積ボックス、あるいは我々の絶縁されたボディまたはアース・パイプのどちらかにつないでいる以外には、如何なる外的入力もなしに、電力を供給できる発電システムであった。

このデバイスは、モータを動かし、また回路も動かしているので、ある程度の電力を消耗するのだが、これは、環境から供給されているように見えた。信じがたいほど静か-爆音なし、雑音なし、急加熱なし、発光無し、放電管の静かなパルス振動、および小型モータの静かな回転ということが起こっていた。

我々のボディにつながれてモータが回転していることを除けば、失望するほど平凡であった。しかし、いつもそんな風にいったのではなかった。突発的放電が、恐れを知らない我々二人の生命を脅かすようなことが、これらの発見に至る過程で起こったの

である。幸いにも、こうした突発的アクシデントが、彼らを思いとどまらせるということ  
はなかった。

我々がみつめているものの認識は、その心をぎよつとさせるのである。ここに、我々の  
の眼前に、私が、完全に不可能と信じていたものが存在する。

この意味するところは、また、途方もなく大きい。-それは文字通りフリーエナジーの  
世界であって、汚染なしで、入手可能な装置とプロセスを用いて容易に生産できる製  
品で多方面に応用可能な巨大マーケティングとなり得るのである。

あなたは、トロントにおけるボクシング・デイ・セールのようなシーンを期待したろう。  
何故？ 私はそういう質問にとっても沢山の考えを既に述べました。(訳注:カナダの祝  
日「ボクシング・デー(Boxing Day)」はクリスマスの翌日、12月26日に教会が 貧しい  
人たちのために寄付を募ったクリスマスプレゼントの箱(box)を開ける日であった こと  
から、ボクシング・デイ・セール呼ばれている。)

ある研究者が、今までの信念に対し挑戦的概念を、科学界に出したら、“彼(彼女)  
は間違っている。”、“彼は、ずっと長く人々の間で容認されてきたものに対抗している  
ので、正しくはあり得ない”、“彼は、自分をだましている。無意識的に自分に合うデー  
タを選び、合わないデータをはじいて、自分の考えを広く認めてもらいたくてたまらな  
いのだ”、あるいは“彼は嘘をついている”という決まり文句の一連の反応が返って来  
る。

あるいは、“これは、彼の専門分野ではないのに、何の権利があって、高度に習熟し  
た専門家が何年もかけて取り組んでいる研究に挑戦するのか”、“彼は、有名大学と  
か大会社の出身ではないのに、どうして、そんなに重要だと自分で主張できるような  
ことができるのか”、“もし、我々がこのようなことをサポートし、その挙句に嘘だとわか  
ったら、我々は会社の金を浪費し、馬鹿だと思われるだろう。”

一度、このような反応が全て出てきて、各反応に対し、何が本当に見えているのか  
説明不可能なことが証拠でもって圧倒的に示されるとき、それはパラダイムシフトの  
時である。私は、このことが、実際に、コリア夫妻に起きていると信じている。

インターネットは、私の見解では、コリアのような開拓者には完全な媒体である。そ  
れは、つまらなさ、無知、ビジョンの欠乏、馬鹿らしさ、尊大、ジェラシー、ネガティブな  
自動思考、疑念、あるいは、今日存在するような査読システムにおけるある査読者(レ

フェリー)たちの不正直、の何かのところを動き回っている。

同時に、査読システムがないことは、科学者自身には見る事が不可能な偏見の危険をはらんでいる。したがって、それは、彼らに誠実さに対する巨大な責任を置くのである。ここで、コリア夫妻は光っている。

そして、だんだん、既存のパラダイムにいかにもぶつきらぼうに挑戦していようと、それに構うことなく 研究の価値を評価できる必要資質をもったレフェリー達が現れてくるであろう。コリアの場合は、このことが既に起こりつつある。ハロルド・アспデン博士が、そのようなレフェリーの一人である。

同様に、退職した RCA エンジニアのマイク・カレルにより書かれたグロー放電に関するコリアの研究のプレゼンテーション(彼は、コリアの研究所を訪問した)、あるいは、ユリ・ソウダク氏(前職はイスラエル航空企業)および ユージーン・マロブ博士(journal Infinite Energy の編集者)の“イーサ・モータ”および他の技術に関する 最近の証明・推薦書もレフェリーとしての見解を構成している。

同様なことが、ウィリアム・チラー(スタンフォード大学名誉教授)によるプラズマ放電に関する最近の意見についても言える。これは Akronos Publishing がそのウェブサイトに掲載した。

アспデン(パウロ・コリアはアспデンを師と仰いでいる)により進められた見解は、私にとって特別に興味深い。何故なら、理論的背景だけで、彼は、1966 年の遠い過去に遡って Over-unity の発生の存在を主張していたからである。

彼は、いまやこう書いている:

“装置はパルス異常グロー放電管を用いているが、これは物理学者がよく知っているように、負性抵抗特性を有している、と言えれば十分である。

コリアの発明までは、物理学者が認識していなかったこと、それは、いかにして、プラズマ放電の中の自己維持発振を励起することによりフリーエナジーを抽出するかについて充分正確な知識を、抽出の可能性と共に、もっていなかったことである。疑いもなく、コリア博士の Labofex 研の施設では、このプロジェクトの研究から大量のノウハウをマスターしたのであろう。”

これは、実に、吉報であった。

本件全体に関する難しさは、“このミステリアスなエネルギーはどこから来るのですか？”という質問にある。アспデン博士は、このエネルギーの究極のみなもとは、空間の“真空エネルギー”としてよいだろうことを示唆している。

彼は言う：

“そうです。今や我々はカナダ人によるブレイクスルーに直面しているのです。私が確信をもっていること、それはいまから30年後における、“フリーエナジー”と重力の結合が、いま、現れ始めているということです。それはともかく、新エネルギー源を利用することを主要作業とし、それに焦点を当てましょう。”

私は、最近、ユージーン・マロブ博士からコリア宛の手紙を読んだが、私は、圧倒されてしまった。我々が、コリアの実験室を訪れて彼らのデモンストレーションを見たときは、単にそれを部分的にしか気づいていなかったのであるが、マロブ博士の手紙は、我々の認識を強烈に助けるものであった。

彼が書いた手紙は、彼が見たものが何であるのか、何を意味するのか、とくに長期の重要性と価値について、正直で、詳細で、完全に鮮明なメモであった。彼は、同時に、そのインパクトが何であるか、それに対する抵抗について現実的に考えていたし、明らかに気遣っていた。

彼は、編集メモで、“コリアの発明は、驚くべきことである。中間の熱変換という段階を踏まずに、電気エネルギーを直接発生させる自励振動プラズマ放電のレジームを切り離してしまったことは不思議なことである。”と述べている。

コリア夫妻は、彼らの分野の現在の状態を注意深く批評し、矛盾を発見し、矛盾に対する理由探索に着手し、この情報を、内部矛盾のない知的枠組を作るのに使い、その完全無欠性のテストを工夫し、それを、その妥当性の成功的デモンストレーションを達成するのに用いた。

その専門分野のエキスパートでなくても、私は、いかに彼らが問題にアプローチし、何を為そうとしているのか、そして、彼らは、何を為すことに成功したのか、を見ることが出来る。…

しかしながら、すべてがエキサイティングな開発であるにもかかわらず、これらの発見を商品化するためのお金はどこからもやってこない。これは、コリアによるトライが欠けているわけでもなく、潜在する支援者の興味が欠けているわけでもない。

世界中から大勢の人がやってきて、XS NRGTM PAGD リアクター、それで回転するモータと充電されるバッテリー、あるいは、ABRI で開発されたイーサ・モータの印象的なデモンストレーションを見ている。これらの発明は、世界の Patent により硬く保護されている。

それらは、広範囲にわたって、Patent に記録されているし、最近では、この Patent はインターネットでもみられる。にもかかわらず、コリア夫妻は、現時点で、資金不足のため、彼らの実験室を閉じようとしている。

Arthur A. Axelrad (亡)  
MD, PhD, FRSC, Emeritus University Professor  
University of Toronto

(訳注: 上記は、フリーエネルギー装置は、簡単に商品化できないという、その1例です。では、どうしたらよいか。Chap.1 を参照されたい。)

## 文献

[1]<http://www.rexresearch.com/correa/correa.htm>

---

### 最近の状況:

下記は、文献[1]からの抜粋・概訳である。

-----

極く最近は、コリア夫妻は、熱電子・電気重力エネルギー変換の研究とともに、生物物理の理論的・実験的研究を行っている。

これらいま進行中の研究は、トロント付近にあるアウロラ生物物理研究所(ABRI)でなされているが、新しい電子構造の提案、両極性電子エネルギーの放射スペクトルの識別、ライヒのオーゴン・モータのミステリーの解明、および完全に新しい種類の技術の開発に至っている。

この中に、改良型イーサ・モータおよびユージン・マロブ博士(写真右、2005年死亡)と一緒に開発した太陽-大気・発電機がある。さまざまな ABRI 技術は、特許である。



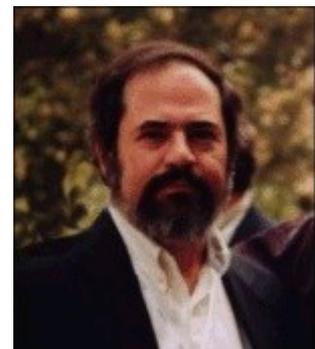
パウロ・コリア(左)、ユージン・マロブ(右)、文献[2]より

## ユージン・マロブ

ユージン・マロブ博士(故)[4]は、MIT から航空/宇宙飛行工学における BS(1969)および MS(1970)の学位を得ている。またハーバード大学から、環境健康科学における ScD の学位を授与されている。

彼は、ヒューズ研究所、分析科学社、および MIT のリンカーン研究所などに勤務していた。また、新エネルギーの研究開発のコンサルタントも行ってた。

彼は、アメリカの科学者、サイエンス・ライター、編集者・Infinite Energy の出版者、および非営利団体新エネルギー



ユージン・マロブ、  
(June 9, 1947-May 14, 2004)文献[3]より

協会[3]の創立者であった。彼は、低温核融合の賛成者で、その研究と関連する探検的代替エネルギーのトピックスをサポートしていた。その中のいくつかは、異端の科学として特徴づけられる。

彼の代替エネルギー研究の中には、低温核融合のほかに、パウロ・コリアとアレクサンドラ・コリアにより開発されたヴィルヘルム・ライヒのモータの再現も含まれていた。ライヒ・アインシュタインの熱の実験も同様であった。

ユージン・マロブは、彼が生まれ育った家で、彼の両親が所有していて最近賃貸になった物件を清掃しているとき、殺された(May 14, 2004)。犯人は、捕まり、2015年1月6日に58年の服役が言い渡された。

彼が、生前に創立した新エネルギー協会は、その後も継続して存在していて、機関誌 Infinite Energy を出版している。その中で、コリアの発明に関する事柄が、多々取り扱われていた→[ここをクリック](#)。

## 文献

[1][http://www.bibliotecapleyades.net/ciencia/esp\\_ciencia\\_aether\\_a.htm](http://www.bibliotecapleyades.net/ciencia/esp_ciencia_aether_a.htm)

[2]上記に同じ。

[3]<http://www.infinite-energy.com/>

[4][https://en.wikipedia.org/wiki/Eugene\\_Mallove](https://en.wikipedia.org/wiki/Eugene_Mallove)

---

## 2.4 コリアによるオーバー・ユニティの patents

コリアの特許は、下記のとおりである。なお、上記にはユージン・マロブ博士と一緒に開発したとあるが、特許はマロブと連名にはなっていない。その理由は、開発に対しマロブの寄与は殆どなかったのかもしれない、あるいは、何か他の理由があったものと思われる。

彼らは、空間のエネルギーを捕獲するところをレシーバーと呼んでいる。

日本の特許庁では、このような特許申請は、拒絶される。永久機関とみなされるからである。コリアの特許を良く読み、米国に特許出願するときの参考にするとよい。

- [US.Pat.No.5,416,391](#): Electromechanical transduction of plasma pulses(May 16,1995)
- [US.Pat.No.5,449,989](#): Energy conversion system(Sep.12,1995)
- [US.Pat.No.5,502,354](#): Direct current energized pulse generator utilizing autogenous cyclical pulsed abnormal glow discharges(Mar. 26,1996)
- [US.Pat.No.7,053,576B2](#): Energy conversion system(May 30,2006)
- [US.Pat.No.7,235,945B2](#): Energy conversion system(Jun.26,2007)

これらの特許は、どれも非常に長文であるので、以下、概要を少しか記しておくことにする。詳しくは、原文にあたられたい。

---

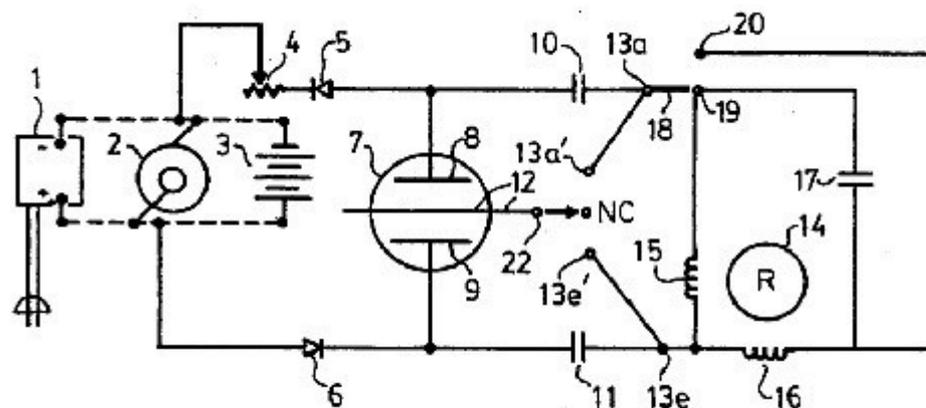
### •Pat.No.5,416,391

要点:

- VACOR 管式(Fig.18,19)の冷陰極放電管にDCを印加すると自励発振した。このプラズマ放電パルス(11- 45 pps)で様々なモータを回転させることができた。

これはパルス異常グロー放電(PAGD)現象を用いている。【訳注】これは一種のインバータと考えられる。

- 放電管の作成方法と材料が詳述されている(Fig.18-19 の説明箇所)。なお、Fig.18 がライヒのヴェイカー管に相当するものと思われる。
- 放電管への入力のDC電圧は 300V 前後、電流は 1A 前後でモータを回している。
- 放電管に並列なコンデンサの容量を適切な値に選ぶ必要がある。さらに重要なファクターは、電源(直流の電圧・電流値)であり、また、圧力、ガスの化学的性質、カソード材料の電界放出仕事関数、およびガス混合比のような物理的性質、さらに、内部電極の距離、プレート面積、および平行板の配置などの幾何学的・寸法的な性質である。これらのファクターについて考察がなされている。
- 本パテントでは break even (over unity)には言及していない。
- この放電管を用いて一般的インバータを作ることが可能である(Figs.14&15)。
- その他、略



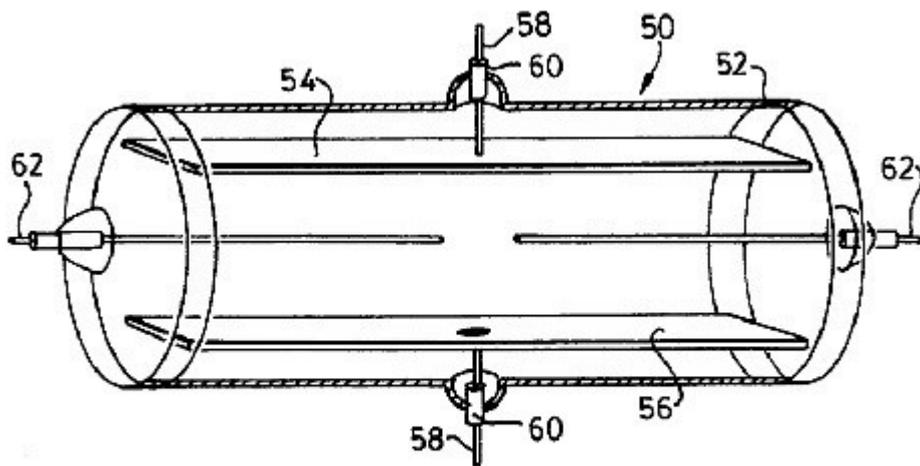
**FIG.3**

Fig.3 本発明の第1実施例の回路図。

単相パーマネント・スプリット・インダクションモータまたはシンクロナス・キャパシタ・モータを使用し、これはパルス発生器に並列に接続してある。

パルス発生器はダイオードまたはトライオードで構成される真空放電を用いている。

1: DC 電源(定電流が望ましい)、2: DC 発生器、3: バッテリーパック、  
4: 可変抵抗、5: ダイオード、6: ダイオード、7: 真空デバイス、8: カソード、  
9: アノード、10: キャパシター、11: キャパシター、12: 軸材またはプローブ、  
13a: ターミナル、14: モータ、15: コイル、16: 補助コイル、17: 移相キャパシター、  
18: スイッチ、19: 極、20: 極、22: スイッチ。



**FIG.18**

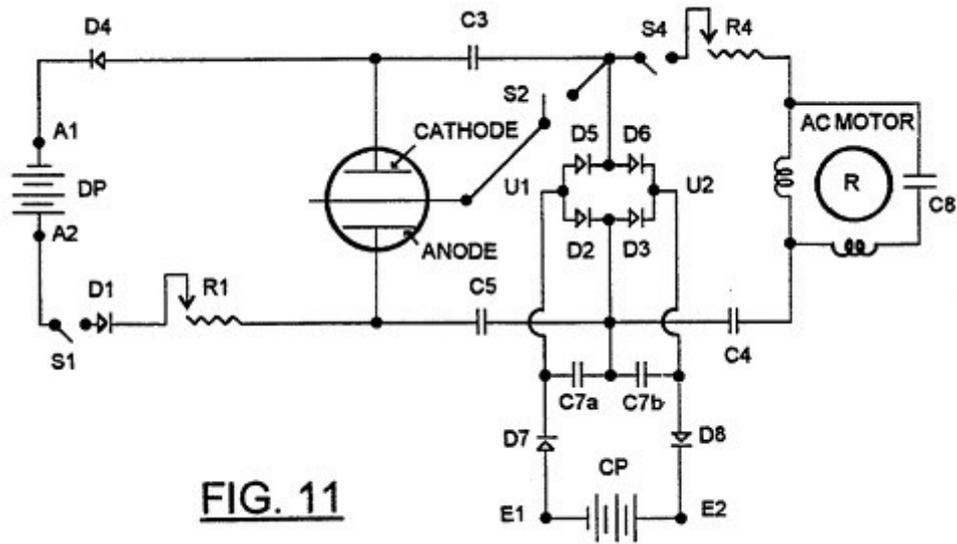
Fig.18 ガラス管球の4極真空管構造を有するパルス発生器を示す図。

50:パルス発生器、52:円筒形ハウジング、54:カソード、  
56:アノード、58:支持具、60:気密シール、62:軸プローブ。

**・Pat.No.5,449,989 エネルギー変換システム**

要点:

1. 各パルスに関する AC(rms)成分 (Fig.2 の黒丸) は、真空度を下げていくとき、真空度 8Torr の初めから、入力DC電流 (Fig.2 の白丸) の値より大きい。Max で 7.5 倍大きい。【考察】条件によっては、放電管から発生したパルス電流の rms 値は入力DC電流の最大 7.5 倍になるというが、測定方法が詳述されていない。オシロ使用のようだがこれで精度は本当に大丈夫？
2. (Table 2) パルス頻度(pps)は時間とともに漸増していくが、これは AI 電極板にクレーターができ仕事関数が増えることが原因である。
3. 放電管ガスは、空気よりアルゴンの方がパルス頻度は多くなる。
4. パルス頻度は出力回路に入れた充放電電池パックの充放電の影響を受ける。
5. パルス頻度に影響する他のファクター: 放電管に対する外部永久磁場・変動磁場・変動電場・アースの取り方・並列cの容量・容量誘導性か自己誘導性かによる。
6. PAGD(pulsed abnormal glow discharge)の大きさの変化は、低い電流に対し、(1) 印加電圧の大きさ、(2) 内部電極のギャップ距離、および (3) 圧力 による。
7. モータをつないでもつながなくても、効率は通常でも数 100%を得た。最大で 6,750%(COP=67.5)であった。
8. その他略



**FIG. 11**

Fig.11 Fig.9 を変形した回路図であり、ここでは、モータ  
という形態の電磁気装置を回路に挿入してある。

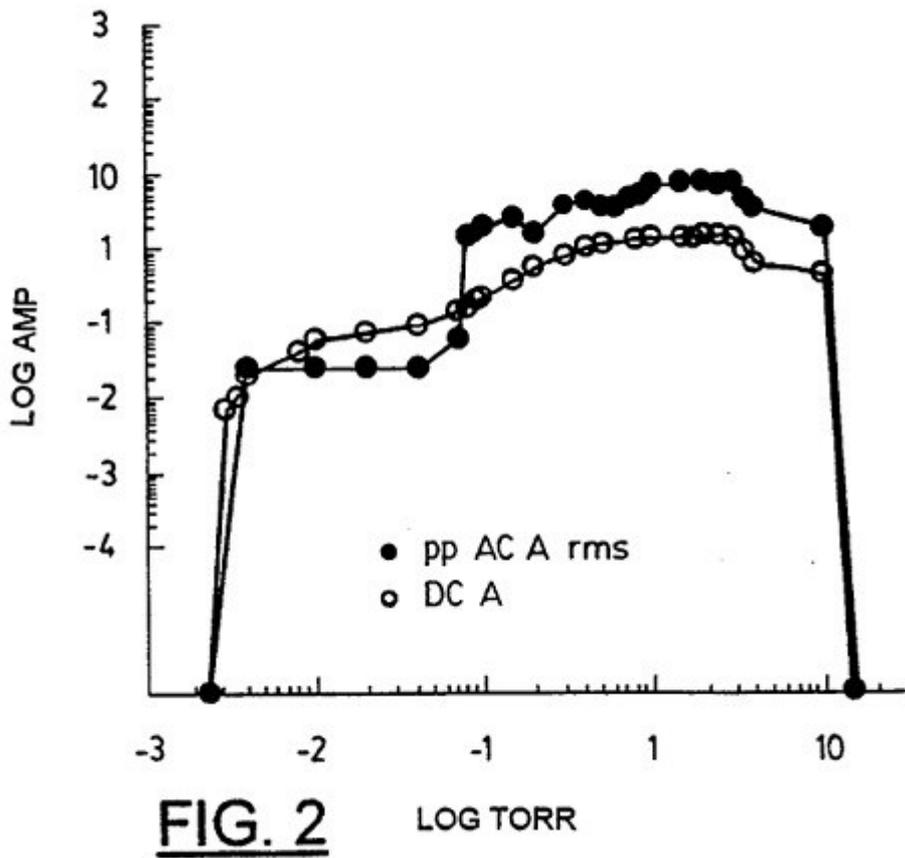


Fig.2 高電流 PAGD 条件において、流した電流と AC(rms)電流の圧力に対する変化を示す図。Fig.1 の回路図のデバイス使用。

TABLE 2

| 128 cm <sup>2</sup> H220 Al; 570 volts DC; 300 Ω = R1; Diode Configuration |     |         |                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------|-----|---------|-----------------------------------------------------------|
|                                                                            | PPS | p(Torr) | Cumulative Pulse Count                                    |
| 1)                                                                         | 200 | 0.08    | ~2.4 × 10 <sup>5</sup>                                    |
| 2)                                                                         | 200 | 0.5     | ~1.5 × 10 <sup>6</sup>                                    |
| 3)                                                                         | 200 | 0.8-1   | ~2.5 × 10 <sup>6</sup>                                    |
| 4)                                                                         | 25  | 0.5     | 3 × 10 <sup>6</sup> pulses                                |
| 5)                                                                         | 200 | 0.5     | 1.5 × 10 <sup>6</sup><br>(after first electrode reversal) |

Table.2

## ・Pat.No.7,235,945 エネルギー変換システム

以下は、Pat.No.7,235,945 の抜粋・概訳である。Over-Unity 効率は $>1,000\%$ であると記載されている。

-----

### 【要約】

無質量エネルギー・レシーバーおよび無質量エネルギーを通常の電気あるいは機械的工作に変換する手段からなり、慣性抑制ドラッグ・モータを駆動するパルス・プラズマ・リアクターを含むデバイス。

### 【技術分野】

本発明は、エネルギー変換、とりわけ、テスラ波（便宜上の用語。下記参照）を通常の電気エネルギーに変換するためのシステムに関する。

### 【背景技術】

局所あるいは環境エネルギーから供給されるエネルギー変換器は、通常、ゼロポイント電磁放射エネルギー（ZPE）を電気エネルギーに変換するという考えによって説明されている。…

（ここで、ファン・デル・ワールスカ、カシミールカ、ゼロポイント・エネルギー理論、テスラ技術などの解説が、長々と続くが略す。必要に応じて、原文を読みたい。）

### 【発明の要約】

本発明は、便宜上、テスラ波、無質量熱放射および潜熱無質量放射、として言及した上記考察の無質量のエネルギー放射のバリエーション（variants）を通常の電気エネルギーへ変換することに関する。

そのような放射の第1のバリエーションは、約100年前に、テスラにより認識され、発生され、少なくとも部分的には明らかにされた。しかし、彼の研究は、広く誤解釈され、ラジオ波あるいは電磁波の伝送に関しての彼の研究は混乱している。

テスラコイルは、そのような放射をするのに都合の良い発生器であり、以下に述べた我々の発明の実施例の多くにおいて使っている。しかし、はっきりと理解しておくべきことは、広い意味における我々の発明は、無質量放射の放射源としてそのようなコイルを使うことを限定しているのではない。どんな天然あるいは人工の放射源も使ってよい。

例えば、太陽は、そのような放射の放射源である。しかし、大気との相互作用があるので、地球表面においては概して利用できない。地球の大気の外側の位置における利用に限定される。

本発明では、無質量放射を電気または機械エネルギーに変換するためのデバイスは、

- 減衰波成分をもつ無質量電氣的放射のトランスミッター(伝送器)、
- トランスミッターの減衰波周波数と共鳴するようにチューニングしたそのような放射のレシーバー(受信器)、
- レシーバーから電氣的あるいは機械的エネルギーにカップリングし抽出する補助共鳴回路、
- トランスミッターとレシーバーの間の伝送キャビティを決める構造、補助共鳴出力回路における全波整流器、および補助共鳴出力回路のなかに含まれるパルスプラズマ放電デバイス、の少なくとも、ひとつ、

からなる。

出力回路は、レシーバーにキャパシタンスを提供する全波整流器、あるいはレシーバーにインダクタンスを提供する電気モータか望ましくはスプリット・フェイズ・モータからなることが望ましい。

トランスミッターとレシーバーは、それぞれ、テスラコイルおよび(または)自律パルス異常グロー放電デバイスからなることが望ましい。

トランスミッション・キャビティ(伝送空洞)は、少なくとも、ある程度は、真空排気する

ことが望ましい。そして、それぞれ、トランスミッターとレシーバーのなかに導入されたテスラ・コイルの2次コイルの末梢電極に接続したプレート(複数)からなることが望ましい。ここでプレートは互いに離れてあり、平行か同心円的である。

空洞を決定する構造部は、イオンを含む水のなかにひたすとよいであろう。スプリット・フェイズ・モータは、慣性減衰 AC ドラッグ・モータが望ましい。

本発明、およびその基礎を示す実験は、関連図を用いて下記に詳述する。

### 【発明の詳細な説明】

高周波交流電界に暴露することにより誘起されるような金属体の質量損失の観測結果に基づき、我々は、この質量損失を最適化するための実験方法を開発し、これから、物質の真正ポテンシャル・エネルギー  $\Delta U$  (あるいは真の“潜熱”) の現れとして質量損失を引き起こすフォースを取り扱い、レシーバーの近隣に存在する“真の潜熱”エネルギーおよびレシーバーの中に誘起された“sensible な”熱の両方ともにモータやフライホイールあるいは電池を回すのに使われる電気エネルギーに変換する デバイスを開発した。

テスラ・コイルの出力はイオン化電磁放射であると普通信じられている。しかし、そうではないことを、我々は、示した。すなわち、電磁気放射でもなく、イオン化電磁放射でもないということである。

空芯の、連続して巻いた2次コイルの出力は、もっぱら電気エネルギーのみからなる:コイルにつながると、質量に拘束された AC 電流が共振周波数において引き出すことができる。ところが、非スパークの間隙では、縦波の特徴をもつ無質量の AC 状の波の放射が、その近傍空間のどこでも傍受できる。従って、そのようなコイルからの放射出力は、電磁波放射とは全く異なっている。

テスラ・コイルの出力が、イオン化放射から成り立っているのではないことの基本的証拠は、箔検電器の自然放電速度を加速しないということである。箔検電器の帯電が正でも負でも同じである。実際は、その近傍では、コイルは、負に帯電した検電器の自然放電率(電荷漏洩率)を加速させるだけである。ところが、正に帯電した検電器の放電を阻止する(すなわち、電荷漏洩率はゼロになる)。

しかし、この2重効果は、2次コイルからの何らかの正イオンの放出によるものでは

ない。たとえ、その近傍にもっていった放電済みの箔検電器を正に帯電できるとしても、である。この帯電効果は、実際は、人為的なものである。金属類、しかし誘電体ではない、は、コイルの無質量電気放射に暴露されると伝導性と価電子帯電子を容易に失うからである。(以下略)

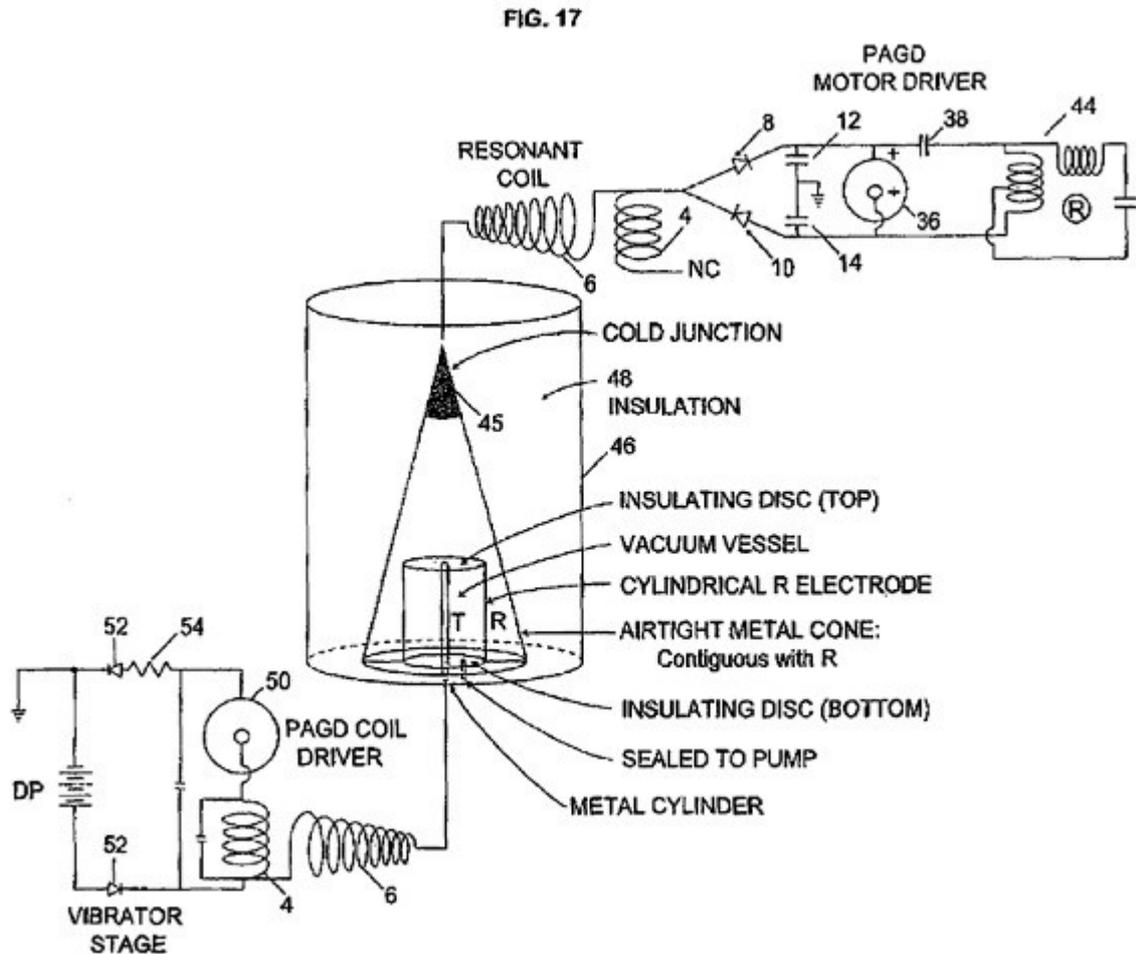


Fig.17 エネルギー変換デバイスの実施例の模式図

4:1次コイル、6:2次コイル、8:ダイオード、10:ダイオード、12 & 14:キャパシター、38:キャパシター、36:PAGDリアクター、44:ブロッキング・ダイオード、45: cold junction、46: 艶消しの黒色容器、48: 熱絶縁、50: 自立パルス異常グロー放電管、54: 抵抗

Over-Unity 効率は 1,000%以上であると記載されている。

(注意: 私が知る限り、彼らの特許は実用化されてはいない。発明を成功させることと、実用化を成功させることは別の問題であるからである。一般に、実用化の方が発明より格段に難しい。特に永久機関の印象を与える FE 装置の場合は、そう言える。

Chap.1 を参照。

実用化されていないからと言って、この特許技術は重要でないという意味ではない。非常に重要である。)

---

### 3. テスラのフリーエネルギー・レシーバー

ここは、Chap.8a のテスラに関する記述の続編である。そちらを先に読みたい。

---

## テスラのラジアント・エナジー・システム

### ・テスラのラジアント・エナジー・パテント

テスラは、ラジアント・エナジー・デバイスに関して下記二つのパテントを得ている。

- U.S. Patent No. 685,957 Apparatus for the Utilization of Radiant Energy

- U.S. Patent No. 685,958 Method of Utilizing Radiant Energy.

これらの特許は、どちらも November 5, 1901 に登録認可された。

## ・テスラが語る FE の発明

ニコラ・テスラは、ブルックリン・イーグル新聞 (July 10, 1932) で、次のように言った。

「私は、コズミック・レイ (cosmic rays) を捕獲し、それで機械を作動させた。…私は、コズミック・レイの理論を進展させ、私の研究の全ての段階で、それは正しいことが分かった。

(訳注: cosmic rays を宇宙線と訳すと、現在知られている宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線のことになる。その主な成分は陽子であり、アルファ粒子、リチウム、ベリリウム、ホウ素、鉄などの原子核が含まれているが、テスラの意味する cosmic rays はそのような従来概念の宇宙線とは意味が違うので、誤解を避けるために、とりあえずコズミック・レイとしておく。)

コズミック・レイの魅力的な特徴は、その不変恒常性である。それは、四六時中降り注いでいて、もし、発電所が、そのパワーを使うことを開発すれば、風力、潮汐、あるいは太陽光には必要となるようなエネルギー貯蔵器は不要になるだろう。

私の全ての研究は、それは小さな粒子であり、電荷は非常に小さい中性子と呼べる、という結論になるようである。それは、非常に高速で運動し、光の速度を超えている。

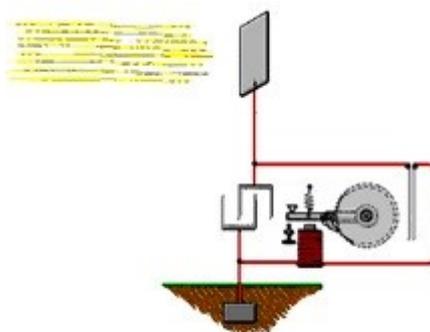
25 年以上前に、私は、コズミック・レイを捕獲する努力を開始した。そして、いま、コズミック・レイを使ってメカニカルなデバイスを動かすことに成功したと宣言することができる。

コズミック・レイは空気をイオン化し、多くの荷電イオンと電子を開放すると、最も一般的な方法で言うべきでしょう。この電荷はコンデンサーに捕獲され、モータ回路に通して放電される。私は、このモータを大規模に生産したいが、それを遂行する状況が整わなかった。」 [J. Pierpoint Morgan により停止させられた。]

(上記の記事の日付は 1932 年である。因みにこの年、日本では五・一五事件 [青年将校が犬養毅首相を暗殺する。政党政治の終焉]、第一次上海事変などが起こっていた時期に相当する)

また、ニューヨーク・アメリカン新聞 (1933.11.1) で、次のように言った。

「世界中の機械装置を動かすために使える新パワーが、宇宙を動かしているエネルギー、宇宙エネルギーから得られる。地球に対する、その中心的エネルギー源は、太陽であり、これはどこにでも無制限に存在している。」



テスラのコズミック・エネルギー・レシーバー[1]

右図は、テスラの最初のラジアント・エナジー・レシーバーの図である。これは、空気から得られた静電気を蓄え、使用可能な形態に変換する。

アンテナを空中高く突き立てる。高ければ高いほど良い。そしてキャパシターの一端につなぐ。他端はアースにつなぐ。そうすると電位差がキャパシターを充電する。

キャパシターが周期的に放電できるようにするために、何らかのスイッチング・デバイスをつなぐ。これで、振動出力が得られる。T.H.Moray は、イオン化振動を作るための高電圧を使うために、テスラのアイデアを単に拡張したのである。

## ・テスラの発電機 1901

“ラジアント・エナジー使用のための装置”

パテント文では、“太陽と同じくコズミック・レイのようなラジアント・エナジーの他のエネルギー源”と書いてある。このことから、コズミック・レイが夜の間も得られるという点でデバイスは夜も作動するということが説明される。また、テスラは地球を“巨大な負の電気の貯水池”と記している。

テスラは、ラジアント・エナジーと、そのフリー・エナジーに魅了されていた。彼は、クルックのラジオメータを、ラジアント・エナジーに暴露したとき真空中で回転する羽根をもつデバイス、“美しい発明”と呼んでいた。

(訳注:ラジオメータは、現在、光線、とくに赤外線により回転すると言われている。ラジアント・エナジーでも回転するのだろうか。)

彼は、“自然界の歯車につなぐ”ことにより直接エネルギーを獲得することができるだろうと信じていた。彼の 76 歳の誕生日に、毎年行う定例記者会見で、テスラは、コズミック・レイ・モータはクルックスのラジオメータより力がありますか？と聞かれて、“数千倍もパワーがあります”と答えた。

1901 年において、テスラが“ラジアント・エナジー”を確認した唯一の人間であった。テスラがいうのには、このエネルギーは我が太陽である。彼の結論は、太陽は、小さな粒子を放出していて、それぞれ、非常に小さい電荷を運んでいて、非常に早く動き、光の速度を超えている、ということであった。

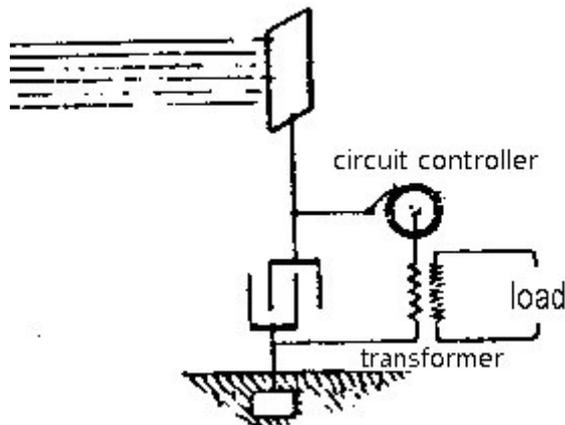
さらに、テスラは、これらの粒子は中性子の粒子であると述べている。テスラは、これらの中性子粒子は、全ての放射性反応の原因であると信じていた。ラジアント・マターは、これらの中性子粒子と調和している。ラジアント・マターは、ある状態から他の状態への、単にエネルギーの再伝達子(re-transmitter)である。

(訳注:テスラは、中性子の粒子と言っているが、現在知られている中性子を意味しているのではなく、恐らく中性の粒子と言いたかったのかもしれない。超微小な電荷を有するが中性に近い超微粒子という意味かもしれないが詳細は不明。ともかくいまから 116 年も前に言っていたことである。)

**・テスラのラジアント・エナジー・レシーバーはどのように作動したのか**

高所のプレート(プラス)とアース(マイナス)の間に存在する電位差から、キャパシターにエネルギーが蓄積され、“適切な時間間隔”で蓄積されたエネルギーが、強力なパワーで解放される。

このキャパシターは、大容量の静電容量でないといけないし、その誘電体は、破壊電圧に耐えられる高品質の雲母から作る、とテスラは言う。



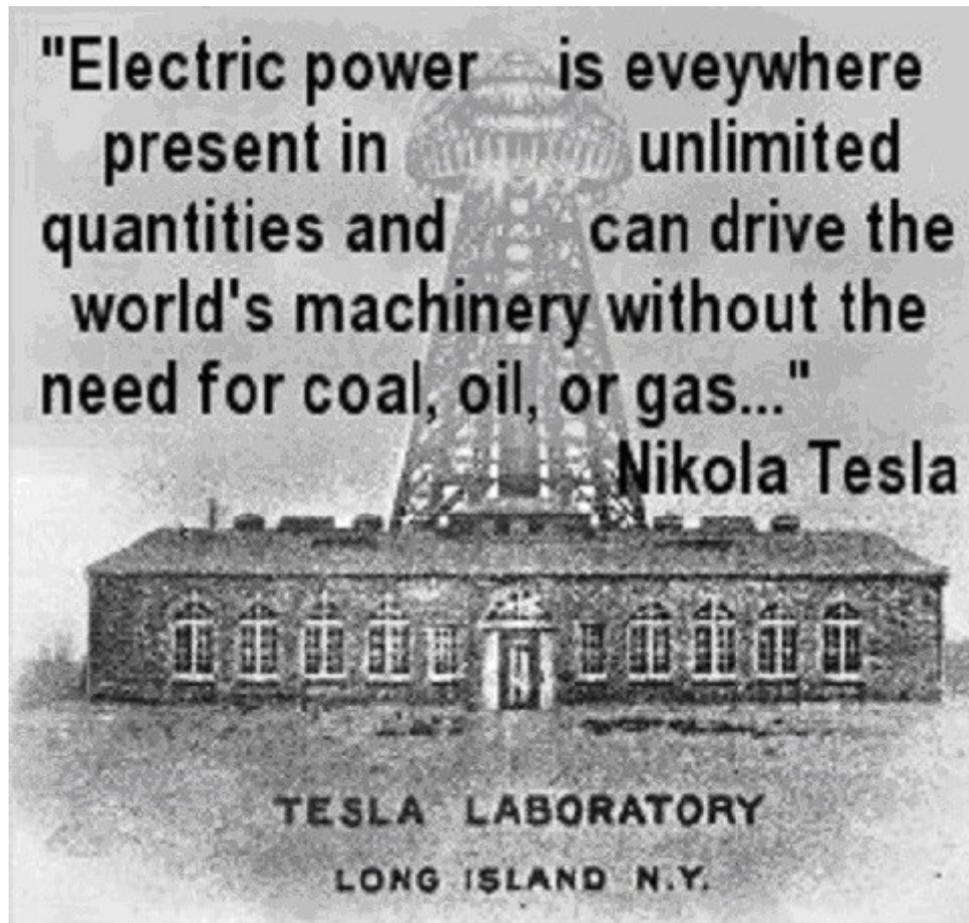
テスラのコズミック・エネルギー・レシーバー[1]

(訳注:市販のマイカ・コンデンサーを買ってきて、図のように結線したところで、作動しない筈である。図は原理図を示したにすぎない。)

図の中のコの子が刺し違えなっているコンデンサーは、現在市販のコンデンサーとは構造が違ふと考えられる。テスラ氏は、レシーバを構築するためのイーサー・レゾナンス・キャビテイ・コンデンサーを自作したものと、私は思う。それは試行錯誤的に自作を繰り返して探せば見つかる。)

テスラは、スイッチング・デバイスに対し、いろんな選択肢を提供した。その一つは、テスラ回路コントローラに似ているロータリー・スイッチであり、もう一つは、真空中に吊るした二つの非常に軽い細胞膜からなる静電的デバイスであった。

これらは、キャパシターの中に貯まったエネルギーを検出して、一つは正に、もう一方は負に帯電して、ある一定の電荷レベルになると、吸引されてキャパシターを放電させる。また、テスラは、微小な空気間隙あるいは弱い誘電体フィルムからなる他のスイッチング・デバイスについても述べている。これは、ある電圧に達すると突然放電するのである。



“電力はどこにでも無制限に存在し、世界中の機械を石炭、石油、ガス 無しに動かせる。”ニコラ・テスラ[1]

テスラは、上記のように、ラジアント・エナジー・デバイスに関して二つのパテントを取得している。これらのパテントの中で、彼は次のように説明している。

“太陽は、ラジアント・エナジーの他のエネルギー源と同じく、正に帯電した物質の微小粒子を投げかけてくる。それは高所のプレートにぶつかり、連続的にプレートに電荷を与える。アースは、負電荷の巨大な貯水池だと思われるが、そのアースに接いだコンデンサーの他端には、微弱な電流が常にコンデンサーに流れ込む。…”

### ・地球の電荷

地球の電荷(気象庁地磁気観測所の説明):

「地球の大気中には、雷の放電などの電気に関係した現象が見られます。電氣的な現象は雲の中だけではなく、晴天時でも大気中には電場が存在していることが知られています。

これを空中電気または大気電場と呼んでいます。地球表面はマイナスの電荷を帯びています。一方、上空の電離層はプラスの電荷で帯電しており、地球表面との間には約300kV(キロボルト)の電位差が保持されています。

これは地球表面が(－)極、電離層が(＋)極であり、両電極の間の大気が誘電体(静電気作用を伝える絶縁体)として形成された、巨大なコンデンサーとなっています。

大気中では太陽光等によってイオンが作られています。このため大気は完全な絶縁体ではなく電気が流れます。このまま放っておくと両極間の電位差は消失するはずですが、実際にはこの両極間の電位差はずっと維持されています。

これを維持するためのメカニズムとして現在考えられている有力な説は、全地球上の雷活動が発電作用となり電離層と地球表面とを結ぶ地球規模の電気回路(グローバル・サーキット)を形成しているというものです。」

地球の電荷と電離層の電荷の総和がゼロなのか負なのかについては記述されていない。

テスラの意図は、アースと高所大気の間で捕獲されたエネルギーを濃縮し、電流に変えることであった。彼は、太陽は、約  $200 \times 10^9$  Vの電圧で正に帯電している電気の巨大球であるというイメージを持っていた。一方、地球は負の電気に帯電している。

これら二つの物体の間途方もない大きさの電氣的フォースが、少なくともある程度は、彼がコズミック・エナジーと呼ぶものを作り出す。それは、昼夜によって、また季節によって変化するが、常に存在する。

正の粒子は、電離層でストップし、電離層と地球の負電荷の60マイル間で大きな電位差がある。360,000V位の電圧である。これらの相対する反対電荷の蓄積層の間で、絶縁体として作用する大気ガスにより、地面と宇宙の縁の間の領域が、大量のエネルギーを捕獲している。

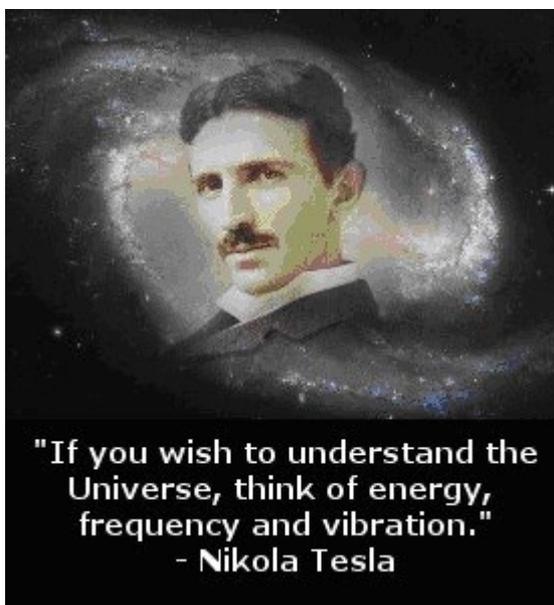
惑星の大きなサイズにも拘わらず、それは、電氣的にはキャパシターのものであ

て、このキャパシターは、絶縁体としての非伝導性物質としての空気を用いることにより正電荷と負電荷を隔離して保っている。

地球は、96,500 クーロンの電荷をもっている。360,000Vの電圧で、地球は0.25 ファラッド(farads = coulombs/volts)の容量を構成している。

もし、キャパシターの中に蓄えられたエネルギー( $E = CV^2/2$ ) を計算するための公式を地球に適用すれば、背景媒体は  $1.6 \times 10^{11}$  ジュールあるいは 4.5MWh の電気エネルギーを持つことがわかる。この高電圧エネルギーを使うために、あなたは、二つのことをしなければならない…エナジー・シンク(energy sink)をつくり、それから“シンク”を共振させることである。

## ・ゼロポイント・エネルギー



“宇宙を理解しようと望むのなら、エネルギー、周波数および振動を考えなさい”  
ニコラ・テスラ[1]

そのような“シンク”は、周囲の媒質よりも、エネルギーが低い状態であらねばならない。そして、それにエネルギーが連続して流れ込むためには、エネルギーは連続してくみ上げなければならない。

加えて、この“シンク”は、それにつなぐ負荷のパワーの必要条件を満たすのに、低いエネルギー状態を維持しなければならない。

電力は、ワット-秒であるが、電圧×電流×秒の積である。振動の周期は変化しないので、電圧あるいは電流のどちらもこのシステムのエネルギー方程式では可変でなければならない。

このシステムでは、バイファイラー巻きのコイルが使われる。何故なら、バイファイラ

一巻きのコイルは、その巻き線間の電位差が最大になり、電流は最小になるからである。

我々のシステムにおけるコイルは、それから、外部パワー源によりその共振周波数で発振状態に設定されるであろう。そのサイクルの“ゼロポイント”部分の間に、コイルはキャパシターの一つのプレートとして表れるであろう。

コイルの電圧が高くなると、サイフォンできる電荷量は増加する。小さなエネルギー窓（ゼロポイント、あなたが呼びたいようによぶエネルギー）を通して取り込めるエネルギーは、このシステムの成功の鍵だと思われる。それは、エネルギーが、正および負の電流成分に濃縮されるところのこのゼロポイントにおいてである。

エネルギーが“シンク”から流出するとき、磁場は崩壊し、そのあとに強い磁気振動が起こる。適正にチューニングしたシステムは、ラジアント・エナジーを捕獲でき、そのように規定された配置においてエネルギー変換できる。

**・原子から直接的にエネルギーを**

ラジアント・エナジー・システムは、自励発振容量性システムである。一旦、発振設定すれば、それを持続し続けるのに非常にわずかな電力しか要らない。それは静電的発振システムであるので、1 サイクルあたりシステムを通して動く電荷量は極くわずかである。

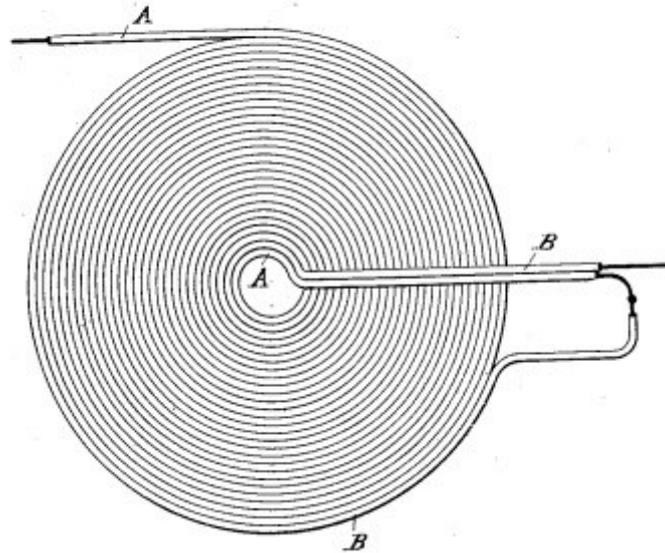
もし、チャージを遅いレート (rate) で使うなら、システムに蓄積されるエネルギーは、発振を長時間続けさせることができるようになり遅いレートで熱に変換するであろう。

テスラの патент #512,340 “電磁石のためのコイル” は、非常に特別なコイルである。何故なら、パイプ上に巻いて作る通常のコイルとは違って、これは、2本の線をその隣の位置に置いて巻き、初めの線の端を次の線の初めにつないでいるからである。

この патент で、テスラは、このダブル・コイルは、通常のコイルのエネルギーより何倍も多くのエネルギーを蓄えると説明している。同じサイズで同じ巻数の、一つはシングルで、もう一つはバイファイラーで巻いた二つのコイルを測定すると、電圧のゲインが異なることを示した。

これらのバイファイラー巻きテスラコイルは、単に、その電氣的振舞いの基礎に基づいてのみ説明可能である。バイファイラーコイルは、シングル巻きコイルより多くの電荷を保持することができる。共振状態で動作するときは、バイファイラーコイルの分布容量は逆起電力 (コイルには普通である。誘導性リアクタンス) を克服できる。

Fig. 2



Pat.512340

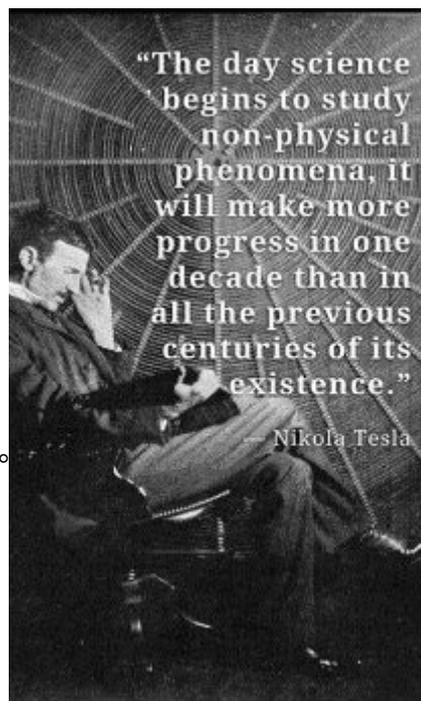
電氣的活動のために、バイファイラーコイルは、コイルを通して急速に立ち上がる高電圧の逆起電力という形でそれ自身に対して作用することはない。巻線の間差が十分大きいので、エネルギーは実際上、全電圧である。この点で、システムは静電氣的振動子となる。

私のラジアント・エナジー・システムのなかでは、消耗する変位電流がないので、極小の仕事がなされる。小さな熱損失が起こるので、発振は、原子の触媒作用により発生した残余のチャージにより維持される。非常に小さなエネルギー消費が、外部から燃料供給無しに長期間にわたって電氣的負荷に電力を供給可能とする。

外部エネルギー源から初めのエネルギーを入力した後は、ラジアント・エナジー・発電機が非常に効率の良いデバイスとして動作するであろう。

歴史を顧みれば、何故、商品化されなかった発明があるのか理解できる。それは、経済の問題であって、科学の問題ではない。それがメインのファクターである。交流はテスラの時代には、強大な資本家により反対されたということを出すであろう。

ミカエル・ピューピンは、伝記の中で、“…企業の経営者は、もし交流システムが何かの支援を受けるならば、彼らの幾つかの直流機器とそれをつくるプラントをスクラップしなくてはならないだろうと恐れていた。大抵は米国風でない態度…それは 90 年代初期に優勢だった無知と偽りであった。何故なら、電機会社の経営者は高度に熟達した科学者達に少しか注意を払わなかったからである[2]。



「科学が非物理的現象を研究し始める日、その日からの 10 年間で科学は過去の長い世紀よりも、長足の進歩を遂げるであろう。」 …テスラ

## ・フィラデルフィア・パブリック・レジャー新聞

### テスラ コズミック・エナジーを捕える

発明者は、機械を動かす燃料を廃止する発明を宣言している。太陽をメインのエネルギー源に呼んでくる。有名な物理学者で科学機器の発明者であるニコラ・テスラは、世界の機械を動かしているエネルギーの原理が宇宙を動かしているコズミック・エネルギーから得られるかもしれない、という発明を、今日、宣言した。

この原理は、“どこにでも無限に存在する”そして地球上のどこにでも有線/無線で送ることができるとして述べられているが、石炭、石油、ガスその他の燃料の必要性を排除するであろう、とテスラは言った。テスラは彼のホテル(訳注:テスラはホテル住まいをしていた)で、その原理は、実際に商業化利用になるのは、そんなに遠い先のことではないと宣言した。

突然彼の原理が導入されたら、現在の経済システムを混乱させてしまうのでは?と聞かれて、テスラは“すでにひどく混乱しています”と答えた。そして、今や、新エネルギー源の開発に対する時機がかってないほど熟している、と付け加えた。

現在の形態においては、理論は、莫大な機械装置を要する中央集中プラントのエネルギー開発を必要としている。しかし、個人用のプランも開発可能だろうとテスラは述べた。

地球に対して、中心的なエネルギー源は太陽であるが、“夜の新電力供給が妨げられはしないだろう”とテスラは言った。

明らかに、テスラは、原子反応器については、語っていない。彼は、ラジアント・マターにより発生した、イオン化粒子を直接変換している。我々が、今日知っているような核エネルギーではない。ラジアント・エナジーが直接電力に変換される。テスラは、「太陽は高度に荷電した粒子を発生し、そのラジアント・マターがエネルギーを再送信する、それが、この、実用の目的で使うことのできる、エネルギー伝送なのである」と信じていた。

No. 685,957.

Patented Nov. 5, 1901.

N. TESLA.

APPARATUS FOR THE UTILIZATION OF RADIANT ENERGY.

(Application filed Mar. 21, 1901.)

(No Model.)

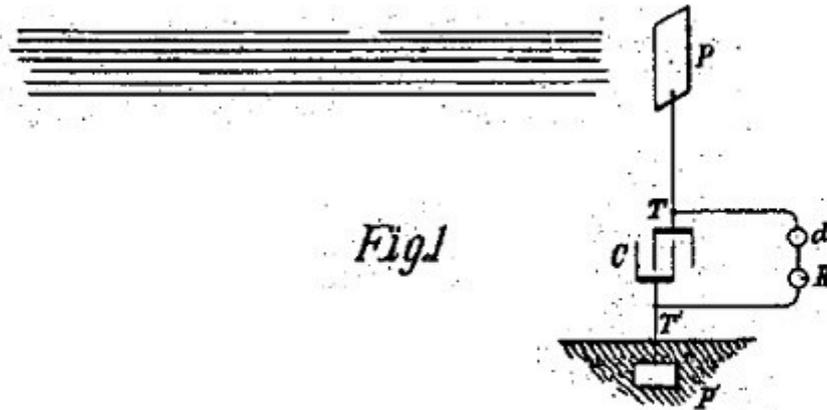


Fig. 1

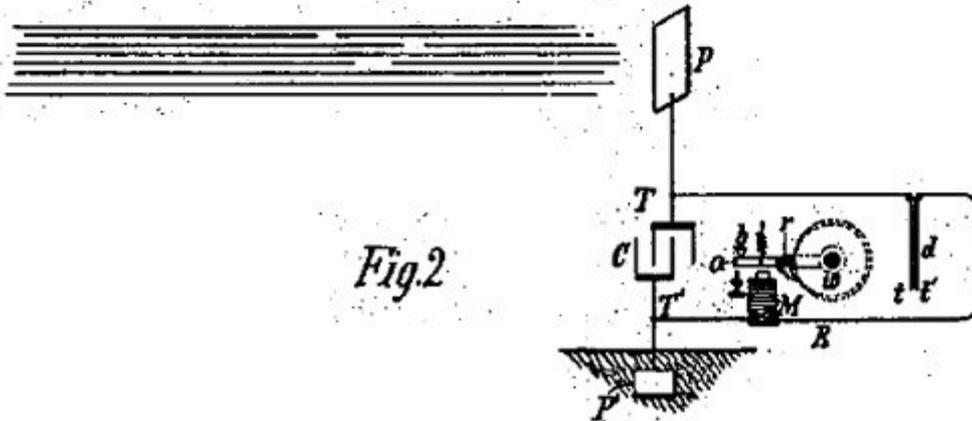


Fig. 2

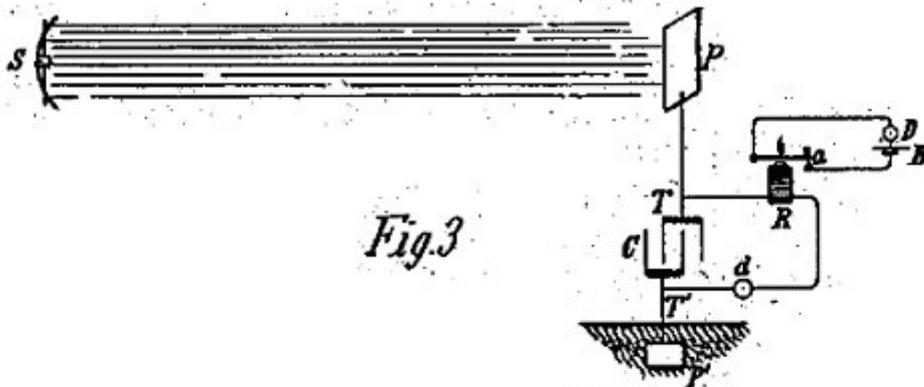


Fig. 3

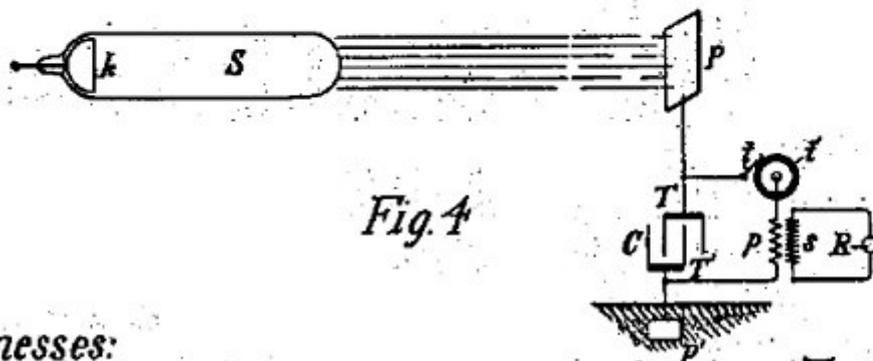


Fig. 4

Witnesses:

Inventor

テスラ特許

## ・テスラのラジアント・エナジー・実験

これは文献[3]の抜粋・概訳である。

文献

[1]Tesla Radiant Energy 2:

[http://fuel-efficient-vehicles.org/energy-news/?page\\_id=481](http://fuel-efficient-vehicles.org/energy-news/?page_id=481)

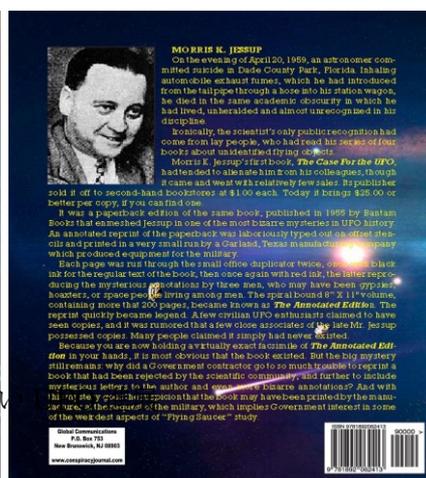
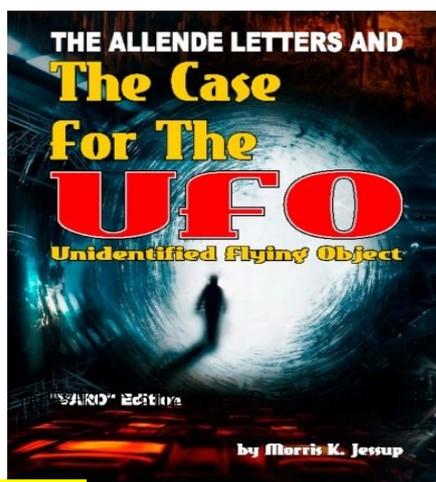
[2]Michael Pupin, From Immigrant to Inventor, Charles Scribner's Sons, N.Y., pages 285-286, 1923.[3]Tesla Radiant Energy 1:

[http://fuel-efficient-vehicles.org/energy-news/?page\\_id=481](http://fuel-efficient-vehicles.org/energy-news/?page_id=481)

< ↑ Top ↗ >

HOME

Powered by FC2 ホームページ



#### 内容紹介

この珍しい写本の出版は、『自殺した?』有名な天文学者モリス K.ジェサップ博士が原因となった!

彼は、知っていたことのために、殺されたか?

少数のコピーだけが、当初民間の政府契約者によってオフィス複写機でコピーされた。

50 年後の今読めることになった

1959 年、4 月 20 日の晩

フロリダの Dade County 公園で天文学者は自殺した。

彼はステーション・ワゴンにテールパイプからホースで入れた自動車排気ガスを吸入して、彼はアカデミックには無名状態で生きたのと同じように死亡した。そして、彼は無名で、努力はほとんど認められていなかった。

皮肉にも、科学者には隠れていた一般の人の認知だけが来た。

そしてその人たちは UFO について彼の 4 冊の本のシリーズを読んだ。

モリス・ジェサップの最初の本（UFO 事件 THE CASE FOR THE UFO）は、彼を彼の同僚から疎遠にさせる傾向があった。

それは、ジェサップを UFO 史で最も奇怪なミステリーの 1 つにいたらせたのは 1955 年に発表されたこのペーパーバック版であった。

ペーパーバックの注釈がついている復刻版は、オフセットされた型紙の上に苦勞してタイプされた

そして、ガーランドによって、（軍事関係のテキサス製本会社）非常に少量印刷された。

各々のページは二回、小型オフィス複写機でコピーされた、

一度は

本の普通の文のために、黒のインクによって

そしてもう一度は赤インクで、は不可解な注釈を 3 人の男性によって複製した、それは人類の間で生きているジブシーか、hoaxters 靈的妄想か宇宙の人々であったか。

螺旋でとじられ、200 ページのこれは注釈版として知られるようになったものよりボリュームが含まれている。

速く再版され、伝説になった。

数人の市民の UFO 狂はコピーを見たと主張した、しかし、ジェサップが 17 のうちの 1 つを所有していることが知られているだけだった...

しかし、不思議なことに彼の死の後それらは消えたのか決して二度と見られなかった。

これはこれらの「知らない人」によって UFO が正確に示された、珍しいもので、注意すべきケースで生涯に一度再版されて提供されたのである。

大きなミステリーは、政府が科学界によって拒絶された本を再版し、さらに著者とさらに奇怪な注釈を含む不可解な手紙にそれだけの労をさく理由である。

この原稿は最初、科学的にフィラデルフィア実験とタイムトラベルと他の「奇妙さ」を暗示するものであった。

それは、「それらをよく知っている人」の間で全く独特な性質とまれなものであるため、長く捜された原稿であった。

この本が未確認飛行物体について出版され何人かがこれまでで最も怪しい本の中にあると言う。

1つのコピーが1200ドルで売られたということは、知られている。

これは再版である、しかし、わずかな値段である。この版はグレイ・バーカーによる珍しい序文も含んでいる。

著者について

グレイ・バーカーは、Rifle (ウエスト・バージニア) で生まれた。

彼は、死までウエスト・バージニアに住んでいた。

登録情報

ペーパーバック:

226 ページ

出版社: Inner Light - Global Communications; 内部の光 グローバルコミュニケーション

注釈版 (2012/9/23) 言語: 英語

ISBN-10:

1892062410 ISBN-13:

978-1892062413 発売日: 2012/9/23

21.6 x 1.3 x 27.9 cm おすすめ度: この商品の最初のレビューを書き込んでください。

Amazon 売れ筋ランキング:

洋書 - 1,113,999 位 (洋書の売れ筋ランキングを見る) 7869 位—洋書 > Science > Astronomy 99986 位—  
—洋書> Religion と Spirituality 318440 位—洋書> Education と Reference

さらに安い価格について知らせる

あなたがこれをよく知っているならば、本の版は「UFO 事件」、そして、これが 3 人の異なる作家によるコメントによる注釈がついている版であることを知っている。

原版においては、解説者の各々は、彼らのコメントを他と区別することを簡単にするために、お互いと異なる色を使った。(それは、物語につながって行く)

しかしこの版において、すべてのテキストとコメントは同じ色 (黒い) である、そして、3 人の解説者からのコメントは異なっているフォントによって特徴づけられて、タイプを明白に示す。

私は、オリジナルの場合のように異なる色の使用を好んだ。

本がおよそ 40 ドルかかるが、人は出版社が同じ色を使う安い選択の代わりに異なるフォントとアンダーラインだけでなく 3 人の解説者のために異なる色を使うからと思っている。

アマゾンのこの本の説明がもっとよくて、3 人の作家のすべてのコメントは同じ色で、異なる文字とアンダーラインを用いると言ったならば、私はこの本を購入しなかっただろう。

4 人のお客様がこれが役に立ったと考えています。

5 つ星のうち 4.0

「天文学と UFO」

投稿者 Johns2013 年 4 月 27 日 — (アマゾン・ドット・コム) —

1956 年 11 月 Flying Saucer Review によると、「天文学のインストラクターと探検家で数学をミシガン大学とドレイク大学で学び、モーリス・K・ジェサップはミシガン大学で天文学 Astrophysics 天文学の彼の博士課程を完了した。」

彼は、ミシガン大学のために、南アフリカで南半球で最も大きな屈折望遠鏡を築いて、操作した。

彼の研究は、現在ロンドンで王立天文学会の Memoirs 保存資料としてでカタログ化される物理的な連星の数千の発見に終わった。」

これは、論争的となる本である。

一方、1955 年 5 月の彼の CRIFO ニュースレターでレナードストリングフィールドは言った。「ジェサップの新しい本、UFO 事件は、読まなければならない！」

つジェサップのメモは天文 UFO への言及である。」

しかし Flying Saucer Review の 1955 年 7 月の問題で、プリングリール・Poer トレンチが UFO 居住者に関して、それは論争的となる本であると述べた

「彼は、これらの宇宙の遊牧民がどのように宇宙で破片を食べて生きるか説明し続ける。

突然現れる魚、氷、血、死んだ動物と他の面白いアイテムの彼の報告のいくつかは、少し腹立たしい。

大きな宇宙のごみ箱として使われている地球を見つけることは、屈辱的である。」

ジェサップはあるところでハロルド・ウィルキンズの研究に言及する、そして、彼が Flying Saucers の A 攻撃によって影響されたように私には思われる：

最も素晴らしいものの驚くべき新しい意外な事実は、我々の時代の話をする！

有効なものを落すことの報告、肉の帯、血、腐敗している有機物質、ちりと泥、硫黄、クォーツ、氷などに加えて、歴史の UFO の報告と UFO が責任があると考えられた、衝突するか消滅した航空機の報告された事件がある。

VARO 版は、数人の匿名の貢献者によるいろいろなコメントを含んでいる。

空から有機物質を落すことに関して、人は、これらがほとんど人間でないのは突然変異の増大する人口をまかなうための食物実験の結果であったと述べる。

匿名の貢献者は、UFO がほとんど人間によって案内されないと考えた、遭遇するならば、両方とも恐れられ、心を空白にしておくことで避けることができる。

彼らが遭遇するならば、それは悪い知らせであった：

ジェサップは、いなくなったか、不思議なことに他の死んでいる船乗組員のいろいろな事件を語る。

「まるで特別な爆発が彼らをうったか、つつんだように」彼は英国とフランスのガラスにされた砦のケー

スに言及する。(彼はある期間にガラスにされたと述べる)

匿名の貢献者は、「大きな爆撃」が過去にあった、そして、戦いが「Lemurian」と空の「Muanina」軍隊の間にあったと述べる。

ジェサップは、存在する先進の文明が遠い時代に地球上にあったと考えて、ペルーのサクサイワマンで、そして、パールベックで不可解な調査結果を解説する。

彼は月に関する天文学的な調査結果と惑星ウルカーヌスをめぐる容疑がかかっている論争を含む太陽系にも言及して、1881年に見られる不安定で、明らかにディスク状の彗星の上に、天文学者の間のなんらかの相関関係も転載する。

2、3の出来事の、誘因として1943年からの不可視性の嫌疑のかかっているフォース・フィールドの海軍実験と、アインシュタインの統一場理論に言及する。

「小さい男」に関しては、伝えられるところでは、彼らは地球上と海中に基地があった。

序論では、ティモシー・グリーン・ベクリーは、イヴァン・サンダーソンがどのようにUFOのケースの彼の最初のVAROコピーを盗んだとして彼を訴えたか告示する。

UFO居住者が地球上に基地があったという考えは、後でサンダーソンによって彼の「見えない居住者」でされた：

海の下 UFO の現実性。

全体として、これは、活発な、挑発的な本である。(私はチャールズ・フォートの作品のファンは特に評価すると想像する)

後でジェサップは、拡大したUFOの問題を書いた。

1956年3月のレンStringfieldのCRIFO Orbit会報への手紙では、彼は、「直径11マイルのリンネ・クレターは、は白い不明瞭なものによってカバーされ、ある種の植民地が1865年の月に現れたという証拠を見つけたと書いた。

その後これらの白い点の数はおよそ200まで増加した、そして、用心深い英国の天文学者は彼らを彼らのドーム状の形のため、「ボウラーハット」と呼んだ。

最初のものが突出した月のクレターを引き継いだ時から、彼らの数は20年ごとにほぼ二倍になっていった。」

月の表面に関して論争的となる調査結果について学びたくなくて誰でも、ジェサップのケースとE UFOが拡大されたケースは興味深いことがわかる。

続きを読む

7人のお客様がこれが役に立ったと考えています.

5つ星のうち5.0

馬鹿にはいけない。

偉大な本である！

投稿者 GeekMama2012年9月23日 — (アマゾン・ドット・コム) —

他の者があなたを馬鹿にする 悪いレビューを書くな。

これは高級な本で、価値がある。

原書は、余白に手書されたメモの全てで、ほとんど読めなかった。

このバージョンはその面白いメモを読みやすくして、海軍の多くが最初にこれにとっても興味を持っていた神秘的な理由を伝える。

あなたが UFO 史のこの部分に興味があって、バロ版の原本を手に入れることができないならば、これは買うべき本である。

1人のお客様が役に立ったと考えています。

投稿者 J. R. Galbraith2014年1月28日 — (アマゾン・ドット・コム) —

我々の中にいる知らない人 ジェイ・R・ガルブレイスによって。

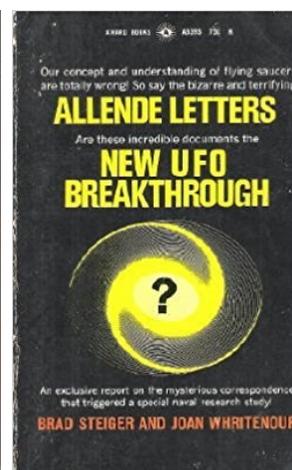
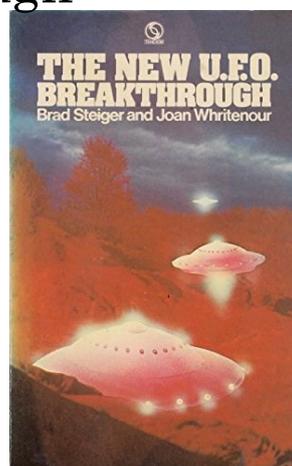
それは、フィクションか事実なのか????

確かに、UFOを擁護するモリス K.ジェサップの本の論拠の影響を受ける。

バロ・エディション Varo Edition

## 「New U.F.O. Breakthrough

」





ジェイ・ビビアン・チェンバーズ Jay Vivian Chambers (1901年4月1日?1961年7月9日) (ホイッテカー・チェンバーズとして知られている) は、初期の共産党メンバーとしての(1925)年の後自らの共産党員スパイ活動を非難し、1952年以後、アメリカの保守党の運動の知的なリーダーになったアメリカの編集者であった。

そして、ソビエト・スパイ、(1932?1938)、彼は共産主義(地下で活動していた党)から離反した、そして、タイム誌で働く、(1939?1948)。

1948年の召喚令状の下で、彼はアルジャー・ヒスの偽証(スパイ活動)裁判で証言した(1949?1950)、そして、彼は率直な反共産主義者(彼の1952の伝記 Witness で記述されるすべて)になった。Afterwardsで[1]ある、彼は短くナショナル・レビューのシニアエディターとして働いた(1957?1959)。

ロナルド・レーガン大統領は、1984年に死後に彼に自由勲章を与えた。

内容 [隠す]

青春期と教育 [編集された]

チェンバーズは1920年代にコロンビア大学のハートリー・ホールに、乗った、チェンバーズはフィラデルフィア、ペンシルバニア、[2]で生まれて、ブルックリンで彼の幼少を過ごした。

1904年に、彼の家族は Lynbrook、ロングアイランド、ニューヨークへ引っ越した、そこで、彼は育って、学校に通った。

彼の両親は、ジェイ・チェンバーズと Laha (ホイッテカー) であった。

チェンバーズは、彼の幼児期を彼らの精神障害のある祖母を気にかける彼の両親の分離と彼らの必要のため、煩わせられたと、言った。

彼の母が神経症になった直後、大学の彼の最初の年に[3]チェンバーズの兄弟の自殺があった。彼の父は半分閉じこもる同性愛者で、残酷にホイッテカーを扱った。

チェンバーズは彼がその時共産主義に引きつけられた多くの理由の1つとして、彼の兄弟の運命をあげる、共産主義は「最後の世界で(信頼と展望)と強さそして生きる何かを私に提供し、そして、死ぬために

何かを提供する力は他に同じようなものは何もなかった」と彼が書いた

[1]

1919年に近隣のロックビルセンターのサウスサイド高校を卒業した後に、チェンバーズは巡回してワシントンとニューオーリンズで働き、短くウィリアムズ大学に通って、コロンビア大学の.[1]のコロンビア・カレッジの通学生として登録した

コロンビアで、彼の仲間の大学生はマイヤー・シャピロ、フランク S.ホーガン、ハーバート・ソロー、ルイス・ズーコフスキー、クリフトン・ファディマン、エリオット V.ベル、J・ガスナー、ライオネル・トリリングそして、ガイ・エンドアを含まれた。(後で彼の小説「旅の途中で」の主演として小説化した)

[4]

コロンビア大の知的な環境では、彼は友人と尊敬を得た。

彼の教授と学友は、彼に優秀な作家を見つけて、彼が一流の詩人または小説家[5]になるかもしれないと思っていた

彼の二年生年には、チェンバーズは Boar の Head 協会[6]に加わった

そしてコロンビアの、操り人形のための芝居と呼ばれる芝居を書いた

文学的な雑誌 Morningside のために、彼はそれを編集した。

仕事は多くの学生と管理者によって冒瀆的であると考えられた、そして、論争はニューヨーク市紙まで広がった。

後で、チェンバーズに対してアルジャー・ヒスとの遊びが不利な彼の証拠になる。

論争について落胆して、チェンバーズは 1925 年にコロンビアを離れた

[1]

コロンビアから、チェンバーズはイザヤ Oggins も知っていた。そして、その人は 2、3 年早くソビエト地下に入っていた;

チェンバーズの妻 (エステル Shemitz チェンバーズ) は、ランド社会科学と明日の世界.学校 ILGWU [7] から、Oggins の妻 (Nerma バーマン Oggins) を知っていた

共産主義とスパイ活動 [編集する]

1924 年に、チェンバーズは、ウラジミール・レーニンがソビエトの Work [8]で、それにひどく影響を受けたことを読んだ。

彼はその時家族の機能不全の性質を見た、「中で、中流階級の全部の危機を縮写」し、彼は書く;

共産主義が解放を約束したが不調だ。

チェンバーズの伝記作者サム Tanenhaus は、レーニンの権威主義が「正確にチェンバーズを引きつける」と書いた...

彼は、教会をついに見つけた」;

つまり、彼はマルクス主義者になった。

1925年に、チェンバーズは、アメリカ合衆国そしてアメリカの労働者党として知られる共産党（CPUSA）に加わった。

チェンバーズは書いて、デーリー・ワーカーを含む共産党出版物のために、新聞とニュー・ミサ誌を編集した。

共産主義への彼の傾倒に対する彼の文学的な才能を結合する、チェンバーズは1931年にプロレタリアの困難と反乱（Can You Make Out Their Voices を含む）のまわりに4つの短編小説を書いた？

批評家によってアメリカの共産党員運動からのフィクションのいちばんいいものの1つと思われる[9]

ハリーflanagan と一緒に適応して、生じた

名称を与えられた遊びとして、あなたは彼らの声を聞くことができるか？

アメリカの全域で、そして、他の多くの国でよまれる。(q.v.ホイッテカー・チェンバーズの Bibliography)

チェンバーズは、この期間中、翻訳者としても働いた；

フェリックス・ザルテンの1923年の「新しい森のバンビ.[10]のA ライフ）の英語版は、彼の作品の一つだった

ハロルド Ware      Harold Ware

[編集する]

チェンバーズは「地下の共産党員」に加わるために入れられて、彼の経歴をスパイから始めた。そして、アレキサンダーUlanovsky（別名ウルリク）によって率えられるGRU装置のために働いた。

後で、地下組織の彼のメインコントローラは、ヨセフ・ピーターズであった。(CPUSA書記長アール・ブラウダーがルディ・ベーカーと後で入れ替わった)

チェンバーズは、ピーターズが彼をハロルド Ware に案内した、(彼はこれまで Ware に照会されたことを後で否定したが)そして、彼が伝えられるところでは、それはワシントンの共産地下セルの上部であったと主張した：[11]

共産主義と絶縁する [編集する]



ジュリエット・スチュアート Poyntz（1918年頃）、

その失踪が、チェンバーズに離脱するようにした

チェンバーズは、1932年から1937年まで彼のスパイ活動に関してする

または、共産主義に対する彼の信頼が弱まる間、1938は互角になる。

彼はヨシフ・スターリンの Great Purge によってますます邪魔をした。そして、それは 1936 年から始まった。

彼は彼自身の生命のためにも恐ろしかった。そして、イグナス・ライスのスイスでの殺人、スターリンと関係を断った高級ソビエト・スパイとチェンバーズの友人とアメリカ合衆国の仲間のスパイ・ジュリエット・スチュアート Poyntz の消滅に注意した。

**彼女がモスクワを訪問して、スターリンの Purges.[13]のために共産黨員原因に幻滅を感じて帰った直後に、Poyntz は 1937 年に消えた**

チェンバーズは彼がモスクワへ旅立つといういくつかの命令を無視した。そして、彼が「追放される」かもしれないと心配した。

彼は、情報源から収集したドキュメントのいくつかも隠し始めた。

ソビエトが彼と彼の家族[1]を殺すのを防ぐ「救命具」として写真に加えて、数本の文書のマイクロフィルムを使う予定だった

1938 年に、チェンバーズは共産主義と決別して、隠れて彼の家族をとった。そして、彼の甥と彼の両親の自宅に「救命具」を保存した。

まず最初に、彼には、米国政府に彼のスパイ活動に関する情報を伝える計画がなかった。

彼のスパイ活動接触は彼の友人であった、そして、彼にはそれ.[1]を密告したいという願望がなかった

彼の政治的な左から右へのチェンバーズの転換の検査において、著者ダニエル・オッペンハイマーは、チェンバーズが共産主義のための情熱を彼の神に対する情熱に代えた点に注意した。

チェンバーズは、彼の離反の前に、そして、後に、白黒のことばで世界を見た。

彼の自叙伝では、彼は生活の理由として共産主義に献身を提示したが、離脱した後は、行動を「絶対の悪」の一部であるとみなした。

[3]

バーリとの会議 [編集する]

アドルフ・A・バーリ (1965 年頃) は 1939 年にチェンバーズのレポートを無視した

1939 年 8 月にヒトラー-スターリン不可侵条約は、チェンバーズは 1939 年 9 月にソビエト Union.[14]を相手どり訴訟を起こすようにした。反共産黨員、ロシア人の生まれのジャーナリスト I・D・レヴィン、

レヴァインとチェンバーズは米次官補アドルフ・A・バーリと会った、

レヴァインはチェンバーズをウォルター・クリビツキーに紹介した。そして、その人は米国と英国の当局に両方の政府のポストを持ったソビエト・エージェントをすでに知らせていた。

クリビツキーは、それを知らせるのは彼らの義務であるとチェンバーズに話した。

チェンバーズは、彼が起訴から免れることに関して何を知っていたか明らかにすることに同意した。

会議（それがワシントンのパール国内、ウッドリー・マンションで起こった）の間に

チェンバーズは、18人の現在で元公務員をスパイまたは共産黨員支持者に指名した。

記載の多くの名前は、比較的マイナーな位置を持っていたか、すでに疑いをかけられていた。

しかし、何人かの名前はより重要で、驚くべきだった：

アルジャー・ヒス、彼の兄弟ドナルド・ヒス、そして、ロレンス・ダガン？ 国務省のすべての尊敬された、

中位の当局であった？そして、Lauchlin カリー、フランクリン・ルーズベルトの特別な補佐人。

名前を挙げられるもう一人の人は、アバディーンのプロビンググラウンドで、最高機密の爆撃照準器プロジェクトに取り組んだ [要出典]

パールは、チェンバーズの情報が暫定的で、不明で、確証されてはいないとわかった。

彼はホワイトハウスに情報をわたした、しかし、大統領はそれを退けた。そして、それに対して、パールはあったとしてもわずかな異議をした。

しかし（後で、ヒスの偽証裁判の間の証拠となる）、パールは彼の手記をつけた。

#### [16]

パールは、1940年3月に連邦捜査局（FBI）にチェンバーズの情報を通知した。

1941年2月に、クリビツキーは彼のホテルの部屋で死体で発見された。

警察が死をコントロールした間自殺、クリビツキーがソ連情報部によって死んだと広く推測された。

ソビエトがチェンバーズも殺そうとすると心配して、パールはチェンバーズと彼のインタビューについてFBIに再び言った。

それでも、ナチドイツ [要出典] と比較するとき、FBIは、アメリカ合衆国の政治的な方針と同調して、ソ連からの潜在的脅威をマイナーであると、見ず、即時の措置をとらなかった

（FBIは、更なる行動なしで、1942年5月と1945年6月にチェンバーズを尋問した。1945年11月のOnly、エリザベス・ベントレーが離脱して、チェンバーズの話の多くを実証したとき、FBIはまじめにチェンバーズを連れて行った）。

#### [17]

タイム誌 Magazine [編集する]

クレア・ブース・ルース（1954年頃）と一緒に妻ヘンリー・リュースは両方ともチェンバーズの著作を評価した。

パール Berle 会議の時間には、チェンバーズは1年後隠れたことから出てきて、Time Magazine のスタッフに加わった。（1939年4月）

彼はジェームス・ジョイスの最新の本（フィネガンズ・ウェイク）について1ヵ月以内にカバー・ストーリーをのせた。[18] 彼は雑誌の後ろで始まった。そしてそれから、が載っている本とフィルムをジェイム

ス・エイジャーとカルバン・フィックスがチェックした。

フィックスが 1942 年 10 月に心臓発作にかかったとき、ワイルダー・ホブソンはアートとエンターテインメントについてのチェンバーズのアシスタントエディターとして彼の跡を継いだ。

そのセクションでチェンバーズのために働いている他の作家は、以下を含んでいる：

小説家ナイジェル・デニス、将来のニューヨークタイムズ・ブックレビュー編集者ハービー・ブライトと詩人ハワード・モスとウェルドン Kees.[19][20]

この間に、セオドア・H・ホワイトとリチャード Lauterbach のように、闘いはそれらの間で起こった。そして、その人は彼らが中国の蒋介石の体制のエリート意識、腐敗と不相当とみなしたものの批評を起こして、日本の帝国主義に対して闘いにおいて毛沢東の赤軍との大きな協力を主唱した、そして、チェンバーズと他は、しっかりと pro-Chiang な、反共産主義の展望を固守したウィリ Schlamm を好む、(そして、ウィリアム・F・バックリー (Jr.のナショナル・レビュー) の創立編集委員会に両方も後で加わった)。

タイム創設者ヘンリー・リュース (その人は中国で育って、チャンと彼の妻の個人の友人であった) は、適切に真正面にチェンバーズの側を支持した

そのホワイトは、彼の話が検閲されて、完全に抑えられてさえた.[21]そして戦争の直後に Time をそのままにしておかれていると不平を言った.[21]

1940 年に、ウィリアム・サローヤンはサローヤンの演ずる Time の劇の中の「寄稿者」の間のリストを固定化する (それは編集方針であった)

愛は、オールドスウィート ソングである。

リュースは彼ウェインスタインを 1942 年夏に ([23]) 1943 年 9 月に (Tanenhaus [24]) をシニアエディターに昇進させて、1943 年 12 月の Time の「上位のグループ」のメンバーになった。[24]

チェンバーズ、親しい同僚と 1930 年代現在の多くのスタッフは TIME をたち上げるのを手伝った？

歴史家ロバート Vanderlan がかれら中間部の知識人」、を[25]と呼んで、Colleague ジョン・ハーシーは以下の通りに彼らを解説した：

タイムは、面白い段階だった；

トム・マッシュューズという名の編集者は、ジェイムス・エイジャー、ロバート・フィッツジェラルド、ホイットカー・チェンバーズ、ロバート・カントウェル、ルイス・クローネンバーガーとカルバン・フィックスを含む作家のすばらしいグループを集めた...

彼らは目がくらむようだった。

時のスタイルは、まだ非常にいんちきだった？心を巻き取の、文が走った？しかし、初心者としてさえ、

私は話すことができた。そして、これらの作家の各々がそのような特徴的な声.[26]を持っていたので、その人は雑誌に各々の部分を書いた

1948 年前半までには、チェンバーズは Time で最も有名な作家・編集者の 1 人になった。

最初は、ヤルタ会談（ヒスが加わっていた）に、彼の容赦ない解説をした「屋根の上の幽霊 Ghosts」（1945 年 3 月 5 日）できた。

以降のカバー・ストーリー・エッセイは、マリアン・アンダーソン、アーノルド J. トインビー、レベッカ・ウェストとラインホルド・ニーバーの概略を書いた。

マリアン・アンダーソン（1946 年 12 月 30 日）のカバー・ストーリーは雑誌が読者の手紙に答えて非帰属の原則を破ったほど人気があるということを証明した：

大部分の Time カバー・ストーリーは、彼らが現れたセクションは正社員によって書かれて、編集される。特別のカバー・ストーリー（特別な困難な、特別な文学的な技術を要求された）は、シニア Editor ホイッテカー・チェンバーズによって書かれた。」

[27]

Time の同僚チャールズ・ウァーテンベイカーへの 1945 年の手紙では、タイム・ライフ代理社説ディレクター監督者 J・S・ビリングズは、チェンバーズ（「チェンバーズは、これまでにいたどんな作家の言葉よりも最高のショーを行う。素晴らしい技術者だ（特に Time のセクションをまとめるモザイク技法に熟練していた）」）のことを言った。

[28] その年ヒス事件が後で暴かれたとき [29]、チェンバーズは彼の経歴の頂点にいた

この期間中、チェンバーズと彼の家族はクエーカーになった。そして、彼のメリーランド農場.[30]の近くでパイブクリークフレンドミーティング Friends Meetinghouse に出席した、

ヒス事件 [編集する]

アルジャー・ヒス(1948)（その人は激しくチェンバーズの申し立てを拒んで、偽証の有罪判決を受けた）1948 年 8 月 3 日に、チェンバーズは、下院非米活動委員会 (HUAC) の前で証言するために呼び出された。ここでは、彼は 1930 年代後期に地下「細工物グループ」の一員であると言った個人の名前を挙げた。そして、それはアルジャー・ヒスを含んでいた。

彼は、このようにもう一度ヒスを共産党のメンバーに指名したが、スパイ活動によるいかなる起訴もまだしなかった。

以降の HUAC セッションには、ヒスは、証言して、まず最初に、彼がチェンバーズという名で誰でも知っていることを否定したが、直接彼に会った、「ジョージ Crosley」の名前でチェンバーズを知っていたと言った。（そして、それが明白になったあと、そのチェンバーズはヒスの人生について詳細に知っていた）

ヒスは、しかし、彼がこれまで共産黨員であったことを否定した。

チェンバーズがまだ証拠を提示しなかったので、委員会はまず最初に、問題に関してヒスのことばをききとる傾向があった。

しかし、リチャード・ニクソン委員は、彼に問題を追求させた F B I から、秘密情報を受け取った。

レポートを交付したとき、HUAC はヒスの証言を「漠然としていて回避的である」と言った。

[要出典]

"Red Herring"[edit]

「赤い Herring」[編集する]

ハリー・S・トルーマン（センター（正に 1945 年の残ったヨシフ・スターリンとウィンストン・チャーチルと一緒にの））は、チェンバーズの申し立てを「燻製ニシン」と言った

同国は、ヒスについてでチェンバーズ問題と、す速く対立した？。

ハリーS トルーマン大統領は、この事件を「燻製ニシン」として退けた。（国連憲章会議を統轄した男が共産党員であったという申し立てに満足しなかった）

反共を増やす空気[31]はマッカーシー旋風と後で呼ばれる、多くの保守派は彼らが見たもので共産主義の侵入の危険性の方の民主党のゆるみと国務省の影響と同じくらい象徴的なヒス事件を見た。

多くの自由主義者は、次に、大統領のオフィスに帰り着くために共和党の自暴自棄の一部としてヒス事件を見た。そして、16 年の間、とても力を失っていた。

トルーマンは大統領命令 9835 も出した。そして、それは 1947. [要出典] で連邦従業員のために忠誠レビューのプログラムを始めた

「カボチャ Papers」[編集]

Foley Square in 2014 in NYC, site of grand jury and trials of Hiss Case.

2014 年の NYC のフォーリー・スクエア、大陪審のサイトとヒス・ケースの試み。

ヒスは、1948 年 10 月 8 日にチェンバーズに対して 75,000 ドルの名誉毀損訴訟を起こした。

ヒスの弁護団からの圧力の下で、彼らが彼らを召喚したあと、チェンバーズはようやく彼の証拠の封筒を取り戻して、それを HUAC に示した。

それはアルジャー・ヒスの筆跡の 4 つのメモ、65 部のタイプされた国務省文書とマイクロフィルムの 5 枚の帯を含んだ。そして、その幾つかは国務省文書の写真を含んでいた。

プレスは、これらをチェンバーズがマイクロフィルムをへこんだカボチャで短く隠したという事実に言及して「カボチャペーパー」と呼んで来た。

ヒスが Crosley を最後に見たと言ったとき、これらの文書はヒスが 1936 年中頃のずいぶん後にチェンバーズを知っていることを示した

そのうえ、そのヒスは、チェンバーズとスパイ活動に関与していた。

チェンバーズは彼のこの証拠を示す遅れを、旧友を必要以上に多くのトラブルから免れさせる努力だと説明した。

1948年10月までは、チェンバーズが宣誓して証言したときでも、チェンバーズはヒスがスパイ活動に関与しなかったと繰り返し述べた。

チェンバーズはヒス裁判で彼が数回偽証を犯したと証言することを強制された。そして、それは彼の critics の目で彼の信憑性を減らした [要出典]

「カボチャ新聞」として知られている 35mm の映画の 5 本のロールは、1974 年後半まで HUAC ファイル に閉じ込められていると考えられた。

情報公開法の下でのこれらとのコンタクトの彼の要請が拒まれたとき、独立した研究者スティーブン W. セイラント (ミシガン大学の経済学者) は 1975 年に米国司法省を訴えた。

1975年7月31日に、ピーター・アイアンズによって、そして、アルジャー・ヒスとウィリアム・ルベンによって起こされたこの訴訟と後続の訴訟の結果、司法省は、ヒスをこれに関係させるのに用いられた「カボチャ文書」の謄本を公表した。

1本のフィルムは露出過度のために全く空白であるとわかった、他の2つは救命いかだと消火器のような主題に関する、

非機密扱いの海軍省文書のかすかに読みやすいコピーである

そして、1930年代後期に U.S/ドイツ語関係に関して、残りの2つは、2つのヒス裁判で起訴側によって導入された国務省文書の写真である

しかし、1970年代にニューヨークタイムズによって報告されたこの物語は、部分的な真実だけを含んでいる。

白紙の名簿は、彼の自叙伝 Witness でチェンバーズによって言及された。

しかし、無害な農場報告などに加えて、他のカボチャ畑マイクロフィルムの文書も、「海外大使館から外交手腕のあるスタッフまでワシントン D.C. に送られる秘密のメモ」を含んだ; 更に悪いことに [33]、それらのメモは、当初暗号で送られた、そしてそれは、ヒスによって送り届けられる彼らの (おそらく) 持っている両方ともコード化されたオリジナルと翻訳に感謝します、現在ソビエトは簡単に理解する。 [33]

偽証 [編集する]

罪の証拠がその時の 10 年以上前に起こったことを示していたので、ヒスはこの時にスパイ活動の容疑で裁判にかけられることができなかった、そして、スパイ活動の時効は 5 年であった。

その代わりに、ヒスは、彼が前の 12 月連邦大陪審の前でした証言に関して、2 つの偽証の訴因で起訴された。

そこで、彼はホイッテカー・チェンバーズにどんな文書でも与えることを否定し、中央の 1936 年。 [要出典] の後でチェンバーズに会わなかったと証言した

ヒスは、二回偽証の容疑で裁判にかけられた。

第一審は、1949年6月に、確信できないために 8~4 人の陪審員を行き詰まらせて終わった。

チェンバーズの証言に加えて、政府の専門家は、他の書類がチェンバーズによって生産されたヒス家に属しているタイプライターでタイプされている秘密の新聞に合うものを見つけられると証言した。

印象的な性格の多数の証人は、ヒスに代わって現れた：

.

2 人の米最高裁判所裁判官、F・フランクファーターとスタンレー・リード、元民主党の党公認大統領候補ジョン W. デイビスと将来の民主党の党公認大統領候補アドレイ・スティーブenson。

他方、チェンバーズは、ヒスの弁護士によって「共和国の敵、キリストの冒涇者、神を信じない人（結婚または母に対する敬意がない）」と非難された。

第 2 の試験で、ヒスの弁護側は、チェンバーズを「精神病質人格」と「病理学的うそつき」として描写した精神科医を産みだした。[31]

[34]

2 回目の裁判は、ヒスが有罪と判決され、1950 年 1 月に両方への偽証の訴因で終わった。

彼は、*prison.* で、5 年を宣告された [要出典]

ヒス事件の後 [編集する]

チェンバーズは、1948 年 12 月に *Time* を辞めた。ヒス・ケースのあとで[1]ある、彼は、*フォーチュン*、*ライフ* と *Look magazines.* のために 2、3 の記事を書いた [要出典]

証言 [編集する]

1952 年に、チェンバーズの本 *Witness* は、広範囲にわたる称賛で出版された

[35][36][37][38]

本は、自叙伝の組合せと共産主義の危険性についての警告であった。

1952 年に、チェンバーズの本 *Witness* は、本が組合せであった広範囲にわたる *acclaim.*[35][36][37][38] に出版された自叙伝と共産主義の危険性についての警告。

アーサー・シュレジンガー, Jr. は、それを「強力な本」と呼んだ。

[39] ロナルド・レーガンはニューディール民主党員から保守的な共和党の証言[31] への彼の転換の発想の源が 1 年以上の間ベストセラーであった本を信用して、チェンバーズの法律負債を清算するのを手伝った、が、請求は長引いた[39]（「オデュッセウスが幽霊に悩まされたので」）。

[40]

2017 年の保守的な解説者ジョージ・ウィルによると：証言は、保守主義の規範的なテキストになった。

残念なことに、それはうなり声のような、不満を言っている、泣き虫人民主義のサワーの飲み物で、保守主義を導入した。

今日伝染性の陽気なバックリーの遺産と高い文化の弁解なしに容認することを消している [ウィリアム F.]  
ことは、無作法なにせの保守主義の金切り声が優位なトーンである。

チェンバーズはしつこくて嫌になる感傷性の中で転げ回って、「質素な男性と女性」についての憤慨を固く  
つのらせた？

「私の身内は、ありふれた善良性の人々であると（常識で強い）思い知らせる」？「特定の大学高巣」に  
よって生産される「最も素敵な人々」の「社会的に恐るべきサークル」から発散している「俗物根性のム  
スク」に耐えて。

[41]ナショナル・レビュー [編集する]

ウィリアム・F・バックリーは、チェンバーズにマッカーシーに関して彼らの本を支持するよう、最初に  
頼んだ。（正しくて、L.ブレント Bozell Jr.は、1954年に出発した）

1955年に、ウィリアム・F・バックリーが雑誌ナショナル・レビューを始めた（そしてチェンバーズは、  
シニアエディターとしてそこで働く）そこでしばらく一年半の間その記事を出版する（1957年10月？  
1959年6月）。

[42]最も広く引用された記事は、現在まで、エイン・ランドのアトラス *Shrugged* の容赦ないチェック  
で、[48][49][50]（「大きいシスターは、あなたを見ている」）である [43][44][45][46][47]

1959年に、ナショナル・レビューを辞任する、チェンバーズと妻がヨーロッパオーストラリアを訪問し（そ  
れのハイライトはオーストラリアのケストラーの家のアーサー・ケストラーとマルガレーテ・ブーバー・  
ノイマンとの会談で[40]たそのあと、彼はウエストミンスター（Maryland.[51]）の西洋のメリーランド・  
カレッジ（現在マクダニエル・カレッジ）で研究を再開した

個人消息と死 [編集する]

パイプクリーク農場などのキャロル郡の農場（メリーランド）に（チェンバーズは彼が死ぬまで、1938年  
に避難して、生きた）

1930または1931年に、チェンバーズはアーティスト・エステル Shemitz と結婚した [52] (1900? 1986)。

[1] Shemitz（その人はアート・スチューデント・リーグで勉強して、自分自身をニューヨーク市の知的な  
サークルに融和させた）は、パッセーク（ニュージャージー）で、1926年の織物ストライキでチェンバー  
ズに会った [53]。

それから、チェンバーズがプロポーズするために朝5時に彼女のウインドウを通して登って、彼らは、僚  
友から抵抗に直面する嵐の求愛を経験した。

Shemitz は「革命家よりもむしろ平和主義者」と確認される。

[54] 彼女は1920年代に流行っていた、（平和主義的な magazine.[1]）World Tomorrow のために働いた  
1930年代の間にこのカップルには、エレンとジョンと2人の子供たちがいた。

（共産主義の指導部はカップルには子供がいなくなっていた、しかし、多くのように、チェンバー

ズは拒絶した（彼が共産党.に対する段階的な幻滅の一部としてあげた選択[1]）

1978年に、アレン・ウェインスタイン Perjury は、FBI が手紙のコピーをしたことを明らかにした  
そこにおいて

チェンバーズは、1930年代の間に同性愛との連携を解説した。[55]

手紙のコピーは、チェンバーズが1938年にこれらの慣例をやめたと述べる

彼が地下活動（新発見のクリスチエニティに起因して Christianity.[56]）から離れたとき、

手紙は、多くの視点 perspectives.[57]からみて論争中だった

チェンバーズは1961年7月9日に Maryland ウェストミンスターの彼の300エーカー（1.2 km<sup>2</sup>）の農場で、心臓発作で死んだ、.[58][59] He は38才からアンギナで苦しんで、以前いくつかの心臓の attacks で苦しんだ.[1]

寒い金曜日（彼の第2番目の伝記）は、ダンカン・ノートン＝テイラーの助けを借りて1964年に死後に発表された。

本は、東ヨーロッパでソビエト連邦を囲んでいる衛星国で共産主義の転倒が起こると予言的に予測した。  
ウィリアム・F・バックリー, Jr.（オデッセイアの友人）との彼の通信のコレクションは、1968年に発表された；

彼のジャーナリズムのコレクション？彼の Time とナショナル・レビュー著作のいくつかを含むことは、「屋根の上の Ghosts」として、1989年に発表された；

ホイッテカー・チェンバーズの選ばれた Journalism (q.v.ホイッテカー・チェンバーズの伝記)

賞 [編集する]

赤い星.1937年の秩序—ソビエト軍事情報 Military Intelligence (GRU) [要出典] から赤い星の勲位

1952—メアリー・カレッジ山からの法律の名誉博士号（ミルウォーキー） [60]

1953—[61]ノンフィクションのための全米図書賞決勝進出者（証言）

1984—自由勲章（「自由と全体主義の世紀の壮大な争い」に対する貢献のために）

遺産 [編集する]

自由の勲章。

チェンバーズの本の読者は、ヘリテージ財団のリストに毎週の標準、リーダーシップ学会と文化的な更新のためのラッセル・カーク・センターといったところが読んで聞かせている。

彼は、保守的な作家によって、定期的に引用される（例えば Heritage のプレジデント エドウィン Feulner [62][63]とジョージ H. Nash.[64][65][66][67]）

1984年に、「自由と全体主義の世紀の壮大な争い」に対する彼の貢献のために、ロナルド・レーガン大統領は、チェンバーズに自由勲章を死後に与えた。

1988年に — 内務長官ドナルド・ホーデルが、2001年にパイプクリーク農場.[68]に国民的先例となる地位を認めた — ジョージ W.ブッシュ政府のメンバーは、チェンバーズの出生の100回目の記念日を祝うために、密葬を開いた。

話者は、ウィリアム・F・バックリー, Jr. を含んでいた[69]

2007年に、ジョン・チェンバーズは、彼の父の書類による図書館がメリーランドのチェンバーズ農場に

2008年にオープンしなければならないと述べた。

彼は、施設がすべての学者が利用できる、そして、別々の図書館が開いたアクセスを保証することがあることを示した（大学の中で1つだけに確立するよりもむしろ） [70]

2010年1月6日に、パイプクリーク農場（ホイッテカー・チェンバーズは Witness 目撃記録を書いた）の Medfield 農家は、home の正面玄関で電気パネルで始まった火事によって、ひどく損害を受けた.[71]

2011年に、著者エレナ・マリア・ビダールは、彼の祖父の遺産についてデイビッド・チェンバーズを取材した。

インタビューのバージョンは、ナショナル・オブザーバーとアメリカ Conservative で発表された.[72][73]

2017年に、ナショナル・レビュー研究所は、2017年の、3月16、のプレゼンテーションで Ideas アイデアサミットのために「ホイッテカー・チェンバーズ賞」を開始した、

初の受取人は、ダニエルハナン 75]である

「あなたに brexit プレキゼットを持ってきた男」はガーディアンにより仕上げられる

## 「Poisoned Power 秘密の放射性降下物 :

広島からスリーマイル島への低レベル放射線

オレゴンの太平洋岸のカモメは、予言的である..

ByMarvin Sanneson 2016年8月14日

フォーマット : ペーパーバック | Verified Purchase

予言的。オレゴンの太平洋岸のカモメは、5年前の数のおよそ 1/10 である。

私は 25 年間オレゴンの海岸を走っていたので、鳥のことを知っている。

日に 2 回の満潮は、カモメたちの食物をもはや持ってきていない。

福島は 5 年と半年で、毎日 100,000 ガロンの高放射性の水を太平洋にまだ投棄していて、未開発のテクノロジーのため、この大災害が存在しないようにしなければならない。

アメリカのメルトダウンへの反応？

メディアを管理する方法を日本人に教えるために、CIA の飛行機で荷持を送った。

太平洋のプランクトンは我々の酸素 O<sub>2</sub> を提供する—我々はそのために巨額の防衛資産の最低 1/2 の金額と才能をこれにすぐにあてるようにしなければならない—我々には時間がなくなって

